

中國第一歷史檔案館編

光緒朝上諭檔

第一三冊（光緒一三年）

廣西師範大學出版社

第一三冊

《光緒朝上諭檔》編輯委員會

主任：徐藝圃 副主任：秦國經

委員（按姓氏筆畫為序）：牛平漢 李國榮 徐藝圃

秦國經 陳鏘儀 葉志如 趙雄 盧經

總主編：葉志如 陳鏘儀 趙雄 牛平漢

本冊主編：葉志如 陳鏘儀

本冊編輯：覃波 江珊

凡例

一、本書所輯為中國第一歷史檔案館所藏清代光緒朝上諭檔，一年一冊，按原檔影印編輯出版。

二、本書所輯上諭檔基本維持檔案形成的月日順序，以諭旨頒發先後為序，依次編排，一般調整祇在同日檔案文件之中進行。

三、本書對原檔諭旨時間的處理原則：（一）凡原檔標明頒發諭旨時間者，以頒諭時間為序編排；（二）凡未標明時間或時間有誤之諭旨，均進行必要的考證查出；（三）個別無法查考時間之諭旨，採用此前一件之時間。第（二）（三）項均在『校勘表』中註明。

四、本書對各類非諭旨性文件，不作時間考證。

五、本書對此類文件作了考證調整：原檔同日內之文件（包括奏摺、奏片、交片、咨文、名單、清單及所錄本日以前諭旨等），凡內容上有內在聯係，但按原排列順序卻被相互隔離開的，經考證調整到一起。調整後諭旨在前，所屬附件在後。同一諭旨有兩件以上附件者，按其原有先後順序排列。另，對原檔冊中存在的錯序、錯位、錯頁者，亦分別糾正和調整。凡調整件，均於『校勘表』註明。

六、本書對原檔考證調整的主要依據，是我館所藏清代當時形成的

『隨手登記檔』。

七、本書對同日内奏報的秋審朝審名單等附件，均視為單一件，依照原有順序歸併於同日相關諭旨之後，編一個文件順序號。

八、本書對於原檔中天頭處出現的『硃』、『硃圈』及諭旨左下方的『吏部摺』、『禮部片』、『摘鈔交總理衙門』、『×月×日』等字樣，以及諭旨行文中間改動添加的各種字樣，均一律保留。

九、本書對原檔上後人打印的阿拉伯頁碼號、原檔夾縫處原標的漢字頁碼號、原檔天頭處所附的紙籤、地角處所圈劃的符號，在編輯過程中一律刪除。

十、本書對於原檔中存在的錯字、衍字、簡化字、異體字、古體字等，均不作改動和糾正。

十一、本書將編者經過調整、校勘、考證的結果，以『校勘表』形式說明之。『校勘表』自右往左豎寫，各著錄項自上而下依次登記：順序號、頁碼號、原檔頁碼號、校勘內容。校勘內容和使用符號：（一）無時間（或時間有誤）之諭旨，標明據『隨手登記檔』查到的時間；（二）某件諭旨時間暫未查出，標用此前一件之時間，以『*』標明；（三）凡經過調整順序的文件，一律註明『調整』字樣；（四）檔案原件殘缺損者，均註『殘缺』；（五）墨迹霉變污染遮蓋一個字以上者，註明『污跡』字樣，並將所能辨識者的文字標出。

十二、本書所有文件統一編號，各冊序號獨立。

光緒朝上諭檔 第一三冊 校勘表

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
一一九	六二	一三一	調整
一〇四	五八	九七	調整
九三	五五	七五	調整
九〇	三四	二七	殘缺
八七	三三	一九七	調整
八四	三一	一九五	調整
五五	二二	一二七	* 正月二十一日
五四	二二	一二五	* 正月二十一日
五三	二二	一二三	* 正月二十一日
四六	二〇	一一一	調整
三四	一六	八九	調整
三〇	一四	七九	調整
二九	一四	七七	調整
二八	一四	七五	調整
二一	一二	六三	調整

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
一一〇	六三	一三三	調整
一四〇	六八	一七三	調整
一五九	七二	二一三	調整
一六二	七三	二一五	* 二月十四日
一六三	七三	二一七	* 二月十四日
二〇五	八二	三一五	調整
二〇六	八三	三一七	調整
二〇九	八三	三〇五	* 二月二十四日
二一四	八五	三三一	調整
二一五	八五	三三三	調整
二二六	八九	三五五	調整
二二七	九〇	三五七	調整
二二八	九〇	三六一	調整
二三〇	九一	三六三	調整
二三一	九一	三六五	調整

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
二三五	九二	三八一	調整
二三八	九二	三七七	調整
二三九	九二	三七九	調整
二四六	九四	三九一	* 二月二十九日
二四九	九五	四〇五	調整
二五〇	九五	四〇七	調整
二五七	九八	一五	調整
二五九	九九	一一	調整
二六一	一〇〇	一一	調整
二六二	一〇〇	一三	調整
二六五	一〇一	三三	調整
二七三	一〇二	四七	調整
二七四	一〇三	四九	調整
二八四	一〇六	七九	調整
三一四	一一五	一三九	調整
三一五	一一五	一四一	調整
三一六	一一五	一四三	調整
三一七	一一六	一四五	調整
三二二	一一七	一五九	調整

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
三二三	一一七	一六一	調整
三三五	一一一	一八一	調整
三三六	一一一	一八五	調整
三四〇	一二二	一九三	調整
三五七	一二八	二三五	調整
三七五	一三三	三	調整
三七七	一三三	一五	調整
三七八	一三四	一七	調整
三七九	一三四	一九	調整
三八〇	一三五	二一	調整
三八一	一三五	二三	調整
三八六	一三七	一三	* 四月初二日
三八八	一三七	三三	調整
三八九	一三七	三五	調整
四〇五	一四二	七五	調整
四〇七	一四二	七七	調整
四一五	一四四	九一	調整
四三三	一五〇	一三三	調整
四三四	一五〇	一二五	* 四月初十日

序 號	頁 碼	原 檔 頁 碼	校 勘 內 容
四三九	一五一	一四一	調整
四七三	一六〇	二一七	調整
四七八	一六一	二二三	* 四月二十日
四八四	一六二	二二九	調整
四八六	一六三	二三一	* 四月二十二日
四八七	一六三	二三三	* 四月二十二日
五一六	一六九	九	調整
五二一	一七〇	一九	調整
五二二	一七〇	二一	調整
五九六	一八八	一六七	調整
六二〇	一九四	一三	調整
六二二	一九四	一九	調整
六五七	二〇四	九七	調整
六六二	二〇五	九三	* 五月十五日
六六七	二〇七	一三	調整
六六九	二〇七	一五	調整
六七四	二〇八	二七	調整
六七六	二〇九	二一	* 五月十九日
六八二	二一〇	四七	調整

序 號	頁 碼	原 檔 頁 碼	校 勘 內 容
六八六	二二一	一四九	調整
六九八	二二四	一六九	調整
七〇七	二二六	一九一	調整
七三二	二二四	四一	調整
七三三	二二五	四五	調整
七五八	二三七	一〇九	* 六月十四日
七八八	二四五	一七	* 七月初四日
七九二	二四六	三三	調整
八〇一	二四八	四七	調整
八一二	二五三	七一	調整
八三七	二五九	二五	調整
八三八	二五九	二七	調整
八四六	二六一	四七	調整
八四八	二六三	四三	調整
八七〇	二七一	八一	調整
八八四	二七五	九	調整
八八五	二七五	一一	調整
八八七	二七五	一三	調整
八九一	二七六	一七	* 八月初二日

序 號	頁 碼	原 檔 頁 碼	校 勘 內 容
九二九	二八八	九五	* 八月十四日
九三〇	二八八	九七	* 八月十四日
九八七	三〇四	一二三	調整
九八八	三〇四	一二五	調整
九九〇	三〇五	一二七	調整
九九七	三〇七	一九	調整
一〇〇〇	三〇七	一七	調整
一〇二一	三二二	六七	調整
一〇二三	三二二	六九	調整
一〇二五	三二三	五五	* 九月初四日
一〇二六	三二三	五七	* 九月初四日
一〇二七	三二三	五九	* 九月初四日
一〇三七	三二五	八九	調整
一〇四六	三一八	一一三	調整
一〇四八	三一九	一一五	調整
一〇六四	三二三	一三九	九月十二日
一〇六五	三二三	一四一	九月十二日
一〇六七	三二九	一四三	調整
一〇七九	三三二	一九五	調整

序 號	頁 碼	原 檔 頁 碼	校 勘 內 容
一〇八四	三三四	二〇七	調整
一〇九〇	三三六	二二三	九月十八日
一〇九一	三三六	二二五	九月十八日
一〇九二	三三六	二二七	九月十八日
一〇九三	三三六	二一九	九月十八日
一〇九六	三四四	二五三	九月十九日
一〇九七	三四五	二五五	九月十九日
一一〇四	三五二	二九五	九月二十日
一一〇五	三五二	二九七	九月二十日
一一〇六	三五三	二九九	九月二十日
一一〇七	三五三	三〇一	九月二十日
一一二五	三六五	三六七	* 九月二十五日
一一二六	三六五	三六九	* 九月二十五日
一一三四	三六七	三九一	調整
一一三九	三六八	四〇七	調整
一一四〇	三六八	四〇九	調整
一一六六	三七六	二一九	* 十月初四日
一一六七	三七六	三一	* 十月初四日
一一六八	三七六	三三三	* 十月初四日

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
一一六九	三七六	三五	*十月初四日
一一七〇	三七七	三七	*十月初四日
一一八四	三八〇	七一	調整
一一八五	三八一	七五	調整
一一八七	三八一	七三	調整
一一九六	三八四	九五	調整
一二〇一	三八五	一一七	調整
一二〇二	三八五	一一九	調整
一二〇四	三八六	一〇三	十月十四日
一二〇五	三八六	一〇五	十月十四日
一二〇六	三八六	一〇七	十月十四日
一二一七	三八八	一三七	調整
一二一九	三八九	一三九	調整
一二二〇	三八九	一四一	調整
一二二七	三九一	一六五	調整
一二二八	三九二	一六七	調整
一二四二	三九九	二一三	調整
一二五三	四〇二	二二七	調整
一二七七	四〇九	二六九	*十月二十八日

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
一二九四	四一五	三五	調整
一三〇〇	四一六	四一	*十一月初五日
一三〇一	四一六	四三	*十一月初五日
一三〇二	四一六	四五	*十一月初五日
一三〇九	四一八	六三	調整
一三一	四一九	六九	調整
一三一九	四二一	九三	調整
一三三五	四二五	一一七	調整
一三三六	四二六	一一九	調整
一三四二	四二九	一四一	調整
一三四七	四三一	一五九	調整
一三五三	四三三	一五五	*十一月十六日
一三五四	四三三	一五七	*十一月十六日
一三五九	四三四	一七五	調整
一三六一	四三四	一七一	*十一月十八日
一三六七	四三六	一九一	調整
一三八六	四四二	二二七	*十一月二十四日
一三八七	四四二	二二九	*十一月二十四日
一四〇六	四五五	二九三	*十一月二十四日

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
一四二〇	四六〇	三五	調整
一四二一	四六一	三九	調整
一四二二	四六一	四三	調整
一四二四	四六二	一九	* 十二月初四日
一四二七	四六三	二五	* 十二月初四日
一四二八	四六三	二七	* 十二月初四日
一四三五	四六四	五五	調整
一四五三	四七四	一〇三	* 十二月初九日
一四五九	四七七	一一九	* 十二月十一日
一四六〇	四七七	一二一	* 十二月十一日
一四六一	四七七	一二三	* 十二月十一日
一四七二	四七九	一四五	* 十二月十二日
一四七三	四七九	一四七	* 十二月十二日
一四七四	四七九	一四九	* 十二月十二日
一四七五	四七九	一五一	* 十二月十二日
一四八五	四八三	一七三	* 十二月十三日
一四八九	四八三	一八一	* 十二月十四日
一四九五	四八六	一九三	* 十二月十五日
一四九六	四八六	一九五	* 十二月十五日

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
一四九七	四八六	一九七	* 十二月十五日
一五三四	五〇〇	二九七	調整
一五三五	五〇一	二九九	調整墨跡
一五三九	五〇二	二九三	調整
一五四〇	五〇二	二九五	調整
一五四四	五〇三	三三三	調整
一五四五	五〇三	三三七	調整
一五四六	五〇四	三三九	調整
一五四七	五〇四	三四一	調整
一五五三	五〇四	三六七	調整

光緒朝上諭檔 第一三冊 目錄

光緒十三年(丁亥 公元一八八七年)

正月	日期	頁數
初二日	(一)
初三日	(一)
初四日	(三)
初五日	(七)
初六日	(八)
初八日	(一〇)
初九日	(一二)
初十日	(一二)
十一日	(一二)
十二日	(一二)
十三日	(一三)
十五日	(一五)
十六日	(一七)
十七日	(一七)
十八日	(一八)
十九日	(二〇)
二十日	(二〇)

二月	日期	頁數
初一日	(三四)
初二日	(三五)
初三日	(五七)
初四日	(五九)
初五日	(六〇)
初六日	(六一)
初七日	(六一)
二十一日	(一一)
二十三日	(一一)
二十四日	(二二)
二十五日	(二四)
二十六日	(二五)
二十七日	(二七)
二十八日	(二七)
二十九日	(三二)
三十日	(三三)

初八日	(六四)
初九日	(六五)
初十日	(六七)
十一日	(六八)
十二日	(六九)
十三日	(七〇)
十四日	(七一)
十五日	(七四)
十六日	(七四)
十七日	(七五)
十八日	(七六)
十九日	(七七)
二十日	(七八)
二十一日	(七八)
二十二日	(七九)
二十三日	(八〇)
二十四日	(八一)
二十五日	(八五)
二十六日	(八九)
二十七日	(九二)
二十八日	(九三)
二十九日	(九四)
三十日	(九四)

		三 月
初一日	(九八)
初二日	(一〇一)
初三日	(一〇二)
初四日	(一〇四)
初五日	(一〇五)
初六日	(一〇九)
初七日	(一一〇)
初八日	(一一〇)
初九日	(一一二)
初十日	(一一二)
十一日	(一一三)
十三日	(一一四)
十四日	(一一四)
十五日	(一一五)
十六日	(一一六)
十八日	(一一九)
十九日	(一二〇)
二十日	(一二一)
二十一日	(一二二)
二十二日	(一二三)
二十三日	(一二四)
二十四日	(一二六)

四月

初一日	(一三三)
初二日	(一三三)
初三日	(一三七)
初四日	(一三八)
初五日	(一四〇)
初六日	(一四一)
初七日	(一四三)
初八日	(一四五)
初九日	(一四八)
初十日	(一四九)
十一日	(一五一)
十二日	(一五二)
十三日	(一五三)
十四日	(一五四)
十五日	(一五五)
十六日	(一五六)
二十七日	(一三〇)
二十八日	(一三〇)
二十九日	(一三一)
二十五日	(一二七)
二十六日	(一二九)

閏四月

初一日	(一六九)
初二日	(一六九)
初三日	(一七一)
初四日	(一七一)
初五日	(一七二)
初六日	(一七三)
初七日	(一七四)
十七日	(一五六)
十八日	(一五六)
十九日	(一五九)
二十日	(一五九)
二十一日	(一六一)
二十二日	(一六一)
二十三日	(一六二)
二十四日	(一六三)
二十五日	(一六四)
二十六日	(一六四)
二十七日	(一六五)
二十八日	(一六五)
二十九日	(一六六)
三十日	(一六六)

五月

初八日	(一七四)
初九日	(一七五)
初十日	(一七七)
十一日	(一七八)
十二日	(一七八)
十三日	(一七九)
十四日	(一八〇)
十五日	(一八二)
十六日	(一八二)
十七日	(一八三)
十八日	(一八四)
十九日	(一八四)
二十日	(一八五)
二十一日	(一八五)
二十二日	(一八六)
二十三日	(一八八)
二十四日	(一八八)
二十五日	(一八九)
二十六日	(一九〇)
二十七日	(一九一)
二十八日	(一九一)
二十九日	(一九二)
初一日	(一九四)

初二日	(一九四)
初三日	(一九六)
初四日	(一九七)
初五日	(一九八)
初六日	(一九八)
初七日	(一九八)
初九日	(二〇〇)
初十日	(二〇〇)
十一日	(二〇二)
十二日	(二〇二)
十三日	(二〇三)
十四日	(二〇四)
十五日	(二〇四)
十六日	(二〇六)
十七日	(二〇六)
十八日	(二〇七)
十九日	(二〇八)
二十日	(二一〇)
二十一日	(二一一)
二十二日	(二一二)
二十三日	(二一三)
二十四日	(二一四)
二十五日	(二一五)
二十六日	(二一五)
二十七日	(二一五)

六月

二十八日	(二二六)
二十九日	(二二六)
三十日	(二二八)
初一日	(二二〇)
初二日	(二二一)
初三日	(二二二)
初四日	(二二三)
初五日	(二二四)
初六日	(二二五)
初七日	(二二六)
初八日	(二二七)
初九日	(二二八)
初十日	(二二九)
十一日	(二三〇)
十二日	(二三一)
十三日	(二三二)
十四日	(二三三)
十五日	(二三四)
十六日	(二三五)
十七日	(二三六)
十八日	(二三七)
十九日	(二三八)
二十日	(二三九)

七月

二十一日	(二四〇)
二十二日	(二四一)
二十三日	(二四二)
二十四日	(二四三)
二十五日	(二四四)
二十六日	(二四五)
二十七日	(二四六)
二十八日	(二四七)
二十九日	(二四八)
初一日	(二四九)
初二日	(二五〇)
初三日	(二五一)
初四日	(二五二)
初五日	(二五三)
初六日	(二五四)
初七日	(二五五)
初八日	(二五六)
初九日	(二五七)
初十日	(二五八)
十一日	(二五九)
十二日	(二六〇)
十三日	(二六一)
十四日	(二六二)
十五日	(二六三)

八月

初一日	(二七五)
初二日	(二七六)
初三日	(二七七)
初四日	(二七七)
初五日	(二七八)
初六日	(二七九)
初七日	(二八〇)
初八日	(二八一)
二十九日	(二七四)
二十八日	(二七三)
二十七日	(二七二)
二十六日	(二七一)
二十五日	(二六八)
二十四日	(二六八)
二十三日	(二六七)
二十二日	(二六七)
二十一日	(二六四)
二十日	(二六四)
十九日	(二六一)
十八日	(二六一)
十七日	(二五九)
十六日	(二五九)

九月

初九日	(二八三)
初十日	(二八三)
十一日	(二八四)
十二日	(二八四)
十三日	(二八六)
十四日	(二八七)
十五日	(二八七)
十六日	(二八九)
十七日	(二九〇)
十八日	(二九一)
十九日	(二九二)
二十日	(二九三)
二十一日	(二九四)
二十二日	(二九五)
二十三日	(二九六)
二十四日	(二九七)
二十五日	(二九八)
二十六日	(二九九)
二十七日	(三〇〇)
二十八日	(三〇〇)
二十九日	(三〇一)
三十日	(三〇四)
初一日	(三〇七)

初二日	(三〇九)
初三日	(三一〇)
初四日	(三一二)
初五日	(三一三)
初六日	(三一四)
初七日	(三一五)
初八日	(三一六)
初九日	(三一八)
初十日	(三二〇)
十一日	(三二〇)
十二日	(三二一)
十三日	(三二九)
十四日	(三三一)
十五日	(三三二)
十六日	(三三三)
十七日	(三三三)
十八日	(三三五)
十九日	(三四四)
二十日	(三五一)
二十一日	(三六〇)
二十二日	(三六一)
二十三日	(三六二)
二十四日	(三六三)
二十五日	(三六三)
二十六日	(三六六)

十月

二十七日	(三六六)
二十八日	(三六八)
二十九日	(三七〇)
初一日	(三七二)
初二日	(三七三)
初三日	(三七四)
初四日	(三七五)
初五日	(三七七)
初六日	(三七八)
初七日	(三八〇)
初八日	(三八〇)
初九日	(三八三)
初十日	(三八三)
十一日	(三八四)
十二日	(三八四)
十三日	(三八五)
十四日	(三八五)
十五日	(三八七)
十六日	(三八八)
十七日	(三九〇)
十八日	(三九二)
十九日	(三九三)

十一月

二十日	(四〇二)
二十一日	(四〇三)
二十二日	(四〇四)
二十三日	(四〇五)
二十四日	(四〇五)
二十五日	(四〇六)
二十六日	(四〇六)
二十七日	(四〇六)
二十八日	(四〇八)
二十九日	(四〇九)
三十日	(四〇九)
初一日	(四一一)
初二日	(四一一)
初三日	(四一三)
初四日	(四一三)
初五日	(四一六)
初六日	(四一七)
初七日	(四一八)
初八日	(四一八)
初九日	(四二〇)
初十日	(四二一)
十一日	(四二二)

十二月

十二日	(四二三)
十三日	(四二四)
十四日	(四二五)
十五日	(四二八)
十六日	(四三一)
十七日	(四三三)
十八日	(四三三)
十九日	(四三五)
二十日	(四三五)
二十一日	(四三六)
二十二日	(四三八)
二十三日	(四三九)
二十四日	(四四〇)
二十五日	(四四三)
二十六日	(四五三)
二十七日	(四五四)
二十八日	(四五四)
二十九日	(四五五)
初一日	(四五七)
初二日	(四五八)
初三日	(四五八)
初四日	(四五九)

初五日	(四六四)
初六日	(四六五)
初七日	(四七〇)
初八日	(四七〇)
初九日	(四七四)
初十日	(四七四)
十一日	(四七五)
十二日	(四七八)
十三日	(四八〇)
十四日	(四八三)
十五日	(四八四)
十六日	(四八七)
十七日	(四八九)
十八日	(四九一)
十九日	(四九二)
二十日	(四九三)
二十一日	(四九四)
二十二日	(四九七)
二十三日	(四九八)
二十四日	(四九九)
二十五日	(五〇〇)
二十六日	(五〇三)
二十七日	(五一四)
二十八日	(五一八)
二十九日	(五一九)
三十日	(五二〇)

1 光緒十三年正月初二日內閣奉

上諭上年順直各州縣被災地方業經分別蠲緩糧租並撥銀米以資賑濟小民諒可不致失所惟念今春青黃不接之時民力未免拮据加恩著將通州三河武清寶坻薊州香河甯河霸州保定文安大城東安大興宛平順義懷柔密雲平谷灤州盧龍遼安昌黎樂亭清苑新城容城蠡縣雄縣安州高陽河間獻縣肅甯任邱吳橋天津青縣靜海滄州鹽山無極開州東明長垣豐潤玉田饒陽安平深澤等四十九州縣成災五六七八九十分村莊應納本年春賦地丁錢糧各項旗租著緩至本年秋後啟徵其歉收三四分村莊應納本年春賦地丁錢糧各項旗租著緩至本年春後啟徵固安永清涿州安肅博野望都南皮晉州永年元城大名深州定州等十三州縣歉收三四分村莊應納本年春賦照常徵收其原緩至本年春後啟徵之歉收四分村莊應納光緒十二年並節年地丁錢糧各項旗租同歉收三分村莊應納光緒十一年及以前地丁錢糧各項旗租均著緩至本年秋後起

徵凡有應徵屯米穀豆草束竈課學租通津二幫屯租旗產錢糧及海防經費河道錢糧儲備軍餉廣恩庫永濟庫兵部馬館鑾儀衛等項地租帶徵租暨出借倉穀籽種口糧牛具等項隨同正項糧租分別緩徵津軍廳葦漁課納糧地畝內有坐落天津武清二縣者仍照案歸入該二縣災歉村莊一併查辦以紓民力該督即刊刻謄黃編行曉諭務使實惠均霑毋任文胥舞弊用副朝廷履端布聞嘉惠幾疆至意該部即遵諭行欽此

2 光緒十三年正月初三日內閣奉

上諭朕於三月初七日恭奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后啟鑒十一日祇謁

西陵十二日節屆清明恭詣

慕陵行數土禮並詣

隆恩殿行大饗禮禮成後於十六日還宮所有應行典禮並一切事宜著各該衙門照例敬謹豫備欽此

3 光緒十三年正月初三日軍機大臣奉

旨朕恭奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后於三月初七日啟鑾

是日駐蹕黃新莊初八日駐蹕半壁店初九日駐

蹕秋瀾初十日駐蹕梁格莊十一日祇謁

西陵十二日節屆清明恭詣

慕陵行數土禮並詣

隆恩殿行大饗禮禮成後於十三日回鑾駐蹕秋瀾十

四日駐蹕半壁店十五日駐蹕黃新莊十六日還

宮欽此

4 交嚮導處本日軍機大臣奉

旨朕恭奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后於三月初七日啟鑾

是日駐蹕黃新莊初八日駐蹕半壁店初九日

駐蹕秋瀾初十日駐蹕梁格莊十一日祇謁

西陵十二日節屆清明恭詣

慕陵行數土禮並詣

隆恩殿行大饗禮禮成後於十三日回鑾駐蹕秋瀾十

四日駐蹕半壁店十五日駐蹕黃新莊十六日
還宮欽此相應傳知
貴處欽遵豫備可也此交

正月初三日

5 遵擬明發

諭旨一道恭呈

御覽所有此次奉

旨駐蹕回鑾各日期查照成案請

旨交嚮導處欽遵豫備謹繕稿一併呈

覽恭候

命下發交謹

奏

光緒十三年正月初三日奉

旨依議欽此

6 蒙

發下摺報臣等公同商閱潘霽奏懇將已故督臣丁

寶楨在原籍建立專祠摺恭酌成案擬請

旨著照所請禮部知道恭候
命下與其餘摺片一併繕
批呈進是否有當伏候
聖裁謹

奏

光緒十三年正月初三日奉

旨依議欽此

光緒十三年正月初四日內閣奉

上諭上年山東被災各州縣業經分別蠲緩錢漕並
撥給漕米藉資賑濟小民諒可不致失所惟念今
春青黃不接之時民力未免拮据加恩著將濟甯
州登豐里等地方南王莊等二十村莊歷城縣雀
化一等里侯家場等三十六村莊鄒平縣梁一等
里劉家莊等十一村莊齊河縣桑梓店等地方小
寨等二十二村莊同併衛辛興等地方費莊等六
屯莊禹城縣二都一等里楊阿城等七十六村莊
肥城縣近鎮社劉家營等三十八村莊樂濤社望
口山等二村莊又併衛電屯一屯莊東阿縣尹村

本莊等一百九十六村莊東平州東智米等保王
官屯等四十二村莊平陰縣陳洪鋪等里劉家小
莊等四十七村莊陽信縣長壽等鄉郭莊等十七
村莊霑化縣城南等里大高等五十一村莊城南
等里何家等二十三村莊蒲臺縣仁信等鄉萊園
劉莊等十七村莊曹縣東崗等里馬莊等八十一
村莊濮州南關東等里董胡同等一百五十三村
莊范縣南西等里顏村鋪等二百九村莊博平縣
鄭家營等三村莊茌平縣東伍等鄉王家集等三
十三村莊恩縣一鄉十三等圖趙莊等十四村莊
博興縣西姑等鄉北樂社樂趙莊等六十四村莊
高苑縣東一等約東門裏等一百九十六村莊樂
安縣端四等保桑科莊等六十一村莊德州衛坐
落恩縣境內左衛南中所代官屯等二屯莊東平
所西鄉王官屯等八屯莊應徵光緒十三年上忙
新賦漕倉河銀荒田馬場臨德等倉民佃鹽課蘆
課學租地租鹽鈔地攤徵隄工河工等項同濟
甯歷城禹城范縣博平等處併衛錢糧禹城東阿
霑化博興高苑樂安等處奇莊電地錢糧均著緩

至光緒十三年後啟徵其德州東昌臨清濟甯
等四衛及東平所各屯莊永阜永利王家岡等場
寬地均著隨同坐落各州縣民田一律辦理臨清
州會七等里姜家莊等七十二村莊濟甯州黑土
店等地方本店等十五村莊歷城縣安平一等里
秦家道口等九十一村莊雀化四等里魏家莊等
二十九村莊南會清二等里王家岡等十村莊雀
化一等里水屯莊等一百四十九村莊章邱縣西
四等里洛波河等五十七村莊西五等里李家莊
等四十七村莊西五等里司家莊等八村莊西四
等里小辛莊等三十七村莊胡家莊等二十三村
莊鄒平縣梁六等里孫家鎮等七十九村莊長山
縣勤謹等約東西陶唐口等二十九村莊咸篤等
約大孫莊等四村莊齊河縣城場等地方馬莊等
二十七村莊又併衛焦斌等地方興隆屯等九屯
莊高莊等一百三十村莊同併衛本屯諱策屯等
四十九屯莊湯莊等二百六十村莊同併衛鄒家
營等一百十七屯莊齊東縣周四等里延安鎮等
六十九村莊固四等里馮立莊等十六村莊固西

等里喬家莊等三十四村莊固一等里賈姑巷等
一百十九村莊濟陽縣官莊約秦莊等莊貴字約
李家等莊四百七十一村莊又併衛大屯等三屯
莊禹城縣一都一等里吳東安莊等七十七村莊
二都二等里常家店等四十二村莊二都二等里
博洛屯等十五村莊臨邑縣清四等里馮家井等
十六村莊長清縣趙保等里土山頭等二十一村
莊又併衛羅屯里肖明屯等五村莊趙保等里孟
家道口等七十五村莊同併衛律屯等里小王家
莊等十五村莊東阿縣白洋等村錢家莊等一百
二十九村莊惠民縣紀字等約豆腐寨等三百三
十一村莊紀字等約後趙家等一百二十三村莊
便字等約棗葉王家等一百五十六村莊紀字等
約雙廟等一百五十六村莊青城縣洪字等號馬
札子等七十七村莊坤字等號杜家等六十七村
莊陽信縣欽風等鄉惠林莊等四十三村莊海豐
縣于家等堆曹家廟等一百十四村莊路楊等堆
路楊莊等三十七村莊商河縣順一等鄉李美生
莊等六十一村莊濱州西路七保正石莊等一百

四十八村莊西路八保陳莊等五十六村莊西路
十二保蘇莊等六十八村莊東路三保鄭莊等一
百二十村莊利津縣東鄉小集地方崔家莊等四
十一村莊霑化縣皮店等里楚家等六十村莊陽
穀縣東西更名等里姜家莊等三百八十六村莊
辛五都張垆堆等十七村莊壽張縣王中等里西
影唐等二百八十六村莊單北等里大吳家等一
百二十九村莊單北等里馬家灣等三十八村莊
單北等里子家莊等十一村莊河澤縣甘露集等
二十村莊大郭等都魏樓等三十八村莊鄆城縣
北鄉管小莊蕭皮口等里十五村莊濮州武家集
等里蘇家莊等一百十六村莊南舊城等里梅家
莊等八十二村莊范縣第北等里舊城街等一百
三十三村莊朝城縣在二等里羅家樓等四村莊
聊城縣北六上等里高樓等二十六村莊大柳張
莊等二十五村莊白家窪等四十二村莊恩縣鄉
十三等圖北五旗等八村莊博興縣西姑等鄉伏
李社伏鄭莊等三十四村莊西姑等鄉西馬社窰
戶張莊等三十六村莊高苑縣東三等約永阜莊

等四十一村莊樂安縣端二等保草橋等二十三
村莊端五等保高家等十四村莊端五等保義和
等五村莊魚臺縣第方古城集龔家莊等一百五
十村莊德州衛坐落恩縣境內左衛南中所北五
旗等三屯莊東昌衛坐落濮州境內楊宣屯等二
十四屯莊坐落范縣境內陳九經屯等六屯莊坐
落聊城縣境內河西北屯等十八屯莊永阜場坐
落霑化縣境內利圖鎮等六村莊坐落利津縣境
內來劉莊一莊宣河子等四灘場計岳有容等灘
池十六副坐落霑化縣境內陳家莊等十五村莊
單家莊等十三村莊窰戶張莊等八村莊大樓莊
等十二村莊應徵光緒十三年上忙新賦漕倉河
銀荒田馬場臨德等倉民佃鹽課學租鹽鈔窰地
攤徵限工河工等項同濟甯歷城禹城鄆城范縣
聊城魚臺等處併衛錢糧禹城東阿惠民海豐霑
化博興高苑樂安魚臺等處寄莊窰地錢糧均著
緩至光緒十三年秋後起徵其德州東昌臨濟濟
甯等四衛及東平所各屯莊永阜永利王家岡等
場窰地均著隨同坐落各州縣一律辦理以紓民

力該撫即刊刻騰黃徧行曉諭務使實惠均霑母
任吏胥舞弊用副朝廷始和溥澤嘉惠齊氓至意
該部即遵諭行欽此

8 光緒十三年正月初四日內閣奉

上諭劉秉璋奏神靈顯應懇加封號並頒扁額一摺
四川西充縣陳太虛祠素著靈蹟上年亢晴日久
經該官紳等虔誠祈禱渾沛甘霖農田轉歉為豐
實深寅感著南書房翰林恭書扁額一方交劉秉
璋祇領飭屬敬謹懸挂以答神庥至所請敕加封
號之處著禮部議奏欽此

9 光緒十三年正月初四日內閣奉

上諭劉秉璋奏神靈顯應請分別頒給扁額並加封
號各等語四川馬邊廳

關帝廟

城隍廟南川縣金城洞

龍神萬縣城內

龍王石龍洞

龍神巫山縣東關外

龍神祠大竹縣青雲洞

龍神祠各著靈應每值水旱灾厲經官紳虔詣祈
禱無不轉危為安實深寅感著南書房翰林恭書
扁額六方交劉秉璋祇領飭屬分詣馬邊廳

關帝廟

城隍廟萬縣城內

龍王廟石龍洞

龍神廟巫山縣東關外

龍神祠大竹縣青雲洞

龍神祠敬謹懸挂以答

神庥至所請敕加馬邊廳

城隍南川縣金城洞

龍神萬縣城內

龍王石龍洞

龍神封號之處著禮部議奏欽此

10 蒙

發下摺報臣等公同商閱劉秉璋奏西充縣陳太虛

祠神靈顯著請

頒扁額並加封號摺擬繕明發

諭旨令南書房翰林恭書扁額一方交劉秉璋祇領

懸挂其請加封號之處令禮部議奏又奏馬邊

廳

關帝廟

城隍廟南川縣全峨洞

龍神萬縣城內

龍王石龍洞

龍神巫山縣東關外

龍神大竹縣青雲洞

龍神各著靈應請分別

頒給扁額並加封號片三件擬繕明發

諭旨令南書房翰林恭書扁額六方交劉秉璋祇領

分別懸挂其請加封號之處令禮部議奏其餘

摺片單擬

批呈進是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年正月初四日奉

旨依議欽此

光緒十三年正月初五日内閣奉

上諭劉秉璋奏神靈顯應請頒扁額並加封號各等

語四川新津縣

關帝

城隍瀘州

觀音大士

龍王閬中縣

城隍各著靈應每遇水旱災疫經官紳虔詣祈禱

屢昭顯佑實深寅感著南書房翰林恭書扁額各

一方交劉秉璋祇領飭屬分詣各廟敬謹懸挂

以答

神庥其所請敕加新津縣

城隍封號之處著禮部議奏欽此

12 蒙

發下摺報_臣等會同商閱劉秉璋奏新津縣

關帝

城隍瀘州

觀音大士

龍王閩中縣

城隍各著靈應請分別

頒給扁額並加封號片三件擬繕明發

諭旨一道令南書房翰林恭書扁額五方交劉東璋

祇領懸挂其請加封號之處令禮部議奏又奏

筠連縣川主龍神兩廟夙著靈異片聲敘未能

明析擬請

批旨令該督查明覆奏再行降旨其餘摺片單擬

批呈進是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年正月初五日奉

旨依議欽此

13 光緒十三年正月初六日內閣奉

上諭前據御史方汝紹奏參浙江道員馬駟良總辦

細鹽局務貪縱營私各款當經諭令銜榮光提案

澈查恭辦茲據查明奏稱所參該道與徽商蘇寶

善何萬裕等互相勾結重劬越銷抬價抗課等弊

及歌酒賭博因案得贓各節均查無其事惟以監

司大員自詣商人私寓實屬不知遠嫌請交部察

議等語浙江候補道馬駟良著交部察議欽此

14 光緒十三年正月初六日奉

旨這所奏疏防刦獄之管獄官浙江東陽縣典史王

懷清有獄官東陽縣知縣江澄著一併摘去頂戴

先行交部議處仍勒限將在逃各犯嚴緝務獲究

辦餘著照所議辦理該部知道欽此

15 王大臣年歲生日單

惇親王 年五十七歲六月十五日生日

恭親王 年五十六歲十一月二十一日生日

醇親王 年四十八歲九月二十一日生日

禮親王世鐸 年四十五歲七月初一日生日

睿親王魁斌 年二十四歲九月十二日生日

鄭親王凱泰 年十七歲七月初八日生日
 豫親王本格 年四十二歲三月十七日生日
 肅親王隆懃 年四十八歲九月初三日生日
 莊親王載勳 年三十五歲十二月二十六日生日
 怡親王載敦 年六十一歲三月二十四日生日
 克勤郡王晉祺 年四十二歲二月十五日生日
 順承郡王訥勒赫 年七歲五月初八日生日
 慶郡王奕劻 年五十歲二月十九日生日
 定郡王溥煦 年五十七歲四月初八日生日
 貝勒載澄 年二十七歲二月初一日生日
 載澍 年八歲十月十四日生日
 貝子奕謨 年三十八歲四月十一日生日
 奉恩輔國公載澤 年二十歲二月二十四日生日
 大學士李鴻章 年六十七歲正月初五日生日
 額勒和布 年六十二歲正月十二日生日
 恩承 年六十八歲二月二十九日生日
 閻敬銘 年七十一歲九月十六日生日
 協辦大學士福錕 年五十四歲十月初五日生日
 張之萬 年七十七歲七月初八日生日

尚書錫珍 年四十二歲八月初十日生日
 徐桐 年六十九歲四月初九日生日
 翁同龢 年五十八歲四月十七日生日
 廷煦 年六十八歲八月十四日生日
 畢道遠 年七十八歲七月二十日生日
 烏拉喜崇阿 年五十九歲正月十七日生日
 彭玉麟 年歲生日未據查覆
 麟書 年五十九歲正月十日生日
 崑岡 年五十二歲四月初九日生日
 潘祖蔭 年五十八歲十月習生日
 紹祺 年六十四歲十二月初八日生日
 署尚書許庚身 年六十三歲六月十四日生日
 都察院左都御史奎洲 年五十九歲三月初五日生日
 祁世長 年六十三歲正月十九日生日
 都統尚宗瑞 年六十八歲五月初十日生日
 景壽 年五十八歲十二月十五日生日
 奕綱 年七十二歲十二月初三日生日
 載漪 年三十二歲七月二十六日生日
 伯彥訥謨祜 年五十二歲正月初十日生日

長順 年五十七歲九月十八日生日

善慶 年五十五歲四月初三日生日

長善 年五十九歲四月初八日生日

總督曾國荃 年六十四歲八月二十日生日

楊昌濬 年六十一歲九月初九日生日

譚鍾麟 年六十六歲三月十九日生日

劉東璋 年歲生日未據查覆

張之洞 年五十九歲八月初三日生日

岑毓英 年五十九歲五月二十五日生日

署總督裕祿 年四十八歲十月七日生日

將軍慶裕 年五十四歲四月初二日生日

希元 年四十五歲七月初四日生日

吉和 年歲生日未據查覆

豐紳 年歲生日未據查覆

古尼音布 年歲生日未據查覆

祥亨 年歲生日未據查覆

繼格 年六十一歲十月二十四日生日

維慶 年四十八歲三月十日生日

穆圖善 年六十四歲六月二十日生日

岐元 年五十九歲十一月二十日生日

克蒙額 年七十歲十月初八日生日

杜嘎爾 年歲生日未據查覆

署將軍恭鐘 年五十二歲未據查明生日

錫綸 年歲生日未據查覆

恭壽 年歲生日未據查覆

熱河都統謙禧 年五十八歲七月二十八日生日

察哈爾都統托倫布 年六十五歲九月十九日生日

致仕大學士寶登 年六十一歲十二月二十八日生日

16 光緒十三年正月初八日內閣奉

上諭德馨奏特奏交代虧短各負一摺前署江西信豐縣事暫革降調府經歷縣丞朱國光已革大庾縣知縣胡承弼已故暫革都昌縣知縣何慶朝前在各任內虧短正雜各款為數甚鉅疊經嚴催仍不完繳實屬玩延朱國光胡承弼著一併研問並提何慶朝家屬及各該責任內經手丁胥人等訊明是侵是挪分別監追按律懲辦一面飭查各該貧富所資財嚴密查抄並著該撫咨明兩廣總督

安徽廣東各巡撫查封家產備抵以重庫款該部知道欽此

17 滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

道銜禮部郎中玉恆

侍讀銜刑部郎中王桂春

四品銜吏部郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾慶額

內閣郎中侍讀志樸

漢頭班章京

太僕寺卿馮光勳

刑部員外郎吳引孫

兵部郎中沈恩嘉

戶部主事顧璜

吏部主事王倣

內閣中書陳邦瑞

四品銜兵部主事胡寶鐸

刑部員外主事吳魯

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

京察一等 記名以道府用四品銜兵部郎中堃岫

理藩院員外郎奎華

戶部郎中主事孚琦

侍讀銜戶部主事延祉

四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部郎中瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

四品銜光祿寺少卿錢應溥

四品銜工部員外郎祝維城

刑部員外郎孟繼堦

吏部員外郎兼襲騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜刑部候補郎中謝元麒

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳節棠

刑部候補主事馮錫仁

18 查額外章京吏部候補主事徐士佳現在丁憂

應添傳

記名在前之戶部額外主事陳熾在額外行走謹

奏

光緒十三年正月初九日奉

旨知道了欽此

19 蒙

發下摺報臣等公同商閱色楞額張聯桂籲請

陞見各一摺均擬俟

召見時請

旨其餘摺片擬

批呈進是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年正月初十日奉

旨依議欽此

20 光緒十三年正月十一日內閣奉

上諭浙江定海鎮總兵員缺著楊岐珍調補江南狼

山鎮總兵員缺著曹德慶補授欽此

21 查浙江定海鎮總兵係水兼陸缺謹

奏

22 光緒十三年正月十一日內閣奉

上諭剛毅奏神靈顯應請頒扁額並加封號一摺山

西洪洞縣

龍神廟

城隍廟屯留縣

三峻廟永濟縣

浚龍神祠夙著靈應上年夏秋間各該處均因雨

澤愆期或值秋霖傷稼經該地方官紳虔誠祈禱

遂得晴雨應時轉歉為豐實深寅感著南書房翰

林恭書扁額各一方交剛毅祇領飭屬分詣洪洞縣

龍神廟

城隍廟屯留縣

三峻廟永濟縣

滋龍神祠敬謹懸挂以答

神庥所請款加封號並將永濟縣

滋龍神祠載入祀典之處著禮部議奏欽此

23 光緒十三年正月十一日內閣奉

上諭吏部奏知府例應迴避開單請旨簡負對調一

摺河南開封府知府著孫雲錦調補李廷蕭著調

補江蘇江甯府知府欽此

24 光緒十三年正月十一日奉

旨該衙門議奏欽此

敬信等摺

25 蒙

發下摺報臣等公同商閱張之洞奏遵保粵防出力

負弁摺單一件又奏遵保團練捐資文武官紳

摺單一件均擬請

批旨該部議奏單併發又奏前廣州將軍長善練兵

籌防有裨大局片擬俟

召見時請

旨其餘摺片擬

批呈進是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年正月十二日奉

旨依議欽此

26 軍機大臣 字寄

戶部 大學士直隸總督一等肅毅伯李

盛京將軍兼管奉天府府尹慶 陝甘總督譚

傳諭陝西固原提督雷正綰 光緒十三年正

月十三日奉

上諭雷正綰所部馬步九營前經調駐營口復諭令

移紮鳳凰邊門該提督統軍久戍頗著勤勞朝廷

時深慮念現在邊防安靖自應遣撤回甘俾資休
息著雷正綰統率所部仍回固原本任該軍經過
地方著李鴻章慶裕飭屬妥為照料以利進行至
到甘後應如何裁汰歸併分布駐紮著譚鍾麟會
商雷正綰體察情形酌量辦理應領月餉由譚鍾
麟查明給發其江浙江月協該軍每年共銀三
十四萬八千兩應由戶部撥歸海軍衙門以濟東
三省練軍餉需將此諭知戶部並由四百里諭知
李鴻章慶裕譚鍾麟並傳諭雷正綰知之欽此遵
旨寄信前來

鈔交海軍衙門

27 光緒十三年正月十三日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨醇親王奕譞之
子載洵著加恩賞給不入八分輔國公欽此

28 遵查會典親王之子晉封等級分開兩單恭呈
慈覽伏候

硃圈發下遵結

懿旨呈進謹

奏

29 醇親王第五子載灃已奉

懿旨賞給不入八分輔國公

晉封等級

不入八分鎮國公

奉恩輔國公

奉恩鎮國公

固山貝子

多羅貝勒

30 醇親王第六子載洵照例應封二等鎮國將軍

晉封等級

不入八分輔國公

不入八分鎮國公

奉恩輔國公

奉恩鎮國公

固山貝子

多羅貝勒

硃

○

31 光緒十三年正月十三日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨戶部奏請於濱臨江海各省應解京餉內酌易制錢解存天津備用開單呈覽一摺上年六月間諭令醇親王奕譞會同軍機大臣戶部工部將錢法妥為籌議以期漸復舊制旋據奏請以三年為期徐圖規復先令直隸江蘇各督撫添購機器製造制錢並飭例應鼓鑄制錢各省一體趕緊開鑄鑄造當經照所請行此係特旨交辦之事宜如何切實舉行俾臻成效戶部為錢法總匯自應督催各省認真籌辦乃時閱半年忽稱機器製造工本過鉅京局開鑄恐滋事井疑慮而以飭令湖北等省搭解制錢運津備用為請該部並未向醇親王奕譞等籌議輒信外省督撫卸責之詞互相推諉為此敷衍搪塞之計規復制錢仍准搭用當十大錢前奏聲欽甚明何至一經開鑄聞蕘然措詞尤屬失當近來籌畫度支如開採銅鐵等礦本為天地自然之利各該督撫往往以事多窒礙一奏塞責中外泄沓成風於因時制宜變通盡利之至計並不盡心籌畫實力奉行更思藉端嘗試預為異日該部

地步此等積習深堪痛恨總之舊制必宜規復錢法亟應整頓前經疊次訓諭乃該堂官不能仰體朝廷裕國便民之意飾詞延宕實屬大員委任戶部堂官均著交部嚴加議處原摺單擲還仍著將開鑄鼓鑄各事宜迅速另行籌議具奏限於一年內一體辦理就緒毋再遲延干咎悚之欽此

32 光緒十三年正月十五日內閣奉
上諭上年自冬至後朕恭遇

壇

廟大祀敬謹親詣行禮而

奉先殿未經特祭恭查咸豐二年

皇考文宗顯皇帝同治十二年

穆宗毅皇帝均親詣

奉先殿致祭行禮朕親政後自當敬法

前謨用申誠悃謹於三月初一日恭詣

奉先殿前殿讀祝致祭所有應行典禮著各該衙門照

例敬謹豫備欽此

33 光緒十三年正月十五日內閣奉

上諭岑毓英奏贛匪竄踞村寨派兵圍剿次第收復
一摺上年十月雲南東川匪徒張學義等勾結贛
匪占踞麥地鍋圈巖等寨勢甚猖獗經岑毓英飭
令署東川府知府全楸績等設法攻勦殲擒逆匪
多名將村寨一律收復辦理尚為迅速全楸績著
賞給依博德恩 巴圖魯名號以示獎勵其尤為出
力負弁及陣亡勇丁著該督彙請獎卹仍查明匪
首張學義是否殲斃毋任漏網並將善後事宜妥
為辦理以靖地方該部知道欽此

34 擬

賞補用知府全楸績清字勇號

硃 ○

進詳 勵

35 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片共九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

正月十五日

36 懷塔布摺道擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前次

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

正月十五日

37 蒙

發下慶裕清漢摺各一件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

正月十六日

38 軍機大臣 字寄

甘肅新疆巡撫劉 護理烏魯木齊都統富

光緒十三年正月十七日奉

上諭富勒銘額奏烏魯木齊滿營官兵議遷古城請
援案撥還隨缺地畝一摺據稱烏魯木齊古城巴
里坤三營旗兵前經撥給迪化州屬熟荒地兩萬
一千餘畝藉資生計現遵部議將該三營官兵一
千餘名併遷古城查有古城地方頭二三屯地約
計一萬一千餘畝向為綠營屯耕之所目前綠營
屯兵無多堪以撥歸滿營經理並將古城迤東吉
布庫地方官屯撥為綠營屯地等語烏魯木齊等

處滿營遷併古城官兵隨缺地畝自應豫為籌撥

以資養贍所請以頭二三屯地撥給滿營以吉布

庫官屯撥給綠營之處著劉錦棠悉心酌覈奏明

請旨辦理原摺著鈔給劉錦棠閱看另片奏旗倉

現存糧石可否撥歸旗營等語著准其隨營撥運

古城濟用以示體恤將此由四百里各諭令知之

欽此遵

旨寄信前來

摘鈔交戶部

39 蒙

發下摺報臣等公同商閱富勒銘額奏駟駟校穆特

本等收旗入檔片謹擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理另摺片二件暨御史文海摺片二

件擬於

召見時請

旨是否當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年正月十七日奉

旨依議欽此

40 軍機大臣 字寄

福州將軍 閩浙兩廣福建浙江廣東甘肅新

疆各督撫 光緒十三年正月十八日奉

上諭戶部奏各省關協解西征欠餉請飭嚴催迅解

一摺據稱協解西征欠餉前經部撥浙江省銀一

百八十五萬兩福建省銀三十八萬兩廣東省銀

五十六萬兩閩海關銀六萬兩勻分三年解赴甘

肅轉解關外迄今已屆一年僅據閩海關解過銀

二萬兩其餘各省均絲毫未解殊屬任意延宕貽

誤要需現在關外擬改營制需餉情形甚為迫切

該將軍督撫等務當力顧大局將此項未解銀兩

迅速依限籌解倘仍前遲誤即著該撫指名奏參

將此由五百里諭令知之欽此遵

旨寄信前來

鈔交戶部

41 軍機大臣 字寄

威京將軍兼管奉天府府尹慶 兩江總督一等

威毅伯曾 陝甘總督譚 江蘇巡撫崧 浙

江巡撫衛 傳諭陝西固原提督雷正綰

光緒十三年正月十八日奉

上諭戶部奏籌墊雷正綰軍餉並令將勇丁妥籌裁

併一摺據稱江蘇浙江二省協撥雷正綰本年分

軍餉尚未報解若令該軍俟餉銀解到起程實屬

緩不濟急請令威京將軍墊發等語著慶裕無論

何款速即墊發該軍四箇月餉銀十一萬六十兩

俾利進行一面派員赴部領還歸款至戶部所墊

之款即著曾國荃崧衛榮光將本年應解雷正

綰正二三四等月餉銀改解部庫其閏四月分餉

銀一併解部歸還從前墊發之款自五月分起再

行批解海軍衙門以清界限至該軍勇丁前已諭

令裁汰歸併如有籍隸奉天山東山西河南湖南

湖北等省即著就近分別遣散其籍隸陝甘勇丁

俟回甘後會商譚鍾麟道撤歸併以節餉糈將此

由五百里諭知慶裕曾國荃譚鍾麟崧衛榮光

並傳諭雷正綰知之欽此遵

旨寄信前來

鈔交海軍衙門部

42 軍機大臣 字寄

甘肅新疆巡撫劉 伊犁將軍色 署伊犁將

軍錫 光緒十三年正月十八日奉

上諭劉錦棠奏遵查伊犁新設副都統二員均應與

將軍同城駐紮一摺據稱伊犁改設副都統二員

應依照參贊舊章與將軍同駐惠遠大城以期集

思廣益即著照所請行其建造衙署兵房及一切

遣徙經費如何籌款著該將軍切實估計請旨辦

理至各領隊如尚有應裁員缺及需副都統分防

之處並著察酌情形與劉錦棠會商具奏原摺著

抄給色楞額錫綸閱看將此由四百里各諭令知

之欽此遵

旨寄信前來

鈔交兵部

43 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單共二十八件分別繕擬批條同圖

一件一併呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨清漢摺共六件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年正月十八日奉

旨依議欽此

44 額爾慶額清漢摺一件沙克都林扎布等漢字

摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

後同前次

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

正月十八日

45 光緒十三年正月十九日內閣奉

上諭岑毓英奏武職大員立功陣亡懇准建立專祠一摺已故記名提督前廣東高州鎮總兵楊玉科以義勇投效雲南軍營隨同岑毓英克復多城戰功卓著嗣於廣西關外力戰陣亡以死勤事著加恩准於雲南大理府城暨廣西鎮南關建立專祠由地方官春秋致祭以彰忠蓋該部知道欽此

46 岑毓英片二件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前次

硃批一併

發下欽遵辦理謹

奏

正月十九日

47 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單共十九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年正月十九日奉

旨依議欽此

48 光緒十三年正月二十日內閣奉

上諭懷塔布奏恭辦要差暨應修工程請撥銀兩各

一摺本年三月祇謁

西陵沿途駐蹕地方橋梁道路並永福寺及行宮應修

各工自應早為辦理據奏廣恩庫無款可籌請撥

案於直隸藩庫籌撥修理橋道等銀一萬二千兩
添撥各項工程銀六千兩以備支用即著李鴻章
飭令藩司迅速如數撥解俾應要需餘依議該部
知道單併發欽此

49 光緒十三年正月二十日內閣奉

上諭衛榮光奏鹽場竈蕩被災請將應徵電課分別
蠲緩一摺兩浙鹽場竈蕩上年夏間亢旱入秋迭
遭風雨致成災歉並有被潮竈地仍未墾復若將
電課照常徵收電力實有未逮加恩著照所請所
有海沙杜瀆二場成災十分田地並海沙場全荒
竈蕩應征光緒十二年電課著全行蠲免免其分
成帶徵其青村場畝收田地查照坐落縣境著普
減一分一厘錢清西興海沙長亭杜瀆橫浦浦東
等場畝收竈蕩田地應徵光緒十二年電課均著
緩至光緒十三年秋後徵完並各該場未完各年
舊欠秋收減色之蘆滙場原緩帶徵電課均著一
律遞緩徵收其被災項下如有已完在官錢糧准
其流抵次年新賦以紓電力餘著照所議辦理該

撫即刊刻勝黃徧行晚諭務使實惠均霑毋任吏
胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

50 光緒十三年正月二十日內閣奉

上諭衛榮光奏查明杭嘉松各場荒蕪未墾各竈地
蕩塗請蠲免電課錢糧一摺杭州嘉興松江所屬
荒蕪場竈未能一律墾復若將電課錢糧照常徵
收電力實有未逮加恩著照所請所有仁和海沙
紀郎蘆滙橫浦浦東等場荒蕪未墾各竈地
蕩塗應徵光緒十二年分電課錢糧著全行蠲免
以紓電力該撫即刊刻勝黃徧行晚諭務使實惠
均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知
道欽此

51 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單共二十一件分別繕擬批條呈進

恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年正月二十日奉

旨依議欽此

52 蒙

發下德克吉訥清漢摺一件謹擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年正月二十一日奉

旨依議欽此

53 新襲三等承恩公三等侍衛志鈞

硃。賞給頭等侍衛在大門上行走

旨 由滿屋誌

54 新襲三等承恩公三等侍衛志鈞

賞給委散秩大臣

55 新襲三等承恩公三等侍衛志鈞

旨著仍在侍衛上當差

56 光緒十三年正月二十三日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨吏部奏遵旨嚴

議戶部堂官處分一摺閻敬銘福錕翁同龢嵩申孫

詒經景善孫家鼐應得革職處分均著加恩改為革

職留任欽此

57 光緒十三年正月二十三日內閣奉

上諭景善著調補吏部右侍郎熙敬著調補戶部右

侍郎兼管錢法堂事務欽此

58 光緒十三年正月二十三日內閣奉

上諭曾紀澤著調補戶部右侍郎兼管錢法堂事務
廖壽恆著轉補兵部左侍郎兵部右侍郎著孫家
鼐調補欽此

59 光緒十三年正月二十三日內閣奉

上諭劉錦棠奏查明被災地畝請將糧石分別蠲緩
等語新疆吐魯番屬上年被災被風收成歉薄若
將應徵糧石照常徵收民力實有未逮加恩著照
所請所有吐魯番屬托克遜伊拉湖鴉兒湖黑山
頭雅爾巴什西甯工涼洲工沙渠子二工洋沙爾
東坎爾底湖勝金木頭溝二堡三堡洋海蘇巴什
漢墩十九莊應徵糧石著蠲免八百八十八石零
緩徵糧五百九十二石零分作三年帶徵以紓民
力該撫即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋
任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

60 光緒十三年正月二十三日內閣奉

上諭鑾儀衛奏恭備要差請飭催欠款一摺直隸應

解鑾儀衛地租銀兩積欠甚鉅本年三月朕恭奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后祇謁

西陵該衙門恭備一切差使需款孔亟著李鴻章飭令

藩司於積欠地租項下迅速籌提銀二萬兩務於

二月二十日以前如數解到以濟急需其本年應

徵地租銀兩仍著照舊陸續批解欽此

61 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單共四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年正月二十三日奉

旨依議欽此

軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李

盛京將軍兼管奉天府府尹慶

盛京戶部侍郎啟 奉天府府尹裕 光緒十三

年正月二十四日奉

上諭李鴻章奏天津甯河海船代運奉天米豆改由
官催輪船承運一摺據稱奉天牛莊及錦甯廣義
四州縣應交通倉米豆向係直隸天津甯河兩縣
飭備海船前赴該省代運近年海船太少津貼不
敷賠累難支擬改由官催輪船承運自本年為始
先行試辦等語直隸代運奉天米豆改由輪船官
運係為除累恤民起見並可迅速交倉自應妥為
試辦著慶裕啟秀裕長查照李鴻章所擬辦法分
飭各該地方官及承辦各員一體遵辦務於輪船
駛抵口岸時從速剋兌毋稍耽延儘不將米豆先
期運齊到口致令輪船守候賠累辛工等項均責
令奉省承辦各員照數賠繳至前議抽收營口槽
牛各船津貼仍責成認真籌辦其應需剋船套斛
等費均由奉省委員州縣自行籌給如有刁難需

索情事即著李鴻章查明奏辦李鴻章原摺著鈔
給慶裕等閱看將此由四百里各諭令知之欽此遵
旨寄信前來

63 光緒十三年正月二十四日內閣奉

上諭上年順天直隸各屬被水災區節經降旨蠲緩
糧租賞撥銀米並經李鴻章等廣籌款項分別賑
撫俾資接濟惟念現距春秋為時尚遠窪區積水
未消小民生計維艱朝廷彌深廬繫允宜再沛恩
膏以濟春賑著撥給本年江蘇海運漕米十萬石
即在天津就近截留分撥順天二萬石直隸八萬
石由李鴻章等詳查應賑戶口及時散放並以工
代賑覈實經理其隨漕輕濟等項及剋價運費經
剋耗食米石並著解交賑局應用該督等務當督
飭所屬認真撫恤毋任官吏稍有弊混用副軫念
民艱有加無已至意該部知道欽此

64 光緒十三年正月二十四日內閣奉

上諭李鴻章奏神靈顯應請頒匾額等語直隸天津

河神廟風神廟大王廟每遇水旱偏災經官紳祈禱執應上年夏秋大雨各河盛漲沿隄節出險工幸賴神靈佑護水勢旋漲旋落得以轉危為安實深寅感著南書房翰林恭書扁額各一方交李鴻章祇領飭屬分詣懸挂以答神庥欽此

65 光緒十三年正月二十四日內閣奉

上諭李鴻章奏故員虧欠交代銀兩延不解繳請旨革職勒追查封等語直隸已故知州錫桂虧欠安州等處交代銀兩甚鉅迭經嚴追迄未解繳實屬玩延錫桂著即行革職仍將虧項在該故員之子春溥春煦名下嚴訊勒追並著該督查明歷過任所寓所有無資財寄頓嚴密查封其本旗家產即著正藍旗滿洲都統一併查封備抵以重庫款該部知道欽此

66 光緒十三年正月二十四日奉

旨除例貢准予賞收外其餘貢物著留抵下次正貢欽此

禮部摺

67 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示清漢摺片單共二十件分別繕擬批條呈進恭候欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年正月二十四日奉

旨依議欽此

68 光緒十三年正月二十五日內閣奉

上諭崇毓等奏請飭撥銀兩一摺據稱現在恭辦要差廣恩庫無款可籌請由直隸藩庫撥銀一萬兩於正月內解交等語本年三月朕恭奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后祇謁

西陵該處承辦各差需款甚殷著直隸總督飭司照案撥給以應要需餘依議欽此

69 光緒十三年正月二十五日內閣奉

上諭兵部奏請飭催積欠租銀一摺直隸各州縣應解兵部馬館地租生息銀兩積欠甚多本年三月

朕恭奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后祇謁

西陵該部恭備要差應付車馬繁多需款孔亟著直隸總督飭令藩司無論何款即行設法於歷年欠銀四萬餘兩內先撥銀三萬兩限於二月初十日以前撥解到部毋稍遲延嗣後務須年清年款不得再有拖欠欽此

70 光緒十三年正月二十五日內閣奉

上諭裕祿著補授湖廣總督欽此

71 蒙

發下摺件臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單共十八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年正月二十五日奉

旨依議欽此

72 張之洞片一件鄧安邦劉永福摺各一件遵擬

批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

正月二十五日

73 光緒十三年正月二十六日內閣奉

上諭前因御史王慶榮等奏參戶部銀庫書史史恩
濤侵吞巨帑等情當交刑部嚴訊並諭令孫詒經
明白回奏嗣經刑部傳訊該書史等恃無贓証堅
不吐實復飭山東巡撫張曜訊取該委員等確供
交部覈辦茲據刑部奏稱該書史等索詐一事訊
無實據按照被參各節酌量定擬等語已革書史
史恩濤此案雖無需索使費確據惟以一書史屢
被言官恭奏平日車馬衣服奢侈踰度其為過節
招搖聲名狼籍已可概見必應嚴行懲辦以儆將
來史恩濤著照部議杖一百徒三年餘依議戶部
左侍郎孫詒經將史恩濤斥革交坊意在嚴懲竄
吏惟未經查出實據輒請令繳銀辦理殊屬失當
孫詒經著交部議處欽此

74 蒙

發下摺報巨等公同商閱應請
批示漢字摺單共六件分別繕擬批條呈進恭候
欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年正月二十六日奉

旨依議欽此

75 光緒十三年正月二十六日奉

旨依議欽此

刑部摺

76 軍機大臣 字寄

戶部 大學士直隸總督一等肅毅伯李 兩

江總督一等威毅伯曾 閩浙總督楊 雲貴

總督兼署雲南巡撫岑 光緒十三年正月二

十七日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨醇親王奕譞等
奏會議整頓錢法分條臚陳一摺規復制錢必應廣
籌鼓鑄福建機器局辦理既有成效應即仿照試鑄
以期逐漸推行著李鴻章先行購置機器一分就天
津機器局趕緊鼓鑄運京應用福建所鑄新錢較尋
常局鑄為精惟八分五釐分量稍輕嗣後每錢一文
均以重一錢為率京局及各省一律照辦不得稍有
參差至京局鑄錢尤須銅質光潔砂滓淘淨應如何
加配銅劬伴錢質堅好可資經久著戶部詳細考察
妥籌辦理即就現有爐座迅速鼓鑄勿許稍涉延宕
雲南籌辦銅礦本日已准戶部奏撥的款五十萬兩
該省辦運銅劬需款甚鉅著再由部庫陸續籌撥的
款以資應用餘均照所議行原摺著鈔給閱看將此
諭知戶部並由五百里各諭令知之欽此遵
旨寄信前來

77 光緒十三年正月二十七日內閣奉
上諭張之洞奏薦舉州縣人才請旨褒嘉一摺廣東
現署新會縣知縣准補高要縣知縣包永昌現署

香山縣知縣分發知縣張文翰現署欽州知州試
用知州李受彤現署澄邁縣知縣試用知縣楊蔭
廷署連平州知州分發知縣徐多鈐署開平縣知
縣補用知縣溫樹茶據張之洞臚列該員等才守
治績均有可觀實為廣東州縣中出色人員深堪
嘉許著張之洞飭令該員等益加策勵勉為循良
毋得始勤終怠欽此

78 光緒十三年正月二十七日內閣奉
上諭張之洞奏劾庸劣不職知縣請旨革職降
等語廣東卸署長甯縣候補知縣柳應春
徒物議沸騰著即行革職卸署新興縣候補知縣
俞功懋籍案派累不恤民艱卸署龍門縣候補知
縣晏桑拖累平民斷獄不洽均著以府經歷縣丞
降補以肅官方該部知道欽此

79 光緒十三年正月二十七日奉
旨這所參疎防監犯越獄之管獄官江蘇蘇州府知
事張開琮著即革職等因交崧駿提同刑禁人等

嚴訊有無鬆刑賄縱情弊按例懲辦有獄官蘇州府知府魁元著摘去頂戴仍勒限將在逃之黃匪教等六犯嚴緝務獲究辦餘著照所議辦理該部知道欽此

80 光緒十三年正月二十七日內閣奉

上諭都察院奏各路飢民來京就食懇恩飭撥米石設局平糶一摺上年順直境內多被水災各路飢民來京就食人數甚眾艱苦情形深堪憫惻加恩著照所請由戶部倉場侍郎撥給大小米各一萬二千石並酌撥經費銀二千兩由順天府領交五城分設各局平糶以濟民食務飭承辦各員查照向章妥為經理毋得稍滋弊混該衙門知道欽此

奏為欽遵

懿旨會議覆陳恭摺仰祈

慈鑒事竊臣等面奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨戶部奏遵議開

臣奕譞等謹

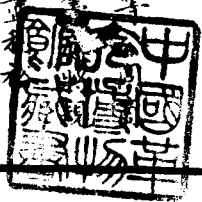
鑪鼓鑄各事宜摺御史文海奏規復制錢預定期限摺並整頓錢法章程片著一併會議具奏欽此竊上年七月間臣等會同戶部工部籌議整頓錢法並預擬規復制錢時辦理章程六條摺內詳陳規復舊制本以廣籌鼓鑄為最要欽奉

懿旨照所請行此次戶部奏請於各省運解制錢意在輔京局鼓鑄之不足惟未將開鑪鼓鑄各事宜分晰陳明致煩

聖慈訓飭現該部臚陳鼓鑄事宜四條臣等閱並將御史文海條陳摺片參酌妥籌復制錢一事趕緊籌辦而變通務期速成國尤在便民目前辦法仍不外籌工本購銅鉛儲制錢收大錢數大端謹將節目次第分條臚陳伏求

聖慈採擇

一戶工兩局現存鑪座應先行鼓鑄制錢也上年原奏聲明三年內京局仍舊鼓鑄當十大錢係為支付各項放款起見現據戶部奏稱統計現存銅劬戶工兩局一年內尚可按卯鼓鑄現



存鉛的雖屬不敷業已催辦自應就現有鑪座先行鼓鑄制錢備用再將應添鑪座陸續興辦以期規復舊額其應用銅鉛應如戶部所議趕緊採購至鑄錢銅鉛搭用成數查咸豐三年以前所用制錢以銅五成四分鉛四成六分分配鑄現於滇銅之外添購洋銅係屬創舉應如何分成之處由戶部考察銅質均勻配用務使錢兩悉稱錢質堅好

一機器鑄錢仍應令直隸江蘇等省覈實舉辦也查李鴻章曾圖登崧駁咨覆戶部文內陳機器製錢工本過虧種種為難等情從來創辦一事艱於圖始若購外洋機器鑄錢誠不免多費資本然如閩浙督臣楊昌濬所奏機器局鑄錢各節工本尚無虧折應請

飭下李鴻章等仿照福建章程再行切實籌議不得畏難推卸至福建既已著有成效擬由戶部籌銀二十萬兩撥給該省作為工本加卯鼓鑄即以鑄成之錢抵餉解京應如何覈算銀兩由部酌定仍令閩省將輪機辦法詳晰具奏其餘四川

等省本設有機器局者亦令推廣籌議酌量試辦查閩省機器局所鑄新錢銅質細膩打磨光淨較尋常局鑄為精雖分量稍輕而私鑄無從仿造民間必知寶貴設與局鑄錢分兩相等轉恐啟私銷之弊且康熙年間制錢亦有兼鑄八分九分者擬請嗣後各省制錢如由機器局鑄造每錢一文均照福建定章以八分五釐為率其京局各例應鼓鑄制錢各省每錢一文仍以重一錢為率不得參差

一銅本務須籌撥的款也雲南辦銅向有銅本業由戶部先後籌撥銀二百萬兩各省未能一律解清本月據岑毓英奏催欠款已有

旨令戶部速議具奏查銅礦為鑄錢之根本如果內地銅苗暢旺辦理得法何須購自外洋雲南銅礦籌辦多年近來運京之銅不及從前十分之一推原其故一由籌辦之力一由銅本之不足嗣後擬由戶部籌撥的款嚴催認真興辦該省督撫不得以經費不足有所藉口至鉛筋為貴州湖南出產應由戶部覈定需用數目籌款

多購至雲南四川等省採銅較便應令多加印數認真鼓鑄

一各省制錢應令酌量搭解無須多提也查沿江沿海各省釐金局均有抽收制錢易銀解餉之事若將制錢運京備用亦屬權宜之一策戶部前奏擬令湖北等省於應解京餉銀內共酌易制錢一百二十萬串臣等查民間搖惑之情與商人趨利之私到處皆然若提錢過多必致錢價驟長亦非市廛不擾之意擬令江蘇湖北江西浙江安徽等省各該督撫酌量該省情形能提若干即解若干一面奏報一面分批解至天津聽候戶部提用此係轉輸錢文以美補不足之意各該督撫不得藉詞推諉戶部尤不得因有外省解錢之舉致鼓鑄事宜稍涉觀望

一當十大錢擬籌款設局收買並於稅捐兩項搭收也京城行用當十大錢業已三十餘年自無遞廢之理上年臣等所擬章程六條於折抵籌收搭交各節已陳大概惟均就官鑄大錢言之至於私鑄攙雜不知凡幾若論整頓圜法自

應一概棄置惟市肆貿易通用已久小販營生行使尤多若一旦盡歸無用頓絕生機是私鑄奸民獲其利窮簷小民受其害

聖慈體恤民隱必在於憫之列此次文海摺內於收買大錢一節兼及私鑄不為無見即使將來改鑄折耗甚多而損上益下

恩逮閭閻實足固

國本而培民命似應將現行當十錢文一律設局收買仍須嚴立期限酌定勛數應如何杜絕流弊之處由戶部悉心籌議至崇文門兩翼等處稅項部庫收捐等項准其按成搭收各節擬請仍照上年奏定章程由戶部臨時奏辦

以上五條臣等參酌時勢悉心叢議是否有當
恭候

命下行知該部遵照辦理至文海所請豫定期限特降懿旨等語查本月十三日欽奉

懿旨飭部臣於一年內辦理就緒天下臣民已可家喻戶曉似無須重複明降

懿旨該御史所請應毋庸議所有臣等會議緣由理合

恭摺具陳伏乞

皇太后聖鑒訓示謹

奏

光緒十三年正月 二十七

日

臣奕譞

臣世鐸

臣額勒和布

臣張之萬

臣許庚身

臣孫毓汶

82 蒙

發下摺件臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單共二十一件分別繕擬批條呈進

恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行恭請

懿旨及請

旨摺片共六件均擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年正月二十七日奉

懿旨依議欽此

83 光緒十三年正月二十八日奉

旨戶部議奏欽此

倉場衙門摺

84 蒙

發下倉場衙門奏祿米倉虧短米石摺擬請

旨令戶部議奏恭候

命下傳知該衙門遵照辦理戶部題淮安關監督明

勳任滿請

簡負更換本擬候

召見時恭候

皇太后

皇上訓示遵行謹

奏

正月二十八日

85 蒙

發下啟秀等清漢摺二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年正月二十八日奉

旨依議欽此

86 光緒十三年正月二十九日內閣奉

上諭奉天府府丞兼學政著延茂調補欽此

87 正四品京堂進士出身人員名單

硃。太僕寺少卿延茂

順天府府丞何桂芳

88 蒙

發下謙禧等清漢摺單六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年正月二十九日奉

旨依議欽此

89 蒙

發下慶裕漢字摺一件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年正月三十日奉

旨依議欽此

90 光緒十三年二月初一日內閣奉

上諭德馨奏查明各屬被災請將新舊錢漕等款分別緩徵遞緩一摺江西南昌等府屬地方上年春夏以後或被水淹浸或雨澤愆期收成均形歉薄若將新舊錢漕等款照常徵收民力實有未

愚著照所請所有南昌縣西鄉四十五都長一圖三甲長二圖二四甲長三圖一二甲長四圖五甲長五圖一四甲長六圖三七甲南一圖一六八甲南二圖二六甲南三圖七甲北一圖一二三甲四十六都一圖三甲二圖五甲三圖一甲四圖二五六甲五圖二甲九圖十甲七甲十一圖九甲十二圖六八甲十三圖一二六甲十四圖一二三五甲十五圖六九甲四十七都一圖一二三甲二圖四五六甲三圖二四甲四圖五甲五圖三四甲與五圖五七十甲北五圖四五六甲六圖一二三四五甲八圖一甲九圖二四甲正玖圖四六八甲義玖圖二三四甲四十八都南一圖一三甲南二圖二甲南三圖三甲南四圖三甲北一圖一三甲北二圖二甲北三圖八甲十甲長三圖七甲四十九都

一圖一四甲二圖三甲三圖六甲四圖一甲五圖二甲六圖二甲五十一都一圖三六甲二圖一三甲三圖二八九甲四圖三四十甲六十一都一圖四六甲二圖一甲三圖十甲六十二都一圖 甲十甲六十三都一圖五甲三圖八甲四圖 甲五圖四甲七圖二甲十圖九甲六十四都一圖二甲二圖二甲三圖一甲四圖四甲六十五都一圖三甲二圖二甲三圖一甲五圖二甲七圖四甲八圖十甲六十六都一圖七甲二圖五甲三圖六甲六圖三甲南鄉五十都五圖三甲五十三都二圖四甲五十四都二圖十甲五十五都四圖七甲五十六都六圖二甲五十七都四圖七甲五十九都五圖二甲十圖三甲十一圖七甲西南鄉六十都與一圖七甲南二圖三甲上二圖四甲下二圖五甲七圖九甲東鄉二十一都南二圖二甲二十三都上一圖四甲下一圖二甲二圖六甲三圖四甲八圖三甲二十四都三圖六八甲十五圖三甲二十五都三圖三六甲七圖二甲十四圖一甲二十六都二圖二甲六圖八甲二十七都一圖十甲

二圖一甲三圖五甲中鄉四十三都一圖四甲三
 圖五六甲四圖八甲十甲五圖七九甲六圖四甲
 四十四都一圖一三甲二圖四五六甲三圖八甲
 十甲等處各則民田二千二百七頃三十七畝零
 應緩地丁銀八千七百八十九兩零漕米一萬一
 千六百四石零同新建縣之儀鳳鄉四十二都一
 圖一三五六九甲四十二都二圖一二四五七八
 十甲四十二都三圖一二三四五六七八甲四十
 四都一圖一二三四五八十甲四十四都二圖一
 二四四六十甲四十四都三圖一三五六七八
 四都大三圖一四六七八九十甲四十四
 一三五甲四十五都又二圖一二三四五甲
 四十六都一圖一二三四七八九十甲四十六都
 二圖一三六七九十甲四十六都三圖二三五六
 八九十甲四十六都四圖一二三四五八十甲四
 十七都一圖一二五八甲四十七都二圖一三五
 六七八九十甲四十七都三圖一三六七甲從善
 鄉四十八都一圖一二三四五六七八九十甲四
 十八都又一圖一六甲四十八都二圖二六七八

甲四十八都三圖一二五七八甲四十八都四圖
 二五七甲四十九都一圖二三六七十甲四十九
 都二圖一四五六七甲五十都一圖一五六七八
 十甲五十都又一圖二八甲五十都二圖一二三
 七十甲昌邑縣五十一都一圖一二三四五六七
 八九十甲五十一都二圖二四五六八甲五十二
 都一圖二三四五六七八九十甲五十二都二圖
 一二三五六七八九十甲軍都六圖一三甲西
 鄉五十三都三圖二三四六甲五十三都四圖三
 四五七九甲五十四都二圖一二三四五七八甲
 五十四都三圖一四六七甲五十四都四圖二三
 四五六七八甲五十四都五圖一二三十六甲東
 鄉五十五都一圖一三五七九甲五十五都二圖
 一二三四七八甲五十五都三圖一二三四七八
 九甲五十五都四圖一二三四五六七甲五十五
 都五圖一三四六七八九十甲五十六都一圖一
 二五六八甲五十六都二圖一五七八甲十坊等
 處各則民田二千七百十二頃九十九畝零應緩
 地丁銀五千六百九十二兩零漕米五千六百九

十六石零進賢縣北鄉下五坂二十七都一圖一
 二三四甲二圖一二三四五甲三圖三四五甲四
 圖一二三四五甲五圖三六七八九甲二十八都
 一圖一二三四五甲二圖一二三甲三圖一二三
 四甲四圖一二三四五甲二十九都一圖一四五
 六七甲二圖三六七八九甲三圖六七八九十甲
 四圖一三六七八甲三十都一圖六七八九十甲
 二圖五七八九甲三圖一二三四五甲四圖一三
 四五六甲五圖一三六七八甲三十一都一圖
 一二三四五甲二圖一二三四甲三圖三六七甲
 四圖一二三四甲等處同東北鄉一都一圖一二
 三四五甲二圖三六七八甲三圖一二三甲四圖
 一二三四甲五圖三四五六甲六圖五六七八甲
 五都一圖一二三四甲二圖一二三甲三圖三六
 七八甲四圖一三四五甲五圖二三四五甲六都
 一圖一二三四五甲二圖一二三四甲三圖一二
 三甲四圖三四五甲五圖一二三四甲六圖六七
 八九甲七圖四五六甲七都一圖一三四六甲二
 圖一二三四甲三圖二三四甲四圖一二三甲五

圖六七八九甲六圖四五六甲七圖一二三四甲
 軍圖五六七甲上八都一圖三六七八甲二圖四
 五六七甲三圖一二三四五甲四圖一二三四甲
 五圖二三四六甲六圖一二三四甲七圖二三四
 甲八圖六七八九十甲九圖一二三甲十圖二三
 四五甲下八都一圖一二三四甲二圖三四五甲
 三圖四六七八甲四圖二五六七甲五圖四五六
 七甲六圖三六七八甲七圖四五六甲八圖一二
 三甲九圖六七八九甲九都一圖一二三四五甲
 二圖一二六七甲三圖二三四五甲四圖四六九
 十甲五圖六八九十甲六圖五六九十甲七圖一
 二五六七甲八圖三五六九甲九圖一二三四甲
 十圖三六九十甲十都一圖一二三四甲二圖三
 六又四甲三圖一二前二甲六圖六七八甲七圖
 三六九甲八圖四七十甲九圖二五八甲十圖一
 四七甲十三四都六圖六七九甲七圖三十八甲
 八圖四六八十甲九圖一二三甲十圖一二三四
 甲十五都一圖一二三四五甲二圖二三四甲三
 圖三六九甲四圖一二三四甲五圖二五六八甲

六圖一二三四甲七圖五六七八甲八圖三六九
十甲九圖三六九十甲十圖一三四六甲十六都
一圖一二三四甲二圖一三五六甲三圖六七九
甲四圖五七九十甲五圖三六九十甲六圖四七
八九甲七圖一三五八甲八圖一二三六甲九圖
三六九十甲十圖三四五六甲十一圖一二三四
五甲十二圖二四六九十甲十七都一圖六九十
甲二圖二五八十甲三圖六七八九甲四圖一二
三四甲五圖四六九十甲六圖五七九甲七圖一
二三四甲八圖二五八甲九圖四六九十甲二十
二都一圖四六九十甲二圖五六九十甲三圖一
二三四甲四圖二五八甲五圖三六九十甲六
圖一三四六七甲七圖三五七八甲八圖一二
三四六甲九圖二五八九甲十圖三五七甲十
一圖一三四六甲十二圖四六九十甲二十三都
一圖一二三四五甲二圖三六七八甲三圖四五
六九甲四圖六九十甲五圖一二三四甲六圖七
八九十甲七圖一二三四甲八圖三六九甲九圖
一二三四五甲十圖三五六八甲十一圖一二三

四甲十二圖二四五六九甲二十四五都一圖二
三五六甲二圖一二三四甲三圖六七八十甲四圖
三六七八甲二十六都一圖一二三四甲二圖一
二三四甲三圖三四五甲四圖五六七甲五圖三
六七八甲三十三都一圖一二三四五甲二圖三
六七八甲三圖四六九十甲四圖五六九十甲五
圖三四五六甲六圖一三四六甲七圖三六九十
甲三十四都一圖二五八十甲二圖一四六七八
甲三圖一四七九甲四圖三六九十甲東隅一二
三四甲西隅二三四甲南隅一二三甲北隅三五
六甲正隅六七八甲中隅四六七甲等處並西北
鄉三十五都一圖一二三四甲二圖一二三四甲
三圖六七八甲四圖四五六七甲五圖一二三四
甲六圖三六七甲三十六都一圖三六九十甲二
圖一二三甲三圖二五八十甲四圖三六七八甲
五圖一二三四甲六圖四五六七甲三十七都一
圖二五六七甲二圖一二三四甲三圖一二三甲
四圖一二三四甲五圖一二三甲六圖六七八甲
三十八都一圖二七八甲二圖六七九甲三圖五

五六七八甲四圖六七八甲五圖五六七八甲等
處共田二千六百七頃七十四畝應緩地丁銀七
千六百七十六兩零漕米九千五百八十三石零
蓮花廳之盤西鄉一都一圖一二三四甲諫甲二
圖一甲中一甲隆甲三圖一三六七甲二都一圖
一二三四甲二圖一二甲夙甲三圖一二甲四都
一圖一三四甲二圖二三甲老甲振甲四圖一二
三甲福甲五都一圖一二三六八甲二圖一四五
甲四圖二三四甲正圖一三甲財甲中甲七甲六
都一圖一三五甲二圖二三四七甲三圖一二甲
崇甲七都一圖一二三五甲二圖一二三甲源甲
五圖一四甲九都一圖一三甲桂甲二圖一九十
甲三圖二四五甲公甲十都一圖一二三甲二圖
一二三四甲三圖一二甲四圖二六甲十一都一
圖一甲二圖一甲新一甲元圖元甲亨甲貞甲十
三都一圖一二三甲二圖四五六七甲三圖一三
甲四圖一二四甲十四都二圖三四五七甲三圖
一四甲中四甲正圖一甲同甲洪甲十五都一圖
升甲九甲十甲二圖一二三甲三圖一二甲光甲

五圖一二三甲正甲十六都一圖一二甲太甲林
甲二圖四五甲明甲三圖一二三甲元甲十八都
廢圖一二三甲二圖一五六七甲三圖一二甲十
九都一圖一甲昌甲祥甲二圖一二三甲三圖一
二三甲四圖一三甲貴甲上西鄉二十二都一圖
一二三甲二圖一甲安甲四甲三圖一二甲四圖
三四六甲二十三都一圖二三五六甲二圖二三
四甲四圖一甲朝甲黎甲二十四都一圖一二甲
羽甲二圖一三甲平甲四圖五六七八甲二十五
都一圖一二三九甲二一圖一二甲議圖一三
甲東甲福甲二十七都一圖一二甲通甲二圖元
甲亨甲四五甲三圖一二三甲四圖五六七八甲
二十八都一圖一二甲正甲同甲二圖六七八甲
二十九都一圖一二四甲三圖一二甲金甲四圖
一三甲新三甲三十都一圖一三甲二圖一二三
四六甲三圖一二甲彬甲三十二都一圖一二甲
二圖一二三四甲三圖一四甲全四甲等處共民
田五百七十二頃九畝屯田三十九頃十六畝零
應緩地丁銀三千六百八十七兩零漕米一十八

百二石零漕運七糧銀五百二十八兩零餘租銀
 一千十一兩零安福縣之東鄉三都一上圖一二
 三五甲二圖一三五六七八九十甲三圖一甲至
 十甲東三圖一甲至八甲三圖裕後甲四圖一二
 三四五六八九十甲又四圖二四五六甲四圖南
 六甲五圖一甲至十甲六圖一甲至十甲七圖一
 甲至五甲七元圖一二三六七八十甲上八圖一
 甲至七甲十一圖福履甲十一圖單甲又附城東
 一二三四六八甲安泰福半圖一甲至五甲聚昌
 圖一甲至五甲五十二都二圖三六七八九十甲
 四圖四六七九十甲秀四圖單甲五上圖一二五甲
 六圖一三五甲七圖一六七八甲九圖一二四六
 八十甲十圖一又一四七十甲十圖正單甲十二
 圖一甲聚慶圖一甲上合圖一二甲五十三都東
 三圖一四六七七十甲古三圖二五六甲三圖副四
 圖一四五六八十甲六圖一六甲六聚圖一五六
 七甲六紹圖一二三五甲七圖正一甲十圖一二
 七十甲五十四都一圖三五七八十甲二圖一二
 三四五六九十甲三圖一甲至五甲五圖一二三

五甲五十五都一圖一二副二三四五副甲一圖
 單二圖一七八上九十甲二上圖一三五六甲
 二圖永定甲三圖一上一二三四五六七七上八
 九甲三瑞圖一二三甲三義圖一三四五甲又三
 圖一二三甲四圖一二三五甲六圖一正一二三
 四五六七十甲七圖二上二又二三又三五九十甲
 七上圖單甲八圖一三七十甲十圖一二四甲副
 圖五十六都一圖一上一三四六七八十又十甲
 一圖又單一下圖單二圖并協一上一二三五正
 五六七八十又協甲三圖一甲至十甲四圖並四
 上圖一三四甲五圖一七八九十甲五圖副甲六
 圖一四五七九甲七圖一三四六七八十甲七圖
 單甲九協圖九圖一二四五六甲九上圖一二三
 四五八甲九圖單九圖副甲九瑞圖五十七都一
 圖一二三四五六七八十甲二圖一二三四五六
 八九十甲三圖又三圖一二三四六七八九十甲
 四圖一甲至五甲五圖一甲至十甲七圖一二四
 五七八甲九圖一二三甲十一圖一三四五七八
 甲五十八都一圖一甲至五甲二上圖一甲至六

甲二下圖六七八九十十甲四圖一二三四又四
五六甲五圖一二上又二三四上並九十甲
六圖一二四五九甲六圖副七圖五八九十甲八
圖一甲至十甲九圖一二三甲九上圖一二六八
十甲十圖一二三四六七七上八九十甲十一圖
一二三四五六八甲世德圖三甲至十甲怡怡圖
一二三四五七八甲五十九都一圖一甲至十甲
二圖副一二三四八十甲三圖一二三七九十甲
三圖上一二五八十甲四圖一三六八十甲四圖
副五圖一二四六八九十甲七圖一三五六八九
十甲八圖一甲至十甲八上圖一二三六九十甲
九圖一四五七八九十甲六十都二圖一三四六
八九十甲又二圖一三五七九十甲四圖一四七
九甲東四圖一三五七七十甲五圖一三五七八九
十甲六圖一二三七八九甲八圖一三五六八九
十甲十圖一三六七八九十甲十下圖一四七九
甲十一圖協一四八十甲十一圖單一四七甲六
十一都一圖一二五六八九十甲二圖一三七八
九十甲二上圖一四七八九十甲三上圖二五六

七九甲三下圖一三五七八九十甲四圖一三四
七九十甲五圖一三五六七八十甲七圖二四七
八十甲七上圖一五六七甲青紫圖一三四五七
甲六十二都一圖一三五七八九甲一上圖一五
六八九甲二圖一三四五七八十甲二圖單三圖
一二三四六七八十甲四圖一三四六七八九十
甲五圖四五七甲六圖一二三四五七八九十甲
又六圖四五六七八甲七圖三四五七八九甲八
圖一二四六八甲九圖一四五七甲十圖一四五
七甲十四圖一四七八十甲六十三都一圖一三
五六七九十甲一義圖一五六甲一圖單甲二圖
一四五七九甲二上圖二三四五甲又二圖四五
七甲三圖二五七九甲四圖單三五六七甲五圖
一三五七八九甲陸仁圖二五七八甲陸義圖二
五六甲八圖一三七八甲十圖一四七八甲十圖
協一三五甲十三圖一四六甲十五圖一三四六
七甲廣聚圖一二五七甲南鄉一都一圖一甲至
十甲二圖一二四五六七八九十甲三圖一甲至
九甲怡怡圖一三五六七九甲又附城南一三四

六七八九十甲三十五都一圖一甲至五甲三下
 圖二 三六七八九十甲四圖一 二三四六八九十
 甲五圖一甲至十甲六上圖一 二三四五六八九
 十甲六下圖四六七八九十甲七圖一甲至五甲
 九圖二 三四五甲九圖副十圖單三十六都二圖
 六七九十甲二圖協甲三圖單五圖單七圖一甲
 至十甲八圖一 三四五六七八九十甲八圖副九
 圖六七八九十甲十圖一甲至十甲十三圖一甲
 至五甲十四圖單全盛圖一甲三十七都一圖一
 二四五六七八九十甲二圖六七八九十甲三圖
 一 二三四五六七八九十甲四上圖古甲四下圖五
 六七八九十甲六圖一 三四六九十甲七圖一 二
 三四五七八九甲八圖一 四六七八九十甲九圖
 單十圖單至樂圖單甲三十八都二圖一 二三四
 五七九十甲二美圖一 二三四甲三圖一甲至七
 甲三義圖一 二甲四圖一 二三四五六八九十甲六
 圖一 二三四五六甲六圖單七圖仁壽甲八圖上
 單甲光裕圖三十九都一圖協甲二圖副甲三圖
 一三四五八九甲四十都一圖一 二三四五六七

八十甲二圖一 二三四七十甲四圖一甲至十甲
 四圖副五圖六七八九十甲五下圖單甲六圖單
 甲七圖二 三四五七八九十甲四十一都一上圖
 一 二三四五甲一下圖六七八九十甲二圖一 二
 三四五甲三圖一 二三四五六七八十甲四圖一
 甲至十甲副四圖一 二四五甲五圖一 二三四五
 九十甲七圖一甲至十甲四十二都一圖一 二三
 五八九十甲三圖一 二四五六八九甲四圖二甲
 至十甲五圖一甲至十甲七圖一 二四五六七八
 九十甲七圖單八圖單副上圖單協圖單瑞圖一
 二五甲義圖一 二四甲四十三都一圖一 四六八
 甲二圖一 二三四七十甲上甲二圖單三圖一甲至
 六甲四圖六七八九十甲五圖二 三四六八九十
 甲五半圖一 四五六甲七上圖二 四五甲八圖一
 四七八十甲九圖一 五八十甲十圖二 六七八十
 甲十上圖二 四五甲十二圖一 三四五六甲十三
 圖單四十四都一圖一 二三五七九十甲三圖一
 三四五六十甲五圖一 二三四五六七九甲六圖
 一 二四十甲七圖一 五六八十甲七圖副八圖一

三四六八十甲九圖一四六十甲四十五都一圖
 一甲至十甲三圖六崇六七八十甲五圖六八十
 甲五上圖一甲至六甲六圖一二三四五六七八
 十甲七圖單八圖一三六七九甲九圖單甲四十
 六都一圖一三五八十甲二上圖一二五甲二下
 圖六七八九十甲三圖一二三五六八十甲四圖
 尾一三四八九尾甲五圖二五八九甲六圖一
 三八九 甲七圖單八圖一協一協三協四甲四
 十七都一圖一二三四七八九十甲二圖一二三
 五六八九十甲三圖三五六七八十甲五圖一三
 五六七八九甲六圖一二三四五六八九十甲七
 上圖一三四五甲四十八都一圖一二四五六八
 九十甲二圖單三圖一二三四五六七八九十甲四
 圖副四圖又副五圖一甲至十甲古六圖一二四
 六七八九十甲軍六圖七圖一上一二三四五六
 七八九十上甲八圖二三四六七八十甲九圖一
 二三四五六七八九九上十甲十圖一甲至十甲
 十上圖一二三上三四五六八九甲崇福圖一二
 三四五甲四十九都一圖一甲至六甲三圖一二

三四五甲四上圖一二三五八九十甲六圖一甲
 至七甲八圖副九圖一二三四五九甲九上圖一
 二三甲福壽圖一三五六七九甲五十都民一圖
 一甲至十甲二圖二三四五六七八九十甲三圖
 二三民三四甲又三圖一五甲四圖一又一甲至
 十甲五圖一上三四五六六上七八九十甲五
 圖單瑞五圖一二三甲六圖一二三四五六七八
 十甲六順圖七圖五甲至十甲九圖一二三四五
 六八八上九十甲十圖一二四五六七七八九十甲
 十一圖單十二圖一二四五甲十三圖一甲至八
 甲禮義圖一二五六七十甲五十一都一圖一二二
 上三又三甲至九甲一圖單一上圖一二三五六
 七九甲二圖一二三四五甲二圖又單二圖副三
 圖一甲至十甲三圖單四圖六七八九十甲五圖
 一三上四上五六七八九又九十甲七圖四五六
 又六七八九十甲十四圖單十五圖單甲西鄉四
 都一圖一三五六七八九十甲二圖一二三四五
 六八九甲三圖五六八九十甲四圖一二三四五
 六七九十甲正四圖一二四五六甲七圖一甲至

十甲七圖上副八一上圖一二三五六七八十甲
 又附城西一四五六七八九十甲五都一圖一甲
 至十甲二圖一二三四五七八九十甲三圖一二
 三四五甲四圖三四五九甲五圖一二三四五甲
 六圖單十圖單甲六都一圖一甲至十甲一上圖
 一二三四五甲三下圖一二四五六七八九十甲
 三下圖單五圖一甲至十甲五圖單九圖一三四
 五七九甲十一圖一三四十甲七都一圖一二四
 五六七八十甲二圖一甲至十甲二圖單二圖又
 副四圖一二四五六八甲八都一圖一甲至六甲
 二圖一二四甲三圖惟甲八圖單甲九都一圖二
 四五七八十甲一圖協一圖怡盛甲二圖二三五
 十甲誠仁圖惜陰甲十都二圖一二三四五六七
 九十甲三圖一二六七七十甲十二圖單十一都二
 圖一二三四五六八九甲三圖一二三四五六八
 九十甲四圖一甲至十甲五圖六七八九十甲十
 二都一下圖二三六七八十甲二圖一二八十甲
 二圖又單三上圖一二三四五十甲十三都二圖
 一二三七甲三圖一二三五六七九十甲四上圖

一四六七八九甲十四都一圖一二三四六七八
 九甲二上圖一甲三圖一六七八九十甲三上圖
 一二四五六甲裕後圖二三甲十五都一圖單一
 上圖一二三四五七八甲三圖一二三四六七八
 九十甲五圖一二四五六七十甲五圖僧甲十六
 都協一圖一三四五六七八甲三上圖一二三四五
 七甲三下圖六七八九十甲十一圖一二三四甲
 十七都二圖一甲至十甲三圖一二三四五七八
 九十甲四圖一二三四六八九甲十八都一圖一
 甲至十甲二圖一甲至十甲三上圖一二三四五
 甲三下圖六七八九十甲四圖一二三四五甲十
 九都一圖一二三四五六甲二圖一四八九甲二
 十都一圖一二三四五七八九十甲一圖單二圖
 一二三四五六七九十甲三圖一二三四五甲五
 圖一甲至十甲八圖一二六九甲長久圖一二三
 四五甲二十一都一圖一二三四五六七九十甲
 一圖單三圖一二甲四圖一甲至十甲五圖一四
 六七甲五圖副七圖副攸久圖一二三五六甲二
 十二都一圖一甲至十甲二圖一二三四五六七

九十甲三圖一甲至六甲三上圖單四圖一二三四五甲北鄉二都一圖一甲至十甲二圖二三四六十甲二圖副三圖一甲至十甲三上圖一二三四五六七八十甲三圖副四圖一三四五六七八九十甲北圖一二甲又附城北一二四六七八九十甲六十四都一圖一三四七八九十甲二圖一五七八九甲四圖一二三五六七八九十甲四上圖二五六八九甲四圖副五圖三四五七甲六圖一四五六八九十甲又六圖一三六七八甲九圖一五六七九甲九圖副十五圖三四五七甲爵譽圖二四五七甲協圖三四五甲六十五都一圖一二四五六七八甲二圖一甲至七甲三圖一甲至八甲四圖一甲至十甲五圖一甲至八甲六圖一三四五六七八九甲七圖一二三四五七八甲六十六都一圖一甲至十甲二圖一甲至九甲二上圖一甲至十甲二下圖一甲至九甲三圖一甲至七甲又三圖一二四五六七八甲八圖一甲至十甲八圖又副一甲至七甲餘慶圖一二三四五七甲六十七都一圖一二三四五六八九十甲二圖

一二三五六七八九十甲三圖一二三四五六七八九十甲三圖副三上圖一三五七九甲四圖三五七八甲四圖副四圖瑞單五圖一三四五七八甲六圖一四五七八甲七圖一三四六七九十甲十圖一三四七八甲十三圖一三五七九甲六十八都一圖一二三四五七八九十甲二圖三五七八十甲四圖三五七十九甲四圖副五圖一二三五七十九甲六圖副十圖二三四五七八九十甲十三圖二四五七甲六十九都一圖一二四七九十甲一上圖一三五七九甲一下圖二三五甲二圖一三五九甲二上圖一三五七甲三圖一二三五六七八九甲三上圖三四七九甲又三圖一三五七十九甲又四圖三五六八甲五圖一二三四五七十九甲六圖一二三四五六八九十甲六義圖一三四五七十九甲八圖一甲至十甲十一圖一三五七十九甲三圖一三四七九甲福壽圖一三五六七甲慶豐圖一二甲潔己圖一二三四甲受祿圖禎祥圖新瑞圖等處各則民田地一千八百七十七畝零應緩地丁銀一萬一千六百三十

九兩零漕米六千七百九十七石零并東鄉五十
七都二圖五十八都一三圖六十三都一三圖南
鄉四十四都三圖四十五都四圖四十八都八圖
四十九都一圖平橋圖五十一都八圖西鄉四都
一二四圖五都一二圖六都一圖二上圖一二三
四五六十甲二下圖八都一圖十都一圖十一都
二圖十二都一二三四圖十三都一圖十九都一
圖二十都一圖一二三甲三圖一二三甲北鄉六
十四都一二圖六十八都一圖等處屯田二十三
頃二十六畝零應緩漕運屯糧銀三百四十四兩
零餘租銀六百三十兩零永新縣西鄉封十一都
黃江等村一圖一甲至十甲二四圖上五甲六七
圖下五甲未十一都一三四六八圖上五甲二五
七圖下五甲仁義圖一甲至十甲上十二都台洲
等村一二三圖上五甲四五圖下五甲六七八九
圖一甲至十甲十圖下五甲下十二都灌沆等村
頭圖上五甲二三四五六七八九圖一甲至十甲
上一十三都交文等村四仁圖上五甲下十三都
規田等村一二七圖上五甲三圖一甲至十甲四

下五甲集賢圖上五甲十四都洋港等村明德圖
一二三圖一甲至十甲四五圖上五甲上十五都
夏谿等村一圖上五甲仁禮圖一甲至十甲下十
五都湯嶺等村一二圖上五甲和樂漢鼎等圖一
甲至十甲桂山圖上五甲十六都沙市等村三圖
下五甲四圖一甲至十甲十七都厚田等村上一
圖上五甲二四圖下五甲上洲明倫聯科等圖上
五甲永正圖炳圖允全圖一甲至十甲十八都龍
田等村二圖上五甲三七和禮眾善等圖一甲至
十甲秀純圖下五甲仁義崇賢秀衣等圖上五甲
十九都木江等村一圖一甲至十甲二圖上協叶
義等圖康圖上五甲四十都潘陽等村一圖下五甲
二三四五七圖進國臣圖上五甲六圖景圖神仙
圖下五甲信遠圖一甲至十甲四十一都東路等
村一三圖一甲至十甲二六八九圖上五甲四七
圖崇安圖下五甲原尚圖一甲至十甲上四十二
都汶竹等村一圖一甲至十甲二六圖上五甲四
圖下五甲至樂圖下五甲源遠圖上五甲積善慶
圖下五甲下四十二都落溝等村一二圖上五甲

景山圖上五甲樂善圖下五甲四十三都高坑等
村一二圖上五甲三四圖下五甲慶圖上五甲福
乾圖一甲至十甲七八圖下五甲九十圖上五甲
四十四都甌潭等村一二三圖下五甲善慶圖下
五甲六十都麻田等村一二圖上五甲三四圖下
五甲五圖上五甲一本新義貴和忠恕等圖上五
甲正昌忠信等圖下五甲六十一都城都等村一
二三圖上五甲健荷承成等圖上五甲羅玉圖下
五甲六十二都沙頭洲等村二三圖上五甲仁圖
下五甲等處各則民田一千五十一頃二十畝應
徵地丁漕米內緩徵十分之五銀四千六百五十
六兩零米一千三百四十九石零并北鄉一都左
望等村一圖上五甲二三圖下五甲五六圖四同
圖四義圖一甲至十甲五永圖上五甲上二都官
谿等村一圖下五甲三義倡義等圖上五甲九德
同昇等圖一甲至十甲下二都小風塘等村一二
三圖五永圖一甲至十甲四五圖下五甲七圖上
五甲東慶圖下五甲三都中坡等村四五六圖上
五甲七圖下五甲重義圖一甲至十甲四都柄田

等村一圖仁義圖一甲至十甲二三四五圖下五
甲善發圖上五甲平五都石谿等村三至圖福圖
一甲至十甲八圖上五甲九圖下五甲未五都前
市等村二圖福星圖上五甲四圖下五甲崇善圖
一甲至十甲六都風上等村三益新益等圖一甲至
十甲二九三義等圖上五甲七都蛇形等村一九十等
圖一甲至十甲二三七八和好等圖上五甲三四五豐
等圖下五甲八上都五圖等村一圖一甲至十甲二三中
和大吉等圖上五甲八下都花陂等村一圖和盛圖下
五甲仁圖一甲至十甲二五忠清西英聯珠等圖上
五甲九都獅山等村一圖仁義禮智等圖一甲至十甲
信圖萬鑑圖上五甲嘉謨七政等圖下五甲十都荒
上等村豐圖乾圖首圖懷清圖下五甲本圖旋圖成
圖崇義圖上五甲福圖吋吉圖一甲至十甲七十三
都仰山等村仁義圖一甲至十甲等處各則民田八
百二十一頃六十畝應徵地丁漕米內緩徵十分之
五銀三千七百二十八兩零米一千八十石零同東
鄉六十三都台上等村一圖一甲至十甲二圖大
有圖上五甲昌盛圖下五甲福六十四都長源等

村一三從善等圖上五甲頭圖七星圖一甲至十
甲近六十四都上坪等村一圖一甲至十甲二圖
下五甲三圖上五甲六十五都菜下等村一四五
六七圖康圖上五甲二三十等圖一甲至十甲八
九安親等圖下五甲六十六都洲下陂等村一四
仁義禮智信等圖一甲至十甲二三圖上五甲六
圖同結圖下五甲七十都日暉橋等村協一圖仁
義二三圖茂成圖一甲至十甲大安圖上五甲倫
常圖下五甲七十一都白土等村一圖文恭圖上
五甲二三昌義等圖一甲至十甲四圖下五甲福
四都上坪村六十五都菜下村六十六都洲下陂
村六十七都觀音橋村六十八都白堡村六十九
都高橋村七十一都白土村七十二都汴田村南
鄉五十三都秋溪村五十四都水尾村五十五都
橫路村福五十六都黃祺村近五十六都平分村
五十八都長富村五十九都塗嶺村西鄉封十一
都黃江村未十一都上十二都台洲村下十二都
灌沅村上十三都交文村下十三都祝田村十四
都洋港村十五都夏溪村十六都沙市村十七都

厚田村十八都龍田十九都木江村四十都潘陽
村四十一都東路村上四十二都汶竹村下四十二
都落溝村四十三都東溪村四十四都元頭村六
十一都城都村北鄉一都左望村四都賴田村六
都風上村七都蛇形村上八都五團村下八都花
陂村九都獅山村十都荒山村等處各軍圖一幫
至十幫共屯田九十項六十四畝零應緩屯丁銀
十六兩零存留屯糧銀六十五兩零漕運屯糧銀
五百三十兩餘租銀一千八百九十八兩零上饒
縣之東鄉二都一圖一二四五九甲二圖一甲至
十甲西鄉二十三都一二三四五六七九十甲二
十五都一二三四五六七十一甲二十六都一
甲至十一甲共一百六項七十八畝零應緩地丁
銀三百三十四兩零漕米一百石零餘干縣之東
溝一圖一二六七八九十甲小溪等村二圖三六
七十二都橫江市等村一圖下五甲信義圖一甲
至十甲仁善圖上五甲賢七十二都汴田等村一
二和義等圖上五甲安仁圖下五甲等處各則民
田四百七十七項四十畝應徵地丁漕米內着緩

徵十分之四銀一千五百七十二兩零米四百五十五石零又南鄉五十三都秋谿等村叶義圖八圖上五甲合義吉星等圖下五甲六圖一甲至十甲五十四都水尾等村一圖尚義南星等圖上五甲二三八九十等圖下五甲四五圖一甲至十甲五十五都橫露等村二三七萬年能由合感合義等圖上五甲九五楊禮等圖下五甲一圖結公圖一甲至十甲福五十六都黃棋等村一圖興文圖下五甲二圖一甲至十甲九十泉義等圖上五甲近五十六都平分等村一圖上五甲二圖一甲至十甲豐五十七都橫石頭等村一二圖上五甲四五六等圖下五甲州尾圖一甲至十甲福五十七都泰山橋等村一二圖上五甲福五十八都長富等村一二圖五鳳新下圖一甲至十甲才五十八都陂下等村一三圖上五甲二圖協義圖一甲至十甲五十九都塗嶺等村一二三四伏盛三忠等圖一甲至十甲信義雙和等圖上五甲永興圖下五甲等處各則民田三百九十九畝五十畝應徵地丁漕米內著緩徵十分之四銀一千四百三兩零米

四百六石零同東鄉福六十四都長源村近六十九十甲下源等村南隅一圖一二三四六七八九十甲三塘等村二圖三四五六七九十甲柏樹等村三圖一甲至十甲料家等村西隅一圖一二三四七八九十甲嚴溪等村二圖一甲至十甲清水等村四圖一二三四五六八九十甲上童等村五圖一二五六七十甲坂頭等村六圖一二三四五六八九十甲大瑞等村北隅一圖一二三四五七八九十甲崇山等村二圖一二三四五七八九十甲洲上等村三圖一三四五六七八九十甲東港等村二圖一甲至十甲小毛等村三圖一二三四五七八九十甲徐家林等村三都一圖一甲至十甲李子等村二圖二甲至十甲下岸等村三圖一二三四五六九十甲院前等村四都一圖一甲至十甲東灣等村二圖一甲至十甲澆頭等村三圖一二三四五六七八九十甲白家等村四圖一甲至十甲小路等村五都一圖一二三四五六七八九十甲勉山等村二圖一甲至十甲後園等村六都四圖五

甲神仙坂等村九都一圖一甲至十甲奠下等村
二圖二甲至十甲史家等村三圖一甲至十甲博
水等村四圖一二三四五六七八十甲江頭等村
五圖一二三四七八九十甲石窟等村六圖一二
三五六七八九十甲馬羊等村七圖一二四五六
八九十甲振尾等村八圖一甲至十甲下段等村
十八都七圖一甲至十甲華山等村十九都六圖
一三四六八十甲黃埠等村二十都三圖一甲至
十甲大溪渡等村二十一都七圖一甲至十甲上
山等村二十二都五圖一甲至十甲坂頭等村二
十三都二圖二十兩甲底田等村二十四都四圖
五甲漆池等村二十五都三圖一甲至十甲靛溪
等村二十六都八圖一二三四五六七八十甲坑
口等村二十七都一圖一甲至十甲睦和等村二
圖一甲至十甲老頭等村三圖一甲至十甲遮胡
等村四圖一甲至十甲青林等村二十八都一圖一甲
至十甲陳坪等村二圖一甲至十甲萬單等村三
圖一甲至十甲李灣等村四圖一二三四五六七八
九十甲龍津等村五圖一二三五七八九十甲冠

山等村六圖四甲至十甲南河等村七圖一甲至
十甲前灣等村二十九都一圖一甲至十甲洲上
等村二圖一甲至十甲內水等村三圖一甲至十
甲水埠等村四圖一二三四五六七八九十甲東源
等村五圖一甲至十甲淮塘等村三十都一圖一
甲至十甲白竹等村二圖一甲至十甲石里灘等
村三圖一甲至十甲排頭等村四圖一甲至十甲
寺前等村五圖一甲至十甲郭里等村六圖一甲
至十甲樓下等村七圖一六七七十甲小埠等村三
十一都一圖一甲至十甲赤岫等村二圖一二三
四五六七八九十甲西源等村三圖一甲至十甲山
塘等村四圖一甲至十甲尺江等村三十二都一
圖一甲至十甲朱灣等村二圖一二四六七八九
十甲塔前等村三圖一甲至十甲山下等村四圖
一甲至十甲卷前等村五圖一甲至十甲石子等
村六圖一甲至十甲南河等村七圖一甲至十甲
汊口等村八圖十甲西源等村三十三都一圖一
甲至十甲大湖等村二圖一甲至十甲南左等村
三圖一二三四五六七八九十甲小口等村三十四

都一圖一甲至十甲冷井等村二圖一甲至十甲
毫湖等村三圖一甲至十甲竹山等村三十五都
一圖一甲至十甲土坊等村二圖一甲至十甲梁
山等村三圖一甲至十甲大塘等村四圖一甲至
十甲松山等村五圖一甲至十甲崇山等村三十
六都一圖一二三五六七八九十甲瑞洪等村共
各則民田五千二百八十二頃二十三畝零應緩
地丁銀八千一百七十三兩零漕米三千八百八
十五石零安仁縣東鄉八都一圖七甲三圖八甲
南鄉八都四圖一七十甲十都一圖二甲十一都
一圖九甲二十一都二圖六七甲二十四都折甲
西鄉六都一圖九甲石港等村應徵地丁漕米內
緩徵十分之八銀八十四兩零米三十三石零同東
鄉八都一圖九十甲十五都一圖四七八九甲南
鄉八都二圖五九甲四圖五甲九都一圖四甲十
一都三圖七甲二十一都二圖二八甲官塘村軍
戶毛姓二十二都二圖七十甲四圖六甲二十四
都一圖五甲二圖一三甲三圖三八甲西鄉五都
二圖五九甲七都二圖四甲三圖七八甲彭坊等

村應徵地丁漕米內緩徵十分之七銀一百三十
兩零米四十六石零并東鄉十五都一圖三六儒
甲南鄉九都一圖五八附甲十都二圖五甲三圖
二四八十甲十五都二圖一二四五七八十甲三
圖一三四七八九十甲二十一都一圖一三八九
甲二圖四甲三圖二甲四圖二五七八甲二十二
都一圖一九甲二圖二甲三圖三六九甲五圖五
八十甲二十三都一圖三甲二十四都一圖八十
甲二圖七九十儒甲三圖一二四七儒甲西鄉四
都三圖六甲五都一圖七甲六都一圖八甲七都
二圖十甲三圖十甲十七都四圖四甲在一圖三
甲及星滔字號各甲團湖等村應徵地丁漕米內
緩徵十分之六銀九十二兩零米三十二石零各
則田地一百十三頃六十五畝零共應緩地丁銀
三百七兩零漕米一百一十一石零建昌縣歸義鄉
一二三四五圖各一甲至十甲新城鄉一二三四
五六七八圖各一甲至十甲修智鄉一二三四圖
各一甲至十甲界仙鄉一二三四五圖各一甲至
十甲甘泉鄉一二三四五六圖各一甲至十甲受

安鄉一二三四五六圖各一甲至十甲永豐鄉一
二三四五六七八九十十一二十三十四十五
十六圖各一甲至十甲凝遠鄉一二三四五六七
八圖各一甲至十甲豐安鄉上二圖下一二圖三
四五六七十一十二圖各一甲至十甲德政鄉一
二三四五六圖各一甲至十甲市鎮鄉一二三四
圖各一甲至十甲蓋政鄉一甲至十甲鈞臺鄉一
二三四五六七八九圖各一甲至十甲等處各則
田地四千四百四十二頃三十二畝零應緩地丁
銀一萬二千九百六十九兩零漕米六千三百二
十一石零同安義縣寄莊坐落建昌縣之歸義新
城甘泉受安永豐甯遠豐安德政市鎮鈞臺等鄉
各圖甲內各別田地六十一頃四十八畝零應緩
地丁銀二百九十一兩零漕米一百二十九石零
德化縣之封一鄉南池寨橫港寨高埠寨封二鄉
小池寨孝冢口寨套口寨桑落鄉帶家港詹家港
赤松鄉團白洲港口城子鎮三班仙居鄉城門湖
青塘鋪楚城鄉堤心堰蔡家堰甘泉鄉藍橋坂張
家山白鶴鄉洞中寨陶埤寨德化鄉潭家坂東城

坂等處各則民田三百二十九頃四十一畝應緩
地丁銀二千十三兩零並南衛坐落封廊鄉楊泗
寨新河桑落鄉程家營桂家嘴白鶴鄉爐冲路西
仙居鄉義門王家洲楚城鄉左泗上寨甘泉鄉百
戶團山及九衛坐落封廊鄉楊泗寨沙池寨桑落
鄉羅家港李家營赤松鄉八五團白洲城子鎮三
班白鶴鄉土局寨太平寨甘泉鄉分水嶺黃老門
楚城鄉排山壠沈家港荆林街德化鄉湖灣桂家
壠等處屯田三百二十頃九十八畝應緩屯糧丁
銀七十二兩零存留屯糧銀四百四十八兩零漕
運七糧銀一千九百七十二兩零餘租銀四千九
十三兩零同坐落桑落鄉楊家洲柳蔡洲桂家營
封一鄉河池寨蔣家營封二鄉北關寨套口寨赤
松鄉團洲港口等處稀密蘆洲共三百四十一頃
四十二畝應緩十二年歷徵十一年蘆課銀五百
八十三兩零德安縣之附城在市墩下河東黃灣
固村陳灣金雞烏石后田神威墩上等堡各則民
田二百七十四頃十七畝零應緩地丁銀二千一
百四兩零並南九二衛坐落陳灣金鷄附城河東

河西后田烏石在市等堡屯田一百四十頃十二畝應緩屯丁銀一百四十七兩零存留屯糧銀一百六十九兩零漕運屯糧銀一千一百二十三兩零湖口縣之上鄉十四五都九甲十六都六甲十七都楊家壩中鄉一坊二坊八都三甲十三都六八甲下鄉四六都一甲等處各則田三百四十九頃四十四畝零緩徵十分之五地丁銀一千一百八十七兩零同下鄉四六都及編入德化縣之仁賞鄉宿松縣之孟家洲等處屯田四十二頃三十八畝零緩徵十分之四漕運屯糧銀一百三十九兩零餘租銀三百四十二兩零九江府同知所轄南衛桑落鄉之大灣三伯桑盛新生永興等洲九衛桑落鄉之翁家羅葛東瓜等洲羅家渡新生併羅家洲毛溪埭譚家營韋家營李家營詹家營汪家汊洋灣永興新生等洲赤松鄉之項家牛皮洲小江埭田家林小江埭李梓洲南衛封一鄉封廓洲九衛封二鄉封廓洲等處應緩十二年壓徵十一年蓋課銀四百七十二兩零均著緩至光緒十三年秋後分作兩年帶徵湖口縣之梅家大灣牛

湖興福永和謝張秦張等洲洲地三百九十四頃五十二畝零應徵十二年壓徵十一年蓋課著緩十分之四銀二百十六兩零著緩至光緒十三年秋後分作三年帶徵南昌縣光緒六七八九十年原緩本年地丁漕米新建縣光緒六七八九十年原緩各本年地丁漕米清江縣光緒十一年併新塗新喻二縣光緒十一年原緩各本年地丁漕米峽江縣光緒七八九十年原緩各本年地丁漕米廬陵縣光緒七年原緩本年地丁漕米存留屯糧漕運屯糧餘租十一年原緩本年地丁漕米吉水縣光緒七年原緩本年地丁漕米永豐縣光緒九年原緩本年地丁漕米泰和縣光緒六七年原緩各本年地丁漕米東鄉縣光緒八九年原緩各本年地丁漕米鄱陽縣光緒十一年原緩本年地丁漕米屯糧丁存留屯糧漕運屯糧餘租餘千縣光緒八十十一年原緩各本年地丁漕米樂平縣光緒六七十年原緩各本年漕米均除完納外其餘未完同原緩各本年地丁併八年原緩本年地丁漕米浮梁縣光緒十年原緩本年地

丁漕未德興縣八年原緩本年地丁漕米萬年縣
光緒八十一年原緩各本年地丁漕米屋子縣
光緒七八十一年原緩各本年地丁七糧丁餘
租都昌縣光緒八年十一年原緩各本年地丁漕
米德化縣光緒八九十一年原緩各本年地丁七
糧丁存留七糧漕運七糧餘租壓徵七八九十年
蘆課瑞昌縣光緒八年原緩本年地丁漕運七糧
餘租十一年原緩本年地丁除完納外其餘未完
同原緩本年漕運七糧餘租湖口縣光緒六七八
九十一年原緩各本年地丁均除完納外其餘未
完同原緩各本年漕運七糧餘租彭澤縣光緒六
年原緩本年二限一半地丁七糧丁存留七糧漕
運七糧餘租八年十一年原緩各本年地丁七糧
丁存留七糧漕運七糧餘租壓徵五七十年蘆課
均著遞緩至光緒三十四兩年秋後帶徵進賢縣
光緒十一年原緩本年地丁漕米蓮花廳光緒六
七八九十一年原緩各本年地丁漕米漕運七
糧餘租安福縣光緒十一年原緩本年地丁漕米
漕運七糧餘租餘干縣光緒七年原緩本年地丁

漕米建昌縣光緒十一年原緩本年地丁漕米并
安義縣寄莊建昌縣光緒十一年原緩本年地丁
漕米德化縣光緒七年原緩本年地丁七糧丁存
留七糧漕運七糧餘租壓徵六年蘆課德安縣光緒
十一年原緩本年地丁七糧丁存留七糧漕運七
糧九江府同知所轄蘆洲光緒十一年原緩本年
壓徵十年蘆課均著遞緩至光緒十四十五年
秋後帶徵進賢縣光緒十年原緩本年地丁漕米
清江縣光緒九年原緩本年地丁漕米新淦縣光緒
九年原緩本年地丁漕米新喻縣光緒十年原緩
本年地丁漕米安福縣光緒十年原緩本年地丁
漕米漕運七糧餘租都陽縣光緒十年原緩本年
地丁漕米存留七糧漕運七糧餘租餘干縣光緒
六年原緩本年地丁漕米浮梁縣光緒八年原緩
本年地丁漕米運昌縣光緒十年原緩本年地丁
漕米并安義縣寄莊建昌縣光緒十年原緩本年地
丁漕米德化縣光緒六年原緩本年地丁七糧丁
存留七糧漕運七糧餘租壓徵五年蘆課德安縣
光緒十年原緩本年地丁七糧丁存留七糧漕運

屯種九江府同知所轄之蘆洲光緒十年原緩本年
原緩九年均著遞緩至光緒十五十六兩年秋
後帶徵進賢縣光緒九年原緩本年地丁漕米安
福縣光緒九年原緩本年地丁漕米漕運屯糧餘
租建昌縣光緒九年原緩本年地丁漕米并安義
縣寄莊建昌縣光緒九年原緩本年地丁漕米德
安縣光緒九年原緩本年地丁屯種丁存留屯糧
漕運屯種九江府同知所轄蘆洲光緒九年原緩
本年原緩八年蘆課均著遞緩至光緒十六十七
兩年秋後帶徵進賢縣光緒八年原緩本年地丁
漕米新淦縣光緒八年原緩本年地丁漕米新喻
縣光緒九年原緩本年地丁漕米安福縣光緒八
年原緩本年地丁漕米漕運屯糧餘租鄱陽縣光緒
九年原緩本年地丁漕米屯糧丁存留屯糧漕運
屯糧餘租建昌縣光緒八年原緩本年地丁漕米并安
義縣寄莊建昌縣光緒八年原緩本年地丁漕米
德安縣光緒八年原緩本年地丁屯種丁存留屯
糧漕運屯種九江府同知所轄蘆洲光緒八年原
緩本年原緩七年蘆課均著遞緩至光緒十七十

八兩年秋後帶徵進賢縣光緒七年原緩本年地
丁漕米安福縣光緒七年原緩本年地丁漕米漕
運屯糧餘租建昌縣光緒七年原緩本年地丁漕
米并安義縣寄莊建昌縣光緒七年原緩本年地
丁漕米德安縣光緒七年原緩本年地丁屯種丁
存留屯糧漕運屯種九江府同知所轄蘆洲光緒
七年原緩本年原緩六年蘆課均著遞緩至光緒
十八十九兩年秋後帶徵進賢縣光緒六年原緩
本年地丁漕米新淦縣光緒七年原緩本年地丁
漕米新喻縣光緒八年原緩本年地丁漕米安福
縣光緒六年原緩本年地丁漕米漕運屯糧餘租
鄱陽縣光緒八年原緩本年地丁漕米屯糧丁存
留屯糧漕運屯糧餘租建昌縣光緒六年原緩本
年地丁漕米并安義縣寄莊建昌縣光緒六年原
緩本年地丁漕米德安縣光緒六年原緩本年地
丁屯種丁存留屯糧漕運屯種九江府同知所轄
蘆洲光緒六年原緩本年原緩五年蘆課均著遞
緩至光緒十九二十年秋後帶徵新淦縣光緒
六年原緩本年地丁漕米新喻縣光緒七年原緩

本年地丁漕米均著遞緩至光緒二十一二十二
兩年秋後帶徵新喻縣光緒六年原緩本年地丁
漕米著遞緩至光緒二十三二十四兩年秋後帶
徵永新縣光緒六七八九十一年原緩各本年
地丁漕米糧丁存留屯糧漕運屯糧餘租興國縣
光緒七年原緩本年地丁均著遞緩至光緒十三年
秋後一併帶徵湖口縣光緒六七八九十一年
原緩各本年原壓徵五六七八十年蘆課著遞緩至
光緒十三十四十五三年秋後帶徵以紓民力餘
著照所議辦理該撫即刊刻謄黃徧行曉諭務使
實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該
部知道欽此

91 光緒十三年二月初一日內閣奉

上諭廣西慶遠府知府負缺著志潤補授欽此

92 光緒十三年二月初一日內閣奉

上諭廣西慶遠府知府負缺著

補授欽此

見前帶上
帶下歸籍

93 查廣西慶遠府知府係繁難要缺謹
奏

94 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單共十七件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月初一日奉

旨依議欽此

95 軍機大臣 字寄

戶部

盛京將軍兼管奉天府尹慶

盛京戶部侍郎啟

光緒十三年二月初二日奉

上諭前據啟秀奏由奉天備放春餉項內籌撥黑龍

江接濟銀二萬七千五百五十六兩零遵照部議

即由山海關六成洋稅項下照數提還茲據慶裕

奏六成洋稅係屬奉軍專餉上年部議按年攤還

洋款銀一萬五千兩餉項已形短絀若再提撥銀

二萬餘兩更屬不敷支放請飭部另行改撥等語

此項指撥奉天整發黑龍江接濟銀兩必須籌撥

有著的款如數歸還既據慶裕奏稱六成洋稅無

可提撥應如何另行改撥之處著戶部速議具奏

慶裕啟秀近在同城於此項撥款何以並未會商

以致兩奏歧異著據實覆奏慶裕片著鈔給戶部

閱看將此諭知戶部並諭令慶裕啟秀知之欽此遵

旨寄信前來

96 光緒十三年二月初二日內閣奉

上諭陝西固原提督雷正綰前在奉天營口防所修

建營盤借用奉省練餉銀一萬二千七百餘兩現

據慶裕奏稱雷正綰已如數備齊咨請免收等語

該提督統軍久戍顯著勤勞此項銀兩著加恩賞

給該軍毋庸歸還以示體恤欽此

97 光緒十三年二月初二日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨皇帝親詣

莊順皇貴妃園寢行一跪三拜禮奠酒三爵欽此

禮部摺

98 光緒十三年二月初二日奉

旨依議欽此

內務府摺

99 蒙

發下摺報 臣等公同商閱應請

批示清漢摺片單共二十七件分別繕擬批條呈進

恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片共十二件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月初二日奉

旨依議欽此

100 曾國荃等摺一件總理各國事務衙門摺片單

十二件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

二月初二日

101 軍機大臣 字寄

署黑龍江將軍恭 光緒十三年二月初三日奉

上諭恭鑒奏請飭調奉天防軍捕拏馬賊等語黑龍

江額設營兵暨駐防練軍捕盜是其專責該將軍

果能督飭將弁實力搜捕何至馬賊結夥肆行且

據奏該匪僅止十餘人竟至傷斃兵役並未拏獲

一犯尚復成何事體儻因將弁不能得力輒即請

調鄰省防營試問本地官兵所司何事該將軍所

請調撥奉天馬隊之處著不准行仍著嚴督該省

官兵速將此次盜匪悉數捕獲並將現有練軍認

真整頓務期兵歸實用以靖地方毋得因循諉卸

致干咎戾將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

102 光緒十三年二月初三日內閣奉

上諭慶裕等奏神靈顯應請頒匾額並加封號一摺

奉天懷仁縣

關帝

城隍神

起綏爽靖侃衝匡卓強勁禦誠傑豪捷力雄奮揚綽

105 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示清漢摺片單共十八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單九件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月初三日奉

旨依議欽此

106 光緒十三年二月初四日內閣奉

上諭本日召見之奉恩鎮國公桂豐於朕詢問之語

全無奏對任意妄言支離可詫且進退之際失儀

甚多著交宗人府議處欽此

107 光緒十三年二月初四日奉
旨依議欽此

刑部摺

108 蒙

發下摺件臣等公同商閱應請
批示漢字摺片單共十一件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月初四日奉

旨依議欽此

109 光緒十三年二月初五日奉
旨依議欽此

工部摺

110 光緒十三年二月初五日奉

旨知道了欽此

五城御史摺

111 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示清漢字摺共二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單共三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月初五日奉
旨依議欽此

112 錫綸摺單二件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

二月初五日

113 光緒十三年二月初六日內閣奉

上諭榮毓等奏

慕陵應修工程重要請派大臣查勘並擬先行修整請

飭擇吉開工各摺片

慕陵寶城寶頂均有應修要工著派清安迅速前往敬

謹勘估奏明辦理並著欽天監於二月十五日以

前選擇開工吉期行知該衙門遵照將應行修砌

抹飾各工趕辦整齊另片奏石水溝暫行平整一

節著照所請行該部知道欽此

114 光緒十三年二月初六日內閣奉

上諭榮毓等奏接案借撥銀兩以濟要需一摺本年

三月祇謂

西陵該衙門豫備一切需款甚殷據奏安州等州縣欠

解租銀尚多著李鴻章於藩庫內無論何款先行

借撥銀三千兩即著榮毓等派員支領應用該部

知道欽此

115 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單共二十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月初六日奉

旨依議欽此

116 譚碧理摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

二月初六日

117 軍機大臣 字寄

河東河道總督成 山東巡撫張 光緒十三

年二月初七日奉

上諭成孚奏請撥款興修運河各工並添撥歲修銀
兩各摺片據稱運河隄閘各工現多殘圯河道節
節淤淺此次新漕加增尤須擇要修理請撥銀六
萬兩並添撥魚臺汎歲修銀三千兩均於二月內
解到等語本年江蘇加運米石運河各工必應及

早修築以利漕行著張曜迅即飭司照數撥解俾
資應用成孚當督飭工員覈實估修認真辦理務
期漕船經過處所一律深通不准稍有虛糜原摺
片著鈔給張曜閱看將此由五百里各諭令知之

欽此遵

旨寄信前來

鈔交戶部

118 光緒十三年二月初七日內閣奉

上諭烏拉布現在穿孝工部左侍郎著敬信兼署欽此

119 應兼署滿洲侍郎名單

吏部左侍郎松澂

右侍郎景善

戶部左侍郎嵩申

右侍郎熙敬

禮部左侍郎敬信

右侍郎英煦

兵部左侍郎耀年

右侍郎師曾

刑部左侍郎桂全

右侍郎貴恆 現出學差

工部右侍郎清安

理藩院左侍郎崇禮

右侍郎綿宜

應署滿洲侍郎名單

內閣學士慶福

恩崇

文興

續昌

現署刑部右侍郎

寶昌

豐烈

都察院左副都御史奕年

志元

通政使司通政使奕杖

大理寺卿明桂

詹事府詹事文治 現在請假

121 蒙

發下摺件臣等公同商閱應請

批示清漢摺片單共十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月初七日奉

旨依議欽此

122 希元片一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

二月初七日

123 光緒十三年二月初八日內閣奉

上諭戶部左侍郎孫詒經著毋庸在毓慶宮行走欽此

124 光緒十三年二月初八日內閣奉

上諭吏部奏遵議處分一摺戶部左侍郎孫詒經應
得罰俸一年處分著不准抵銷欽此

125 蒙

發下摺件臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單共二十六件分別繕擬批條呈進

恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月初八日奉

旨依議欽此

126 李鴻章摺一件李鴻章張曜摺一件陳彝片一

件張春發摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

二月初八日

127 滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

道銜禮部即補郎中玉恆

侍讀銜刑部即補主事桂春

四品銜吏部即補郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾賚額

內閣即補侍讀志樸

漢頭班章京

太僕寺卿馮光勳

刑部員外郎吳引孫

兵部即補郎中沈恩嘉

戶部主事顧璜

吏部主事王傲

內閣中書陳邦瑞

四品銜兵部主事胡寶鐸

刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳域

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

宗察一等 記名以道府用四品銜兵部郎中整岫

理藩院員外郎奎華

戶部即補主事孚琦

侍讀銜戶部主事延祉

四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

四品銜光祿寺少卿錢應溥

四品銜工部員外郎祝維城

刑部員外郎孟繼璵

吏部員外郎兼襲騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜刑部候補郎中謝元麒

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳蒂棠

刑部候補主事馮錫仁

128 軍機大臣 字寄

欽差大臣辦理東三省練兵事宜福州將軍穆

盛京將軍兼管奉天府府尹慶 吉林將軍布

光緒十三年二月初九日奉

上諭現因東三省新添練軍足資鎮懾已飭將雷正
綰所部裁撤回甘惟彈春為邊防重地綏芬河土
門江濱海之區尤關緊要應否擇得力練軍作為
遊擊偏師扼要分駐隨時巡察其鳳凰邊門一帶
雷正綰舊駐之地應否仍撥兵練填紮之處著穆
圖善慶裕希元會商妥籌奏明辦理將此由四百
里各諭令知之欽此遵
旨寄信前來

129 光緒十三年二月初九日內閣奉

上諭宗人府奏遵議處分一摺奉恩鎮國公桂豐著
照所議罰俸六箇月不准抵銷並著開去值班差
使欽此

130 光緒十三年二月初九日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨連順著仍以副
都統交軍機處遇有缺出儘先開列欽此

神機營摺

131 光緒十三年二月初九日醇親王面奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨著派醇親王奕
譔御前大臣軍機大臣管理奉宸苑大臣將三海各
門及圍牆外面一切守衛並王大臣官員等出入各
門章程會同妥議具奏欽此

132 交待衛處

奉宸苑本日醇親王面奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨著派醇親王
奕譔御前大臣軍機大臣管理奉宸苑大臣將
三海各門及圍牆外一切守衛並王大臣官員等
出入各門章程會同妥議具奏欽此相應傳知
貴衙門欽遵可也此交

二月初九日

133 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單共二十一件分別繕擬批條呈進

恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨清漢摺片單共九件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月初九日奉

旨依議欽此

134 錫綸摺片單三件恭擬批條呈進伏候

硃批

發下欽遵辦理謹

奏

二月初九日

135

戶部摺一件慶裕摺一件方友升摺一件遵擬

批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

二月初九日

136 軍機大臣 字寄

陝甘總督譚 光緒十三年二月初十日奉

上諭譚鍾麟奏遣撤雷正縮所部勇丁酌擬辦法一

摺雷正縮一軍前已有旨令該提督查明各勇丁

籍隸省分就近分別遣散與該督所擬辦法相同

應給餉項已令慶裕墊發至四月底止由部歸還並

將應扣借款銀一萬二千七百餘兩賞給該軍以

示體恤至將來該軍月餉著俟到甘裁汰歸併後

由譚鍾麟查明實在存營勇數詳晰具奏候旨遵

行將此由四百里諭令知之欽此遵

旨寄信前來

三月初五日鈔交戶部

137 光緒十三年二月初十日奉

旨依議欽此

宗人府摺

138 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺單共六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月初十日奉

旨依議欽此

139 光緒十三年二月十一日奉

旨連美著賞給捷勇巴圖魯名號餘依議單二件併

發欽此

兵部摺

140 擬

賞補用遊擊連美勇號

硃
○ 捷

豪

起

141 蒙

發下摺件臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單共十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單三件擬於

召見時請

旨是否當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月十一日奉

旨依議欽此

142 光緒十三年二月十二日內閣奉

上諭本年三月二十三日朕親詣

先農壇行禮禮成後接行耕藉禮所有應行典禮著

各該衙門敬謹豫備欽此

143 光緒十三年二月十二日奉

旨著毋庸迴避欽此

宗人府摺

144 光緒十三年二月十二日內閣奉

上諭劉秉璋奏請調狼山鎮總兵楊岐珍赴川差委

等語楊岐珍前經該督奏調留浙現復請調赴川

雖據稱為營務擇人起見惟楊岐珍係實缺人負

現經留辦台防四川又無軍務所請調赴川省差

委之處著不准行實缺提鎮係武職大員體制較

崇各有整飭戎行鎮撫地方之責乃近來狃於積

習各督撫因其曾膺保薦往往奏調差委視同部曲

而該提鎮亦遂甘聽指麾僅顧私恩罔知大體既

失朝廷建立專閫之意又開夤緣依附之門此風

斷不可長嗣後各督撫於實缺提鎮概不准率行

奏調以符定制而肅官方將此通諭知之欽此

145 光緒十三年二月十二日內閣奉

上諭劉秉璋奏參劾牧令各員一摺四川茂州直隸

州知州寶麟才欠開展新都縣知縣范文彬性近

因循灌縣知縣陸惠疇身弱才庸大邑縣知縣洪

祖年治事迂緩大足縣知縣周光耀體虛多病定

遠縣知縣沈溫榮性情遲鈍隆昌縣知縣茅晟熙

身體軟弱均著開缺另補樂至縣知縣鄭廷卿庸

懦無能墊江縣知縣蕭銘壽心地糊塗大竹縣知

縣屈秋泰年力就衰均著開缺以教職歸部銓選

酉陽直隸州知州杜瑞徵才具平庸清溪縣知縣

唐奕銘精力衰頹蒼溪縣知縣李樹棠七旬老邁
高縣知縣黃錦生辦事疲頓均著以原品休致石
泉縣知縣葛起鵬油滑取巧著即革職以儆官邪
餘著照所議辦理該部知道欽此

146 蒙

發下摺件臣等公同商閱應請

批示漢字摺片共四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨清漢摺片共六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月十二日奉

旨依議欽此

147 慶裕清漢摺一什遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

二月十二日

148 光緒十三年二月十三日內閣奉

上諭崑岡等奏丁憂工部左侍郎烏拉布之繼祖母

岳諾特氏幼明大義孝以事親于歸後因夫病割

臂和藥願以身代夫殮無嗣繼該侍郎為後躬親

督課備極劬勞計苦節五十年現在該氏身故按

案懇請旌表等語岳諾特氏著准其旌表該部知

道欽此

149 光緒十三年二月十三日奉

旨依議欽此

工部摺

150 蒙

發下摺報 臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單共十九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定後

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月十三日奉

旨依議欽此

151 光緒十三年二月十四日內閣奉

上諭本日引見之附生沈瑤慶著以主事用欽此

152 光緒十三年二月十四日內閣奉

上諭向來漢軍人負引見應口奏清語履歷乃本日

兵部引見之千總徐元璞范一倫履歷竟奏漢語
殊屬非是漢軍世隸旗籍國語理宜熟諳嗣後引
見人負務當遵照向例口奏清語履歷毋得再有
違誤致干重處欽此

153 光緒十三年二月十四日內閣奉

上諭兵部奏聲明承辦軍報司負勞績懇准仍照成
案獎勵一摺兵部捷報處接發軍報日夜從公責
任綦重處分亦嚴與各部院辦理尋常事務不同
該司負等勤慎當差尚無貽誤著仍照該部前奏
所請給予獎叙嗣後仍准三年酌保一次他處不
得援以為例該部知道欽此

154 光緒十三年二月十四日內閣奉

上諭劉銘傳奏神靈顯應懇頒匾額一摺福建嘉義縣

城隍廟

龍神廟及笨港

天后宮均著靈應上年該縣地方自春徂夏雨澤
愆期田禾枯槁經該官紳詣廟虔禱甘露立沛歲

獲有秋寶深寅感著南書房翰林恭書扁額各一方交劉銘傳祇領飭屬分詣懸挂以答神麻欽此

155 光緒十三年二月十四日內閣奉

上諭劉銘傳奏甄劾文武各員等語總兵吳忠勝逗遛新竹招搖滋事守備侯作美壟斷煤務訛詐地方福建候補縣丞凌雲品行卑汙遇事招搖已保江蘇候補知縣劉廷輝藉差需索舉止輕浮福建候補縣丞楊天焯辦理鹽務聲名狼藉均著即行革職已保福建候補知縣李烜始勤終懈清丈不力著撤銷知縣保案以肅官方該部知道欽此

156 光緒十三年二月十四日奉

旨嗣後恭謁

慕陵之日軍機大臣著隨入

陵寢門欽此

157 交禮部本日軍機大臣面奉

諭旨嗣後恭謁

慕陵之日軍機大臣著隨入

陵寢門欽此相應傳知

貴部欽遵可也此交

二月十四日

158 交鑲藍旗滿洲本日引

見黑龍江驍騎校一缺擬陪之領催額爾格布奉旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

二月十四日

159 向來各處駐防官缺擬定正陪引

見補用一人其餘騰一人

記名本日鑲藍旗滿洲引

見黑龍江驍騎校一缺單內未經聲請

記名現已

簡放擬正之多昌其餘騰擬陪之額爾格布可否

記名之處恭候

欽定俟

發下後交該衙門遵照辦理謹

奏

光緒十三年二月十四日奉

旨依議欽此

160 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片共三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片九件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月十四日奉

旨依議欽此

161 劉銘傳摺片五件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

二月十四日

162 六品廕生譚明德

硃。旨著以通判用

163 六品廕生譚明德

旨著以主事用

164 沈璋慶附貢生

光緒五年奉

旨賞給舉人准其一體會試

沈瑩慶附生

沈瑜慶附生

光緒五年奉

旨均著以主事用

沈璘慶 監生

沈璿慶 監生

光緒九年奉

旨均著以光祿寺署正用

165 蒙

發下摺件 臣 等公同商閱應請

批示漢字摺片共十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年二月十五日奉

旨依議欽此

166 蒙

發下摺件 臣 等公同商閱應請

批示漢字摺片共七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月十六日奉

旨依議欽此

欽定候

167 剛毅摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

二月十六日

查滿漢軍機章京常川輪值差使繁重用項較多疊蒙

恩賞銀兩每年在內務府戶部等處分別給領以為辦公之需惟內有戶部銀庫養廉項下撥出一款從前每年領銀二千兩自咸豐四年以後改為半銀半鈔現在鈔票早已停放每年仍祇領銀一千兩常年用項已形支絀遇有別項差使更覺不敷上年隨扈

東陵往返費用均由該章京等設法墊付本年應隨扈西陵一切應用之項據該章京等面稟再三籌畫並無餘款可支合無仰懇

天恩俯准將戶部銀庫養廉項下改發半銀半鈔一款仍領實銀二千兩俾資應用出自逾格

恩施謹
奏

光緒十三年二月十六日奉

旨依議欽此

169 光緒十三年二月十七日內閣奉

上諭肅親王隆勳奏因病請開緊要差使一摺隆勳著加恩開去一切差使仍留鑲藍旗漢軍都統以示體恤欽此

170 光緒十三年二月十七日奉

旨知道了欽此

柳察院摺

171 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單共十八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月十七日奉

旨依議欽此

172 成孚等摺一件遵批批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

二月十七日

173 光緒十三年二月十八日內閣奉

上諭德馨奏額懇陛見一摺德馨著來京陛見江西

巡撫著李嘉樂暫行護理欽此

174 光緒十三年二月十八日內閣奉

上諭色楞額奏揀負請補戴珠一摺後戴珠負缺

著擬正之對堆奪吉補授該衙門知道單併發欽此

175 光緒十三年二月十八日內閣奉

上諭惠銘奏擊獲逞兇人犯請交部審訊一摺本月

十七日有人肩挑什物在東華門外欲行混入值

班官兵等向前攔阻該犯竟敢持刀將護軍希林

泰砍傷擊獲後經惠銘派員訊問詰以姓名豎不

供吐實屬兇狡已極著交刑部嚴行審訊務得確

情按律懲辦欽此

176 蒙

發下摺報 臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單共二十四件分別繕擬批條呈進

恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月十八日奉

旨依議欽此

177 光緒十三年二月十九日內閣奉

上諭有人奏各省保甲廢弛請飭整頓等語保甲為
弭盜良法果能切實編查則莠民無藏身之所地
方自臻安謐近來各直省游勇梟匪滋事之案甚
多即使拏獲屢懲良民已先受其害非籌正本清
源之策不足以靖萑苻而安閭里著各直省督撫
嚴飭所屬將保甲事宜認真辦理立法固期盡善
尤在實力奉行務令各州縣隨時親查絕不做手
吏役庶有稽查之實而無滋擾之弊地方官以此
辦民之良莠各上司即以此課吏之勤惰上下實
心期收實效不得僅以造冊申報敷衍塞責用副
朝廷戡暴安良實事求是之意將此通諭知之欽此

178 光緒十三年二月十九日內閣奉

上諭本年輪應查閱直隸山西陝西四川甘肅五省

營伍之期直隸即派李鴻章山西即派剛毅陝西

即派葉伯英四川即派劉秉璋甘肅即派譚鍾麟

逐一查閱認真簡校如有訓練不精軍實不齊者

即將廢弛之將弁據實參奏毋得視為具文欽此

179 楊昌濬片一件張曜片一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

二月十九日

180 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單共三十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月十九日奉

旨依議欽此

181 蒙

發下李秉衡等漢字摺片共六件分別繕擬批條呈

進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年二月二十日奉

旨依議欽此

182 光緒十三年二月二十一日奉

旨著畢道遠嵩申迅往查勘餘依議欽此

工部摺

183 光緒十三年二月二十一日奉

旨知道了欽此

內務府摺

184 光緒十三年二月二十一日奉

旨三月初一日朕恭謁

奉先殿前殿致祭行禮服色用龍袍龍褂欽此

內務府片

185 蒙

發下摺報 臣等公同商閱應請

批示清漢摺片單共十六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月二十一日奉
旨依議欽此

186 光緒十三年二月二十二日奉
旨江南織造仍著廣英接管欽此

187 光緒十三年二月二十二日欽奉
慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨依議欽此

海軍衙門摺

188 光緒十三年二月二十二日欽奉
慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨增潤著賞加二
品銜並賞戴花翎該衙門知道欽此

海軍衙門片

189 光緒十三年二月二十二日欽奉
慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨劉篤康著仍以
知府歸部即選欽此

海軍衙門片

190 光緒十三年二月二十二日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨馬永修著開復
原官仍歸原省補用該部知道欽此

海軍衙門片

191 光緒十三年二月二十二日奉
旨著照所請該部知道欽此

長順摺

192 光緒十三年二月二十二日奉
旨該部議奏欽此

長順片

193 光緒十三年二月二十二日奉
旨該部議奏欽此

長順片

194 蒙
發下摺件臣等公同商閱應請

批示清漢摺共三件分別結擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理海軍衙門摺片四件擬於

召見時恭請

懿旨內務府暨張順摺片四件請

旨遵辦是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月二十二日奉

旨依議欽此

195 光緒十三年二月二十三日內閣奉

上諭朕於三月初七日啟鑿後著派惇親王大學士

恩承問敬銘協辦大學士尚書福錕留京辦事惇

親王恩承問敬銘三人分日輪班在內值宿不值

宿者於申刻散值福錕每日進內辦事後毋庸值

宿午刻先行散值欽此

196 光緒十三年二月二十三日內閣奉

上諭唐炯著賞給巡撫銜督辦雲南礦務准其專摺

奏事所有各省應解銅本銀兩均著解交唐炯應

用該部知道欽此

197 光緒十三年二月二十三日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨所有禮節祭品

應如何比照

園寢定制酌量加崇之處著禮部妥議具奏欽此

禮部摺

198 交鑲黃旗滿洲本日引

見綏遠城防禦一缺擬陪之驍騎校吉瑞奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

二月二十三日

199 蒙

發下摺件臣等公同商閱應請

批示清漢摺片單共十六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月二十三日奉

旨依議欽此

200 慶裕等摺三件總理各國事務衙門摺片單十

件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

二月二十三日

201 光緒九年考試部屬保送御史論題策題

九族既睦平章百姓論

庶績咸熙策

光緒十年考試翰林院保送御史論題策題

立政任人論

春秋教以禮樂策

光緒十二年考試部屬保送御史論題策題

濫濫其道論

制國用策

202 軍機大臣 字寄

閩浙總督兼署福建巡撫楊 光緒十三年二

月二十四日奉

上諭有人奏閩省園法紊亂匪徒糾搶請飭嚴辦一摺據稱該省正月間有匪徒因各錢鋪滾支將店屋搶毀地方官不能立時彈壓甚至聚眾明火圍劫典鋪民間罷市官避處分請搶為竊設法消弭等語奸商壟斷牟利匪徒藉端搶劫紊亂錢法擾害閭閻均屬大干法紀亟應嚴拏懲辦至地方官

藉徵解錢糧營私肥己尤應據實嚴奏著楊昌濬
秉公澈究務獲真犯按律嚴懲並將不肖州縣隨
時參撤以儆貪墨而靖地方至原奏內稱民間行
用票不如錢請飭閩局迅行鼓鑄永禁出票一
節並著該督察度情形妥籌辦理勿得操之過急
致滋事端原摺著鈔給閱看將此由四百里諭令
知之欽此遵

旨寄信前來

203 光緒十三年二月二十四日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨禮親王世鐸奏
請開去軍機大臣要差以符定制一摺覽奏具見惻
忱皇帝甫親政前允王大臣等所請訓政數年正
期左右諸臣盡心匡濟該親王自入直以來夙夜在
公深資倚任尤當體念時艱力圖報稱所請開去要
差之處著俟數年後全復舊制再降諭旨欽此

204 光緒十三年二月二十四日內閣奉

上諭福建臺灣布政使著邵友濂補授即赴新任毋
庸來京請訓欽此

205

直隸布政使松椿

滿洲鎮蓋縣人
光緒十一年九月補湖南藩司嗣調直隸

江蘇布政使易佩紳

湖南寧鄉人
光緒八年十月補山西藩司嗣調四川又調江蘇

江甯布政使許振禕

江甯進士
光緒十二年六月補

安徽布政使阿克達春

滿洲正白旗生員
光緒十二年八月補

山東布政使崇保

滿洲鎮黃旗進士
同治八年四月補甘肅藩司嗣調山東

山西布政使張煦

甘肅進士
光緒十一年三月補廣東藩司嗣調山西

河南布政使劉瑞祺

江西進士
光緒十二年七月補

署陝西布政使李用清

山西進士
光緒十二年七月著

甘肅布政使譚維洵

湖南進士
光緒十年十月補

甘肅新疆布政使魏光燾

湖南人
光緒九年三月補甘肅藩司嗣調新疆

浙江布政使許應鏞

廣東進士
光緒十年十月補

福建布政使張夢元

真隸舉人
光緒九年九月補廣西藩司嗣調福建

江西布政使李嘉樂

河南進士
光緒十三年五月補

湖北布政使蒯德標

安徽進士
光緒九年正月補

湖南布政使孫翼謀

福建進士
光緒十二年五月補

廣東布政使高崇基

真隸進士
光緒十一年二月補山西藩司嗣調廣東

廣西布政使李秉衡

奉天監生
光緒十年六月補

四川布政使崧蕃

滿洲正藍旗舉人
光緒十二年九月補

雲南布政使于蔭霖

奉天進士
光緒十二年九月補

貴州布政使曾紀鳳

湖南進士
光緒十一年六月補

直隸按察使陶樸 浙江進士 光緒十一年九月補

江蘇按察使張富年 浙江附貢生 光緒十二年五月補

安徽按察使張岳年 浙江舉人 光緒十二年八月補

山東按察使福潤 蒙古正紅旗附生 光緒十二年八月補湖北臬司副調山東

山西按察使葛崑 滿洲正紅旗監生 光緒十一年二月補

河南按察使邵友濂 浙江舉人 光緒十二年六月補

陝西按察使黃彭年 貴州進士 光緒九年正月補湖北臬司副調陝西

甘肅按察使方汝翼 直隸舉人 光緒十二年五月補

浙江按察使蕭韶 湖南舉人 光緒十二年七月補

福建按察使裴蔭森 江蘇進士 光緒九年二月補

江西按察使瑞璋 滿洲正紅旗人 光緒十一年十月補

湖北按察使成允 正紅旗監生 光緒十二年二月補山東臬司副調湖北

湖南按察使豫山 滿洲正黃旗監生 光緒十二年九月補

廣東按察使王毓藻 湖北進士 光緒十二年九月補

廣西按察使張聯桂 江蘇附貢 光緒十二年正月補

四川按察使游智開 湖南舉人 光緒十一年三月補

雲南按察使史念祖 江蘇監生 光緒十年八月補

貴州按察使李元度 湖南舉人 光緒十一年六月補

207 光緒十三年二月二十四日內閣奉

上諭譚鍾麟奏目疾未痊懇恩開缺一摺譚鍾麟著

再賞假一箇月調理毋庸開缺欽此

208 交鑲白旗滿洲本日引

見綏遠城佐領一缺擬陪之防禦瑞壽奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

二月二十四日

209 丁憂回旗百日服滿前湖南寶慶府知府豫章

殊。旨回原衙門行走

210 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺共五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

殊批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月二十四日奉

旨依議欽此

211 查此次考試漢御史應請

簡派閱卷大臣除另有差使各員均不開列外臣等

謹將應行開列各員繕具名單恭候

欽派三四員於二十五日清晨

發下傳集各員聽候宣

旨謹

奏

212

。福銀

張之萬

徐桐

翁同龢

畢道遠

許庚身

崑岡

。潘祖蔭

奎澗

。祁世長

景善

徐郁

李鴻藻

嵩申

孫詒經

。童華

耀年

廖壽恆

孫家鼎

薛允升

孫毓汶

錢桂春

沈東成

白 桓

徐樹銘

黃體芳

文 治

李端茶

213 光緒十三年二月二十五日內閣奉

上諭雲南布政使著曾紀鳳調補李元度著補授貴州布政使均著即赴新任毋庸來京請訓欽此

214 直隸布政使松椿

江蘇布政使易佩紳

江甯布政使許振禛

安徽布政使阿克達春

山東布政使崇保

山西布政使張煦

河南布政使劉瑞祺

署陝西布政使李用清

甘肅布政使譚繼洵

甘肅新疆布政使魏光燾

浙江布政使許應鏞

福建布政使張夢元

福建臺灣布政使邵友濂

江西布政使李嘉樂

湖北布政使劉德標

湖南布政使孫翼謀

廣東布政使高崇基

廣西布政使李秉衡

四川布政使崧蕃

貴州布政使曾紀鳳

215 直隸按察使陶樸

江蘇按察使張富年

安徽按察使張岳年

山東按察使福潤

山西按察使嵩崑

陝西按察使黃彭年

甘肅按察使方汝翼 直隸舉人 光緒十二年五月補

浙江按察使蕭韶 湖南舉人 光緒十二年七月補

福建按察使裴蔭森 江蘇進士 光緒九年二月補

江西按察使瑞璋 滿洲正紅旗人 光緒十一年十月補

湖北按察使成允 正紅旗監生 光緒十二年二月補 山東舉人 湖南湖北

湖南按察使豫山 滿洲正黃旗監生 光緒十二年九月補

廣東按察使王毓藻 湖北進士 光緒十二年九月補

廣西按察使張聯桂 江蘇附貢 光緒十一年十月補

四川按察使游智開 湖南舉人 光緒十一年三月補

雲南按察使史念祖 江蘇監生 光緒十年八月補

○貴州按察使李元度 湖南舉人 光緒十一年六月補

216 光緒十三年二月二十五日內閣奉

上諭河南按察使著賈致恩補授欽此

217 光緒十三年二月二十五日內閣奉

上諭貴州按察使著馬玉瑤補授欽此

218 蒙

發下摺報 臣等公同商閱應請

批示清漢摺片單共二十七件分別繕擬批條呈進

恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

二月二十五日

219 本日軍機大臣面奉

諭旨戶部銀庫負外郎宗室祥霖著以五品京堂補

用中倉監督宗人府理事官宗室崇謙著以四五

品京堂補用欽此

二月二十五日

220 交吏部本日軍機大臣面奉

諭旨戶部銀庫負外郎宗室祥霖著以五品京堂補

用中倉監督宗人府理事官宗室崇謙著以四五

品京堂補用欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

二月二十五日

221 上年十二月

京察覆帶引

見奉

硃筆圈出之戶部銀庫負外郎宗室祥霖中倉監督

宗室崇謙_臣等因該二負均係宗室當經行查

吏部此項

圈出人負向來如何辦理詳查例案咨覆等因去後

旋據吏部覆稱祥霖崇謙均係遠支並先後將

例案開列兩單咨送前來茲謹照錄恭呈

御覽又_臣等查出嘉慶四年五月

諭旨一道一併恭錄呈

覽其祥霖崇謙如何

簡用之處伏候

欽定謹

奏

222 查本部定例內開宗室人負無論理事官郎中

副理事官負外郎遇有保列一等奉

硃筆圈出即由該堂官再行出具切實考語一體覆

帶引

見如蒙

恩記名即以道府恭候

簡用如未經

記名者遇覆帶時仍准保送引

見宗室科道人負一律辦理並咨查宗人府如係最

近支派於排單錄頭籤內照向例一等入負註

明內用等語

又查宗人府則例內載咸豐七年十二月由府

會議前經宗人府具奏請將宗室陞途推廣並

聲明分別支派遠近及如何錄用另行妥議等

因一摺於咸豐七年十一月初九日奏奉

硃批覽奏已悉仰思

皇祖

皇考聖訓自係彼時情形匪今可比况天潢繁衍若不酌與登塔何以觀其造就著依議辦理會同該部另行妥議章程具奏我宗室中才明識練者固不乏人而一二不肖者以身試法深為痛憾經朕如此加恩或周知悛悔必應從嚴懲辦勿妄希朕意為也欽此仰見我

皇上於體恤宗室之中仍寓慎重官方之意不惟八旗

宗室允宜感戴

皇仁懷遠

聖諭即_臣等亦莫不同深欽佩伏查宗人府前奏因八

旗宗室生齒日繁升途壅滯自係實在情形現

擬將宗室文職准用道府武職准用各省城守

尉必須分別支派遠近錄用之處體制攸關最

為緊要今_臣等公同核議擬請自

高宗純皇帝位下之宗室現在均為最近支派自未便

補用外任仍照舊例辦理以示區別其餘各旗

無分遠近支宗室支派較遠均請照_臣等現

擬章程同覺羅一體外用並請嗣後宗室文職

內有應送道府及武職內有應送各省城守尉

者均由該管官先行咨查宗人府核其支派實

係應送者方准保送以昭謹慎而免歧誤等因奉

硃批依議欽此

又查咸豐八年二月二十日內閣奉

上諭此次京察一等覆帶引見各員內宗室明益宗室

靈杰俱著交軍機處記名以道府用等因欽此

又查同治元年二月十三日內閣奉

上諭此次京察一等覆帶引見各員內宗室鍾岱桂全

均著以四五品京堂補用宗室英元著以五品京堂

補用等因欽此

又查同治三年二月十二日奉

旨此次京察一等覆帶引見各員內宗室載慶麟吉均

著以四五品京堂補用等因欽此

又查同治九年二月十二日奉

上諭此次京察一等覆帶引見各員內宗室歧元著以

四五品京堂補用宗室嵩溥豫璋著以五品京堂補

用等因欽此

223 光緒七年八月初四日補行履帶引

見之宗室奕秋奉

旨著以四五品京堂補用欽此查該員係並非嚴

支派

又光緒八年七月初五日補行帶領引

見之宗室豐烈奉

旨著以四五品京堂補用欽此查該員係屬遠支

224 嘉慶四年五月初二日內閣奉

上諭向來宗人府京察一等人員從未簡放外任本

年降旨令宗室等一體選用六部並經吏部議奏

宗室保列京察一等人應否外用候朕欽定朕思

宗室人負向不簡授外任之故蓋以身為宗室未

便復行參謁跪拜之禮用存體制又恐其自恃天

潢一派蔑視上司設有不知檢束者營私獲罪轉

多礙難辦理之處嗣後宗室人負自應仍照向例

毋庸補放外任此次保送道府宗人府不必保送

欽此

225 光緒十三年二月二十六日奉

旨著派福森布長順敬信於三月初二日恭詣

西陵查看紅格欽此

226 臣等伏查此次

皇上恭謁

西陵應照成案請

旨派員查看紅格謹開列

御前侍衛

乾清門侍衛並隨扈侍郎名單進

呈伏候

欽派侍衛二員侍郎一員俟

發下繕

旨後臣等即傳知奉

派各員於三月初二日請

安前往敬謹查看俟

聖駕駐蹕梁格莊時覆

命俱不必具摺謹

奏

227 侍衛名單

御前侍衛

善慶

惠銘

芬車

福森布

恩燕

希朗阿

希隆阿

乾清門侍衛

長順

長春

克勤

雙齡

愛隆

裕理

德萃

玉書

廣音布

徽壽

奕功

都凌阿

卓凌阿

全福

保良

瑞啟

伊薩布

慶陞

良泰

文啟

崇蘭

泰來

德恆

訥欽泰

明安

隨扈侍郎名單

松莊

228

敬信

耀年
師曾

229 光緒十三年二月二十六日內閣奉
上諭兩淮鹽運使負缺著福裕補授欽此

230 体深道員名單

廣東南韶連道華祝三 江西進士

雲南迤東道崇善 正藍旗蒙古
文生員

奉天奉錦山海道廣蔭 鑲藍旗滿洲
文生員

雲南鹽法道鍾念祖 順天人
祖籍浙江

山東運河道陸仁愷 廣西進士
原籍廣東

甘肅甯夏道福裕 正紅旗蒙古
原籍廣東

直隸霸昌道恩良 鑲紅旗滿洲
生

浙江杭嘉湖道豐紳泰 正藍旗蒙古
鑲黃旗舉人

湖北鹽法武昌道江人鏡 安徽舉人

四川北道黃槐森 廣東進士

231 体深知府人負名單

甘肅蘭州府知府恩霖 鑲紅旗滿洲人

奉天錦州府知府增林 正紅旗滿洲鑲黃旗舉人

直隸大名府知府國鈞 正紅旗滿洲監生

河南彰德府知府清瑞 鑲藍旗蒙古鑲黃旗舉人

四川甯遠府知府于宗綬 鑲藍旗漢軍進士

甘肅鞏昌府知府顏士璋 山東進士

山西朔平府知府毓銘 正藍旗滿洲監生

江西饒州府知府恆裕 正白旗漢軍鑲黃旗生員

山東沂州府知府錫恩 正白旗滿洲人

雲南順甯府知府周範 貴州進士

232 光緒十三年二月二十六日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨依議欽此

禮部摺

233 蒙

發下摺件 臣等公同商閱應請

批示清漢摺單共四件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月二十六日奉

旨依議欽此

234 光緒十三年二月二十七日內閣奉

上諭甘肅甯夏道貧缺著世杰補授欽此

235 查甘肅甯夏道係衝繁難要缺謹

奏

236 光緒十三年二月二十七日內閣奉

上諭錫珍現在穿孝吏部尚書著崑岡兼署其所管

戶部三庫事務著松澂署理欽此

237 光緒十三年二月二十七日內閣奉

上諭延煦奏假期屆滿病仍未痊懇恩賞假並請派

署要缺一摺延煦著再賞假一月禮部尚書著紹

祺兼署其所管戶部三庫事務著敬信署理欽此

238 應兼署滿洲尚書名單

協辦大學士戶部尚書福錕

兵部尚書烏拉喜崇阿

刑部尚書麟書現在請假

工部尚書崑岡

理藩院尚書紹祺

都察院左都御史奎潤

239 應署滿洲尚書名單

○ 吏部左侍郎松澂

右侍郎景善

戶部左侍郎嵩申

右侍郎照敬

○ 禮部左侍郎敬信

右侍郎英煦

兵部左侍郎耀年

右侍郎師曾

刑部左侍郎桂全

工部右侍郎清安

理藩院左侍郎崇禮

右侍郎綿宜

240 光緒十三年二月二十七日奉

旨三月二十三日親詣

先農壇行禮後接行耕藉禮禮成親詣

奉先殿後殿

壽皇殿行禮欽此

內務府片

241 蒙

發下摺件臣等公同商閱應請

批示清漢摺片單共二十一件分別繕擬批條同圖

一件一併呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片二件擬於

召見時請

旨是各有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月二十七日奉

旨依議欽此

242 光緒十三年二月二十八日內閣奉

上諭翰林院侍讀學士良貴奏因病懇請開缺一摺

良貴著准其開缺欽此

243 蒙

發下摺件臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單共三十九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片七件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月二十八日奉

旨依議欽此

244 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單共三十三件分別繕擬批條同圖

一件一併呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨片一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月二十九日奉

旨依議欽此

245 衛榮光片一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

246 雲南鎮南州知州易為霖

硃。旨易為霖著該部照例給獎

247 光緒十三年二月三十日內閣奉

上諭禮部尚書著奎潤補授松森著補授都察院左

都御史欽此

248 光緒十三年二月三十日內閣奉

上諭盛京刑部侍郎著英煦調補續昌著補授禮部

右侍郎仍兼署刑部右侍郎欽此

249 應調滿洲尚書名單

協辦大學士戶部尚書福銳

吏部尚書錫珍 現在穿孝

兵部尚書烏拉喜崇阿

刑部尚書麟書 現在請假

工部尚書崑岡 現兼署吏部尚書

理藩院尚書紹祺 現兼署禮部尚書

250 應升滿洲尚書名單

○ 都察院左都御史奎澗

吏部左侍郎松澗

右侍郎景善

戶部左侍郎嵩中

右侍郎熙敬

禮部左侍郎敬信 現兼署工部左侍郎

○ 右侍郎英煦

兵部左侍郎耀年

右侍郎師曾

刑部左侍郎桂全

右侍郎貴恆 現出學差

工部左侍郎烏拉布 現在穿孝

右侍郎清安 現在請假

理藩院左侍郎崇禮

右侍郎綿宜

倉場侍郎興廉

○ 盛京戶部侍郎啟秀

禮部侍郎文暉

兵部侍郎鳳秀

刑部侍郎松森

工部侍郎阿克丹

251 光緒十三年二月三十日內閣奉

上諭禮部尚書延煦練達勤慎學問優長由翰林府

陟卿戴外任都統旋補左都御史推授尚書宣力

有年克稱厥職前因患病疊次賞假方期調理就
瘥長資倚昇茲聞法逝軫惜殊深加恩賞給陀羅
經被派貝勒載澂帶領侍衛十員即日前往奠醑
照尚書例賜卹並著賞銀五百兩由廣儲司給發
經理喪事任內一切處分悉予開復應得卹典該
衙門察例具奏伊孫容濬著賞給主事分部學習
行走用示篤念蓋臣至意欽此

252 光緒四年十一月二十日內閣奉

上諭前任戶部尚書魁齡老成練達辦事慎勤由卿
貳海升工部尚書調補戶部尚書並補授總管內
務府大臣宣力有年克慎厥職前因患病准予開
缺方冀調理就瘥長承恩眷茲聞法逝軫惜殊深
加恩賞給陀羅經被派貝勒載澂帶領侍衛十員
即日前往奠醑照尚書例賜卹並著賞銀五百兩
由廣儲司給發經理喪事任內一切處分悉予開
復應得卹典該衙門察例具奏伊子福緒著賞給
主事俟及歲時分部學習行走用示篤念者臣至
意欽此

253 光緒十年八月十二日內閣奉

上諭吏部尚書廣壽老成練達學問優長由緒詳簡
林海推磨事供職內廷在弘德殿行走升授尚書
補總管內務府大臣宣力有年克盡厥職前因患
病疊次給假方期調理就瘥長資倚昇茲聞法逝
悼惜殊深加恩追贈太子少保銜賞給陀羅經被
派貝勒載澂帶領侍衛十員即日前往奠醑照尚
書例賜卹並著賞銀一千兩由廣儲司給發經理喪
事任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察
例具奏伊子恩聯著賞給員外郎俟及歲時分部
學習行走用示篤念蓋臣至意欽此

254 蒙

發下摺件臣等公同商閱應請
批示清漢摺片單共六件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟
硃批
發下後欽遵辦理其應行請
旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年二月三十日奉

旨依議欽此

255 光緒十三年三月初一日內閣奉

上諭慶裕等奏查勘

永陵
福陵

昭陵應修各工請擇吉興修一摺著欽天監於本年三

四月內選擇吉期先行知照即著盛京將軍會同

工部侍郎屆期敬謹興修另片奏前估

昭陵琉璃照壁工程本年方向相宜請飭擇吉興修等

語並著欽天監選擇吉期知照敬謹興修餘著照

所議辦理欽此

256 光緒十三年三月初一日內閣奉

上諭奎潤著充會典館副總裁欽此

257 應

派會典館副總裁名單

協辦大學士戶部尚書福銀 現在請假

吏部尚書徐桐

硃。禮部尚書奎潤

畢道遠

署兵部尚書許庚身

工部尚書崑岡

理藩院尚書紹祺

都察院左都御史松森未到任

祁世長

吏部左侍郎松淮

右侍郎景善

李鴻藻

戶部左侍郎嵩申

孫詒經

右侍郎熙敬

曾紀澤

禮部左侍郎敬信

徐邴

右侍郎續昌

童華

兵部左侍郎耀年

廖壽恆

右侍郎師曾

孫家鼎

刑部左侍郎桂全

薛允升

工部左侍郎烏拉布

現在請假

孫毓汶

右侍郎清安

現在請假

徐用儀

現在請假

理藩院左侍郎崇禮

右侍郎綿宜

內閣學士慶福

恩棠

文興

寶昌 現在請假

豐烈

錢桂森

周德潤

沈秉成

都察院左副都御史志元

庚年

白桓

徐樹銘

宗人府府丞薛福辰

詹事府詹事文治

李端棻

258 光緒十三年三月初一日內閣奉

上諭恩承著充國史館副總裁欽此

259 應充

國史館滿洲副總裁人員名單

硃 ○大學士恩承

協辦大學士戶部尚書福錕 現在請假

吏部尚書錫珍 現在請假

禮部尚書奎潤

兵部尚書烏拉喜崇阿

刑部尚書麟書 現在請假

工部尚書崑岡

理藩院尚書紹祺

都察院左都御史松森 未到任

吏部左侍郎松桂

右侍郎景善

戶部左侍郎嵩申

右侍郎熙敬

禮部左侍郎敬信

右侍郎續昌

兵部左侍郎耀年

右侍郎師曾

刑部左侍郎桂全

右侍郎貴恆 現出學差

工部左侍郎烏拉布 現在署考

右侍郎清安 現在請假

理藩院左侍郎崇禮

右侍郎綿宜

260 光緒十三年三月初一日內閣奉

上諭劉瑞芬前已補授大理寺卿未到任以前著馮

爾昌署理欽此

261 應署滿洲大理寺卿名單

詹事府詹事文治

太常寺卿鳳山 現在請假

光祿寺卿郭勒敏布 現在請假

262 應署漢大理寺卿名單

太常寺卿徐致祥 現在請假

硃

○光祿寺卿馮爾昌

太僕寺卿馮光勳 現在請假

263 蒙

發下摺報 臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單共九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年三月初一日奉

旨知道了欽此

264 光緒十三年三月初二日內閣奉

上諭湖北安襄鄖荆道員缺著陳維周補授欽此

265 查湖北安襄鄖荆道係衝繁中缺謹

奏

266 交值年旗本日引

見黑龍江齊齊哈爾水師營六品官一缺擬陪之驛

站六品頂戴前鋒齡喜奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

三月初二日

267 光緒十三年三月初二日奉

旨該部行在印鑰著張之萬佩帶欽此

刑部傳

268 光緒十三年三月初二日奉

旨著毋庸添派欽此

孫毓汶摺

269 蒙

發下摺件 臣等共同商閱應請

批示清漢摺片單共三十四件分別繕擬批條呈進

恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年三月初二日奉

旨依議欽此

270 軍機大臣 字寄

禮部尚書兼管順天府府尹畢 宗人府府丞
署順天府府尹薛 光緒十三年三月初三日奉

上諭有人奏坐糧廳書吏張毓麟於該廳徵收洋藥稅
銀勒索使費被控有案辦理廳稅違例挪移稅口
浮收重徵伊父張國英復於身後把持侵隱錢糧
登商圖利種種滋擾商民請飭提訊究辦等語
吏舞弊營私大干法紀所奏如果屬實亟應按律
嚴懲著畢道遠薛福辰確查嚴訊據實具奏原片
著抄給閱看將此各諭令知之欽此

旨寄信前來

271 光緒十三年三月初三日內閣奉

上諭朕此次恭奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后祇謁

西陵所有經行道路著派出之管道大臣及直隸總督
督飭各該員弁兵丁嚴行稽查如有隨扈員役以
及太監人等車馬踐踏並沿途藉差騷擾勒索等
事即著該管大臣暨該督等查拏奏至辨道各
員如有草率偷減修整不平藉口車馬踐踏希圖
卸責情弊亦著該督嚴查參辦欽此

272 光緒十三年三月初三日奉

旨左翼監督著嵩申去右翼監督著札拉豐阿去欽此

273 應放左右翼監督之侍郎名單

吏部右侍郎景善

戶部左侍郎嵩申

右侍郎熙敬

禮部左侍郎敬信

右侍郎續昌

兵部右侍郎師曾

刑部左侍郎桂全

現兼著工部左侍郎
現兼著刑部右侍郎

工部左侍郎烏拉布 現在守孝

理藩院左侍郎崇禮

右侍郎綿宜

應放左右翼監督之副都統名單

硃。 274

札拉豐阿

致麟

嵩山

恩全

承綬

海英 做

明魁

慶福

符珍

明秀

芬車

興存

安興阿

容貴

桂祥

德福

巴克坦布

恩普

德隆

色普微額

秀吉

耆齡

惠銘

富森布

福森布

恩佑

花尚阿

吉恆

275 光緒十三年三月初三日內閣奉

上諭鴻臚寺少卿陳錦秦病難速痊懇恩開缺一摺
陳錦著准其開缺欽此

276 蒙

發下摺報_臣等公同商閱應請

批示清漢摺片單共二十四件分別繕擬批條呈進

恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年三月初三日奉

旨依議欽此

277 光緒十三年三月初四日內閣奉

上諭巡視南城御史良弼等奏遵保獲盜出力官紳

並將前保各員分別改獎聲覆各摺片著吏部議

奏欽此

278 光緒十三年三月初四日奉

旨知道了欽此

禮部片

279 光緒十三年三月初四日奉

旨知道了欽此

禮部片

280 蒙

發下摺報_臣等公同商閱應請

批示清漢摺片共三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年三月初四日奉

旨依議欽此

281 李鴻章等摺一件遵擬批條呈進俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

三月初四日

282 軍機大臣 字寄

兩廣總督張 四川總督劉 雲貴總督岑

湖南巡撫卞 雲南巡撫譚 貴州巡撫潘

傳諭巡撫銜督辦雲南礦務唐炯 光緒十三

年三月初五日奉

上諭戶部奏遵議張之洞奏廣東購辦機器試鑄制

錢銀元並擬令督辦礦務大臣兼理瀘州鑄錢事

宜各一摺覽奏均悉現議規復制錢必應廣籌鼓

鑄變通辦理以輔京局之不足張之洞擬於廣東

購用機器製造制錢自係因地制宜之策惟創辦

之始應將工本一切確切估計方免將來掣肘該

督摺內始稱價本及火耗等項與鑄成所值銀數

不致虧折又有目前粵鑄兼用中外銅鉛虧折過

鉅等語究竟鑄錢一千所值銀數有無虧折仍著

詳細覈算據實覆奏至所奏兼鑄銀元一節事關

創始尚須詳慎籌畫未便率爾興辦著聽候諭旨

遵行該督摺內所稱弛禁商人酌議挪借究係何

項商人並著明晰具奏礦務與錢法互相表裏雲

南之銅貴州之鉛向來解京必須經過四川瀘州

是瀘州設局鼓鑄最為相宜唐炯於四川情形素

熟前已派令督辦雲南礦務即可兼籌瀘州鼓鑄

事宜著將礦務迅速籌畫實心經理銅斤一項務

期於解京外兼備川省鼓鑄之用瀘州設局各事應

如何先行籌議並著專摺具奏需用銅鉛等項如

何採辦著劉秉璋岑毓英卞寶第譚鈞培潘蔚

與唐炯隨時會商悉心規畫唐炯係棄瑕錄用之

員必應激發天良盡心竭力為國家裕此利源該

督撫等均當體念時艱通力合作以副朝廷整頓

圖法之至意戶部措著分別抄給張之洞劉秉璋
唐炯閱看將此由四百里諭知張之洞劉秉璋岑
毓英下寶第譚鈞培潘霜並傳諭唐炯知之欽
此遵

旨寄信前來

抄交戶部

283 光緒十三年三月初五日內閣奉

上諭朕啟鑒後左翼總兵著綿宜暫行署理欽此

284 應署左翼總兵人員名單

吏部右侍郎景善

戶部左侍郎嵩申

右侍郎熙敬

工部右侍郎清安

硃 理藩院右侍郎綿宜

副都統

嵩山

明秀

興存

安興阿

秀吉

耆齡

富森布

恩佑

花尚阿

吉恆

285 蒙

發下各摺片單已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺片單共十件且等分別繕擬批條呈進

恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單六件擬於

召見時請

旨是吾有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年三月初五日奉

旨依議欽此

286 查本年恭逢

恩詔致祭

歷代帝王陵寢

先師孔子闕里經禮部開單具奏並請仍由_臣等於

各本省副都統總兵內擬派員具奏就近致祭_臣

等謹將應祭各處現在應派人員擬開清單

恭呈

御覽伏候

欽定發下_臣等行知禮部令將應備祭文香帛等項

照例備辦由驛發交各該員祇領敬謹致祭禮

畢由該副都統總兵等自行咨覆禮部由禮部

疊齊具奏謹

奏

硃批是欽此

光緒十三年三月初五日奉

287 奉天

遼太祖陵

擬派

盛京副都統濟祿致祭

陝西

黃帝軒轅氏陵

周文王陵

武王陵

成王陵

康王陵

漢高祖陵

文帝陵

宣帝陵

後魏孝文帝陵

唐高祖陵

太宗陵

憲宗陵

宣宗陵

擬派陝西西安副都統長春致祭

山東

少昊金天氏陵

至聖先師孔子闕里

帝堯陶唐氏陵

擬派山東青州副都統德克吉訥致祭

江蘇

明太祖陵

擬派江蘇江甯副都統姚田致祭

浙江

夏禹王陵

擬派浙江乍浦副都統和琨致祭

河南

太昊伏羲氏陵

顓頊高陽氏陵

帝嚳高辛氏陵

商高宗陵

商中宗陵

漢光武帝陵

周世宗陵

宗太祖陵

太宗陵

真宗陵

仁宗陵

擬派河南歸德鎮總兵牛師韓致祭

湖廣

炎帝神農氏陵

帝舜有虞氏陵

擬派湖南永州鎮總兵廖長明致祭

順天

金太祖陵

世宗陵

元太祖陵

世祖陵

明宣宗陵

孝宗陵

擬派順天密雲副都統圖俊致祭

山西

女媧氏陵

商湯王陵

擬派山西太原鎮總兵何鳴高致祭

288 光緒十三年三月初六日內閣奉

上諭張曜奏神靈顯應請頒扁額一摺山東文登縣

棋盤山

龍神廟夙著靈應上年該縣地方自春徂秋疊遇

水旱經該官紳等虔詣祈禱雨暘應時秋禾豐稔

實深寅感著南書房翰林恭書扁額一方交張曜

祇領飭屬敬謹懸挂以答

神庥欽此

289 光緒十三年三月初六日奉

旨依議欽此

宗人府刑部奏早復故縱絞犯再錫鞫審擬摺

290 光緒十三年三月初六日奉

旨著迴避欽此

都察院奏御史文海應否迴避摺

291 蒙

發下摺件臣等公同商閱應請

批示漢字摺片共十九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年三月初六日奉

旨依議欽此

292 蒙

發下摺報 臣等公同商閱應請

批示清漢摺片共十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年三月初六日奉

旨依議欽此

293 光緒十三年三月初七日內閣奉

上諭朕此次恭謁

西陵所有蹕路經過之宛平良鄉涿州房山涑水易州

等州縣地方本年應徵錢糧著加恩蠲免十分之

三欽此

294 光緒十三年三月初七日內閣奉

上諭本日道旁叩閭之民人王大生冠文成文童劉

炳榮均著交行在刑部嚴行審訊欽此

鈔交刑部

295 蒙

發下穆圖善摺一件擬批呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年三月初七日奉

旨依議欽此

296 光緒十三年三月初八日內閣奉

上諭前經諭令管道大臣等將蹕路所經之處督飭

稽查乃本日沿途車馬之迹甚多殊不足以昭嚴

肅著管道大臣等躬親督率認真稽查毋得再有

疏懈致干咎戾並著李鴻章督飭辦道各員隨時

加意修整務使一律平坦如有草率偷減情弊即

著嚴查參辦欽此

297 光緒十三年三月初八日內閣奉

上諭本日道旁叩關之民婦陳俞氏黃鄧氏均著交
行在刑部嚴行審訊欽此

鈔交刑部

298 滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

道銜禮部郎中玉恆

侍讀銜刑部郎中主事桂春

四品銜吏部郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾慶額

內閣郎中補侍讀志樸

漢頭班章京

太僕寺卿馮光勛

刑部員外郎吳引孫

兵部郎中補郎中沈恩嘉

戶部主事顧璜

吏部主事王傲

內閣中書陳邦瑞

四品銜兵部主事胡寶鐸

刑部員外郎主事吳魯

戶部員外郎主事陳熾

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

京察一等 記名以道府用四品銜兵部郎中整

理藩院員外郎奎華

戶部郎中補主事孚琦

侍讀銜戶部主事延祉

四品銜理藩院郎中齊善森

四品銜刑部郎中補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

太僕寺少卿錢應溥

四品銜工部員外郎祝維城

刑部員外郎孟繼堦

吏部員外郎兼襲騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜刑部候補郎中謝元熙

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳希棠

刑部候補主事馮錫仁

299 光緒十三年三月初九日奉

旨這所奏疏防監犯越獄之管獄官雲南署姚州吏目謝金銓著即革職拏問交岑毓英提同刑某人等嚴訊有無鬆刑賄縱情弊按律懲辦有獄官姚州知州曾楫著先行交部議處仍勒限將在逃之余侶三等三犯嚴緝務獲究辦餘著照所議辦理該部知道欽此

300 蒙

發下摺報 臣等公同商閱應請

批示漢字摺片共八件分別繕擬批條呈進恭候欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年三月初九日奉

旨依議欽此

301 光緒十三年三月初十日內閣奉

上諭連日恭請

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后轎暨御營請轎之鑿儀衛校尉著加恩每名賞給一兩重銀鏢一箇由廣儲司給發欽此

302 光緒十三年三月初十日內閣奉

上諭吏部奏遵議管道大臣站道空誤處分一摺內閣學士豐烈園子監司業崇文均著照部議罰俸

一年不准抵銷豐烈二次站道空誤應得降二級
調用處分著加恩改為革職留任欽此

303 光緒十三年三月初十日內閣奉

上諭本日道旁叩閣之文生韓繡江著交行在刑部
嚴行審訊欽此

鈔交刑部

304 交待衛處本日軍機大臣面奉

諭旨連日豫備

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后車輛並御營車輛及
豫備關防營內廷主位車輛之各項官員兵丁等
著每員名各賞給一兩重銀鏢一箇由廣儲司給
發欽此相應傳知

貴處衙門欽遵辦理可也此交

三月初十日

305 光緒十三年三月十一日內閣奉

上諭本日道旁叩閣之民人高學禮白義容均著交

行在刑部嚴行審訊欽此

鈔交刑部

306 光緒十三年三月十一日奉

旨莊敬和碩公主圍寢著派載漪莊靜固倫公主圍
寢著派載澍慧安和碩公主圍寢著派溥齡慧慈
固倫公主圍寢著派載濂端順固倫公主圍寢著
派載澤怡賢親王圍寢著派全佑質莊親王圍寢
著派椿壽榮恪郡王圍寢著派玉山原任大學士
朱珪墳墓著派錫光分往賜奠欽此

內務府送來

旨片

307 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示清漢摺片單共十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年三月十一日奉

旨依議欽此

308 光緒十三年三月十三日內閣奉

上諭本日道旁叩關之民人鄭萬現馬鳳鳴均著交
行在刑部嚴行審訊欽此

抄交刑部

309 光緒十三年三月十三日奉

旨著交刑部提審欽此

刑部刑

310 光緒十三年三月十四日內閣奉

上諭本日道旁叩關之民人傅克敏抱告民人李合
泰李舉均著交行在刑部嚴行審訊欽此

鈔交刑部

311 蒙

發下摺報等件同商閣應請

批示漢字摺共四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年三月十四日奉

旨依議欽此

312 行在辦理軍機處為咨行事此次

貴督派出站道兵弁及隨

扈各項兵弁共若干名希即分晰開單即日覆送本

處此係立等辦理之件萬勿刻遲因用印不及

先行白片後補印文可也須至咨者

右 咨

直隸總督

光緒十三年三月十四日

313 光緒十三年三月十五日內閣奉

上諭此次直隸及秦甯鎮派出隨扈及站道各項將

弁兵勇晝夜辛勞高屬奮勉欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨特加賞賚所有

直隸將備營官六十二員著加恩每員賞給小卷

袍料一件弁兵馬勇二十四百七十四名著加恩

賞銀一千五百兩秦甯鎮兵役八百八十名著加

恩賞銀四百兩均著交李鴻章懷塔布分別給領

欽此

314 本日奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨賞給直隸派出

將備六十二員小卷袍料各一件已傳知內務

府欽遵辦理其

賞給直隸及秦甯鎮派出官兵銀一千九百兩已咨行

直隸總督由藩庫給發謹

奏

三月十五日

315 行在辦理軍機處為咨行事此次

貴督派出站道兵弁及隨

扈各項兵弁共若干名希即分晰開單即日覆送本

處此係立等辦理之件萬勿刻遲前行白片今

補印文可也須至咨者

右 咨

直隸總督

光緒十三年三月十五日

316 行在辦理軍機處為咨行事本日奉

旨賞給直隸派出站道兵勇銀一千五百兩秦甯鎮

派出站道兵役銀四百兩均由直隸藩庫給發

相應咨行

貴督欽遵辦理因用印不及先行白片後補印

文可也須至咨者

右 咨

直隸總督

光緒十三年三月十五日

317 直隸綠營各標派出隨

扈及站道弁兵數目

副將二員

遊擊五員

都司守備五十三員

千把外委八十員

差弁三十二員

兵二千一百五十二名

另派准練馬隊弁兵數目

保陽練軍馬隊營官一員

哨官哨長五員

馬勇一百名

准軍親兵馬隊營官一員

正副哨官五員

馬勇一百名

半壁店汛至口子門站道兵八十名

六陵沿途站道兵六百名

九龍峪沿途站道兵一百名

內務府東門至北門差役一百名

318 光緒十三年三月十五日內閣奉

上諭前署塔爾巴哈台參贊大臣明春於咸豐年間

由京營出兵從征轉戰安徽河南陝西甘肅等省

久歷戎行勤勞懋著前於署塔爾巴哈台參贊任

內因病請假准開署缺調理茲聞溘逝軫惜殊深

加恩著照副都統例賜卹任內一切處分悉予開

復靈柩回旗時沿途地方官妥為照料應得卹典

該衙門察例具奏欽此

319 光緒十三年三月十五日內閣奉

上諭本日道旁叩閭之蒙古婦人及民人田明和張

希太王家發鄰魁立民婦胡吳氏控告民人曹明

定李悖堯均著交行在刑部分別嚴行審訊欽此

鈔交刑部

320 光緒十三年三月十六日內閣奉

上諭連日恭請

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后輪暨御營請輪之鑿

儀衛枝尉著再加恩每名賞給一兩重銀鏢一箇

由廣儲司給發欽此

321 光緒十三年三月十六日內閣奉

上諭本日道旁叩閣之生員王廣福革生楊周南張景文民人李濟全等李侍聘杜殿法民婦張李氏馮李氏劉宗氏王賈氏凌李氏王熊氏王崔氏僧人昌榮道人意空抱告敬雲劉光禹均著交刑部嚴行審訊其衝突儀仗擅遞呈詞之張煥章一併交部審訊欽此

322 蒙

發下叩閣呈詞十八件擬繕明發

諭旨一道將生員王廣福等均交刑部嚴行審訊其衝突儀仗擅遞呈詞之民人張煥章一併交刑部審訊所有具呈姓名及呈內事由繕具清單恭呈

御覽謹

奏

323 直隸增生王廣福

呈控糧書賄使錢糧畏控補解

奉天革生楊周南

呈控縣主貪贓匪錢傾商

河南革生張景文

呈控挾嫌鎗傷捏供詳革

四川民人李濟全等

呈控貪贓枉法毋冤無申

直隸民人李侍聘

呈控惡衿造牆佔地差役毆斃伊父

直隸民人杜殿法

呈控聚匪盜搶霸產謀害五命

河南民婦張李氏

呈控惡棍搶掠民女

直隸民婦馮李氏

呈控霸產謀命凌逼孤寡強賣為妾

河南民婦劉宗氏

呈控吞產欺滅掘墓曬骨

黑龍江民婦王賈氏

呈控倚官霸產杖斃人命

湖南民婦凌李氏

呈控逼嫁圖產串通斃命

陝西民婦王熊氏

呈控欺吞霸產因訟強嫁

直隸民婦王崔氏

呈控族姪毆斃孤子書差底充

四川僧人昌榮

呈控劣紳霸佔廟產僧師被毆殞命

直隸道人意空

呈遞黃紙五件內稱神佑永護等情

山東駐防旗婦布魯拉齊氏遣抱敬雲

呈控欺孤凌寡吞餉斃命

四川民婦劉唐氏遣抱劉光禹

呈控擅挖伐斃姦瘡兇傷

山西民人張煥章

呈請重抽烟釐以斷嬰粟

324 光緒十三年三月十六日奉

旨連日豫備

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后車輛並御營車輛及

豫備關防營內廷主位車輛之各項官員兵丁等

著每員名再各賞給一兩重銀鏢一箇由廣儲司

給發欽此

325 光緒十三年三月十六日奉

旨連日豫備

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后車輛並御營車輛及

豫備關防營內廷主位車輛之各項官員兵丁等

著每員名再各賞給一兩重銀鏢一箇由廣儲司

給發欽此

326 交侍衛處內務府本日軍機大臣面奉

諭旨連日豫備

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后車輛並御營車輛

及豫備關防營內廷主位車輛之各項官員兵丁

等著每員名再各賞給一兩重銀鏢一箇由廣儲

司給發欽此相應傳知

貴處衙門欽遵辦理可也此交

三月十六日

327 連日恭請

皇太后轎暨御營請轎之板尉臣等查照成案擬繕明發

諭旨一道每名再賞給一兩重銀鏢一箇又連日豫備

皇太后車輛並御營車輛及豫備內廷主位車輛之各項官員兵丁擬查照成案俾

旨每員名再各賞給一兩重銀鏢一箇由侍衛處內務府分別查明給領謹

奏

328 辦理軍機處為咨行事本月十五日奉

旨賞給直隸派出站道兵勇銀一千五百兩秦甯鎮

派出站道兵役銀四百兩均由直隸藩庫給發相應咨行

貴督欽遵辦理前行白片今補印文可也須至

咨者

右 咨

直隸總督

光緒十三年三月十六日

329 軍機大臣 字寄

西安將軍吉 成都將軍岐 四川總督劉 陝西巡撫葉 光緒十三年三月十八日奉

上諭岐元劉秉璋奏擬請酌撥精壯閑散赴陝屯田一摺據稱西安成都駐防閑散頗多精壯近來生計甚感西安田地現多閑曠即用兩處駐防閑散屯田於國計民生兩有裨益等語陝西現有閑曠田地若干西安駐防有無願墾之人岐元等所擬辦法有無窒礙著吉和葉伯英確切詳查並體察該省情形奏明請旨辦理原摺著鈔給吉和葉伯英閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

330 光緒十三年三月十八日內閣奉

上諭裕祿等奏神靈顯應請加封號並頒扁額一摺湖北隨州

城隍神興山縣

城隍神素著靈應每遇地方水旱災祲經該官紳虔誠祈禱雨暘時若農田轉歉為豐實深寅感著

南書房翰林恭書扁額各一方交裕祿等祇領飭屬敬謹懸挂以答

神庥所請敕加封號之處著禮部議奏欽此

331 光緒十三年三月十八日內閣奉

上諭崑岡著管理光祿寺事務欽此

332 光緒十三年三月十八日奉

旨著照銅六鉛四搭用黃銅一成樣錢配鑄務當督飭該局認真辦理不准稍有偷減餘依議欽此

戶部奏配搭銅鉛錢錢樣摺

333 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示清漢摺片單共八十四件分別繕擬批條呈進

恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年三月十八日奉

旨依議欽此

334 光緒十三年三月十九日內閣奉

上諭張之洞等奏武職大員剿辦瓊州黎匪殲除首

逆現復瓊崖州生黎等語前廣西提督馮子材自

督剿瓊州黎匪以來攻克中東兩路老巢安撫西

路良黎生擒稔惡匪首辦理尚合機宜著加恩賞

給白玉搬指一個白玉柄小刀一把大荷包一對

小荷包一對以示嘉獎現在該提督進兵崖州仍

著分別良莠剿撫兼施俾竟全功以安邊徼據張

之洞等奏該處瘴癘甚重軍士遠征深堪軫念欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨發去御製平安

丹十匣賞給該軍將士即著馮子材傳

旨分賞欽此

335 光緒十三年三月十九日張之洞等奏前廣西

提督馮子材勦辦黎匪出力可否

賞賚珍物片奉

旨賞給馮子材白玉搬指一箇白玉柄小刀一把大

荷包一對小荷包一對並奉

懿旨賞給將平安丹十匣

336 張之洞等摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

三月十九日

337 光緒十三年三月十九日內閣奉

上諭太僕寺卿馮光勳奏病難速痊懇請開缺一摺

馮光勳著准其開缺欽此

338 蒙

發下摺報^臣等公同商閱應請

批示清漢摺片單共三十七件分別繕擬批條同圖

一件一併呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年三月十九日奉

旨依議欽此

339 光緒十三年三月二十日內閣奉

上諭甘肅安肅道員缺著張其濬補授欽此

340 查甘肅安肅道係衝繁疲要缺謹

奏

341 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示清漢摺片單共二十五件分別繕擬批條呈進

恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺五件擬俟

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年三月二十日奉

旨依議欽此

342 毓秀等摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

三月二十日

343 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示清漢摺片單共三十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年三月二十一日奉

旨依議欽此

344 光緒十三年三月二十二日內閣奉

上諭色楞額崇綱奏揀員請補戴珠一摺後職戴珠員缺著擬正之四郎朗結補授該衙門知道單併發欽此

345 交刑部內務府本日軍機大臣面奉

諭旨巡視南城御史良弼等奏拏獲滋鬧勇局之太監人等請飭審訊一摺著刑部會同總管內務府大臣審明具奏欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交計帖鈔摺一件

三月二十日

346 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片共五件臣等分別繕擬批條呈進

恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年三月二十二日奉

旨依議欽此

347 臣世鐸等跪

奏為繕修漢字檔冊恭摺奏

聞事竊查軍機處錄存漢字檔案每屆五年奏請辦

理一次將檔冊另錄一分收存備查嗣於咸豐

四年因檔案繁多奏請三年辦理一次奉

旨允准歷經遵辦在案茲自光緒十年正月起至十二

年十二月止欽奉

上諭及寄信會議各漢字檔冊又屆三年應修之期
應請照例遞派內閣中書在於方略館分冊繕
寫責令認真覈對並揀派漢章京二員總司校
勘及方略館供事在彼承值一切紙張筆墨等
件均照向例行文各處咨取如果辦理妥速再
行查照例案奏請獎勵至供事人等向於告成
時隨案聲請議敘如能奮勉出力俟修整檔冊
完竣時應請查照成案給予獎敘所有繕修漢
字檔冊緣由理合恭摺奏

聞伏乞

皇太后

皇上聖鑒謹

奏

光緒十三年三月二十二日奉

旨依議欽此

臣 世 鐸
臣 額 勒 和 布
臣 張 之 萬
臣 許 庚 身
臣 孫 毓 汶

348 光緒十三年三月二十三日奉
旨著准其抵銷欽此

兵部議那遜緯乞圖志八摺

349 查軍機章京太僕寺卿馮光勳因病開缺所遺
章京一缺應以刑部額外主事吳魯充補並
添傳
記名在前之吏部候補主事孫朝華在額外行走謹
奏

光緒十三年三月二十三日奉

旨知道了欽此

350 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片共二件且等分別繕擬批條呈進

恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年三月二十三日奉

旨依議欽此

351

知道了

吏部知道

戶部知道

禮部知道

兵部知道

刑部知道

工部知道

該部知道

該衙門知道

吏部知道單併發

戶部知道單併發

禮部知道單併發

兵部知道單併發

刑部知道單併發

工部知道單併發

該部知道單併發

該衙門知道單併發

工部知道單圖併發

覽

吏部議奏

戶部議奏

禮部議奏

兵部議奏

刑部議奏

工部議奏

該部議奏

該衙門議奏

吏部議奏單併發

戶部議奏單併發

兵部議奏單併發

該部議奏單併發

該衙門議奏單併發

戶部速議具奏

刑部速議具奏

戶部叢議具奏

戶部叢議具奏單併發

著照所請

著照所請吏部知道

著照所請戶部知道

著照所請禮部知道

著照所請兵部知道

著照所請刑部知道

著照所請工部知道

著照所請該部知道

著照所請該衙門知道

著來見

著毋庸來見

352 軍機大臣 字寄

甘肅新疆巡撫劉 署伊犁將軍塔爾巴哈台

參贊大臣錫 光緒十三年三月二十四日奉

上諭棍噶扎拉參呼圖克圖於上年到京瞻覲後曾

據劉秉璋等奏請調赴西藏經總理各國事務衙

門議覆請旨當以棍噶扎拉參於開導番眾議辦

通商等事恐不相宜未經准行惟該呼圖克圖曾

在塔爾巴哈台帶兵勦賊於西北邊情自較熟悉

前在四川省城丁寶楨與之接見稱其胸襟闊大

深明大義奏請留備任使該呼圖克圖才略短長

早在朝廷洞鑒之中必須安置得宜亦可儲以待

用所領徒眾應如何收回安插前經諭令錫綸等

詳晰定議迄今日久未據覆奏殊屬延緩著劉

錦棠會同錫綸妥為籌商於新疆所屬擇一距俄

境較遠可以安插之地迅速奏明請旨辦理將此

由五百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

353 軍機大臣 字寄

步軍統領衙門 順天府 五城御史 光緒
十三年三月二十四日奉

上諭御史增濟奏棍徒擾害閭閻請飭嚴懲一摺據
稱本月十三日夜間正陽門外煤市街有聚眾鬪
毆施放洋槍砍傷人口之事平時著名棍徒有綽
號恩四大王即恩瑞聚眾捆人刑部有案又有活
判官林世生等黨與甚眾請飭嚴拏等語著步軍
統領衙門順天府五城御史查明嚴拏務獲究辦
原摺均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵
旨寄信前來

354 據都察院送到已革道員李耀南呈遞滾犂桿
圖說一件恭呈

御覽謹
奏

三月二十四日

355 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片共四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件呈一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年三月二十四日奉

旨依議欽此

356 光緒十三年三月二十五日內閣奉

上諭曾國荃奏已故大員死事甚烈遺愛在人請建
立專祠一摺已故江南提督福珠洪阿於咸豐三
年在江甯城內力戰捐軀臺經奉

旨褒卹茲據奏稱該故員一門忠烈至今紳民謳思不

泯洵屬大節昭然久而彌著福珠洪阿著准其在

江甯省城建立專祠伊弟福誠等著一併分別附
祀由地方官春秋致祭以彰忠蓋該部知道欽此

357 曾國荃摺二件道擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽道辦理謹

奏

三月二十五日

358 光緒十三年三月二十五日內閣奉

上諭覃修綱著調補雲南普洱鎮總兵四川北鎮

總兵著鄧榮升調補欽此

359 交總理各國事務衙門本日軍機大臣欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨御史陳瑋瑩奏

請將明習算學人負量子科甲出身並游歷人負准

接原資參贊等官缺出准令游歷人負兼充暨漕田

購用機器各摺片著該衙門會同吏部禮部妥議具
奏醇親王奕譞著一併與議欽此相應傳知

貴衙門欽道辦理可也此交計點鈔摺片四件

三月十五日

360 光緒十三年三月二十五日奉

旨仍著孫毓汶接辦欽此

吏部奏 光緒十三年三月二十五日奉旨仍著孫毓汶接辦欽此

361 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片單共二十六件分別繕擬批條呈進

恭候

欽定俟

硃批

發下後欽道辦理其應行請

旨摺片共十一件擬於

召見時請

旨是否尚有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年三月二十五日奉

旨依議欽此

362 軍機大臣 字寄

甘肅新疆巡撫劉 光緒十三年三月二十六

日奉

上諭劉錦棠奏請開缺賞假一年省親就醫一摺覽

奏情詞肫摯殊深虛系現在新疆地方緊要所有

屯田遣勇各事宜尚須妥籌經理該撫久膺邊寄

辦事認真於新疆一切情形尤為熟悉朝廷眷顧

西陲正資倚畀雖據陳請懇切惟當此時事艱難

自應國爾忘家益圖報稱劉錦棠著賞假三月並

加恩賞給人後八兩在任安心調理毋庸開缺將

此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

363 光緒十三年三月二十六日奉

旨這所奏疏防監犯越獄之管獄官直隸涿水縣黃

莊司巡檢兼理廣昌縣典史辛從懷著即革職等

聞交李鴻章提同刑禁人等嚴訊確情按例懲辦

有獄官代理廣昌縣知縣蘇景泉據報先期公出

是否屬實著查明照例參辦仍勒限將逃犯趙澍

來李六兒嚴拏務獲倘限滿無獲即行嚴參餘著

照所議辦理該部知道欽此

364 交正紅旗滿洲本日引見

見補放

西陵驍騎校一缺擬陪之年滿印務筆帖式馬甲榮昌奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此文

三月二十六日

365 交正紅旗漢軍本日引

見補放廣州驍騎校一缺擬陪之馬甲陳英奉

旨著記名欽此相應傳知

責擬欽遵辦理可也此交

三月廿六日

366 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片共十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年三月二十六日奉

旨依議欽此

367 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示清漢摺片共十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年三月二十七日奉

旨依議欽此

368 交鑲黃旗滿洲本目引

見吉林佐領防禦各一缺江甯防禦一缺擬陪之防

禦恆春雲騎尉喜昌駙騎校恩岱奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

三月二十八日

369 光緒十三年三月二十八日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨古尼音布所捐銀兩著賞收准其移獎欽此

海軍衙門奏將軍古尼音布捐輸請獎片

370 光緒十三年三月二十八日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨周榮曜著以道員即選並賞加二品銜欽此

海軍衙門奏道員周榮曜捐輸請獎片

371 光緒十三年三月二十八日奉

旨著交內務府欽此

崇文門奏查抄已故知州王爾登產變價摺

372 蒙

發下摺報 臣等公同商閱應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候欽定候

硃批

發下後欽遵辦理海軍衙門摺片二件擬於

召見時恭請

懿旨崇文門摺一件請

旨遵辦是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年三月二十八日奉

旨依議欽此

373 光緒十三年三月二十九日內閣奉

上諭李鴻章奏甄劾衰劣各員一摺直隸順德府知府李贊元辦事尚勤年力就衰著以原品休致候補知府宋寶華品行樸鄙不堪表率候補通判徐以修委辦差務聲名頗劣均著以府經歷縣丞歸部選用滄州知州趙東恆辦案草率居心近狃懷安縣知縣李恭鏡因循不振才力竭蹶并陞縣知

縣葉祖第庸滑無能捕務不力元城縣知縣宋人
龍謙獄糊塗官親用事均著勒令休致昌黎縣知
縣張煥怠惰任性不洽輿情著即行革職赤城縣
知縣許憬性情疲軟文理尚優著以教職歸部選
用望都縣知縣閻鏡清才具平庸人地不宜著撤
回另行酌補以肅吏治餘著照所議辦理該部知
道欽此

374 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片單共十八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年三月二十九日奉

旨依議欽此

375 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片單共十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年四月初一日奉

旨依議欽此

376 光緒十三年四月初二日內閣奉

上諭本年三月二十三日朕初次詣

先農壇舉行耕藉禮土膏滋潤天氣清和樂部順天

府派出執事各員豫備甚為整齊博親王侍郎師

曾著府尹薛福辰府丞何桂芳俱著加恩賞加一

級帶領樂工官貧外郎連英廣森文廉莊山驍騎

校松明錫善供用官連瑞恆泰御前隨行官大興

縣知縣龔蔭培宛平縣知縣王本站播種官副指

揮陳禮森白荃王瑞明李金章鄒炳奎吏目邵虎

文呂達辰孫德成嚴慶琳邱廷榮典史田起濱謝

順保看耕牛官治中查光泰正指揮張吉貞蔣壽

齡何振練看綠亭官正指揮蘇喬年經歷王曾彥

照磨曹友泰司穉王沃甫看備用耕牛官通判周

之辰正指揮姜由麟豫備木詞供用官四貧慶成

官豫備中和樂供用官七貧豫備丹陸樂供用官

五貧豫備導引樂供用官四貧俱著賞加紀錄一

次著史共一百七十五名耆老十九名農夫六十

名俱著賞給一兩重銀錄各一箇由廣儲司給發

欽此

377 道光三年三月初七日內閣奉

上諭本月初六日朕初次詣

先農壇舉行耕藉禮天氣清明風物諧粲樂部順天

府派出執事各員豫備甚為整齊定親王奕紹尚

書禧恩盧蔭溥府尹申啟賢府丞卓秉恬大興縣

知縣潘勤宛平縣知縣吳承寵俱著加恩賞加一

級帶領樂工官郎中定祥貧外郎祝麟恆榮筆帖

式裕善駢騎校福隆阿鶴齡副內管領八十七御
前隨行官正指揮王學升阮文燮播種官正指揮
梁騰瑞孫可繼孫德涵副指揮張鳳鳴田壯觀沈
雲葛蔭梓徐晉教授齊敦敏縣丞劉佳珍未入流
金士階汪正泉看耕牛官訓導達善谷太岳看綠
亭官照磨陳樾吏目張熙春未入流蕭清澣沈起
林看備用耕牛官經歷馮馨及豫備禾詞供用官
五員慶成宮豫備中和樂供用官八員豫備丹陛
樂供用官二員預備導引樂供用官四員俱著賞
加紀錄一次署史共二百六名耆老十九名農夫
六十六名俱著賞給一兩重銀鏹各一箇由廣儲
司給發欽此

378 咸豐三年三月初九日內閣奉

上諭本月初七日朕初次詣

先農壇舉行耕藉禮春膏優渥旭景晴和樂部順天
府派出執事各員豫備甚為整齊惠親王惇郡王
奕諒尚書白復大學士卓秉恬府尹宗元醇府丞
張錫庚俱著加恩賞加一級帶領樂工官郎中善

元員外郎毓秦桂林駢騎校玉山吉慶吉安祥齡
副內管領三保御前隨行官大興縣知縣李朝儀
宛平縣知縣何蘭馨播種官副指揮施照呂紹林
王世儒張繼佩未森吏目盧鴻彬蕭方成胡銘王
家齊教授魯方經歷王鍾訓導呂全看耕牛官正
指揮黃維琦莊廷俞王際清照磨馮蘭馨看綠亭
官正指揮張求王學升吏目陳善司猗袁太華看
備用耕牛官教授舒靈訓導文杰及預備禾詞供
用官四員慶成宮豫備中和樂供用官七員豫備
丹陛樂供用官五員豫備導引樂供用官四員俱
著賞加紀錄一次署史共一百七十五名耆老十
九名農夫七十名俱著賞給一兩重銀鏹各一箇
由廣儲司給發欽此

379 管理樂部事務

惇親王

師曾

進鞭接鞭官

薛福辰

捧箱官

何桂芳

380 樂部派出

先農壇耕藉執事名單

帶領樂工官八員

賁外郎連英

廣森

文廉

莊山

駙騎校松明

錫善

供用官連瑞

恆泰

慶成宮豫備未詞供用官四員

豫備中和樂供用官七員

豫備丹陛樂供用官五員

豫備導引樂供用官四員

作樂署史一百七十五名

381 順天府派出

先農壇耕藉執事名單

御前隨行官二員

大興縣知縣龔蔭培

宛平縣知縣王本站

播種官十二員

副指揮陳禮森

白荃

王瑞明

李金章

顧炳奎

吏目邵虎文

呂逢辰

孫德成

嚴慶琳

邱廷榮

典史田起濱

謝順保

看耕牛官四員

治中查光泰

正指揮張吉貞

蔣壽齡

何振鯨

看線亭官四員

正指揮蘇喬年

經歷王曾彥

照磨曹友泰

司獄王沃甫

看備用耕牛官二員

通判周之辰

正指揮姜由耕

耆老十九名

農夫六十名

382 光緒十三年四月初二日內閣奉

上諭徐用儀奏病難速痊懇准開缺一摺徐用儀著
賞假兩箇月調理毋庸開缺欽此

383 光緒十三年四月初二日奉

旨依議錢樣留欽此

工部錢法堂摺

384 交正白旗滿洲本日引

見黑龍江公中佐領擬陪之晚騎校奇明阿奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

四月初二日

385 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺片共十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月初二日奉

旨依議欽此

386 六品廕生烏槍護軍王安
硃○旨著以本營護軍校用

387 光緒十三年四月初三日內閣奉

上諭徐用儀現在賞假工部右侍郎兼管錢法堂事務著周德潤署理欽此

388 應兼署漢侍郎名單

吏部右侍郎李鴻藻

戶部左侍郎孫詒經

右侍郎曾紀澤

禮部左侍郎徐鄰 現兼署吏部左侍郎

右侍郎童華

兵部左侍郎廖壽恆

右侍郎孫家鼐

刑部左侍郎薛允升

右侍郎許庚身 現署兵部尚書

工部左侍郎孫毓汶

389 應署漢侍郎名單

硃○內閣學士周德潤

錢桂森

汪鳴鑾 現出學差

沈秉成

都察院左副都御史白桓

徐樹銘

宗人府府丞薛福辰 現署順天府府尹

通政使司通政使黃體芳

詹事府詹事李端棻

390 光緒十三年四月初三日奉

旨著刑部會同理藩院審明辦理欽此

刑部奏文書中 閣案未結人犯取供均摺

391 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示清漢摺片共十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月初三日奉

旨依議欽此

392 光緒十三年四月初四日內閣奉

上諭徐會澧著授溥倫讀蔣良著授溥侗讀欽此

393 光緒十三年四月初四日內閣奉

上諭四川學政著高虞恩去欽此

394 光緒十三年四月初四日內閣奉

上諭前任綏遠城將軍福興於咸豐同治年間從事

戎行轉戰廣東廣西湖南等省疊著戰功歷任都

統將軍克勤厥職前因患病聞缺茲聞溢逝軫惜

殊深加恩著照將軍例賜卹任內一切處分悉與

開復應得卹典該衙門察例具奏伊孫筆帖式鐵

寶著賞給主事分部行走用示篤念蓋臣至意欽此

395 光緒八年十二月初四日內閣奉

上諭前任吉林將軍富明阿於道光咸豐年間效力

戎行轉戰河南江蘇安徽等省疊著戰功歷任都

統將軍克勤厥職前因患病聞缺茲聞溢逝軫惜

殊深加恩著照將軍例賜卹任內一切處分悉予

開復應得卹典該衙門察例具奏伊子壽山永山

著俟百日孝滿後由該旗帶領引見以示篤念蓋

臣至意欽此

396 光緒十年三月十一日內閣奉

上諭前任成都將軍魁玉於咸豐同治年間從事戎
行轉戰湖北江南等省疊著戰功歷任副都統將
軍克勤厥職前因患病開缺茲聞溘逝軫惜殊深
加恩著照將軍例賜卹任內一切處分悉予開復
應得卹典該衙門察例具奏伊孫一品廕生文冲
著以郎中分部行走用示篤念蓋臣至意欽此

397 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片共十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月初四日奉

旨依議欽此

398

摘錄張之洞李秉衡籌議廣西邊隘摺光緒十三年三月十六日到

龍州開關通商重兵所萃宜有文職大員同任
邊事擬請設太平歸順兵備道一員總轄全邊
駐劄龍州廳以左江道所屬太平府全境暨東
邊南甯府屬之上思州西邊鎮安府屬之小鎮
安通判歸順州隸之沿邊統屬一道以期聯絡
一氣上思州即撥歸太平府屬小鎮安歸順距
太平較遠應升歸順州為直隸州小鎮安改為
鎮邊縣加通判銜屬於歸順州該道兼轄太平
一府歸順一直隸州所有漢土廳州縣土司管
理整飭邊防監督關稅以及經理一切中外交
涉事宜設道庫大使一員經營關稅瑣務應用
編譯委員由該道選擇調委

399 蒙

發下摺件已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片共十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單共五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月初五日奉

旨依議欽此

400 據湖廣總督裕祿等咨送到錢樣一封恭呈

御覽謹

奏

四月初五日

401 光緒十三年四月初五日奉

旨杭州織造著恆秀去欽此

402 知道了

吏部知道

戶部知道

禮部知道

兵部知道

刑部知道

工部知道

該部知道

該衙門知道

吏部知道單併發

戶部知道單併發

禮部知道單併發

兵部知道單併發

刑部知道單併發

工部知道單併發

該部知道單併發

該衙門知道單併發
工部知道單圖併發
覽

吏部議奏

戶部議奏

禮部議奏

兵部議奏

刑部議奏

工部議奏

該部議奏

該衙門議奏

吏部議奏單併發

戶部議奏單併發

兵部議奏單併發

該部議奏單併發

該衙門議奏單併發

戶部速議具奏

刑部速議具奏

戶部叢議具奏

戶部叢議具奏單併發

著照所請

著照所請吏部知道

著照所請戶部知道

著照所請禮部知道

著照所請兵部知道

著照所請刑部知道

著照所請工部知道

著照所請該部知道

著照所請該衙門知道

著來見

著毋庸來見

403 光緒十三年四月初六日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨近日京城銀價
易錢易票任意低昂而物價不減兵民受累據戶部
奏稱由於民間竊議制錢一出大錢將廢各鋪所開
錢票恐將來虧折紛紛收回遂致錢票現錢價值懸
殊等語規復制錢仍准搭用當十大錢本年正月諭

旨甚明何至民間仍未曉諭總由奸商從中把持牟利盡惑愚民狡獪情形實堪痛恨現經戶部擬定章程將來通行制錢之時每當十大錢准折抵制錢二文官民購買物件及各行商賈均照此出入不得稍有參差其捐項稅務亦照此折抵數目搭成交收庶大錢制錢相輔而行不致偏廢所籌各節均係為便民起見即著照所擬辦理該舖商應各安生業無虞虧折所有銀價易錢易票俱當按市值統歸一律不得任意漲落致累民間經此次宣諭後儻再有奸商播弄取巧紊亂錢法一經查出即著該地方各官按律懲辦決不寬貸將此通諭知之欽此

404 光緒十三年四月初六日內閣奉

上諭四川鹽茶道負缺著廷煜補授欽此

405 查四川鹽茶道係衝繁難要缺謹

奏

406 光緒十三年四月初六日內閣奉
上諭湖南永州鎮總兵負缺著任祖文補授欽此

407 查湖南永州鎮總兵係陸路缺謹

奏

408 光緒十三年四月初六日奉

旨依議欽此

戶部奏粵東海防捐輸不得有礙部捐摺

409 光緒十三年四月初六日奉

旨著賞假一月欽此

廣西按察使張聯桂摺

410 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺一件擬批呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月初六日奉

旨依議欽此

411 彭玉麟摺一件遵

旨另擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下欽遵辦理謹

奏

四月初六日

412 光緒十三年四月初七日内閣奉

上諭剛毅奏省會要缺道員開單請簡一摺山西冀

甯道員缺著沈晉祥補授欽此

413 光緒十三年四月初七日内閣奉

上諭山西太原府知府員缺緊要著該撫於通省知

府內揀員調補所遺員缺著吳鴻恩補授欽此

414 光緒十三年四月初七日内閣奉

上諭剛毅奏州縣虧欠交代銀米逾限未繳請旨革

職查抄等語山西已故嵐縣知縣張啟蘊奇嵐州

知州李德挺署懷仁縣知縣唐鈺和順縣知縣左

兆熊虧短各任內正雜各款銀米為數甚鉅前經

勒限追繳迄今尚未完解實屬玩延張啟蘊李德

挺唐鈺左兆熊均著即行革職所有任所寓所資

財嚴密查抄並提集書差嚴訊是侵是挪按律懲

辦其各該故員旗籍家產即著正藍旗漢軍都統

順天府府尹山東巡撫直隸總督一律查封備抵

以重庫款該部知道欽此

415 剛毅片一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

四月初七日

416 光緒十三年四月初七日內閣奉

上諭都察院奏河南民人李延華以洛陽縣漕米違

例浮收並將伊兄李延湧濫刑斃命等詞赴該衙

門呈訴該民人旋即在押病故並由屍身檢出告

示糧單各件一併鈔錄呈覽等語案關苛徵病民

酷刑斃命虛實均應澈底根究著邊寶泉督同臬

司親提人證卷宗秉公研訊務得確情定擬具奏

毋稍贍徇欽此

417 交鑲紅旗滿洲本日引

見補放

盛京佐領一缺擬陪之防禦噶朗阿奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

四月初七日

418 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片六件單四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月初七日奉

旨依議欽此

軍機大臣 字寄

各直省督撫 光緒十三年四月初八日奉

上諭各省提鎮大員均有專閫之責必須才略素優方足以資整頓邇來軍務救平尤應安不忘危物色將才用備任使著各直省督撫於軍營著績人實內無論實缺候補各就其人之才具或長於陸路或熟於水師出具切實考語分別保奏其曾經引見發往各省差委之提鎮各員本欲令其練習營伍以備緩急並著隨時留心察看如有才識出眾之員一併奏保聽候簡擢各該督撫身膺疆寄以知人為最要務當確切考察勿採虛聲勿徇情面用副朝廷訪求人才整飭武備之至意將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

軍機大臣 字寄

直隸兩江閩浙湖廣四川江蘇安徽江西湖北湖南山東山西各督撫 光緒十三年四月初八日奉

上諭戶部奏請續撥京餉等語近年部庫放款浩繁

疊經戶部續請添撥京餉此次該部體察各省情形擬撥山東地丁銀五萬兩山西地丁銀五萬兩湖南地丁銀五萬兩江西地丁銀四萬兩福建稅釐銀十萬兩兩淮鹽課鹽釐銀八萬兩長蘆榮工加價銀五萬兩江蘇釐金銀十二萬兩安徽釐金銀五萬兩湖北鹽釐銀五萬兩四川津貼銀五萬兩鹽釐銀十萬兩江海關洋稅銀八萬兩九江關常稅銀十萬兩贛關常稅銀一萬兩蕪湖關常稅銀一萬兩洋稅銀一萬兩共銀一百萬兩著該督撫各將所撥餉銀連本年原撥未解京餉均於五月初解到一半十二月初間如數解齊各該督撫務當顧全大局依限提前完解儻藉詞諉卸率請劃抵截留貽誤要需即著該部指名嚴參將此由五百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

抄交戶部

軍機大臣 字寄

署福州將軍古 大學士直隸總督一等肅毅

伯李 兩江總督一等威毅伯曾 閩浙總督

楊 兩廣總督張 四川總督劉 湖廣總督

裕 陝甘總督譚 山東巡撫張 山西巡撫

剛 江蘇巡撫崧 浙江巡撫衛 廣東巡撫

吳 湖南巡撫卞 湖北巡撫奎 安徽巡撫

陳 河南巡撫邊 甘肅新疆巡撫劉 傳諭

護理江西巡撫布政使李嘉樂 粵海關監督

增潤 光緒十三年四月初八日奉

上諭戶部奏速議西征欠餉請於各省關應行解部

款內指撥一摺覽奏均悉劉錦棠一軍應發欠餉

前經戶部議准於浙江等省欠餉內分年撥解時

逾一年僅據閩海關解銀二萬兩各該省任意玩

延實屬不顧大局該軍遠駐關外為時愈久欠餉

愈多前擬酌改營制遣撤舊勇非籌給大批的餉

不足以應急需現據戶部於各省關應行解部款

內指撥銀一百萬兩著該將軍督撫監督迅速籌

撥務於五月底如數解至甘肅轉解劉錦棠應用

一面將起解日期專案奏報此係本應解部有著之款不准稍涉推諉遲延致有貽誤儘逾期不解即著戶部指名奏參譚鍾麟劉錦棠於此項撥款解到後務當從速料理儘此一百萬兩清釐該軍欠餉其餘欠款各該統領營官如何報捐之處即行奏明辦理餘照該部所議行原單著鈔給古尼音布等閱看將此由五百里諭知古尼音布李鴻章曾國荃楊昌濬張之洞劉秉璋裕祿譚鍾麟張曜剛毅崧駿衛榮光吳大澂卞寶第奎斌陳彝邊寶泉劉錦棠並傳諭李嘉樂增潤知之欽此遵旨寄信前來

鈔交戶部

422 光緒十三年四月初八日內閣奉

上諭昨日翰林院引見滿洲日講起居注官各負奏

對履歷清語生疏者甚多並有舉止輕率者實屬

不成事體嗣後各衙門帶領引見人負務當倍加

敬慎滿洲各負口奏清語尤應於平日加意學習

如再錯誤失儀定必予以懲處懍之欽此

423 蒙

發下摺件臣等公同商閱應請

批示漢字摺片四件擬批呈進恭候

欽定俟

硃批

發下欽遵辦理其應行請

旨摺片單四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月初八日奉

旨依議欽此

424 滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

道銜禮部郎中玉恆

侍讀銜刑部郎補主事桂春

四品銜吏部郎補郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾慶額

內閣郎補侍讀志模

滿頭班章京

刑部員外郎吳引孫

刑部員外郎孟繼燠

兵部郎補郎中沈恩嘉

戶部主事顧璜

吏部主事王儼

內閣中書陳邦瑞

四品銜兵部主事胡寶鐸

刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

京察一等 記名道府用四品銜兵部郎中慈岫

理藩院員外郎奎華

戶部郎補主事孚琦

侍讀銜戶部主事廷祉

四品銜理藩院郎中齊普森

四品銜刑部即補貢外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

太僕寺少卿錢應溥

四品銜工部貢外郎祝維城

吏部貢外郎兼襲騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜刑部候補郎中謝元麒

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳若棠

刑部候補主事馮錫仁

貢外郎銜吏部候補主事孫朝華

425

軍機大臣 字寄

閩浙總督楊 浙江巡撫銜 光緒十三年四

月初九日奉

上諭浙江温州府知府惠陞著楊昌濬衛榮光悉心

察看如竟不能勝任即行據實奏奏毋稍遷就將此

各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

426 軍機大臣 字寄

雲貴總督兼署雲南巡撫岑 光緒十三年四

月初九日奉

上諭雲南提督黃武賢迪東道崇繕楚雄府知府袁

祖誥普洱府知府魏錫經浙江府知府彭澤春著

岑毓英悉心察看如竟不能勝任即行據實奏奏

毋稍遷就將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

427 軍機大臣 字寄

河南巡撫邊 光緒十三年四月初九日奉

上諭河南河北道裕昆著邊寶泉悉心察看如竟不

能勝任即行據實奏奏毋稍遷就將此諭令知之

欽此遵

旨寄信前來

428 光緒十三年四月初九日內閣奉

上諭京師本年入春以來雖經得有雨澤尚未渥沛

甘霖現在節近立夏農田待澤方殷允宜虔申祈

禱朕於本月十二日親詣

大高殿拈香

時應宮著派惇親王奕誼

昭顯廟著派貝勒載澄

宣仁廟著派貝勒載漪

凝和廟著派貝子奕謨同於是日分詣拈香欽此

429 光緒十三年四月初九日內閣奉

上諭四川永甯道沈守廉重慶府知府恆齡福建建

甯府知府蔣斯岱均著開缺送部引見欽此

430 光緒十三年四月初九日奉

旨著交戶部分別辦理欽此

正藍旗漢軍副都統

431 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片單共十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單四件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月初九日奉

旨依議欽此

432 光緒十三年四月初十日內閣奉

上諭四川重慶府知府負缺著王道文補授欽此

433 查四川重慶府知府係衝繁難要缺謹

奏

434 光緒十三年四月初九日內閣奉

上諭李鴻章曾國荃奏統兵大負積勞病故臚陳戰績請旨優卹一摺前福建陸路提督唐定奎前隨李鴻章轉戰江蘇直隸山東河南等省攻剿捻逆所向克捷又隨劉銘傳赴陝甘剿匪繼復回防徐州旋調臺灣設防留辦撫番開山事宜剿平番社光緒元年擢授提督嗣復調紮江陰歷著勲勞深資倚任上年因在防患病准其開缺茲聞溢逝軫惜殊深唐定奎著照提督軍營病故例從優議卹加恩予諡原籍及立功省分准其建立專祠並將戰功事蹟宣付國史館立傳以彰忠蓋該衙門知道欽此

435 光緒十三年四月初十日內閣奉

上諭劉銘傳奏臺灣創辦商務摺內抬寫處天恩字樣誤書天准殊屬疏忽著交部察議欽此

436 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片單共四十二件分別繕擬批條同圖

一件一併呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單共八件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月初十日奉

旨依議欽此

437 李鴻章等片一件張之洞等摺一件道擬批條

呈進恭候

欽定候

硃批後同前請
硃批各件一併
發下欽遵辦理謹
奏

四月初十日

438 軍機大臣 字寄

陝甘總督譚 甘肅新疆巡撫劉 光緒十三

年四月十一日奉

上諭譚鍾麟奏錫綸患病甚重請飭色楞額速赴新
任一摺本日已諭知色楞額於文碩接任後迅速
馳赴新任矣該督所奏錫綸病情殊深塵繫發去
如意金黃散二匣譚鍾麟即派負責交錫綸祇領
俾資醫治儘錫綸病竟不支伊犁地方不可無人
統攝著劉錦棠即行馳往暫署將軍篆務甘肅新
疆巡撫著魏光燾暫行護理劉錦棠素抱公忠務
當力疾從事以副倚任將此由五百里各諭令知
之欽此道

旨寄信前來

439 譚鍾麟摺片二件遵擬批條呈進恭候
欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

四月十一日

440 軍機大臣 字寄

伊犁將軍前駐藏大臣色 駐藏大臣文

光緒十三年四月十一日奉

上諭文碩自簡任駐藏大臣後於上年二月請訓赴
任迄今已逾一年尚未據報到任實屬任意遲延
本日據譚鍾麟奏錫綸患病甚重請飭色楞額速
赴新任等語西陲地方關繫緊要錫綸現既患病
尤須色楞額迅往接任惟必俟文碩到任方能交
替起程該大臣現已行至何處著即兼程前進速
抵西藏不准再有耽延致干咎戾色楞額交卸後
並著迅速馳赴新任將一切應辦事宜實心經理

以副委任將此由五百里各諭令知之欽此遵
旨寄信前來

441 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺單七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨見是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月十一日奉

旨依議欽此

442 光緒十三年四月十二日內閣奉

上諭清安奏左翼關稅期滿正額無虧盈餘未能足

額一摺著戶部叢議具奏欽此

443 光緒十三年四月十二日內閣奉

上諭長春奏右翼關稅期滿正額無虧盈餘未能足

額一摺著戶部叢議具奏欽此

444 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨御史謝祖源奏請開官號以維錢法一摺著戶

部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交計黏鈔摺件

四月十二日

445 光緒十三年四月十二日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨李名瀛著仍以

道實儘先選用欽此

神機營奏道員李名瀛報捐槍械請獎片

446 光緒十三年四月十二日奉
旨仍著廖壽恆承修欽此

工部奏營房工程請
派員承修摺

447 光緒十三年四月十二日奉
旨本月二十日著停止升殿欽此

鴻臚寺奏請
升殿摺

448 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單共十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月十二日奉
旨依議欽此

449 辦理軍機處為咨明事本日

發下

賞給

貴督撥雲散二匣每匣十五瓶又

賞給署伊犁將軍錫 如意金黃散二匣每匣十五瓶

相應一併咨送

貴督祇領並派員賞交可也須至咨者

右 咨

陝甘總督

光緒十三年四月十二日

450 光緒十三年四月十三日內閣奉

上諭陳彝奏神靈顯應請頒扁額並加封號一摺安

徽安慶府

城隍神暨懷甯縣

城隍神休甯縣

城隍神夙著靈應前經逆匪竄擾均賴
神靈默佑得以轉危為安每遇地方水旱疾疫祈
禱輒應實深寅感著南書房翰林恭書扁額各一
方交陳彝祇領飭屬分詣懸挂以答
神庥至所請飭加封號之處著禮部議奏欽此

451 光緒十三年四月十三日內閣奉

上諭裕祿現在來京陛見湖廣總督著奎斌兼署欽此

452 交正藍旗滿洲本日引

見

盛京防禦吉林防禦黑龍江驍騎校各一缺擬陪
之驍騎校德吉雲騎尉德蒙額領催長壽奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

四月十三日

453 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片十四件分別繕擬批條呈進恭候
欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月十三日奉

旨依議欽此

454 軍機大臣 字寄

山東巡撫張 光緒十三年四月十四日奉

上諭李鴻章奏訪聞山東淄川縣柵木溝等處素有
鉛礦產苗甚旺請飭開采等語向來京外鼓鑄制
錢皆由貴州湖南運解鉛飭以資配製現在該兩
省辦解無多必須另籌接濟該處礦苗既旺即著

張曜遵委妥贖前往確勘詳定章程奏明辦理原
片著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵
旨寄信前來

455 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字片一件擬批呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月十四日奉

旨依議欽此

456 光緒十三年四月十五日內閣奉

上諭前因京師入春以來雨澤稀少朕於本月十二

日親詣

大高殿拈香並派惇親王奕諒等分詣

時應宮等處拈香虔申祈禱仰荷

昊慈眷佑獲沛甘霖郊原霑足寅感實深謹擇於十六

日朕親詣

大高殿拈香

時應宮著派惇親王奕諒

昭顯廟著派貝勒載澐

宣仁廟著派貝勒載漪

凝和廟著派貝子奕謨同於是日分詣拈香用申

報謝仍冀渥邀

鴻貺賜雨應時以慰農望欽此

457 交上駟院本日引

見商都達布遜諾爾牧羣翼領一缺擬陪之護軍校

鄂特歡奉

旨著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

四月十五日

458 交鑲藍旗蒙古本日引

見補放熱河驍騎校一缺擬陪之委驍騎校福海奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

四月十五日

459 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年四月十六日奉

旨依議欽此

460 蒙

發下摺件已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片共五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理

奏

光緒十三年四月十七日奉

旨依議欽此

461 軍機大臣 字寄

兼管順天府府尹畢 府尹高 光緒十三年

四月十八日奉

上諭有人奏張家灣迤東之北運河自沖開新河後

沿河兩岸之地以河為界不准越占署通州知州

王忠陰嗜利徇私執許越河耕種恐釀巨案請飭

查辦等語該處沿河地畝既經歷任知州訊斷不

准越占何以該署敢任意讞斷所奏是否屬實著

畢道遠高萬鵬確切查明據實具奏原片着鈔給
閱看將此各諭令知之欽此道

旨寄信前來

462 光緒十三年四月十八日內閣奉

上諭着派恩承薛允升馳驛前往廣西查辦事件隨
帶司貲著一併馳驛欽此

463 謹查嘉慶二十年二月內閣奉

旨乾清宮尊藏

實錄

玉牒着間歲抖晾一次每次着軍機大臣奏派滿漢文

職大臣各二員於四月內率批本處各員暨乾清宮

總管首領太監等敬謹抖晾即自今歲為始欽此上

屆光緒十一年查照成案奏請

派員抖晾本年又屆應行抖晾年分臣等謹將滿漢

文職大員除有差事各員不行開列外分繕名

單進

呈恭候

欽派滿漢大臣各二員並上屆

派出各員繕單恭呈

御覽所有抖晾日期由該員等選擇先期知照敬事

房批本處內務府照例豫備屆期敬謹遵辦謹

奏

光緒十三年四月十八日奉

硃筆圈出麟書嵩申徐郁薛允升欽此

464 協辦大學士尚書福錕

尚書奎潤

麟書

硃

紹祺

都察院左都御史松森

侍郎嵩申

熙敬

敬信

耀年

師曾

桂全

清安

崇禮

內閣學士豐烈

文治

太僕寺卿愛廉

465 尚書翁同龢

畢道遠

硃○ 侍郎徐鄰

孫詒經

薛允升

內閣學士錢桂森

宗人府府丞薛福辰

詹事府詹事李端棻

署大理寺卿馮爾昌

466 光緒十一年

派出各員名單

延煦

照敬

畢道遠

徐樹銘

467 蒙

發下摺件已奉

硃批八件其餘應請

批示清漢摺片共十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨清漢摺片二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月十八日奉

旨依議欽此

468 光緒十三年四月十九日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨尚昌懋著交總理海軍事務銜門王大臣差遣委用欽此

469 光緒十三年四月十九日內閣奉

上諭曾國荃等奏神靈昭著請加封號並頒扁額一摺江蘇東臺縣

城隍神素著靈異每遇地方水旱疾疫一經紳民祈禱無不轉危為安實深寅感著南書房翰林恭書扁額一方交曾國荃等祇領飭屬敬謹懸挂以答神庥至所請飭加封號之處著禮部議奏欽此

470 光緒十三年四月十九日內閣奉

上諭都察院奏參相驗匪報之正指揮請交部議處一摺西城正指揮張吉貞於兵丁李瑞自縊身死一案遲至兩月之久始行詳報所稱相驗日期前後又不相符實屬任意顛預有心諱匿張吉貞著交部照例議處欽此

471 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示清漢摺片單八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月十九日奉

旨依議欽此

472 光緒十三年四月二十日內閣奉

上諭李嘉樂奏特參交代虧短各員請旨拏問監追查抄開單呈覽一摺江西已革知縣戴雲漢等前在各本任署任內虧短交代銀兩為數甚鉅疊經

勒限嚴催抗不完解實屬玩延已革前署萬年縣
 知縣戴雲漢前代理都昌縣知縣王家棟前代理
 瑞金縣知縣葉滋熊前署餘干縣知縣孫灝前署
 鉛山縣知縣蕭國瑞前任義甯州知州寶鴻甄前
 任安仁縣知縣鍾烈前署新喻縣知縣蔣煥雲前
 代理進賢縣知縣李文同均著拏問並提已革病
 故前任餘干縣知縣蔡世馨前署建昌縣知縣邱
 文光前署永豐縣知縣彭際威前任豐城縣知縣
 項珂前署建昌縣知縣蔡厚積前署永甯縣知縣
 柯榮前署永豐縣知縣楊家善前署瑞金縣知縣
 孫長慶前署永豐縣知縣陳庚銓前署安福縣知
 縣雙責前署信豐縣知縣邵椿齡前署瑞昌縣知
 縣周振銳前署宜春縣知縣程培塋前任宜春縣
 知縣韓潤等各家屬及各該經手丁胥人等嚴訊
 是侵是挪分別監追按律懲辦並查明各該負任
 所寓所資財嚴密抄封其各該負旗籍家產即著
 鑲藍旗漢軍都統順天府府尹閩浙總督浙江安
 徽湖北湖南河南山東廣東廣西雲南各巡撫一
 律查封備抵以重庫款該部知道單併發欽此

473 李嘉樂片一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

四月二十日

474 交內閣轉傳各部本日軍機大臣面奉

諭旨御史胡俊章奏各省題咨事件遲延請飭立限

辦理一摺著該部議奏欽此希即轉傳各部欽遵

辦理可也此交

計黏鈔摺一件

四月二十日

475 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨御史胡俊章奏州縣交代請飭部定章責成道

府督催等語著戶部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

計黏鈔片一件

四月二十日

476 交正黃旗滿洲本日引

見補放綏遠城驍騎校一缺擬陪之前鋒巴圖隆阿奉
旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

四月二十日

477 交翰林院軍機大臣面奉

諭旨著張之萬麟書徐桐於翰林官內擇品學兼優

堪在上書房行走者二三員奏明候旨欽此相應

傳知欽遵辦理可也此交

四月二十日

478 丁憂回旗百日服滿前湖北督糧道素麟

硃○旨回原衙門行走

479 蒙

發下摺件已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月二十日奉

旨依議欽此

480 光緒十三年四月二十一日內閣奉

上諭光祿寺卿郭勒敏布奏目疾未痊懇請開缺一

摺郭勒敏布著准其開缺欽此

481 交鑲白旗滿洲本日引

見補放黑龍江佐領一缺擬陪之保送驍騎校巴札

爾奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽道辦理可也此交

四月二十日

482 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月二十一日奉

旨依議欽此

483 光緒十三年四月二十二日內閣奉

上諭陳彝奏甄別知縣一摺安徽東流縣知縣王聚

奎嗜好頗重聲名平常著勒令休致望江縣知縣

何榮楠微糧聽訟均欠講求舒城縣知縣張成瀚

年力已衰志不在遠均著改為教職歸部選用以

肅官方餘著照所議辦理該部知道欽此

484 陳彝片一件道擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

四月二十日

485 蒙

發下摺件已奉

硃批十一件其餘應請

批示清漢摺片共二十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片七件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月二十二日奉

旨依議欽此

486 前浙江衢州府知府劉國光

硃○旨著以同知用

487 前浙江衢州府知府劉國光

旨著以簡缺知府用

488 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示清漢摺片單十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月二十三日奉

旨依議欽此

489 李鴻章片一件道擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

四月二十日

490 光緒十三年四月二十四日奉

上諭御史方汝紹奏溝渠要工承修未久已形淤塞
請飭賠修一摺著原派大臣查明覆奏欽此

491 光緒十三年四月二十四日奉

旨周之辰著暫行解任聽候傳訊欽此

刑部奏審明陳命案中聞業摺

492 蒙

發下摺報 臣等公同商閱應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月二十四日奉

旨依議欽此

493 交翰林院本日軍機大臣面奉

諭旨翰林院修撰曹鴻勳王仁堪編修高釗中著於

閏四月初二日由該衙門帶領引見欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

四月二十五日

494 光緒十三年四月二十五日奉

旨仍留學政之任欽此

吏部摺

495 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月二十五日奉

旨依議欽此

496 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片二十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片七件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月二十六日奉

旨依議欽此

497

岑毓英摺一件徐承祖摺一件遵擬批條呈進

恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

498 光緒十三年四月二十七日奉

旨此案著交楊昌濬督同臬司親提人證卷宗秉公

研訊確情按律定擬具奏控告民人許新該部照

例解往備質欽此

499 光緒十三年四月二十七日奉

旨依議欽此

刑部奏達議四續獲救匪案內名開擬按例定擬等因

500 蒙

發下摺件已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月二十七日奉

旨依議欽此

501 光緒十三年四月二十八日內閣奉

上諭福裕現已簡放兩淮鹽運使應即前赴新任其

所署西甯辦事大臣著奎順暫行署理欽此

502 交吏部本日軍機大臣欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨已革河南補用

知府馬永修前經醇親王奕譞等奏該員報捐銀一

萬二千兩為海軍衙門購備船械之用並聲稱不敢

仰邀議敘當經加恩開復原官仍歸原省補用此係

特旨開復與尋常報捐開復不同茲據御史屠仁守

奏該員係不准捐復之員等語著吏部查明例案具

奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

四月二十八日

503 光緒十三年四月二十八日奉

旨准其抵銷欽此

吏部奏家議劉銘傳摺

504 光緒十三年四月二十八日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨依議欽此

海軍衙門奏道員潘承安等報捐銀兩片

505 光緒十三年四月二十八日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨潘承安著以道員即選並賞加二品銜沈爾嘉毓俊著以道員籤掣名次即選李鳴梧著以知府在任即選該部知道欽此

海軍衙門奏道員潘承安等報捐銀兩片

506 光緒十三年四月二十八日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨即著雷正綰擇尤奏請獎敘毋稍冒濫欽此

神機營奏雷正綰擬保人員摺

507 光緒十三年四月二十八日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨依議片二件併發欽此

醇親王會總理衙門吏部禮部奏道員陳瑞榮條摺

508 光緒十三年四月二十八日奉

旨著咨行倉場侍郎覆查說明具奏欽此

順天府奏道員程慶書文張毓麟奏摺摺

509 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示清漢摺片單共二十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理海軍衙門神機營暨總理衙門會

奏摺片七件擬於

召見時恭請

慈禧旨譚鍾麟摺一件崇文摺片二件吏部順天府摺二

件請

旨辦理是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年四月二十八日奉

旨依議欽此

510 交鑲黃旗滿洲本日引

見補放杭州防禦一缺擬陪之駝騎校迎祿奉
旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

四月二十九日

511 交鑲黃旗蒙古本日引

見補放西安甯夏駝騎校各一缺擬陪之前鋒伊勒

屯羅林奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

四月二十九日

512 交鑲藍旗滿洲本日引

見補放吉林駝騎校一缺擬陪之領催常喜奉
旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

四月三十日

513 辦理軍機處為咨行事本日

發下出使大臣徐承祖請頒日本橫濱

開帝廟扁額一方相應咨送

貴督請煩查照轉發可也須至咨者

右 咨

直隸總督

光緒十三年四月三十日

514 蒙

發下摺件已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年四月三十日奉

旨依議欽此

515 光緒十三年閏四月初一日內閣奉

上諭雲南曲靖府知府員缺著文彬補授欽此

516 查雲南曲靖府知府係衝繁疲難最要缺謹
奏

517 光緒十三年閏四月初一日內閣奉

上諭殺虎口監督恩壽奏差滿回京齋交盈餘銀兩
一摺所得盈餘等項銀一萬六千六十二兩零均
交廣儲司恩壽著毋庸賞給該衙門知道欽此

518 光緒十三年閏四月初一日內閣奉

上諭邊寶泉奏參知縣虧欠交代請分別查抄勒追
等語河南已革署正陽縣知縣項則周已故署蘭
儀縣知縣唐毓衡虧短交代銀兩前經勒限追繳
迄未完解實屬玩延項則周唐毓衡各任所寓所
資財及原籍家產著一併查抄備抵並提集經手
丁書嚴訊是侵是挪按例究辦休致宜陽縣知縣
謝應起虧欠正雜銀兩甚鉅著摘去項戴勒限兩
箇月追繳餘依議該部知道欽此

519 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示清漢摺片二十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年閏四月初一日奉

旨依議欽此

520 光緒十三年閏四月初二日內閣奉

上諭薛允升現在出差刑部左侍郎著沈秉成署理
欽此

應署漢侍郎名單

內閣學士周德潤 現署工部右侍郎

錢桂森

沈秉成

都察院左副都御史白桓

徐樹銘

宗人府府丞薛福辰

通政使司通政使黃體芳

詹事府詹事李端棻

應兼署漢侍郎名單

吏部右侍郎李鴻藻

戶部左侍郎孫詒經

右侍郎曹紀澤

禮部左侍郎徐郁 現兼署吏部左侍郎

右侍郎童華

兵部左侍郎廖壽恆

右侍郎孫家鼐

刑部右侍郎許庚身 現署兵部尚書

工部左侍郎孫毓汶 現在請假

523 交翰林院軍機大臣面奉

諭旨本日引見之翰林院修撰曹鴻勳王仁堪編修

高釗中均著於本月初三日豫備召見欽此相應

傳知

貴衙門轉傳各該負欽遵可也此文

閏四月初二日

524 光緒十三年閏四月初二日奉

旨知道了欽此

吏部奏查明河南知府馬永修開復革職處分摺

525 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年閏四月初二日奉

旨依議欽此

526

光緒十三年閏四月初三日內閣奉

上諭翰林院修撰曹鴻勳王仁堪編修高釗中均著

在上書房行走欽此

527 光緒十三年閏四月初三日奉

旨依議溝隄兩岸應否各築長牆之處著工部議奏

欽此

曹鴻勳奏遵旨化石橋水關口門於寒字指

528

交正黃旗漢軍本日引

見補放廣州驍騎校擬陪之領催崔堂奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此文

閏四月初三日

529 蒙

發下摺報已奉

硃批八件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨清漢摺片單共六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年閏四月初三日奉

旨依議欽此

530 蒙

發下摺報已奉

硃批十件其餘應請

批示漢字摺片二十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年閏四月初四日奉

旨依議欽此

531 交吏部本日軍機大臣面奉

諭旨綿宜奏召見到遲自請議處一摺綿宜著交部

議處欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此文

計開摺摺二件

閏四月初五日

532 交正白旗滿洲本日引

見補放福州防禦一缺擬陪之驍騎校成惠奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此文

閏四月初五日

533 光緒十三年閏四月初五日奉

旨依議欽此

戶部奏請王官錢票局摺

534 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片二十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬於

呂見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年閏四月初五日奉

旨依議欽此

535 交兵部本日軍政引

見年至六十五歲以上之正黃旗三等侍衛那清阿等奉

旨均著照舊供職欽此相應傳知

貴部欽遵可也此交

閏四月初六日

536 交正白旗蒙古本日引

見之三等輕車都尉三多奉

旨著回原處當差欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

閏四月初六日

537 交鑲紅旗漢軍本日引

見廣州協領一缺

盛京佐領一缺擬陪之佐領黃國鼎驍騎校寶隆奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

閏四月初六日

538 交鑲黃旗蒙古本日引

見察哈爾驍騎校一缺擬陪之前鋒光楚克扎布奉旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

閏四月初六日

539 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕擬批條同圖一件一併

呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年閏四月初六日奉

旨依議欽此

540 張曜片一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一件

發下欽遵辦理謹

奏

閏四月初六日

541 蒙

發下摺件已奉

硃批九件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年閏四月初七日奉

旨依議欽此

542 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年閏四月初八日奉

旨依議欽此

543 滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

道銜禮部郎中玉恆

侍讀銜刑部郎中補主事桂春

四品銜吏部郎中補郎中保謀

五品頂戴戶部筆帖式和爾賡額

內閣即補侍讀志樸

漢頭班章京

刑部員外郎吳引孫

刑部員外郎孟繼堦

兵部即補郎中沈恩嘉

戶部主事顧璜

吏部主事王倣

內閣中書陳邦瑞

四品銜兵部主事胡寶鐸

刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

京察一等記名以道府用四品銜兵部郎中堃岫

理藩院員外郎奎華

戶部即補主事孚琦

侍讀銜戶部主事延祉

四品銜理藩院郎中齊普森

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

太僕寺少卿錢應溥

四品銜工部員外郎祝維城

吏部員外郎兼襲騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜刑部候補郎中謝元麒

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳蒂棠

刑部候補主事馮錫仁

員外郎銜吏部候補主事孫朝華

544 光緒十三年閏四月初九日內閣奉

上諭卞寶第奏已故提督卓著戰功懇請議卹並宣

付史館一摺前湖南提督周寬世忠勇性成久在

軍營轉戰湖南湖北安徽廣東江西等省克復名

城戰績疊著嗣以傷疾舉發開缺回籍旋因積勞

病故加恩著照所請交部照軍營立功後病故例

議卹其生平戰功事蹟並著宣付國史館立傳以彰勞勩該衙門知道欽此

545 光緒十三年閏四月初九日內閣奉

上諭卞寶第奏已故提督戰績卓著懇恩宣付史館立傳等語已故前署湖南提督王永章統帶湘軍轉戰江蘇安徽湖北等省所向克捷卓著勩勞嗣赴廣東辦理防務積勞病故業經交部從優議卹著將生平戰績宣付國史館立傳以彰忠蓋該衙門知道欽此

546 光緒十三年閏四月初九日內閣奉

上諭張曜奏參劾州縣請旨分別懲辦等語山東益都縣知縣李溱過案科罰民多愁怨且兼辦鹽務有浮運情事著先行革職聽候查辦候補知縣汪錫爵屢辦河工巧於舞弊著即行革職候補知州王家傑身體軟弱辦事不能認真著勒令回籍以肅官方該部知道欽此

547 光緒十三年閏四月初九日奉旨均著不准抵銷欽此

吏部奏議處實人府前理事官回籍等因

548 光緒十三年閏四月初九日奉

旨工部議奏欽此

光緒十三年閏四月初九日奉旨工部議奏欽此

549 交內務府本日引

見

福陵尚膳正一缺擬陪之尚茶副保祥奉

旨著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此文

閏四月初九日

550 蒙

發下摺件已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年閏四月初九日奉

旨依議欽此

551 查湖南永州鎮總兵廖長明前經奉

派致祭

炎帝神農氏陵

帝舜有虞氏陵現在該總兵業已病故擬請改

派湖南鎮寧鎮總兵唐瑞廷前往致祭恭候

命下行知禮部遵照謹

奏

光緒十三年閏四月初九日奉

旨依議欽此

552 光緒十三年閏四月初十日內閣奉

上諭戶部奏遵議清安所交左翼監督盈餘銀兩一

摺所交盈餘銀二千三百三十七兩零著交廣儲

司清安短收額內盈餘銀兩應得處分著加恩寬

免餘依議欽此

553 光緒十三年閏四月初十日內閣奉

上諭戶部奏遵議長春所交右翼監督盈餘銀兩一

摺所交盈餘銀四百五十二兩零著交廣儲司長

春短收額內盈餘銀兩應得處分著加恩寬免餘

依議欽此

554 光緒十三年閏四月初十日奉

旨准其留監補用欽此

國子監奏學習典籍簿籍與庫帶領引見

555 光緒十三年閏四月初十日奉

旨准予議敘欽此

國子監奏勸諭教習屯田帶領引見

556 蒙

發下摺報且等公同商閱應請

批示漢字摺片單十六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年閏四月初十日奉

旨依議欽此

557 蒙

發下摺件已奉

硃批十件其餘應請

批示漢字摺片二十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理吏部題通政使司副使缺開列請

簡本擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨遵行謹

奏

光緒十三年閏四月十一日奉

旨依議欽此

558 光緒十三年閏四月十二日內閣奉

上諭巡視北城御史恩燾等奏特參捕務廢弛之坊

官一摺本年正月間石窩村民婦賈李氏被賊毆

傷身死一案該城副指揮李金章職司緝捕事前

既疎於防範事後又未能速獲要犯實屬捕務廢

弛李金章著交部照例議處欽此

559 交兵部本日軍機大臣面奉

諭旨諫光奏召見到遞自請議處一摺諫光著交部

議處欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交計部鈔摺件

閏四月十二日

560 據直隸總督李鴻章咨送到畿輔通志二十四

函恭呈

御覽謹

奏

光緒十三年閏四月十二日奉

旨知道了欽此

561 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片二十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年閏四月十二日奉

旨依議欽此

562 光緒十三年閏四月十三日奉

旨着賞假二十日欽此

貴州按察使馬丕瑤奏請假回籍省親

563 蒙

發下岐元摺片二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年閏四月十三日奉

旨依議欽此

564 光緒十三年閏四月十四日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨皇帝大婚典禮
崇隆允宜先期豫備一切應辦事宜著派總管內務
府大臣遵照會典敬謹辦理國家經費有常目下整
頓武備需款孔多各省時有偏災尤宜體念民艱愛
惜物力朝廷躬行節儉為天下先該大臣等務當仰
體崇實黜華之意嚴飭承辦各員認真經理不准稍
涉浮冒所有支發款項著醇親王奕譞隨時稽查以
期覈實至各衙門應行備辦事宜並著敬稽典禮先
期具奏候旨遵行欽此

黃而紅表

565 軍機大臣 字寄

戶部 兩江總督一等威毅伯曾 江蘇巡撫

咨 浙江巡撫衛 傳諭護理江西巡撫布政

使李嘉樂 光緒十三年閏四月十四日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨醇親王奕譞等
奏部撥海軍經費解不足數請旨飭催一摺海軍為
自強要政現在創辦伊始全賴費用充裕戶部原撥
十二年分該衙門經費內釐金一項江蘇欠解銀十
八萬兩浙江欠解銀八萬兩江西欠解銀十五萬兩
似此任意遷延以致辦事掣肘殊屬不顧大局著曾
國荃駁衛榮光李嘉樂迅將前欠銀兩趕緊籌解
並本年各省應解之項務當於年內掃數解清不准
絲毫蒂欠至福建廣東應撥海防經費已歸本省動
用滬尾打狗二口已歸臺防著戶部另籌的款相抵
以符原撥四百萬兩之數嗣後各省開撥解海軍款
項若不年清年款並著該部嚴定處分指名奏參果
能全數清即著的覈請獎原摺均著鈔給閱看將此
諭知戶部並由五百里諭知曾國荃駁衛榮光花
傳諭李嘉樂知之欽此遵

旨寄信前來

566 軍機大臣 字寄

署黑龍江將軍恭 副都統祿 光緒十三年

閏四月十四日奉

上諭前據文緒等奏請將戍員李維通等矜釋當經
諭令俟一年後再行請旨茲據恭鏜等奏遵旨查
看戍員慈恩釋回既稱戍員五名何以祇敘李維
通等四員未將魏魯普一員列入且布彥巴達爾
虎係已革驍騎校誤作護軍校種種舛錯實屬粗
率著恭鏜祿彭迅即詳晰覆奏其所請將各該戍
員免罪釋回之處俟奏到時再降諭旨將此各
諭令知之欽此遵

旨寄信前來

567 光緒十三年閏四月十四日奉

上諭粵海關向有呈進貢物每年呈進幾次約共用
銀若干著增潤即將實在數目詳細覆奏將此諭
令知之欽此

軍機大臣 遵

旨傳諭粵海關監督增潤

568 文吏部軍機大臣 面奉

諭旨本日引見之前江西南康府知府曹秉添著於

十五日豫備召見欽此相應傳知

貴部轉傳該員欽遵可也此文

閏四月十四日

569 光緒十三年閏四月十四日奉

旨均著准其抵銷欽此

吏部奏查議改之詞等處分可查核欽此

570 咸豐二年三月二十六日內閣奉

上諭五月初四日

方澤太祀

皇考宣宗成皇帝升配

地壇朕於前一日闕視祝版畢還宮辦事後由東華門

出安定門恭詣

皇祇室拈香即至

宣宗成皇帝神牌黃幄行禮仍進安定門詣

雍和宮齋宿嗣後

地壇大祀俱照舊例在宮內齋宿欽此

571 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示清漢摺片二十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理海軍衙門摺一件擬於

召見時恭請

懿旨恭鐘等劉銘傳片各一件吏部摺一件請

旨辦理是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年閏四月十四日奉

旨依議欽此

572 蒙

發下陳彝摺片單六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年閏四月十五日奉

旨依議欽此

573 光緒十三年閏四月十六日內閣奉

上諭前江西南康府知府曹東瀆著交軍機處存記

欽此

574 光緒十三年閏四月十六日內閣奉

上諭劉銘傳奏臺灣各路生番歸化並開山招撫情

形請將出力將領獎賜一摺覽奏均悉臺灣前後

山各路生番自上年十月經劉銘傳檄委將領開

通道路設法招撫數月之間後山南北兩路生番

二百十八社番丁五萬餘人前山各路生番二百

六十餘社番丁三萬八千餘人均各次第歸化可
墾田園數十萬畝辦理尚為妥速劉銘傳督率有
方深堪嘉尚其尤為出力之副將張兆連陶茂森
均著以總兵記名簡放守備鄭有勤著以都司儘
先補用並賞加遊擊銜其餘在事出力員弁准其
彙案請獎毋許冒濫餘著照所議辦理該部知道欽此

575 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片五件分別繕摺批條呈進恭候

欽命俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年閏四月十六日奉

旨依議欽此

576 交值年旗本日引

見補放黑龍江齊齊哈爾水師營四品官一缺擬陪

之藍翎五品官札祿布奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此文

閏四月十七日

577 交前鋒統領本日引

護軍統領

見補放正白旗察哈爾護軍校一缺擬陪之七品頂

戴領催綽克圖格勒爾奉

旨著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此文

閏四月十七日

578 交前鋒統領本日引

護軍統領

見補放鑲藍旗察哈爾護軍校一缺擬陪之前鋒三

音布彥奉

旨著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此文

閏四月十七日

579 蒙

發下摺報日等公同商閱應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽命候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年閏四月十七日奉

旨依議欽此

580 蒙

發下摺報日等公同商閱應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年閏四月十八日奉

旨依議欽此

581 蒙

發下摺報日等公同商閱那遜解克圖奏病請

賞假摺一件擬請

旨賞假一月同其餘應請

批示清漢摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年閏四月十九日奉

旨依議欽此

582 交正白旗蒙古本日引
見補授

盛京公中佐領一缺擬陪之駝騎校寶巨察哈爾

公中佐領二缺擬陪之駝騎校圖普斯吉爾噶

勒護軍校翰克已雅爾奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此文

閏四月二十日

583 交鑲白旗滿洲本日引

見廣州協領一缺西安駝騎校一缺擬陪之佐領訥

勒和春武舉前鋒瑚克仲泰奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此文

閏四月二十日

584 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片單十九件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年閏四月二十日奉

旨依議欽此

585 光緒十三年閏四月二十一日奉

旨著賞假兩箇月欽此

德馨奏請假修墓片

586 蒙

發下摺報已奉

硃批二十件其餘應請

批示漢字摺片單三十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定條

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年閏四月二十一日奉

旨依議欽此

587 光緒十三年閏四月二十二日內閣奉

上諭河南河北道裕昆著開缺送部引見欽此

588 光緒十三年閏四月二十二日內閣奉

上諭邊寶泉奏神靈顯應請頒扁額一摺河南陝州

等州縣

城隍等神素著靈應每遇地方水旱災異經各官

紳皮禱無不立昭靈貺保衛庫生實深寅感著南

書房翰林恭書扁額各一方交邊寶泉祇領飭屬

分詣陝州

城隍廟

惠濟白龍神祠

明山白龍神祠內黃縣

城隍廟

劉猛將軍廟洧川縣

城隍廟禹州

城隍廟

九龍王廟

金龍四大王廟敬謹懸挂以答

神庥欽此

589 光緒十三年閏四月二十二日內閣奉

上諭楊昌濬奏耆儒碩德遺愛士林願懇恩施一摺

已故三品卿銜前雲南巡撫林鴻年績學砥行主

講正誼書院近二十年敦崇實學造就人材甚眾

迄今士林謳思不泯加恩著將該故員生平學行

事蹟宣付國史館立傳以彰宿學該衙門知道欽此

590 光緒十三年閏四月二十二日內閣奉

上諭松駿奏特參庸劣各員請分別懲辦一摺江蘇候補通判劉度言語虛誇居心詭譎候補知縣汪嗣晉性情粗暴染嗜好候補典史袁錯遇事營私操守難信試用從九品鈕錦文招搖生事行同無賴均著即行革職前署溧陽縣知縣候補知縣朱紉年力就衰捕務廢弛候補知縣孫晉恩心地糊塗難期振作均著勒令休致鎮洋縣知縣梁喬庸才具平庸難膺民社惟文理尚優著以教職歸部銓選昭文縣知縣黃璪人尚謹飭辦事迂緩著間缺留省另補以肅吏治餘著照所議辦理該部知道欽此

591 文內閣本日軍機大臣面奉

諭旨前內閣學士洪鈞翰林院侍讀學士李文田著於本月二十四日豫備召見欽此希即轉傳欽遵可也此交

閏四月二十二日

592 蒙

發下摺報已奉
硃批十件其餘應請
批示漢字摺片十六件分別繕擬批條呈進恭候
欽定候
硃批
發下後欽遵辦理其應行請
旨摺片七件擬於
召見時請
旨是否有當伏候
聖裁謹
奏

光緒十三年閏四月二十二日奉

旨依議欽此

593 據兩江總督曾國荃等咨送錢樣一封恭呈御覽謹

奏

閏四月二十二日

594 軍機大臣 字寄

欽差大學士恩 刑部左侍郎薛 光緒十三年閏

四月二十三日奉

上諭有人奏湖南巡撫卞寶第傲惰乖戾委任私人
道員莊賡良招權納賄州縣營官關說夤緣不勝
枚舉復迎合該撫致送輯私經費陋規該撫用人處
事種種乖方並置搶劫盜案於不問請飭查辦等
語著恩承薛允升按照所奏各節同前交查辦事
件一併確切查明據實具奏毋稍徇隱原摺著鈔
給閱看將此由四百里各諭令知之欽此遵
旨寄信前來

595 光緒十三年閏四月二十三日內閣奉

上諭河南河北道員缺著曹秉哲補授欽此

596 查河南河北道係繁難要缺謹

奏

597 蒙

發下摺件日等公同商閱應請

批示漢字摺片單七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件圖一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年閏四月二十三日奉

旨依議欽此

598 軍機大臣 字寄

步軍統領衙門 順天府 五城御史 光緒

十三年閏四月二十四日奉

上諭御史金壽松奏請飭嚴拏匪類一摺據稱南城
地面及櫻桃斜街一帶有土匪攔路虎楊三即楊

魁龍等立有裕慶恆會名小金剛廖大即廖鳳儀等立有源豐厚會名聚集多人在該地方盤踞滋事種種不法請飭查拏等語匪徒擾害地方亟應嚴拏懲辦著步軍統領衙門順天府五城御史一體嚴密稽查務獲究辦原摺均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵
旨寄信前來

599 蒙

發下摺件已奉

硃批八件其餘應請

批示漢字摺片十三件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年閏四月二十四日奉

旨依議欽此

600 交待銜處本日引

見察哈爾鎮黃旗親軍校一缺擬陪之護軍策光札
布奉

旨著記名欽此相應傳知

貴處欽遵辦理可也此交

閏四月二十五日

601 交正黃旗滿洲本日引

見察哈爾防禦一缺福州甯夏吉林驍騎校各一缺
擬陪之雲騎尉烏仁泰領催永坤前鋒忠恕領
催委官阿昌阿奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

閏四月二十五日

602 光緒十三年閏四月二十五日奉

旨著准其抵銷欽此

吏部奏遵摺稿子藩處分摺

603 蒙

發下摺報已奉

硃批八件其餘應請

批示漢字摺片三十件分別繕摺批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年閏四月二十五日奉

旨依議欽此

604 希元等摺一件遵摺批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

閏四月二十五日

605 光緒十三年閏四月二十六日奉

旨知道了片三件留欽此

太常寺奏及至天祀 祝祀版禮節摺

606 光緒十三年閏四月二十六日奉

旨知道了欽此

太常寺奏及至天祀 地壇行禮禮節摺

607 光緒十三年閏四月二十六日奉

旨均著暫緩修理欽此

造辦處奏修葺等項摺 飭部發欽摺

608 蒙

發下摺報已奉

硃批十件其餘應請

批示漢字摺片二十六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年閏四月二十六日奉

旨依議欽此

609 蒙

發下摺件已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺二件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年閏四月二十七日奉

旨依議欽此

610 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年閏四月二十八日奉

旨依議欽此

611 光緒十三年閏四月二十九日內閣奉

上諭內外巨工章疏聲敘各省地名及臣下銜名等

類均應全寫湖查乾隆嘉慶道光年間疊次欽奉

諭旨訓飭不准率行減省允宜永遠恪遵乃近來奏疏

往往任意減寫如科布多僅稱為科塔爾巴哈台

僅稱為塔吉林黑龍江熱河僅稱吉江熱之類不

勝枚舉至烏魯木齊烏里雅蘇台均稱為烏更屬

漫無區別又如司道但稱某司某道府縣但稱某

守某令殊失君前臣名之義本朝年號尤應敬謹

全書如乾嘉道咸字樣私家著述偶有省文豈可

登諸奏牘嗣後內外各衙門陳奏事件於年號地

名人名等項務當全行書寫不准減文致乖體制

將此通諭知之欽此

612 光緒十三年閏四月二十九日內閣奉

上諭浙江温州府知府惠陞著開缺送部引見欽此

613 光緒十三年閏四月二十九日奉

旨此案著交劉秉璋督同臬司親提人證卷宗秉公

嚴訊確情按律定擬具奏控告張秀方該部照例
解往備質欽此

614 交^吏總理各國事務衙門周德潤奏遵保隨勘滇界出力

各員一摺本日軍機大臣面奉

諭旨張其溶等九員名均著照所請獎勵該衙門知

道單併發欽此又片奏請將繙譯哲美森等獎勵

等語奉

旨著照所請該衙門知道欽此相應傳知

貴州衙門欽遵辦理可也此文計抄摺片單各一件

閏四月二十九日

615 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示清漢摺片十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單五件擬於

召見時請

旨是
否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年閏四月二十九日奉

旨依議欽此

616 光緒十三年五月初一日內閣奉

上諭邊寶泉奏假期屆滿病仍未痊懇請開缺一摺
河南巡撫邊寶泉著准其開缺欽此

617 蒙

發下摺報已奉

硃批十一件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年五月初一日奉

旨依議欽此

618 據閩浙總督楊昌濬送到樣錢一封恭呈

御覽謹

奏

五月初一日

619 光緒十三年五月初二日內閣奉

上諭河南巡撫著倪文蔚補授欽此

620 倪文蔚

前任廣東巡撫因病開缺光緒十二年五月初

一日奉

旨俟病痊後仍遵前旨來京陛見 本年正月到京

621 光緒十三年五月初二日內閣奉

上諭本日道旁叩關之領催鳳岡著交刑部嚴行審

訊欽此

622 鳳岡供現年三十三歲係正白旗漢軍景全佐

領下人現充領催因已故胞叔領催明印從前

辦公虧欠銀兩負債太多經我代選一年有餘
無力還清債主蔡得貴大力李帶領多人勒逼
要錢情急叩

聞所供是實

623 蒙

發下摺件已奉

硃批十二件其餘應請

批示漢字摺片十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨片一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年五月初二日奉

旨依議欽此

624

直隸布政使松椿 滿洲鎮益旗人
光緒十一年九月補湖南藩司嗣調直隸

江蘇布政使易佩紳 湖南舉人
光緒八年十一月補山西藩司嗣調四川

江甯布政使許振祥 江西進士
光緒十二年六月補

安徽布政使阿克達春 滿洲正白旗生員
光緒十二年八月補

山東布政使崇保 同治八年四月補甘肅藩司嗣調山東
滿洲鎮黃旗進士

山西布政使張煦 甘肅進士
光緒十年十一月補廣東藩司嗣調山西

河南布政使劉瑞祺 江西進士
光緒十二年七月補

署陝西布政使李用清 山西進士
光緒十二年七月署

甘肅布政使譚繼洵 湖南進士
光緒十年十月補

甘肅新疆布政使魏光燾 湖南人
光緒九年三月補甘肅藩司嗣調新疆

浙江布政使許應錄 廣東進士
光緒十年九月補

福建布政使張夢元 直隸舉人
光緒九年九月補廣西藩司嗣調福建

福建臺灣布政使邵友濂 浙江舉人
光緒十三年二月補

江西布政使李嘉樂 河南進士
光緒十二年五月補

湖北布政使蒯德標 安徽舉人
光緒九年正月補

湖南布政使孫翼謀 福建進士
光緒十二年五月補

廣東布政使高崇基 直隸進士
光緒十一年二月補山西藩司嗣調廣東

廣西布政使李東衡 奉天監生
光緒十一年六月補

四川布政使崧蕃 滿洲正藍旗舉人
光緒十二年九月補

雲南布政使曾紀鳳 湖南生員 光緒十一年六月補貴州藩司副調雲南
貴州布政使李元度 湖南舉人 光緒十三年二月補

直隸按察使陶樸 浙江進士 光緒十一年九月補

江蘇按察使張富年 浙江附貢生 光緒十二年五月補

安徽按察使張岳年 浙江舉人 光緒十二年八月補

山東按察使福潤 蒙古正紅旗附生 光緒十二年八月補湖北臬司副調山東

山西按察使嵩崑 滿洲鑲紅旗監生 光緒十二年二月補

河南按察使賈致恩 山東廩生 光緒十三年二月補

陝西按察使黃彭年 貴州進士 光緒九年正月補湖北臬司副調陝西

甘肅按察使方汝翼 直隸舉人 光緒十二年五月補

浙江按察使蕭韶 湖南舉人 光緒十二年七月補

福建按察使裴蔭森 江蘇進士 光緒九年二月補

江西按察使瑞璋 滿洲正紅旗人 光緒十一年十月補

湖北按察使成允 正紅旗監生 光緒十二年三月補山東臬司副調湖北

湖南按察使豫山 滿洲正黃旗監生 光緒十二年九月補

廣東按察使王毓藻 湖北進士 光緒十二年九月補

廣西按察使張聯桂 江蘇附貢生 光緒十二年十月補

四川按察使游智開 湖南舉人 光緒十二年三月補

雲南按察使史念祖 江蘇監生 光緒十年八月補
貴州按察使馬丕瑤 河南進士 光緒十三年二月補

626 光緒十三年五月初三日內閣奉

上諭張家口監督蔭保奏差滿回京齎交盈餘銀兩
並請減成賠繳虧短盈餘銀兩一摺所得盈餘銀
一千三百二十五兩零著交廣儲司其所請減成
賠繳之處著戶部覈議具奏欽此

627 光緒十三年五月初三日奉

旨著再賞假一月欽此

侍御徐用濟

628 蒙

發下摺件已奉

硃批八件其餘應請

批示漢字摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年五月初三日奉

旨依議欽此

629 光緒十三年五月初四日內閣奉

上諭巡視西城御史慶祥等奏遵保拏獲盜犯出力

之司坊紳董各員請分別獎勵各摺片著該部議

奏單片併發欽此

630 交刑部本日軍機大臣面奉

諭旨巡視中城御史祥祐等奏遵旨拏獲綽號匪徒

一摺所有拏獲之祁士林陳大均著交刑部嚴訊

究辦欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

計粘鈔摺二件

五月初四日

631 交正紅旗滿洲本日引

見甯夏驍騎校一缺擬陪之領催成玉奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

五月初四日

632 交鑲藍旗蒙古本日引

見察哈爾副參領一缺公中佐領一缺擬陪之公中

佐領索特諾木六品捕盜官瑪呢喇特那奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

五月初四日

633 交正藍旗蒙古本日引

見察哈爾巴爾虎公中佐領一缺擬陪之護軍校貢

僧奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

五月初四日

634 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年五月初四日奉

旨依議欽此

635 蒙

發下摺件已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺片二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年五月初五日奉

旨依議欽此

636 蒙

發下穆圖善等摺一件繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年五月初六日奉

旨依議欽此

637 光緒十三年五月初七日内閣奉

上諭唐炯奏請調負辦理礦務等語候選知縣漢文

曠四川機器局委員巡檢高啟文前四川越嶲廳

同知鄧林著吏部及四川總督江西巡撫飭令該
員等迅赴雲南交唐炯差遣要用欽此

638 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年五月初七日奉

旨依議欽此

639

滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

道銜禮部郎中玉恆

侍讀銜刑部郎中主事桂春

四品銜吏部郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾賚額

內閣郎中補侍讀志樸

漢頭班章京

刑部員外郎吳引孫

刑部員外郎孟繼堦

兵部郎中補郎中沈思嘉

戶部主事顧璜

吏部主事王微

內閣中書陳邦瑞

四品銜兵部主事胡寶鐸

刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

京察一等 記名以道府用四品銜兵部郎中堃

理藩院員外郎奎華

戶部即補主事孚琦

侍讀銜戶部主事延祉

四品銜理藩院郎中齊普森

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

太僕寺少卿錢應溥

四品銜工部員外郎祝維城

吏部員外郎兼襲騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜刑部候補郎中謝元麒

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳蒂棠

刑部候補主事馮錫仁

員外郎銜吏部候補主事孫朝華

640 光緒十三年五月初九日內閣奉

上諭載遷等奏請飭發欠款一摺據稱應修各項要

工前經奏撥直隸藩庫銀二萬兩僅領到銀一萬

兩現在工未修竣待款甚殷懇飭籌撥等語著李

鴻章飭令藩司迅將欠發銀一萬兩如數撥給以

應要需另片奏前撥直隸旗祖項下銀一萬兩尚

欠解五千兩請旨飭催等語並著李鴻章飭司籌

撥欽此

641 軍機大臣 字寄

欽差大學士恩 刑部左侍郎薛 光緒十三年五

月初十日奉

上諭有人奏湖南常德府武陵縣洩破村篾匠徐姓

招集亡命萬餘於該村瓦屋牆等處立砮製造軍

器賊渠多人約於本年三月舉事知縣李宗蓮布

圖消弭經該署知府裕慶請兵剿捕始將首從各

犯擒斬多名分別懲辦嗣經該縣捏詞具稟撫臣

亦不之問請飭查辦等語土匪聚眾煽亂豈容地

方官意存諱匿致釀事端著恩承薛允升確切查

明據實具奏另片奏參署湖南提督李勝營伍廢弛貪劣營私各節著恩承等一併嚴查參辦毋稍徇隱原摺片均著抄給閱看將此由四百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

642 軍機大臣 字寄

兼署湖廣總督湖北巡撫奎 湖南巡撫卞

光緒十三年五月初十日奉

上諭有人奏聞烏龍會起自湖北荊州一帶前歲湖南澧州所屬之黑馬塘地方上下圍居民因隄工爭鬪兩造皆在烏龍會中之人請飭密查解散等語近年楚省會匪萌孽潛滋亟宜先事預防免致養癰貽患著奎斌卞寶第嚴密查明分別拏禁解散以靖地方將此由四百里各諭令知之欽此遵旨寄信前來

643 光緒十三年五月初十日內閣奉

上諭御史慶祥奏八旗置買房地納稅未能畫一請飭量為變通一摺著戶部議奏欽此

644 交刑部本日軍機大臣面奉

諭旨御史慶祥奏民間私藏洋槍加等治罪並嚴定洋槍傷人罪名等語著刑部議奏又片奏請禁獄卒索賄凌虐罪囚著該部堂官督飭司員嚴行查禁欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交 計粘鈔片二件

五月初十日

645 順天府 文步軍統領衙門本日軍機大臣面奉

諭旨御史慶祥奏洋槍傷人之案層見疊出請飭嚴禁等語著步軍統領衙門順天府五城御史一體出示嚴行禁止遇有槍傷之案即行嚴拏懲辦以靖閭閻欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交 計粘鈔片一件

五月初十日

646 蒙

發下摺報已奉
硃批四件其餘應請

批示漢字摺片十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年五月初十日奉

旨依議欽此

647 張曜片一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

648 蒙

發下摺報已奉

硃批九件其餘應請

批示漢字摺片十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年五月十一日奉

旨依議欽此

649 軍機大臣 字寄

署伊犁將軍塔爾巴哈台參贊大臣錫 光緒

十三年五月十二日奉

上諭錫綸奏遵議承化寺僧眾還回塔城室礙情形

一摺並片奏棍噶扎拉參如准回原籍毋庸宣示

等語覽奏均悉前因棍噶扎拉參呼圖克圖於西

北邊情較為熟悉必須安置得宜亦可備以待用

諭令劉錦棠錫綸於新疆所屬擇一距俄較遠可

以安插之地奏明請旨辦理現尚未據奏到著錫綸遵照本年三月二十四日諭旨與劉錦棠妥為籌商迅速覆奏再行降旨原片留中將此由五百里諭令知之欽此遵
旨寄信前來

650 交鑲白旗蒙古本日引

見察哈爾參領驍騎校各一缺擬陪之佐領綳楚克

旺扎勒親軍喇什綳蘇克奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

五月十二日

651 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年五月十二日奉

旨依議欽此

652 光緒十三年五月十三日內閣奉

上諭湖廣總督裕祿著加恩在紫禁城內騎馬欽此

653 光緒十三年五月十三日內閣奉

上諭剛毅奏虧短交代各負分別參追一摺暫行革

職之前山西神池縣知縣孫國恩已革和順縣知

縣夏肇庸已故汾陽縣知縣朱安國前在各任內

虧短正雜各款銀兩為數甚鉅參追後逾限未繳

實屬玩延孫國恩朱安國均著即行革職孫國恩

與夏肇庸一併監追並將該三負寓所資財先行

查抄一面提集經手書差人等嚴訊是侵是挪分別辦理並著順天府府尹浙江巡撫將各該負原籍家產一律查抄備抵興縣知縣王毓雯前因虧欠穀米業經革職查抄現據奏稱該負虧短銀兩延不完繳即著併案嚴追以重庫款該部知道欽此

654 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年五月十三日奉

旨依議欽此

655 蒙

發下黃武賢額請

陞見摺一件擬候

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十三年五月十四日奉

旨依議欽此

656 光緒十三年五月十五日內閣奉

上諭雲南提督黃武賢年力就衰著以原品休致該

提督從前出師打仗疊著戰功加恩著賞食全俸

該部知道欽此

657 道光二十六年閏五月初九日內閣奉

上諭雲南提督張必祿年力衰邁著以原品休致其

曾經出師打仗支食全俸之處著該部照例辦理

欽此

658 光緒十三年五月十五日內閣奉

上諭雲南迤東道崇熾普洱府知府魏錫經均著開缺送部引見欽此

659 光緒十三年五月十五日內閣奉

上諭下賓第奏拏獲謀逆人犯正法一摺據稱本年三月間訪聞武陵縣瓦屋墻地方有外來會匪陰謀為逆結黨甚眾當即知照署提督李勝派撥將弁會同該府縣上緊查拏旋據該縣知縣及提標弁兵馳往該處起有偽示暨刀矛火藥拏獲要匪鍾業章李發兒周旺生周家銀等正法並據都司中大發將首犯龍老九拏獲解省供稱與周旺生楊金幅鍾業章周銀亭趙美畫匠並李么兒李光燮等糾合黨與多人約期起事已於訊供後將該犯即行正法等語匪徒聚眾謀逆實屬罪不容誅業經先後殲除辦理尚為迅速逸犯楊金幅等仍著飭屬一體嚴拏務獲究辦以淨根株出力之都司中大發著交部照例覈給獎敘餘依議欽此

660 交吏部本日軍機大臣面奉

諭旨給事中方汝紹奏丁憂服滿不必生補原缺知縣選缺淹滯請飭部酌議抽選等語著吏部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

計粘鈔片二件

五月十五日

661 交鑲白旗滿洲本日帶領引

見荆州驍騎校擬陪之領催多洛倫奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

五月十五日

662 六品廕生向及三

珠。旨著以營千總用

663 蒙

發下摺報已奉

硃批八件其餘應請

批示漢字摺片十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片九件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年五月十五日奉

旨依議欽此

664 蒙

發下摺件已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件吏部題太僕寺卿開列請

簡本均擬候

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十三年五月十六日奉

旨依議欽此

665 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定其應行請

旨摺片二件擬候

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十三年五月十七日奉

旨依議欽此

666 光緒十三年五月十八日內閣奉

上諭雲南提督著馮子材補授欽此

667 查雲南提督係陸路缺謹

奏

668 光緒十三年五月十八日內閣奉

上諭雲南迤東道員缺著明保補授欽此

669 查雲南迤東道係銜繁難要缺謹

奏

670 光緒十三年五月十八日內閣奉

上諭謙禧奏擊獲積年巨匪請將出力員弁獎勵各摺片匪首楊步漢前在熱河建昌縣等處糾眾滋事當飭熱河都統等派兵緝捕久未弋獲茲據奏

稱本年四月間楊步漢復糾合黨與在撒拉巴營

子地方建築礮臺豎旗滋事當派佐領全齡參將

張錫祿春福督帶官兵練軍前往搜捕該匪黨等

膽敢列陣抗拒勢甚猖獗全齡等督兵分路進攻

擊斃逆匪數十名餘黨紛紛逃匿五月初二日在

平泉州屬老虎溝將楊步漢擒獲並將匪黨李才

等一併擊獲當於訊明後即行正法等語楊步漢

以積年漏網巨匪久稽顯戮此次經謙禧嚴飭將

弁合力兜拏立除巨惡辦理尚屬認真在事出力

各員弁著准其擇尤保獎毋稍冒濫其餘在逃匪

黨仍著該都統會同盛京將軍飭屬一律嚴拏務

期盡絕根株毋留餘孽該部知道欽此

671 交上駟院本日引

見達里崗崖牧羣護軍校一缺擬陪之牧長拉特那

莽嘎拉又大凌河牧羣牧長一缺擬陪之副牧

長景美奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

五月十八日

672 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年五月十八日奉

旨依議欽此

673 光緒十三年五月十九日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨醇親王奕譞之

第七子著命名載濤欽此

674 溙 大波謂之溙

洵 同薦再至也

沼 水名

洪 水名

硃

塗 水名又叢也沒也

淮 水名又均也

溱 水名溱溱衆也

溱 音圓露多貌

潔 清也

潞 水名州名

澳 深也

濤 大波也

瀆 禮法又做法也

渥 雷也

澈 水澄也

湘 水名

涇 水名

浦 浦陽江名

浚 音按潤也

德 水名

675

軍機大臣 字寄

湖南巡撫卞 光緒十三年五月十九日奉

上諭下寶第奏土匪滋事籌辦情形一摺據稱本年閏四月間安鄉縣屬保和垸有匪徒多人賊船多隻將該處鋪店燒去大半並燒殺至華容縣三叉河地方當派統領龔繼昌等水陸各軍前往剿辦等語匪徒聚眾焚掠亟宜趕緊撲滅該省伏莽甚多誠恐蔓延勾結致釀巨患著下寶第督飭派出各營認真剿辦不可因烏合之眾稍涉大意如兵力尚不敷用即著相機添調合力兜剿務將此股匪徒悉數殲除毋留餘孽將此由四百里諭令知之欽此遵

旨寄信前來

676 本日軍機大臣欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨劉銘傳奏整頓武備請飭海軍衙門詳定營規操練章程刊發各省並遵保將才一摺除所保各員已交軍機處存記外其餘所陳各節均著該衙門議奏欽此

677 交總理海軍事務衙門本日軍機大臣欽奉慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨劉銘傳奏整頓武備請飭海軍衙門詳定營規操練章程刊發各省並遵保將才一摺除所保各員已交軍機處存記外其餘所陳各節均著該衙門議奏欽此相應傳知貴衙門欽遵辦理可也此交計轉抄摺一件

五月十九日

678 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單六件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年五月十九日奉

旨依議欽此

679 光緒十三年五月二十日醇親王奕譞面奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨皇帝大婚典禮
應需款項著戶部先行籌畫銀二百萬兩奏明候旨
辦理其各省各織造監督恭辦傳用各件並由部奏
准傳辦之件均著於奉旨後先將價值開送禮儀處
由王大臣核定奏明再行開辦所需款項並著戶部
於各該省豫為指派二百萬兩奏聞候旨遵行欽此

黃面紅裏

鈔交戶部

680 光緒十三年五月二十日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨醇親王奕譞等
奏酌擬恭辦大婚典禮章程一摺所擬辦事公所揀
擇司員慎重錢糧善備辦公經費行查成案各節均
照所請行至所稱簡派總管太監以專責成一節著

派儲秀宮總管連英專司交傳接收一切差務所有
宮內外圍凡有關大婚禮節事件各該處總管首領
太監均著報知該總管奏明辦理並著總管內務府
大臣將傳辦禮儀處事件每月奏聞一次欽此

黃面紅裏

681 光緒十三年五月二十日內閣奉

上諭慶裕等奏查勘

昭陵月牙城牆應修工程請飭擇吉興修一摺著欽天
監於本年五六月內選擇吉期先行知照即著盛
京將軍會同工部侍郎屆期敬謹興修餘著照所
議辦理欽此

682 慶裕摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

683 光緒十三年五月二十日奉

旨粵海關監督著長有去欽此

684 交正白旗蒙古本日引

見察哈爾曉騎校一缺擬陪之前鋒祿塔都什奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

五月二十日

685 光緒十三年五月二十日奉

旨照例兼銜欽此

吏部奏河南巡撫倪文蔚應否兼兵部侍郎

686 本日吏部奏河南巡撫倪文蔚應否兼兵部侍郎

即銜之處奏明請

旨一摺擬請

旨傳照例兼銜恭候

命下傳知該部遵照謹

奏

光緒十三年五月二十日奉

旨依議欽此

687 光緒十三年五月二十日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨依議欽此

工部奏 大婚典禮應辦事宜摺

黃面紅裏

688 光緒十三年五月二十日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨需用絲綢著照

成案三分之一傳辦梭毛著減半辦理欽此

工部奏典禮需用絲綢梭毛請 旨片

黃面紅裏

689 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片單七件分別繕擬批條呈進恭候
欽定候

殊批

發下後欽遵辦理醇親王等摺單共十七件擬於
召見時恭請

懿旨慶裕等慶裕摺二件吏部工部摺片單四件請

旨辦理是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年五月二十日奉

旨依議欽此

690 軍機大臣 字寄

直隸兩江江蘇河南山東各督撫 傳諭淮安

關監督 光緒十三年五月二十一日奉

上諭慶裕等奏請飭催本年餉並歷年欠餉開單

呈覽一摺據稱奉天本年的餉前經戶部議撥山

東等省地丁釐稅等銀共二十六萬兩迄今僅據

山東解到銀二萬兩兩淮報解銀二萬兩其餘各

省均未報解至各省欠解歷年餉銀一百四十八

萬三千餘兩亦未撥解請旨飭催等語奉天支款

各款需餉甚殷亟應迅速撥解以資應用著各該

督撫監督等即將應解奉天本年的餉於六月內

批解一半十月內埽數解清並將欠解歷年專餉

分年搭解以濟要需原單均著鈔給閱看將此由

四百里諭知直隸兩江江蘇河南山東各督撫並

傳諭淮安關監督知之欽此遵

旨寄信前來

鈔交戶部

691 光緒十三年五月二十一日內閣奉

上諭京師入夏以來雖經得有雨澤尚未渥沛甘霖

現在節逾小暑農田待澤方殷允宜虔申祈禱朕

於本月二十四日親詣

大高殿拈香

時應宮著派惇親王奕諒

昭顯廟著派貝勒載澄

宣仁廟著派貝子奕謨

凝和廟著派輔國公載濂同於是日分詣拈香欽此

軍機大臣 字寄

甘肅新疆巡撫劉 署伊犁將軍塔爾巴哈台

參贊大臣錫 光緒十三年五月二十二日奉

上諭本日據沙克都林扎布等奏承化寺僧眾借屠
游牧久未移挪恐滋事端請飭趕緊將地安插等
語前於本年三月二十四日諭令劉錦棠錫綸將
札噶扎拉參徒眾擇地安插錫綸嗣有違回塔城
室礙之奏當諭令仍遵前旨與劉錦棠妥善速覆
迄今尚未奏到現在烏梁海蒙哈官兵逼令該僧
眾趕緊移挪情形急迫雖經沙克都林扎布等暫
行慰諭特恐再事遷延必致別生枝節况該僧眾
極願交還借地與錫綸前奏情勢迥不相同自應
趕緊安插以弭衅端著劉錦棠懍遵前旨會同錫
綸迅於新疆所屬擇一距俄較遠之地俾該僧眾
安插得宜免致該蒙哈等藉端生事並著迅速奏
覆毋再遲緩沙克都林扎布等摺均著鈔給閱看
將此由五百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

軍機大臣 字寄

科布多參贊大臣沙 幫辦大臣魁 光緒十

三年五月二十二日奉

上諭沙克都林扎布等奏請飭交還游牧安插蒙哈
一摺覽奏均悉前因科布多蒙哈雜處未能相安
曾諭令劉錦棠錫綸將承化寺僧眾另行擇地安
置歸還該處游牧為安插蒙哈之地茲復據奏該
處急迫情形已於本日再行諭令該撫等妥為善
商迅速覆奏矣現在該蒙古哈薩克人等即若沙
克都林扎布魁福妥為約束飭令聽候安插毋任
滋生事端至應如何交還游牧之處俟劉錦棠等
奏到後再降諭旨將此由五百里各諭令知之
欽此遵

旨寄信前來

軍機大臣 字寄

江蘇巡撫崧 光緒十三年五月二十二日奉

上諭有人奏蘇州織造奉曾辦公取巧罔利營私冒
銷花本錢銀復有聽信家丁任用私人等情事請

飭查辦等語所奏是否屬實著崧駿確切查明據實具奏勿稍徇隱原摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵
旨寄信前來

695 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年五月二十二日奉

旨依議欽此

696 蒙

發下太常寺奏請

簡負署理卿缺摺擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十三年五月二十三日奉

旨依議欽此

697 光緒十三年五月二十四日內閣奉

上諭奎潤等奏請簡負署理卿缺一摺太常寺少卿

著李端遇署理欽此

698

硃 內閣侍讀學士李端遇

通政使司參議陳希齡

光祿寺少卿胡隆洵

鴻臚寺少卿徐承煜

699 光緒十三年五月二十四日內閣奉

上諭嵩山奏保定城守尉批送駙騎校官缺與該處防禦呈稟兩歧請旨辦理一摺著李鴻章秉公確查據實具奏欽此

700 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年五月二十五日奉

旨依議欽此

701 蒙

發下摺件已奉

硃批十三件其餘應請

批示清漢摺片共二十六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理巡視中城御史祥祐等奏保水會出力紳董暨聲履上屆保案摺片二件單一件均擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十三年五月二十六日奉

旨依議欽此

702 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年五月二十七日奉

旨依議欽此

703 光緒十三年五月二十八日內閣奉

上諭巡視中城御史祥祐等奏遵保五城水會出力

紳董暨聲覆前保各負履歷各摺片著該部議奏
單併發欽此

704 交鑲藍旗漢軍本日引

見廣州驍騎校一缺擬陪之馬甲王紹光奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

五月二十八日

705 光緒十三年五月二十九日內閣奉

上諭前因京師入夏以來雨澤稀少朕於本月二十

四日親詣

大高殿拈香並派惇親王奕詝等分詣

時應宮等處拈香虔申祈禱仰荷

昊慈眷佑渥沛甘霖實深寅感謹擇於六月初一日朕

親詣

大高殿拈香

時應宮著派惇親王奕詝

昭顯廟著派貝勒載澄

宣仁廟著派貝子奕謨

凝和廟著派輔國公載濂同於是日分詣拈香用

申報謝仍冀頻邀

鴻貺甘澍優霑以慰農望欽此

706 光緒十三年五月二十九日內閣奉

上諭誠勲著調補奉天奉錦山海道兼按察使銜欽此

707 各省滿蒙道員名單

奉天驛巡道興陞

吉林分巡道豐仲泰

直隸永定河道塔奇魁

殊。

口北道吉順

霸昌道恩良

大順廣道誠勳

熱河道德克精額

江蘇蘇松糧儲道成桂

安徽徽甯池太廣道雙福

山東督糧道鐸洛崙

山西河東道邁拉遜

歸綏道安祥

河南南汝光道耆紳

糧鹽道鍾瑞

河陝汝道鐵珊

陝西潼商道文光

督糧道曾鉢

甘肅甯夏道世杰

甘涼道奎順

現署西甯辦事大臣

鎮迪道恩綸

浙江杭嘉湖道豐紳泰

金衢嚴道聯綬

福建興泉永道奎俊

延建邵道恩良

汀漳龍道聯興

江西鹽法道長祿

吉南贛甯道文惠

湖北荆宜施道廣敏

湖南衡永郴桂道吉慶

鹽法道普津

廣東惠潮嘉道德泰

高廉道益齡

廣西右江道裕祥

四川成綿龍茂道承厚

川東道伊勒通阿

建昌道寶森

鹽茶道延煜

雲南迤東道明保

708 光緒十三年五月二十九日內閣奉

上諭前據御史胡俊章奏州縣交代請飭部定章責

成道府督催等語當令戶部議奏茲據該部的數
定議所稱盤庫加結分成罰賠及題參摺內聲明
該管上司應行分賠各節舊例新章本極周密乃
各該省奉行不力甚至設法彌縫所有虧空州縣
直至已故已革始行參劾此等積習殊堪痛恨嗣
後各督撫辦理交代之案即著遵照部議督飭藩
司暨該管道府直隸州隨時實力嚴查如各該管
上司有心容隱並不揭報即行據實奏參著落賠
繳分別議處總之立法雖善尤在用人各直省督
撫均當慎選良吏儉以養廉務期下不擾民上不
虧帑以重庫款而除積弊將此通諭知之欽此

709 光緒十三年五月二十九日奉

旨著照所請該衙門知道欽此

徐桐等奏八旗官學教習報滿請併案引 已開

710 蒙

發下摺件已奉

硃批二件應請

批示漢字摺一件謹擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年五月二十九日奉

旨依議欽此

711 蒙

發下成孚摺一件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理禮部奏朝鮮與法國互換條約據

咨轉奏摺並鈔錄原咨一件擬請

旨該衙門知道俟

發下後交該衙門遵照是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年五月三十日奉

旨依議欽此

712 查直隸大順廣道係繁疲難要缺謹

奏

713 光緒十三年六月初一日內閣奉

上諭衛榮光奏神靈顯應請頒扁額並加封號一摺

浙江甯波府象山縣

城隍神前於咸豐同治年間逆匪抵境迭著靈異

光緒九十年該地方水旱偏灾祈禱輒應實深

寅感著南書房翰林恭書扁額一方交衛榮光祇

領飭屬敬謹懸挂以答

神庥至所請勅加封號之處著禮部議奏欽此

714 光緒十三年六月初一日內閣奉

上諭直隸大順廣道員缺著羅錦文補授欽此

715 光緒十三年六月初一日奉

旨杭州織造著廷琦去欽此

716 交值年旗本日軍機大臣面奉

諭旨御史端良奏八旗兵餉應搭放二成錢折銀兩

久未開放請旨飭查一摺著八旗都統查明具奏

欽此相應傳知

貴旗轉傳各旗一體欽遵可也此交計粘鈔摺一件

六月初一日

717 蒙

發下摺報已奉

硃批九件其餘應請

批示漢字摺片十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年六月初一日奉

旨依議欽此

718 衛榮光摺一件遵擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

光緒十三年六月初一日奉
旨依議欽此

719 據衛榮光咨送到錢樣二匣恭呈

御覽謹

奏

720 軍機大臣 字寄

欽差大學士恩 刑部左侍郎薛 光緒十三年六

月初二日奉

上諭有人奏河南新鄭縣民女蒲愛妮叩閭代兄伸
冤一案係鞠捷昌前在開封府任內含糊斷結承
審各負輾轉諉卸不肯舉發又洛陽縣民人李延

華京控違法收漕酷刑斃命一案聞該縣知縣王
道隆確有浮收酷刑情事撫臣規避失察處分恐
難澈底根究等語近來交查案件各省往往袒庇屬
員設法消弭所奏如果屬實亟應確切訊究以達
民隱著恩承薛允升於查辦湖南事件完竣後馳
赴河南提集兩案人證卷宗秉公研鞠務得確情
據實具奏毋稍瞻徇原片著鈔給閱看將此由四
百里諭令知之欽此遵

旨寄信前來

721 光緒十三年六月初二日內閣奉

上諭都察院奏四川奉節縣文生郭海樓遣抱以會
匪李國貴毆斃伊姪郭殿元該縣知縣受賄改供
頂兇等詞赴該衙門呈訴此案業經四川總督具
題到部與該生所控情節不符是否砌詞翻控抑
或另有別情著劉秉璋督同臬司親提人證卷宗
秉公覆訊據實具奏抱告陳德申該部照例解往
備質欽此

722 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年六月初二日奉

旨依議欽此

723 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示清漢摺六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年六月初三日奉

旨依議欽此

724 蒙

發下摺件已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年六月初四日奉

旨依議欽此

725 交兵部本日引

見直隸秦甯鎮標左營把總一缺擬陪之外委郭殿卿奉

旨著記名欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

六月初五日

726 交正白旗滿洲本日引

見吉林佐領一缺擬陪之騎都尉又一雲騎尉明德

杭州防禦一缺擬陪之驍騎校文政江甯驍騎

校一缺擬陪之武舉前鋒慶音奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

六月初五日

727 交正黃旗蒙古本日引

見京口佐領一缺擬陪之防禦廷秀奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

六月初五日

728 百日孝滿前熱河朝陽縣知縣富賚

硃。旨著交吏部照例辦理欽此

六月初五日

729 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年六月初五日奉

旨依議欽此

730 光緒十三年六月初六日內閣奉

上諭廣西柳慶鎮總兵員缺著馮盛治補授欽此

731 交奉宸苑本日

發下醇親王等會奏遵議

三海門禁守衛章程摺單各一件欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨依議欽此相應

傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

六月初六日

732

奏為遵議

三海各門禁及守衛章程恭摺奏

臣奕讓等謹

聞仰祈

慈禧事光緒十三年二月初九日臣奕讓面奉

懿旨著派醇親王奕讓御前大臣軍機大臣管理奉宸

苑大臣將三海各門及圍牆外一切守衛並王大臣

官員等出入各門章程會同妥議具奏等因欽此當

由軍機處片文

奉宸苑工程處欽遵辦理伏查此次恭修

南海工程經臣等會同管理

奉宸苑大臣派出監督監修各員督飭敬謹興修

以期妥速竣事現在各工業有端倪所有

三海等處出入門禁並外圍守衛等事在在均關

緊要宜妥議章程以為籌備臣等會同商酌謹

擬章程三十六條繕寫清單恭候

欽定所有臣等會議

三海門禁守衛各章程是否有當謹恭摺奏

聞請

旨

光緒十三年五月二十日

和碩醇親王_臣奕讓

軍機大臣和碩禮親王_臣世鐸

御前大臣光緒十三年二月初九日奉旨著派醇親王奕讓御前大臣軍機大臣管理奉宸苑大臣將三海各門及圍牆外一切守衛並王大臣官員等出入各門章程會同妥議具奏等因欽此當

御前大臣光緒十三年二月初九日奉旨著派醇親王奕讓御前大臣軍機大臣管理奉宸苑大臣將三海各門及圍牆外一切守衛並王大臣官員等出入各門章程會同妥議具奏等因欽此當

御前大臣慶郡王_臣奕劻

管理奉宸苑軍機處總辦_臣景壽

軍機大臣大學士 臣 額勒和布

軍機大臣編辦大學士前部書臣 張之萬

軍機大臣署兵部尚書 臣 許庚身

軍機大臣工部左侍郎 臣 孫毓汶

御前侍衛軍統領副都統 臣 德銘

賞戴花翎頭品頂戴 臣 崇光

三海各處門座外圍門外擬由總管內務府大臣

酌派內務府三旗護軍營看守門內及內圍各

門擬請分派太監看守各項應差人員

南海擬由

西苑門出入

北海擬由

陟山門出入至各座門禁如有無差擅行出入者

擬照擅入禁門治罪

一年例

紫光閣筵宴例由理藩院具奏屆期由各該衙門

豫行呈報內門隨遞花名清冊以憑查驗均由

福華門出入

一年例

豐澤園後演耕例內務府具奏屆期擬由各該衙

門豫行呈報內門並隨遞花名清冊以憑查驗

均由

福華門出入

一年例致祭

先蠶壇例由禮部具奏

遣派內務府大臣行禮豫日由太常寺進

祝版供奉神庫擬由

奉宸苑人員點明人役隨時報門帶進至一切應用

祭品祭器均擬由各該衙門照例豫備執事

人員擬由

蠶壇門出入

祝版到時擬由

桑園門出入至該處年例養蠶該蠶戶等擬由

蠶壇門出入

一

瀛台

三海等處遇有

遣派王公拈香日期擬由該路人員伺候帶進由附

進門座出入其

時應宮設有廟官即在外邊住宿屆差隨同進內至

南海等處拈香或仍

遣派王公或改為總管太監之處伏候

皇太后欽定

一

駐蹕後所有

萬善殿

開福寺均已安設首領太監看守所有僧人喇嘛

均應移於下院居住每日早晚唸經擬在下院

唸誦如遇特奉

上傳誦經日期擬由該路人員點名帶進由

西苑門琉璃門出入

一年例七月十五日

萬善殿辦理孟蘭道場誦經十月二十五日為白

塔致祭轉塔誦經屆期擬由該管官員點名帶

進其辦理道場僧人擬由

西苑門出入致祭喇嘛擬由

琉璃門出入

一

內廷行走之王公大臣侍衛官員等擬請分由

西苑

福華二門進

苑外廷諸臣及各項人員均擬由

西苑門出入其引

見人員由各衙門呈遞報單再行帶進不准無差官員

混入奏事人員收交摺件均擬在

西苑門外諸王大臣官員並蒙古年班王公進

苑均不准有護衛跟役隨行由

奉宸苑酌撥蘇拉伺應至

德昌門外尤不准閑人往來擬由各值班大臣侍

衛隨時查管以昭嚴慎

一

駐蹕後

內廷行走王公

御前大臣軍機大臣總管內務府大臣管理奉宸

苑大臣景壽及

毓慶宮行走大臣

上書房南書房行走翰林均遵

旨乘坐船隻拖床其

御前侍衛人數較多擬於散門時再行乘坐至

御前大臣

御前侍衛隨

駕在

三海內向係乘馬仍擬照定制

一各衙門及內務府各司處帶領人役進門擬

由各該處官員點明人數呈遞報單帶進差畢

一齊放出不得隨便出入其出入各門擬由各

門隨時稽查如有擅行出入者立即嚴拏呈明

值班大臣究辦並仍由各該衙門發給腰牌以

憑查驗

一

德昌門內新建圍房擬為

御前大臣等入直之所

一新建

西苑門內迤北臨河房間擬為軍機大臣值房其

德昌門外東朝房後南房六間擬為內奏事處接

事暨軍機大臣並豫備

召見之員聽起之所

一領侍衛內大臣擬在

西苑門外公所值班其

禁城內由內大臣暨代替內大臣輪流值班並請添

派數員以資輪轉

一

乾清門侍衛四項值班擬在

德昌門內圍房

一

乾清門侍衛奏事批本卓欽散秩大臣三旗侍衛

畫間擬在

西苑門公所晚間各赴值房值宿其畫間擬由值

班之領侍衛內大臣稽察倘有私離職守者立

即據實參奏

一散秩大臣大門侍衛擬在

德昌門外東西朝房值班

一內務府大臣擬在
西苑門外公所值班

一

上書房南書房如意館暨

懋勤殿匠役均擬在

萬善殿每日出入蕉園門

一值日奏事各員並各衙門備差及豫備

召見人員均擬在

西苑門外公所

一內奏事處擬在

仁曜門內值房

一東三座門內新修房間擬為

鑾儀衛庫房值班處所

一

三海內外各值房應用蘇拉取送什物豫備茶水

等役均擬由該苑派撥苑役蘇拉承應差畢撤出

一

三海各處園丁苑戶蘇拉船役人等恭遇

駐蹕之日均應在外聽差擬酌建值房以資棲止所

有進門各項差使擬由該苑官員點明帶進差
畢撤出並發給腰牌以憑查驗

一查

奉宸苑額設各官以及官人等分在衙門並各路

當差現在各海既歸

內園所有各門各殿以及各陳設均應交總管首領

太監等看守本苑額設各官照

圓明園之例勿庸在內輪班值宿

一恭逢

移鑾幸海時擬令該管各官即將陳設照冊點交總

管首領太監等接收經管

一海內各殿座內外地面門內擬請交總管首

領太監等經管門外擬請由

奉宸苑值班官員帶領苑役等進內打掃

一海內

御座船隻拖床及應差各項船隻拖床並船上陳設

等件擬請一併交給船塢首領太監等經管

一年例工部在

北海插標採打水塊收藏恭備

上用出入該門屆時擬由該部先期呈報奏事處至

日由

奉宸苑官員會同該部人員將人役點明帶進均由該門出入

一

白塔山上原設有信砲章京值班今擬將該章京撤出在外邊值宿至年例步軍統領衙門拉運信砲出鑪屆期擬由該章京會同

奉宸苑人員報門帶進運出俟出鑪畢即行運送原處

一海內各殿夏令搭蓋天棚擬請按照

內廷仍由營造司官員帶匠進內搭蓋

一

紫光閣

北海

闡福寺等處河泊岸向例由

奉宸苑莊頭分年播種麥子油菜奏交關防衙門

辦理今擬毋庸播種即將該莊頭撤出所有應

交麥子油菜擬請免其交納

一

三海承種荷花佃戶均擬一律撤出惟查該佃戶等有承應蓮藕榆錢等差擬請仍交該佃等承種遇有修理蓮藕之期照例由

奉宸苑人員點名放進差畢撤出

一海內各關提板放水擬請仍准關軍等進內提放

一

三海牆外現修朱車官廳七十二座擬由神機營會同八旗槍營技勇營派撥每班官員弁兵七百九十九員名共十班輪流值宿傳籌走更以資守衛並請照

圓明園之例

特簡大臣數員輪流值班其應進名單擬由軍機處

辦理

一王公大臣官員上朝乘馬如進

西苑門即在門外下馬進

蕉園福華二門在東西三座門內琉璃門外下馬

其餘各門有奉差進門者均在門外下馬

一新設各項值班大臣官弁兵丁口分擬請由
神機營會同內務府籌辦屆時由

奉宸苑辦稿咨行

以上三十六條如有應行續辦事宜隨時再
行具

奏

734 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片二十六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年六月初六日奉
旨依議欽此

735 蒙

發下摺件已奉

硃批八件其餘應請

批示清漢摺片單十六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年六月初七日奉

旨依議欽此

736 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理禮部奏朝鮮收復巨文島叩謝

天恩據咨轉奏摺並抄錄原咨一件擬請

旨該衙門知道俟

發下後交該衙門遵照是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年六月初八日奉

旨依議欽此

737 滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

道銜禮部郎中玉恆

侍讀銜刑部郎中補主事桂春

四品銜吏部郎中補郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾賚額

內閣郎補侍讀志樸

漢頭班章京

刑部員外郎吳引孫

刑部員外郎孟繼燠

兵部郎中沈思嘉

戶部主事顧璜

吏部主事王倣

內閣中書陳邦瑞

四品銜兵部主事胡寶鐸

刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

京察一等 記名以道府用四品銜兵部郎中楚岫

理藩院員外郎奎華

戶部郎中補主事孚琦

侍讀銜戶部主事延祉

四品銜理藩院郎中齊普森

四品銜刑部郎中補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

太僕寺少卿錢應溥

四品銜工部員外郎祝維城

吏部員外郎兼龍騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜刑部候補郎中謝元麒

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳蒂棠

刑部候補主事馮錫仁

員外郎銜吏部候補主事孫朝華

738 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年六月初九日奉

旨依議欽此

739 軍機大臣 字寄

湖南巡撫下 光緒十三年六月初十日奉

上諭前據卞寶第奏拏辦武陵縣外來會匪並對辦

安鄉縣土匪各一摺疊經諭令該撫嚴拏逸犯殲

除股匪以靖地方現在武陵等處是否一律安謐

在逃匪犯曾否悉數弋獲尚未據該撫奏到殊深

慮系此等匪徒全在辦理迅速方不至蔓延為患

著督飭該地方文武實力搜捕務絕根株一面即

將現辦情形先行覆奏將此由四百里諭令知之

欽此遵

旨寄信前來

740 光緒十三年六月初十日內閣奉

上諭翁同龢等奏請將已故儒臣列入國史孝友傳

一摺已故國子監司業治麟至性過人學行粹美

伊父景廉病篤時該員竭力侍奉積成羸疾丁憂後哀痛過深遂致沈疴不起實屬天性純篤孝行可風治麟著准其列入國史孝友傳以示旌獎餘依議該衙門知道欽此

741 光緒十三年六月初十日內閣奉

上諭都察院奏江西義甯州民婦張黃氏遺抱以族兒張紀全等殺死伊子張汰和等三命該州知州改謀為鬪朦混勒結等詞赴該衙門呈訴此案業經江西巡撫審明具題由該部會覈題覆茲據該氏所控各節與原題不符是否捏詞瀆控抑或另有別情著李嘉樂督同臬司親提人證卷宗秉公覆訊據實具奏抱告張堅修該部照例解往備質欽此

742 光緒十三年六月初十日奉

旨依議欽此

刑部奏審明陳俞氏叩 閣案定擬摺

743 交鑲白旗滿洲本日引

見黑龍江呼倫貝爾佐領一缺擬陪之驍騎校凌福奉旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

六月初十日

744 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片單十五件分別繕擬批條同冊一本

呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年六月初十日奉

旨依議欽此

745 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單二件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十三年六月十一日奉

旨依議欽此

746 光緒十三年六月十二日內閣奉

上諭李秉衡奏慎舉府廳州縣賢員請旨嘉勉一摺

廣西柳州府知府熊壽山題補梧州府知府陳善

均題補鎮安府知府署桂林府知府蔣兆奎署梧

州府知府候補知府何耀章候補知府陳如金袁

恩禔署平樂府知府桂林府同知趙慶蕃桂平縣

知縣李宗庚署歸順州知州思恩縣知縣黃詠沂

署陸川縣知縣補用知縣褚興周署馬平縣知縣

候補知縣左秉壘宣化縣知縣蕭憲章調署賀縣

知縣興業縣知縣李昶據李秉衡臚列該員等才

守治績均有可觀實為該省出色人員深堪嘉許

著李秉衡飭令該員等益加策勵勉為循良毋得

始終異轍用副朝廷激勵人材振興吏治至意欽此

747 交刑部本日軍機大臣面奉

諭旨御史文郁奏刑官審辦証告坐罪較輕請飭恪

遵成憲從重定擬一摺着刑部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交 計黏抄摺件

六月十二日

748 光緒十三年六月十二日欽奉

總禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨依議欽此

黃面紅裏工部奏覈減綵綢數目摺

749 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片單十七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年六月十二日奉

旨依議欽此

750 光緒十三年六月十三日奉

旨仍著緩修欽此

鑾儀衛奏請交造辦處恭製禮轎摺

751 光緒十三年六月十三日奉

旨著照所請該衙門知道單併發欽此

洪鈞奏出洋隨帶人員摺

752 壽藥房

太醫院官每日二員值宿官役二名每日由藥房首領帶領出入

堂務每日一員缺差

藥庫庫掌筆帖式切造生等遞差隨時傳喚

乾清宮御藥房

太醫院官大小方脉每日二員值宿午正換班

堂務一員遞送名單

東藥房值宿堂班御醫堂務三科

藥庫庫掌筆帖式切造生遞差隨時傳喚

茶房應差茶役蘇拉等茶房首領帶領出入

膳房應差廚役蘇拉等膳房首領帶領出入

南花園應差花匠等南花園首領帶領出入
小花園應差花匠等小花園首領帶領出入
殿上搬運物件柴炭煤助蘇拉等殿上首領帶
領出入

昇平署應差總管首領太監民籍學生等由南
海司房首領監查帶領出入隨牆門

753 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨清漢摺單五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年六月十三日奉
旨依議欽此

754 交鑲黃旗蒙古本日引

見江甯京口驍騎校一缺擬陪之前鋒成隆奉
旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

六月十四日

755 交正白旗漢軍本日引

見

盛京驍騎校一缺擬陪之領催徐長湧奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

六月十四日

756 交鑲藍旗滿洲本日引

見吉林佐領一缺擬陪之防禦全有奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

六月十四日

757 交內務府本日引

見

盛京食俸催長一缺擬陪之筆帖式榮桂奉
旨著記名欽此相應傳知
貴衙門欽遵辦理可也此交

六月十四日

758 吉林年己及歲雲騎尉春陞

硃。旨著回原處

759 蒙

發下摺件已奉

硃批十四件其餘應請

批示清漢摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年六月十四日奉

旨依議欽此

760 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示清漢摺片十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年六月十五日奉

旨依議欽此

761 蒙

發下摺件已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺片二件恭候

硃批

發下欽遵辦理謹

奏

光緒十三年六月十六日奉

旨依議欽此

762 蒙

發下摺報已奉

硃批九件其餘應請

批示清漢摺片十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十三年六月十八日奉

旨依議欽此

763 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示清漢摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年六月十九日奉

旨依議欽此

764 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片十三件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年六月二十日奉

旨依議欽此

765 光緒十三年六月二十一日奉

上諭增潤奏遵旨查明呈進貢物用過銀數一摺此

項貢物嗣後毋庸辦解即將應用銀兩如數解京

著自明年為始每年報解銀十八萬兩分春秋二

季解京由內務府交進其本年呈進貢物已用過

銀十三萬兩下餘銀五萬兩著即陸續解交內務

府呈進備用欽此

軍機大臣遵

旨傳諭粵海關監督增潤

鈔交內務府

766 光緒十三年六月二十一日內閣奉

上諭張曜奏直隸開州大辛莊黃河漫溢淹及山東

地方並現在籌放賑款情形各摺片比歲以來山

東地方頻遭水患朝廷軫念災黎疊加賑撫現在

復因上游漫溢灌入東境致濮州范縣壽張陽穀

東阿平陰禹城等處均被水災覽奏殊深憫惻著

加恩將山東本年新漕五萬石同隨漕輕齎銀兩

一併截留交該撫督飭印委各員覈實散放總期

實惠均沾毋稍弊混至此次開州澇水尚未據李

鴻章奏報著該督嚴飭地方文武將隄工加緊培

護實力防守勿得再有疏虞並將現辦情形迅速

覆奏該部知道欽此

767 光緒十三年六月二十一日內閣奉

上諭楊昌濬奏開缺知府稟許接署人員並抗不交

印一摺據稱福建甯甯府知府蔣斯岱於奉旨開

缺之後具稟侈陳政績並稱風累未清請緩至端

午節後再行委署又稟許委署該缺之梁玉瑜有

挽託司事秦姓許給謝儀求代府篆等語特旨開

缺送部引見人員既經藩司委員接署應即慄遵
交卸何得任意抗延扶私具稟似此冒昧糊塗殊出
情理之外蔣斯岱著先行革職交楊昌濬督飭兩
司將所控情節親提研訊據實奏以肅官方欽此

768 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示清漢摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片八件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年六月二十一日奉

旨依議欽此

769 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示清漢摺片十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理吏部題詹事府少詹事大理寺少

卿各一缺開列請

簡本擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十三年六月二十二日奉

旨依議欽此

770 軍機大臣 字寄

兼署湖廣總督湖北巡撫奎 傳諭護理江西

巡撫布政使李嘉樂 光緒十三年六月二十

三日奉

上諭御史胡泰福奏湖北本年自春徂夏雨多晴少江漢同時並漲漂沒田廬現聞省城內水深數尺請飭查明撫恤蠲緩錢漕等語著奎斌迅即查明被災處所妥籌撫恤本年錢漕應如何分別蠲緩奏明辦理至所稱江西水勢亦大究竟情形若何並著李嘉樂確查具奏如有應行撫恤之處飭屬妥為籌辦儻各該省地方官有諱實不報情事即行據實嚴參將此由四百里論知奎斌並傳諭李嘉樂知之欽此遵

旨寄信前來

771 光緒十三年六月二十三日內閣奉

上諭雲南雲南府知府負缺緊要著該督撫於通省知府內揀負調補所遺員缺著慶勳補授欽此

772 光緒十三年六月二十三日內閣奉

上諭前據御史端良奏八旗兵餼搭放二成錢折銀兩久未開放請旨飭查一招當經諭令八旗都統

查明具奏茲據奏稱八旗兵丁領餉向須扣除庫利銀數該御史未知戶部定章以致所敘餉銀數目未符至扣銀六分折放當十錢一千僅於光緒十一年間查照戶部來文放過三個月與二成搭放之錢毫不相涉參領等官領放餉銀均各按月出示曉諭二成錢折銀照常開放並無剋扣朦混之弊等語八旗放餉情形既據各該都統確切查明毫無弊混該御史所奏著毋庸議欽此

773 蒙

發下摺報應請

批示漢字摺片四件分別繕擬批條呈進恭候欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年六月二十三日奉

旨依議欽此

774 據山東巡撫咨送盛宣懷所擬鑄錢章程五條

照錄恭呈

御覽錢樣一匣一併進呈謹

奏

六月二十三日

775 蒙

發下摺件已奉

硃批十二件其餘應請

批示漢字摺片十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理內務府摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十三年六月二十四日奉

旨依議欽此

776 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年六月二十五日奉

旨依議欽此

777 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片十七件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年六月二十六日奉

旨依議欽此

778 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年六月二十七日奉

旨依議欽此

779 蒙

發下恭壽摺一件擬批呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年六月二十九日奉

旨依議欽此

780 光緒十三年七月初一日內閣奉

上諭本日在午門外叩關之護軍常陞著交刑部嚴行審訊欽此

鈔交刑部

781 臣等遵

旨將叩

關之正白旗滿洲護軍常陞審訊取具該犯親供

照繕呈

覽並擬繕寫明發

諭旨將常陞交刑部嚴行審訊是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月初一日奉

旨依議欽此

782 常陞供現年三十七歲係正白旗滿洲二甲喇

玉興佐領下人現充護軍因上年十月借正白

旗四甲喇存九錢五十吊每月還錢十吊至本

年六月已還錢九十吊據存九云所還錢文均

算利錢尚要本錢五十吊文為此情急在

午門外叩

關所供是實

783 光緒十三年七月初三日內閣奉

上諭巡視北城御史恩壽等奏司官縱容差役玩泄

公事據實糾劾一摺據稱宗室婦恆佳氏訛詐泰

元當舖一案有白役常福勾通情弊當交正指揮

何振綵將常福送部辦理乃該指揮失於覺察致

令常福潛逃自盡顯係縱容玩泄請將該指揮交

部議處等語北城兵馬司正指揮何振綵著交部

議處餘依議該部知道欽此

784 光緒十三年七月初三日奉

旨著賞假一月欽此

出使大臣洪鈞請假摺

785 光緒十三年七月初三日奉

旨蘇州織造仍著奉曾接管欽此

786 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月初三日奉

旨依議欽此

787 軍機大臣 字寄

河東河道總督成 山東巡撫張 光緒十三

年七月初四日奉

上諭曾國荃奏漕務緊要豫籌回空辦法一摺據稱

去年甯蘇回空各船至九月始抵阿城河淤水竭

挑費較多今年應及早設法查山東河工項下歲

有修款請將河道淤淺處所挑挖深通等語漕船

回空若使行駛艱滯不惟拖攔致損且恐耽誤新

運自應將河路淤塞處所先期挑濬以利進行著成

孚張曜飭令該管河道各負早日估工將南北兩

口照舊築壩禦黃壩內外淤淺處所一律挑挖深

通所需用款歸併東省河工項下開報俾江北本

屆回空各船得以及早抵南原摺均著鈔給閱看

將此由四百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

788 咸安宮官學年滿編譯教習文祺

硃○旨照例用

789 蒙

發下摺報已奉

硃批八件其餘應請

批示漢字摺片單九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月初四日奉

旨依議欽此

790 軍機大臣 字寄

步軍統領衙門 順天府 五城御史 光緒

十三年七月初五日奉

上諭據景壽等奏六月二十八日南苑地方有賊匪

二十餘人偷打牲獸經官兵等捕拏該匪等膽敢

拒捕扎傷馬甲德齡身死並據該總領章京稟稱

常有著名匪徒三十餘人越牆進苑等語禁苑重

地竟有匪徒持械拒捕尚復成何事體著步軍統

領衙門順天府五城御史迅即移咨奉宸苑將著

名賊匪姓名住址咨行各該衙門指名密拏嚴行

懲辦原摺均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

791 光緒十三年七月初五日內閣奉

上諭直隸永定河道負缺著方濬師補授欽此

792 查直隸永定河道係繁雜要缺謹

奏

793 光緒十三年七月初五日內閣奉

上諭李鴻章奏永定河道塔奇魁人尚樸實惟河工

情形生疏辦事遲鈍不勝河道之任等語塔奇魁

著開缺送部引見欽此

794 光緒十三年七月初五日內閣奉

上諭李鴻章奏永定河隄工漫口分別奏辦並自請

議處一摺本年八伏以後永定河水勢咸漲險工

疊出六月二十二日南七工西小隄四號被水漫溢刷寬口門四十餘丈該管各員疏於防範實屬咎無可辭東安縣主簿曹鵬著革職留工効力看三角淀通判唐應駒永定河道塔奇魁均著革職留任李鴻章著交部議處該督務當督飭在工員弁將漫口趕緊修築期臻完固其上游各汛並著嚴飭認真防護毋得再有疏虞餘著照所議辦理該部知道欽此

795 光緒十三年七月初五日內閣奉

上諭李鴻章奏潮白河漫口情形據實參辦等語本年入夏以來北運河上游因雨水過多河流增漲邊外諸山之水同時大發六月十九日通州平家疿新工以下之北寺莊東小隄並老隄刷塌百數十丈奪溜東趨通永道許鈴身疏於防範咎無可辭著摘去頂戴仍著李鴻章督令該道迅將漫口設法盤築裏頭並飭派出之員會同勘籌堵築事宜實力興辦以通運道餘著照所議辦理該部知道欽此

796 蒙

發下摺報已奉

硃批九件其餘應請

批示漢字摺片單二十五件分別繕擬批條呈進恭候欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片八件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月初五日奉

旨依議欽此

797 光緒十三年七月初六日內閣奉

上諭希元等奏副都統患病懇准開缺一摺甯古塔副都統容山著准其開缺回旗欽此

798 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月初六日奉

旨依議欽此

799 交吏部本日軍機大臣面奉

諭旨太常寺奏請添設滿寺丞缺一摺著吏部議奏

欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

計粘鈔摺一件

七月初七日

800 光緒十三年七月初七日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨神機營王大臣

奏請將翼長恩佑等分別優予獎敘並賞給差使等

語恩佑著賞給頭品頂戴莖岫著開郎中缺常明著

開御史缺均以五品京堂候補善福著以副都統遇

缺題奏成璽明惠薩勒哈春伊克坦祥順巴彥多爾

濟常泰蘇嚕岱成鶴均著以副都統記名明安著賞

給頭等侍衛吉爾洪額廷祺岳康均著賞給二等侍

衛壽全溥益均著賞給三等侍衛載光載燕溥壽均

著賞給四等侍衛以示鼓勵欽此

神機營奏請獎翼長等片

十一日鈔交吏部

801 鑲藍旗滿洲副都統恩佑擬請

賞給頭品頂戴

記名道府郎中莖岫

御史常明

以上二員均擬請開缺以五品京堂候補

成璽

明惠

善福

薩勒哈春

伊克坦

祥順

巴彥多爾濟

常泰

蘇嚕岱

成鶴

以上各員 記名副都統善福擬請以副

都統遇缺題奏其餘九員擬請以副都統

記名

三等侍衛明安擬請

賞給頭等侍衛

藍翎侍衛吉爾洪額擬請

賞給二等侍衛

鎮國將軍延祺

岳康

輔國將軍壽全

溥益

奉國將軍載光

載燕

三品宗室溥壽

以上七員擬請按其爵職分別

賞給二三四等侍衛

802 光緒十三年七月初七日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨知道了圖留覽

欽此

神機營奏呈進繪繪勤刻等語應照例

803 光緒十三年七月初七日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨依議欽此

禮部奏 大婚典禮光緒其奏用

黃面紅裏大斤

804 蒙

發下摺件已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片十六件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理神機營片一件擬於

召見時恭請

懿旨太常寺摺一件請

旨辦理是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月初七日奉

旨依議欽此

805 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年七月初八日奉

旨依議欽此

806 滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

道銜禮部郎中玉恆

侍讀銜刑部郎中主事桂春

四品銜吏部郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾賚額

內閣郎中補侍讀志樸

漢頭班章京

刑部員外郎吳引孫

刑部員外郎孟繼燦

兵部郎中補郎中沈恩嘉

戶部主事顧璜

吏部主事王微

內閣中書陳邦瑞

四品銜兵部主事胡寶鐸

刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

京察一等 記名以道府用四品銜兵部郎中龔岫

理藩院負外郎奎萃

戶部主事孚琦

侍讀銜戶部主事廷祉

四品銜理藩院郎中齊普森

四品銜刑部郎中補負外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

太僕寺少卿錢應溥

四品銜工部負外郎祝維城

吏部負外郎兼襲駙都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜刑部候補郎中謝元麒

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳蒂棠

刑部候補主事馮錫仁

負外郎銜吏部候補主事孫朝萃

807 光緒十三年七月初九日內閣奉

上諭楊昌濬等奏籌議澎湖海壇鎮協互調事宜一

摺新設福建澎湖鎮總兵著吳宏洛補授其海壇

協副將著吳奇勳暫行署理遇有內地水師總兵

缺出候旨簡放餘著該部議奏單併發欽此

808 光緒十三年七月初九日內閣奉

上諭翰林院侍講學士會章奏假期屆滿病勢未痊

懇請開缺一摺會章著准其開缺欽此

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片十六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月初九日奉

旨依議欽此

810 軍機大臣 字寄

福州將軍 直隸兩江閩浙湖廣兩廣四川江

蘇浙江安徽江西福建湖北湖南廣東河南山

東山西各督撫 傳諭粵海關監督 光緒十

三年七月初十日奉

上諭戶部總理各國事務衙門奏請催解東北邊防

經費一摺據稱各省關應解東北邊防經費截至

六月初十日止除解到及報解起程外尚欠解銀

一百三十四萬二千兩零請飭迅解並補解歷年

積欠銀兩等語東北邊防經費關繫緊要自應竭

力籌解以濟急需著該將軍督撫監督將欠解銀

兩趕緊籌解儘再遲延即著戶部照貽誤京餉例

指名嚴參至四川省前准督解之二十萬兩現據

奏稱該督於未接部文之先業已報解銀七萬兩

目前部庫需用甚鉅此項銀兩應令該督體察情

形如可騰挪毋庸另行劃緩等語著劉秉璋迅籌

覆奏原單均著鈔給閱看將此由五百里諭知福

州將軍直隸兩江閩浙湖廣兩廣四川江蘇浙江

安徽江西福建湖北湖南廣東河南山東山西各

督撫並傳諭粵海關監督知之欽此遵

旨寄信前來

鈔交戶部

811 光緒十三年七月初十日內閣奉

上諭邊寶泉奏秋審絞犯誤行處斬請將監刑負弁
交部議處一摺據稱上年臨漳縣處決秋審情實
絞犯張羊仔一名經該縣知縣徐本立會同汛弁
王廷揚監刑誤將該犯處斬徐本立事後復砌詞
推諉等語處決重犯該負弁等漫不經心竟致誤
絞為斬荒謬糊塗實出情理之外僅予議處殊屬
輕縱臨漳縣知縣徐本立著即行革職該汛千總
王廷揚著即撤任交倪文蔚提集人證屢訊確情
按律定擬具奏此案係上年十一月間之事該撫
至今始行具奏實屬延延邊寶泉著交部議處該
部知道欽此

812 道光四年十月二十五日內閣奉

上諭蔣攸銛奏秋審絞犯處決錯誤之知縣請解
任質審一摺直隸青縣知縣李錫玠會同營員監
視秋審處絞人犯竟至誤行斬決玩視公事以至
於此昏愎糊塗實出情理之外李錫玠著革職交
該督提齊人證併監刑武弁一併撤任嚴訊確情
按律定擬具奏欽此

813 交陸軍部總理各國事務衙門本日軍機大臣面奉

諭旨前詹事府左中允崔國因記名道黎庶昌均著
於十二日預備召見欽此相應傳知
貴衙門轉傳該負等欽遵可也此交

七月初十日

814 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十二件擬於

召見時請

旨是各有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月初十日奉
旨依議欽此

815 光緒十三年七月十一日內閣奉

上諭福錕等奏擊獲鄰境巨盜請將出力員弁破格
獎勵一摺近來畿輔一帶時有盜劫之案經福錕
等派出員弁先後在京畿昌平州等處並越境前
往山東東阿等縣地方擊獲游勇鹽梟巨盜多名
緝捕尚屬認真自應從優給獎以昭激勸所有單
開之參將玉山寬等均著照所請獎勵餘依議該
衙門知道單三件併發欽此

816 光緒十三年七月十一日奉

旨多羅特色楞著准其續支俸銀欽此

理藩院奏阿拉善北境先犯請續支俸銀摺

817 蒙

發下摺件已奉
硃批九件其餘應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單七件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月十一日奉

旨依議欽此

818 崧駿摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

七月十一日

819 光緒十三年七月十二日內閣奉

上諭前因甘肅地方自遣兵戡民多流亡復因該省甫墾荒田收成減少先後將同治十三年以前墾光緒七年以前民欠錢糧均予豁免近年該省田地已墾復荒者不少本年夏間各屬復多被水被電若將積欠錢糧照常帶徵民力實有未逮所有甘肅省帶徵光緒八九十一年等年民欠地丁正耗銀糧草束暨各項雜賦加恩著概予豁免以紓民困該督即將各屬民欠實數分年分縣詳細刊刻謄黃編行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

820 交上駟院本日引

見察哈爾商都牧軍護軍校一缺擬陪之六品軍功牧長綽克魯布奉
旨著記名欽此相應傳知
貴衙門欽遵辦理可也此交

七月十二日

821 交正紅旗滿洲本日引

見補放綏遠城防禦成都防禦各一缺擬陪之文學人兼驍騎校恆喜繙譯舉人兼驍騎校富隆阿奉旨均著記名欽此相應傳知
貴衙門欽遵辦理可也此交

七月十二日

822 光緒十三年七月十二日奉

旨著准其捐復欽此

吏部奉前河南候補中職陽案仍俟詳調處分

823 蒙

發下摺件已奉

硃批九件其餘應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月十二日奉

旨依議欽此

824 軍機大臣 字寄

湖廣總督裕 兼署湖廣總督湖北巡撫奎

光緒十三年七月十三日奉

上諭有人奏湖北漕折釐金專徵青錢售賣銷燬或以紅黃制錢折算加收或以臺票抵收州縣局負種種作弊小民苦累請飭嚴禁等語漕折釐金徵收錢文必須裕國便民兩有裨益所交既係制錢何容挑剔折算至奸商販運銷燬尤應嚴行禁止著裕祿奎斌確查妥辦務絕弊端原摺均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

825 光緒十三年七月十三日內閣奉

上諭浙江杭州府知府負缺緊要著該撫於通省知府內揀負調補所遺負缺著繼良補授欽此

826 光緒十三年七月十三日內閣奉

上諭李鴻章奏知縣虧短銀兩請革職查抄等語良鄉縣知縣楊謙柄於前署東安縣任內徵存正雜各款銀七千餘兩屢次嚴提延不完解且有捏報已解及匿不列入月報情事除查出現存銀兩勒解外尚短銀五千餘兩之多實屬藐玩已極楊謙柄著即革職監追勒限完繳提同經手人等嚴訊是侵是挪按律治罪並將該負歷過任所屬所資財嚴密查抄其原籍家產著江蘇巡撫飭屬查抄備抵毋任隱匿餘著照所議辦理該部知道欽此

827 光緒十三年七月十三日內閣奉

上諭御史劉齡襄奏江南鄉試兩省合闈請添派副考官一摺著禮部議奏欽此

828 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片二十一一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月十三日奉

旨依議欽此

829 光緒十三年七月十四日內閣奉

上諭譚鈞培奏已革鹽提舉虧款延不完繳照例監

追並奏參該管鹽道各摺片已革雲南黑井提舉

蕭培基前因積欠鹽課等項銀兩經岑毓英奏參

勒追迄今尚欠銀九萬餘兩之多實屬玩延蕭培

基著即監追並查明任所屬所有無資財寄頓一

面咨行該革員原籍將家產一律查封存案備抵

該管鹽道鍾念祖在任八年於所屬虧欠鉅款並

不據實揭參難保無扶同徇隱情弊非尋常督徵

不力可比據奏該員前經請咨引見現回原籍鍾

念祖著暫行革職並著浙江巡撫飭令即回雲南

清理前項積欠毋任遷延餘著照所議辦理該部

知道欽此

830 光緒十三年七月十四日奉

旨除例貢准予賞收外其餘貢物著留抵下次正貢

欽此

禮部奏朝鮮呈進貢物摺

831 蒙

發下摺報已奉

硃批八件其餘應請

批示漢字摺片十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月十四日奉

旨依議欽此

832 光緒十三年七月十五日內閣奉

上諭張曜奏神靈顯應請頒扁額並加封號一摺山

東膠州

城隍

龍神暨德平縣

城隍

龍王等廟夙著靈異近年夏秋間該州縣境內无

旱經官紳分詣虔禱甘霖立沛轉歉為豐均深寅

感著南書房翰林恭書扁額各一方交張曜祇領

飭屬分詣膠州

城隍廟

龍神廟德平縣

龍王廟敬謹懸挂以答

神庥至所請敕加德平縣

城隍

龍王封號之處著禮部議奏欽此

833 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示清漢摺片十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理張曜奏神靈顯應請

頒扁額並加封號摺擬繕明發

諭旨交南書房書扁額發封號令禮部議奏車林多爾

濟奏年班可否瞻親摺擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月十五日奉

旨依議欽此

834 蒙

發下張曜摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年七月十六日奉

旨依議欽此

835 光緒十三年七月十七日內閣奉

上諭任祖文著調補安徽壽春鎮總兵湖南永州鎮

總兵著韓晉昌調補欽此

836 光緒十三年七月十七日內閣奉

上諭昨日在景山西門外叩關之烏槍護軍景榮著

交刑部嚴行審訊欽此

837 臣等遵

旨將叩

關之正白旗蒙古烏槍護軍景榮審訊取具該犯

親供照繕呈

覽並遵繕明發

諭旨將景榮交刑部嚴行審訊是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月十七日奉

旨依議欽此

838

景榮供現年二十五歲係正白旗蒙古六甲德

安佐領下人現充火器營烏槍護軍十一年十

二月使周三錢二百十以兄德祿同景榮錢糧

作抵按二分行息十二年二月算賬據周三云

須扣錢二十四千仍須補底加一當於二月將錢二百十歸還周三手復據口稱只算五箇月利錢景榮與兄德祿將二月錢糧領取周三帶夥十餘人將景榮弟兄二人相縛用鞭責打仍要將錢糧兌付伊手景榮不得已兌訖次日到家德祿並未回家直至今日尚無下落不知生死佐領德安復勒令景榮出結報明德祿身死等情前在提督衙門控告一次為此情急在

景山西門叩

關所供是實

839 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片十七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片八件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月十七日奉

旨依議欽此

840 奎斌摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

光緒十三年七月十七日奉

旨依議欽此

841

查軍機章京刑部候補郎中謝元麒現在病故所遺章京一缺應以戶部額外主事陳熾充補

並添傳

記名在前之戶部候補主事王頌蔚在額外行走謹
奏

光緒十三年七月十七日奉

旨知道了欽此

842 蒙

發下摺件應請

批示清漢摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年七月十八日奉

旨依議欽此

843 光緒十三年七月十九日內閣奉

上諭曾國荃等奏神靈顯應請頒扁額並加封號一
摺江蘇徐州府城

關帝

城隍神夙著靈應光緒二年春夏亢旱匪徒乘間
煽惑嗣後歷年雨暘愆期疊經該地方官紳竭誠
祈禱均邀庇佑實深感著南書房翰林恭書扁
額各一方交曾國荃等祇領飭屬分詣敬謹懸挂
以答

神庥至所請敕加徐州府

城隍神封號之處著禮部議奏欽此

844 光緒十三年七月十九日內閣奉

上諭曾國荃奏額請陞見一摺曾國荃著來京陞見
兩江總督兼辦理通商事務大臣著裕祿著理欽此

845 光緒十三年七月十九日內閣奉

上諭雲南鹽法道負缺著湯聘珍補授欽此

846 查雲南鹽法道係衝繁疲要缺謹

奏

847 光緒十三年七月十九日內閣奉

上諭前據御史蔣鎮嵩奏湖南巡撫卞寶第昏惰貪污任用劣員各款當派大學士恩承侍郎薛允升馳往查辦復據御史屠仁守奏卞寶第傲情乖戾委任私人翰林院侍講學士龍湛霖奏湖南地方官諱匿劫盜重案著提督李勝貪劣營私各摺片先後諭令恩承等一併查奏茲據奏稱按照原參各節分晰確查卞寶第被參貪劣等款均無其事准商岸費係從前奏准之款此次由該商公稟自願解交以作緝私之用該撫並無徇私入己情事亦未提用善後局公項近年該省各屬盜案三十三起未破者僅止三起本年三月間武陵縣匪徒滋事該縣李宗蓮當即請兵剿辦先後擊獲首要各犯正法並未延緩消弭著提督李勝查無貪婪廢弛各情道員莊賡良等參款逐一查明請分別議處察看各等語湖南巡撫卞寶第被參貪污乖戾各款著提督李勝被參貪劣營私各款既經查無其事即著毋庸置議道員但湘良管理整務較前多收總兵龔繼昌並未虛伍官餉亦毋庸議

桃源縣知縣朱益濬因村民與書差滋鬧執以風聞匪黨滋事等詞張皇具稟前署道州知州錢紹文屢被參劾不孚衆望均著交部分別議處道員莊賡良道州知州段長佑前署嘉禾縣知縣鄭以蒸參款雖無實據惟指摘紛乘俱違浮議莊賡良著撤去差使與段長佑鄭以蒸均交卞寶第隨時察看如有劣迹即行據實參奏毋稍贖徇湖北鄖陽鎮總兵龔繼昌以實缺人負管理本籍營務易滋口實著即飭回本任以重職守其所帶防營該撫另行派員接統該省既有岸費足資辦公所有此次續捐之款著即行裁革近來各省違勇大半皆無業之徒加以會匪芳民勾結煽誘難保不乘間滋事全在地方文武認真防範庶可消患未萌卞寶第身任疆圉責無旁貸務當督飭所屬整頓捕務力行保甲並會同該署提督酌派防營實力巡緝俾奸宄無從竊發地方一律教平用副委任武陵縣等處在逃匪犯並著嚴飭緝拏務獲究辦以絕根株餘著照所議辦理該部知道欽此

恩承詳允升奏查明原參卞寶第加派淮商岸費一節查係准商稟請加撫院岸費每年四千八百兩藩司鹽道每年二千四百兩所加撫院岸費卞寶第以一半捐入育嬰堂一半為歲修衙署等用並分給臬司六百兩停止兩首縣供應其無徇私人已情事尚為有據原參擅提善後局公項並無其事岸費應否裁革請

飭曾國荃查奏

又奏原參卞寶第昏惰貪污及道負但湘良素亂釐務知縣楊宗誠等行賄各節均查無其事但湘良管理釐務五年較前五年多收銀四十六萬餘兩總兵龔繼昌並未虛伍冒餉惟以實缺人負管理本籍營務可否

飭赴鄖陽鎮本任請

旨桃源縣知縣朱益濬遇事張皇署道州知州錢紹文屢被叅劾不孚衆望均請交部議處道負莊賡良道州知州段長佑署嘉禾縣知縣鄭以蒸叅款均無實據惟指摘紛乘俱遺浮議莊賡良應撤去差使與段長佑鄭以蒸均請

飭該撫隨時察看如少有劣迹即行叅辦未入流嚴

嘉瑜業經咨革應毋庸議

又片奏原參湖南各屬搶案疊出地方官諱匿不報反責事主查無其事近年通省盜案三十起未破者僅止三起請

飭該撫認真稽查勒令嚴緝舉行保甲並將防營擇要駐紮

又奏武陵縣匪徒滋事當經該地方官稟請提督李勝派兵剿辦已拏獲首要各犯正法知縣李宗蓮並無消弭情事李勝派兵並未延緩又片奏原參提督李勝貪劣營私各節查無其事惟該省營務緊要請

旨訓飭

849 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片十一件分別繕擬批條呈進恭候欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月十九日奉

旨依議欽此

850 交鑲紅旗蒙古本日引

見補放察哈爾鄂勒特曉騎校一缺擬陪之前鋒當

蘇魯札普奉

旨著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

七月二十日

851 光緒十三年七月二十日奉

旨著准其抵銷欽此

吏部奏遺缺等項章程分摺

852 蒙

發下摺件已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月二十日奉

旨依議欽此

853 軍機大臣 字寄

福州將軍 直隸兩江湖廣閩浙四川兩廣各
總督 江蘇安徽江西福建浙江湖北湖南河
南山東山西廣東各巡撫 傳諭粵海關監督

光緒十三年七月二十一日奉

抄交吏部

上諭 戶部奏請旨催解京餉一摺本年京餉原撥積撥共銀八百萬兩截至五月底止除劃撥截留解到及報解起程外尚欠解銀四百五十五萬九千餘兩現在部庫支絀應放各款均關緊要所有各省闕欠解京餉至應全數報解以應要需著該將軍督撫監督等各將欠解銀兩趕緊陸續提前解部統於年內埽數解齊儻敢諉卸拖欠即由戶部照章叅奏其解不及半及絲毫未解等處經此次嚴催後儻仍不完解著戶部隨時指名嚴叅至劃撥截留之款並著將報解開支數目詳晰報部以憑覈辦另片奏十一十二兩年各省應解近畿防餉等邊軍餉及京餉欠解尚多查明奏叅等語所有應行議處之浙江福建各督撫藩司兩浙兩淮各鹽政運司著吏部查取職名照例議處仍著直隸兩江廣東福建浙江江西各督撫督飭司道迅將十一十二兩年近畿防餉等邊軍餉及京餉查明欠數提前籌解限年內埽數解清儻仍延不籌解即著戶部指名嚴叅原單二件均著摘鈔給與

閱看將此由五百里諭知各該將軍督撫並傳諭粵海關監督知之欽此遵旨寄信前來

抄交戶部
摘鈔吏部

854 軍機大臣 字寄

福州將軍 兩江閩浙湖廣兩廣江蘇安徽江西

福建浙江湖北廣東各督撫 傳諭粵海關監督

光緒十三年七月二十一日奉

上諭 戶部奏本年籌邊軍餉截至五月底止除解到及劃撥截留報解外其餘欠解銀兩開單請飭催解等語籌邊軍餉關緊要著該將軍督撫監督按照單開欠解銀數於十月前迅速解清以濟要需如再延不清解即著戶部照案奏叅並著將劃撥截留之款分別報解開支即行報部至戶部於六月間籌備大婚典禮要需請在浙江等省闕於未解銀兩內劃撥銀三十六萬三千兩著即如數備齊聽候提撥原單均著摘鈔給與閱看將此由

五百里諭知各該將軍督撫並傳諭粵海關監督知之欽此遵

旨寄信前來

鈔文戶部

855 軍機大臣 字寄

署兩江總督湖廣總督裕 光緒十三年七月

二十一日奉

上諭有人奏蘇州織造奉曾性情兇暴貪鄙不職採辦貢物擅減材料倚廢負李桂林蔣瑛為心腹勒索司庫銘佑銀兩並在署演戲狎妓聚賭各情准安府知府恩誠性情狠鄙微服冶遊上年府試幾至釀事常熟縣知縣李福沂任性妄為驕奢貪猾辦理案件種種乖謬前任昭文縣知縣王燦辦事糊塗任聽書吏把持作弊江陰縣訓導吳應生嗜好極深尤喜賭博需索陋規行同無賴請飭查辦等語著裕祿按照所參各節確切查明據實具奏毋稍徇隱原摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵旨寄信前來

856 光緒十三年七月二十一日內閣奉

上諭新設雲南臨安開廣道員缺著湯壽銘補授欽此

857 吏吏部本日軍機大臣面奉

諭旨御史金壽松奏河工曾任要缺人員請先儘題

補一摺著吏部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

計給鈔摺二件

七月二十一日

858 蒙

發下摺件已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行摺

旨摺片單九件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月二十一日奉

旨依議欽此

859 蒙

發下摺件已奉

硃批十件其餘應請

批示漢字摺片二十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月二十二日奉

旨依議欽此

860 張之洞等摺片二件遵議批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

861 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片二十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

七月二十日

奏

光緒十三年七月二十三日奉

旨依議欽此

862 光緒十三年七月二十四日奉

旨此案著交卞寶第親提人證卷宗秉公研訊確情
按律定擬具奏原告已革監生李茂薰該部照例
解往備質欽此

863 蒙

發下都察院奏湖南已革監生李茂薰京控摺擬結

明發

諭旨交卞寶第親提研訊是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月二十四日奉

旨依議欽此

864 光緒十三年七月二十五日奉

旨崇文門正監督著額勒和布去副監督著巴克坦
布去欽此

865 大學士額勒和布

恩承 現在出差

禮部尚書奎潤

兵部尚書烏拉喜崇阿

刑部尚書麟書

工部尚書崑岡

理藩院尚書紹祺

都察院左都御史松森

吏部右侍郎景善

戶部左侍郎嵩申 現任左其監督

右侍郎熙敬

禮部左侍郎敬信

右侍郎續昌 現兼著刑部右侍郎

兵部左侍郎權年

右侍郎師曹

刑部左侍郎桂全

工部左侍郎烏拉布

右侍郎清安

理藩院左侍郎崇禮

右侍郎綿宜

內閣學士慶福

恩崇

文興

寶昌

豐烈

文治

867
都統

惇親王

奕綢

載漪

伯彥訥謨祜

常順

豫親王本格

克勤郡王晉祺

禮親王世鐸

怡親王載敦

奕謨

慶郡王奕劻

長善

榮祿

肅親王隆勳

868
前鋒統領

德福

札拉豐阿

現任右翼監督

護軍統領

恩全

○ 巴克坦布

德隆

惠銘

芬車

殊

謀光
副都統
文秀
致麟
嵩山
承綬
海英
連慶
符珍
明秀
長春
安興阿
尚昌懋
容貴
桂祥
恩普
色普徵額
秀吉
耆齡

869

富森布
福森布
恩佑
花尚阿
吉恆
散秩大臣
果勒敏
椿壽
委散秩大臣
恩慶
繼勳
定昌
玉山
成瑞
鍾秀
銘勛
恩輝
德壽

立瑞 丁憂

誠端

英俊

啟泰

錫光

承蔭

廷楨

兆珏

長有

黃永安

宗佑

良沐

戴瀛

戴津

文熙

870 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片單十八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月二十五日奉

旨依議欽此

871 軍機大臣 字寄

甘肅新疆巡撫劉 署伊犁將軍塔爾巴哈台

參贊大臣錫 光緒十三年七月二十六日奉

上諭劉錦棠奏棍噶扎拉泰所領徒眾擬請仍在舊

地居住並籌哈巴河防務一摺覽奏均悉前因沙

克都林扎布等奏烏梁海蒙哈官兵逼令承化寺

僧眾趕聚移挪情形急迫當於五月二十二日諭

令劉錦棠錫綸迅籌履奏此次該撫所奏尚係議
覆三月間諭旨未經奉到續諭之件所稱烏梁海
部屬人口無多惡寒畏熱不樂居山南之地等語
與沙克都林札布等前奏該部落急盼遷歸各節
大相逕庭此事頗有關繫必須得一實在情形著劉
錦棠錫綸懍遵前旨確切查明迅速籌議一面咨
商沙克都林札布等秉公酌度務須籌一妥善辦
法奏明請旨毋得各存成見以致輟轉稽延迄無
定議至所奏哈巴河以達承化寺一帶地方擬請
劃歸塔爾巴哈台管轄等語俟履奏到日再行酌
定降旨將此由五百里各諭令知之欽此遵
旨寄信前來

872 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片單十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月二十六日奉

旨依議欽此

873 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示清漢摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年七月二十七日奉

旨依議欽此

874 軍機大臣 字寄

步軍統領衙門 順天府 五城御史 光緒
十三年七月二十八日奉

上諭御史周天霖奏外城地面有土棍綽號活太歲
陳大伏地王常大鐵巴掌王三花槍杆李大羅似
虎即羅三等五名恃眾逞兇在內外城設局開閉
善類勒寫字據持以惡討甚且搶人勒贖種種不
法請飭嚴拏等語匪徒擾害地方亟應嚴行懲辦
著步軍統領衙門順天府五城御史一體嚴密查
拏務獲究辦原片均著鈔給閱看將此各諭令知
之欽此遵

旨寄信前來

875 光緒十三年七月二十八日內閣奉

上諭廣西巡撫著沈秉成補授未到任以前仍著李
秉衡護理欽此

876 光緒十三年七月二十八日奉

旨這所奏疏防監犯反獄之管獄官山西太原府司

獄孫沛著即革職提同刑禁人等嚴訊有無別情

按例懲辦有獄官太原府知府俞廉三著摘去頂
戴一併勒限嚴緝逸犯傅老二等務獲究辦倘限
滿無獲再行參辦餘著照所議辦理該部知道欽此

877 軍機大臣面奉

諭旨鄧承脩等奏請將隨同出關勘界各員獎勵等
語王之春著交軍機處存記楊宜治著以戶刑二
部員外郎升用廖錫恩著以知縣選用其餘出力
員弁著准其擇尤酌保毋許冒濫欽此

七月二十八日

878 交總理各國事務衙門本日軍機大臣面奉

諭旨鄧承脩等奏請將隨同出關勘界各員獎勵等
語王之春著交軍機處存記楊宜治著以戶刑二
部員外郎升用廖錫恩著以知縣選用其餘出力
員弁著准其擇尤酌保毋許冒濫欽此相應傳知
貴衙門欽遵可也此交

計給鈔片一件

七月二十八日

879 光緒十三年七月二十八日奉

旨現在勘界事竣所有吏部前議鄧承脩李秉衡革職處分均著如恩寬免欽此

十年庚子日吏部奏議鄧承脩李秉衡革職本日見而帶
上帶下錄
旨交 八月二十八日另鈔交總理衙門

880 光緒十三年七月二十八日奉

旨著准其抵銷欽此

吏部奏議遵實承處分摺

881 蒙

發下摺件已奉

硃批八件其餘應請

批示漢字摺片六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單圖九件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年七月二十八日奉

旨依議欽此

882 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片單六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年七月二十九日奉

旨依議欽此

883 光緒十三年八月初一日內閣奉

上諭刑部左侍郎著徐用儀兼署欽此

884 應兼署漢侍郎名單

吏部右侍郎李鴻藻

戶部左侍郎孫詒經

右侍郎曾紀澤

禮部左侍郎徐郁 現兼署吏部左侍郎

右侍郎童華

兵部左侍郎廖壽恆

右侍郎孫家鼐

刑部右侍郎許庚身 現署兵部尚書

工部左侍郎孫毓汶

硃 ○ 右侍郎徐用儀

885 應署漢侍郎名單

內閣學士周德潤

錢桂森

都察院左副都御史白桓

徐樹銘

宗人府府丞薛福辰

通政使司通政使黃體芳

詹事府詹事李端棻

886 光緒十三年八月初一日內閣奉

上諭陝西漢中鎮總兵員缺著孫金彪補授欽此

887 查陝西漢中鎮總兵係陸路缺謹

奏

888 蒙

發下摺報已奉

硃批十二件其餘應請

批示清漢摺片十六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

乞見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年八月初一日奉

旨依議欽此

889 張曜摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

八月初一日

890 軍機大臣 字寄

甘肅新疆巡撫劉 署伊犁將軍塔爾巴哈台

參贊大臣錫 署塔爾巴哈台參贊大臣春

光緒十三年八月初二日奉

上諭劉錦棠奏塔爾巴哈台勇丁潰變籌辦大概情

形一摺據稱本年六月二十七日夜間綏靖中左

右三營步隊勇丁潰變戕斃營官陳明德逼近春

滿行臺施放槍礮損壞大門官廳經劉錦棠飭提

督湯彥和馳赴西湖防所並調派各旗營防範偵

探一面飛咨錫綸速派隊伍遏其竄路仍飭湯彥

和約期進剿等語此起勇丁究竟因何潰變春滿

駐紮該城何以毫無布置任其煽亂著即查明起

衅緣由迅速具奏現在該潰勇有無竄越情形該

處西連俄境恐其鋌而走險著錫綸速派得力將

弁取道博羅塔拉徑抵綏靖防其奔竄並著劉錦

棠會同該大臣等督飭派出各營併力兜剿務將

首要各犯嚴拏懲辦其餘人眾應剿應撫即著妥

籌辦理毋任日久蔓延是為至要將此由六百里

各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

891 補行引

見應封宗室德崑

硃。旨著該衙門照例辦理

892 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年八月初二日奉

旨依議欽此

893 辦理軍機處為咨行事本日

發下賞兩廣總督張 五十生辰物件相應開單

由兵部遞交

貴督祇領可也須至咨者

右 咨 計鈔單一紙
外本匣六箇

兩廣總督張

八月初三日

894 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片二十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年八月初三日奉

旨依議欽此

895 軍機大臣 字寄

河東河道總督成 河南巡撫倪 光緒十三

年八月初四日奉

上諭成孚奏沁黃兩河入秋以後險工疊出現已搶

護平穩亟應豫儲防險銀兩擬請南岸添撥銀七萬五千兩北岸添撥銀二萬五千兩等語著倪文蔚督飭藩司於歷年節省防險項下如數提撥並將前款未清銀兩於霜清以前全數撥給成孚務當督飭在工員弁覈實支放即將各工妥籌修守務期穩固將此各諭令知之欽此遵旨寄信前來

896 光緒十三年八月初四日内閣奉

上諭畢道遠奏病難速痊懇請開缺一摺畢道遠著賞假一箇月毋庸開缺欽此

897 蒙

發下摺件已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片十七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理成孚奏請撥防險銀十萬兩摺擬

繕寄信

諭旨令倪文蔚照數撥給畢道遠奏因病懇請開缺一摺道繕明發

諭旨賞假一箇月毋庸開缺托倫布等祥亨等各一摺擬候

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十三年八月初四日奉

旨依議欽此

898 蒙

發下摺件已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年八月初五日奉

旨依議欽此

899 軍機大臣 字寄

甘肅新疆巡撫劉 署伊犁將軍塔爾巴哈台

泰贊大臣錫 光緒十三年八月初六日奉

上諭前據劉錦棠奏塔爾巴哈台勇丁潰變籌辦大

概情形當經諭令該大臣等督飭各營併力兜剿

茲復據錫綸奏塔城營勇潰變派隊馳往剿撫劉

錦棠奏潰勇就撫仍籌整頓各一摺覽奏均悉此

項勇丁聚眾詳潰雖據稱開導歸營尚未別滋擾

害惟該三營同時煽亂並膽敢戕斃管官其平時

積習甚深目無法紀已可概見儻不認真究辦何

以肅軍令而重邊防即著該大臣等懍遵前旨務

將首要各犯嚴拿懲辦並將起衅緣由確切查明

據實具奏毋得遷就了事其各營就撫人眾應如

何一律遣撤著劉錦棠等於事竣後察看情形妥

籌辦理將此由六百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

900 軍機大臣 字寄

兩江總督一等威毅伯曾 署兩江總督湖廣

總督裕 漕運總督盧 江蘇巡撫崧 光緒

十三年八月初六日奉

上諭有人奏江蘇海州青伊鎮一帶有倪道一率其

子武進士倪振武勾結匪類數百人拜為哥老會

聚眾搶掠霸佔田畝斲斃多命有案可憑委員戴

德明彌縫延宕恐釀巨案請飭查辦等語匪徒擾

害閭閻委員查辦不力均應澈底根究著曾國荃

裕祿盧士杰崧駿遵委委員確切查明認真懲辦

原片均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

901 光緒十三年八月初六日內閣奉

上諭荊州右翼副都統英秀由護軍出征直隸連鎮

等處打仗奮勇曾著勞績洵升副都統後亦能稱

職茲聞溢逝軫惜殊深加恩著照副都統例賜卹

任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例

具奏欽此

902 光緒十二年正月二十七日內閣奉

上諭鑲紅旗滿洲副都統富勒渾泰於道光年間出師打仗嗣在江蘇安徽等省軍營著戰功由護軍海升副都統前因患病賞假調理茲聞溘逝軫惜殊深加恩著照副都統例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

903 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示清漢摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年八月初六日奉

旨依議欽此

904 光緒十三年八月初七日奉

旨錫珍等奏崇文門徵收稅課盈餘未能足額著戶部議奏餘依議摺二件片一件單三件併發欽此

崇文門摺片單

905 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年八月初七日奉
旨依議欽此

906 軍機大臣 字寄

福州將軍 兩江閩浙湖廣四川江蘇安徽江西
湖北湖南河南山西陝西各督撫 光緒十三年八月初八日奉

上諭戶部奏籌撥甘肅新餉一摺甘肅關內外各軍
餉銀關繫要現經該部將光緒十四年新餉指
撥山西省銀八十四萬兩河東道銀五十二萬兩
河南省銀六十一萬兩陝西省銀二十萬兩湖北
省銀三十三萬兩湖南省銀十六萬兩江蘇省銀
二十萬兩兩淮銀二十萬兩安徽省銀二十萬兩
江西省銀三十六萬兩四川省銀九十八萬兩閩
海關六成洋稅銀二十萬兩共銀四百八十萬兩
請飭限報解著該將軍督撫等嚴飭各該司道按
照部撥數目於本年十二月底止趕解三成至來
年四月底止再解三成其餘四成統限九月底止
掃數解清各該省如能依限完解即由陝甘總督

照案奏請獎叙僕仍前延欠即著戶部照案奏參
將此由五百里各諭令知之欽此遵
旨寄信前來

鈔交戶部

907 蒙

發下摺報臣等公同商閱戶部奏籌撥光緒十四年
甘肅新餉摺擬繕寄信

諭旨令兩江等省將軍督撫等趕緊籌解彭玉麟奏
痼疾益深懇

准開缺並開差使摺擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十三年八月初八日奉
旨依議欽此

滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

道銜禮部即補郎中玉恆

侍讀銜刑部即補主事桂春

四品銜吏部即補郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾賚額

內閣即補侍讀志樸

漢頭班章京

刑部員外郎吳引孫

刑部員外郎孟繼堦

兵部即補郎中沈恩嘉

戶部主事顧璜

吏部主事王倣

內閣中書陳邦瑞

四品銜兵部主事胡寶鐸

刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

四品銜候補五品京堂壁岫

理藩院員外郎奎華

戶部主事孚琦

侍讀銜戶部主事延祉

四品銜理藩院郎中齊普森

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

太僕寺少卿錢應溥

四品銜工部員外郎祝維城

吏部員外郎兼襲騎都尉世職金保秦

戶部主事王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳若棠

刑部候補主事馮錫仁

員外郎銜吏部候補主事孫朝華

戶部候補主事王頌蔚

909 光緒十三年八月初九日奉

旨閣敬銘著賞假一月其所管戶部事務毋庸派署
欽此

閣敬銘奏請續假並請 派署摺

910 蒙

發下摺件應請

批示漢字摺一件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬俟

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年八月初九日奉

旨依議欽此

911 彭玉麟摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批摺件一併

發下欽遵辦理謹

奏

八月初九日

912 蒙

發下摺件已奉

硃批一件其應請

批示漢字摺一件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年八月初十日奉

旨依議欽此

913 軍機大臣 字寄

步軍統領衙門 順天府 五城御史 光緒
十三年八月十一日奉

上諭御史托佛歡奏匪徒持械搶奪請旨究辦一摺
據稱近有游匪在東北兩城地面持刀搶奪肆行
無忌請飭拏辦等語匪徒擾害閭閻亟應嚴行懲
辦所有單開之楊結實即穆七巴等十五名著步
軍統領衙門順天府五城御史一體嚴密查拏務
獲究辦原摺單均著鈔給閱看將此各諭令知之
欽此遵
旨寄信前來

914 光緒十三年八月十一日奉

旨這所奏疏脫監犯之管獄官陝西懷遠縣典史李
自新著即革職拏問交葉伯英提同刑禁人等嚴
訊有無鬆刑賄縱情弊按律懲辦有獄官懷遠縣
知縣李士埏雖在公出期內惟未能先事預防亦
難辭咎著交部察議仍勒限嚴緝逸犯馬加盈務
獲究辦餘著照所議辦理該部知道欽此

915 蒙

發下摺報已奉

硃批十一件其餘應請

批示漢字摺片三十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理葉伯英奏特參疏脫監犯等官摺

擬繕明發

諭旨將典史李自新革職拏問知縣李士埏交部察

議餘照議辦理御史托佛歡奏匪徒持械搶奪請

飭究辦摺擬繕寄信

諭旨令步軍統領等衙門嚴拏懲辦是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年八月十一日奉

旨依議欽此

916 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 光緒十三

年八月十二日奉

上諭有人奏疆臣私合洋商開立銀行請旨飭禁一摺據稱李鴻章現與美國洋商米建威訂約股開華美銀行官為保護等語洋人牟利之心無微不至中華與之交涉稍有不慎必至墜其術中合開銀行一事關係甚大後患頗多該督果與美商訂議何以不奏明請旨遽立合同著李鴻章據實覆奏另片奏此次股開銀行由道員馬建忠等串通慫恿等語是否屬實著一併奏覆毋稍徇隱原摺片均著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

917 軍機大臣 字寄

山東巡撫張 光緒十三年八月十二日奉

上諭前據張曜奏保大輪船在榮城縣地方失事村民撈搶拒捕拏犯審辦一摺當諭令該撫提訊定擬茲有人奏榮城縣知縣李文炳辦理乖謬武舉于廷誥帶團赴村妄拏搜搶並有委員勒令村民出錢肆行騷擾又有人奏知縣李文炳信任惡紳

于廷誥擾害地方並率行請兵東海關道盛宣懷派員帶隊搜查逼斃多命各等語與張曜前奏情形諸多不符此案該村民抗官傷勇固應從重懲治儻該縣知縣及派出員弁果有辦理乖謬滋擾良民各情亦應嚴行叅辦以肅官方著張曜按照所奏各節秉公確查據實覆奏毋稍徇隱一面仍遵前旨將拏獲各犯研訊確供按律定擬具奏原摺二件著鈔給閱看將此由四百里諭令知之欽此遵

旨寄信前來

918 光緒十三年八月十二日內閣奉

上諭吏部奏道議楊昌濬等處分一摺閩浙總督楊昌濬應得降三級調用處分著加恩改為降四級留任福建布政使張夢元應得降三級調用處分著加恩改為革職留任欽此

919 交內務府本日引

見

盛京

福陵尚膳副一缺擬陪之達洪阿奉

旨著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此文

八月十二日

920 光緒十三年八月十二日奉

旨仍著崑岡督修欽此

工部奏西四牌樓角樓工程請興修摺

921 蒙

發下摺報已奉

硃批十一件其餘應請

批示清漢摺片單十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片八件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年八月十二日奉

旨依議欽此

922 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十三年八月十三日奉

旨知道了欽此

軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 兩江總督一等威毅伯曾 署兩江總督湖廣總督裕 傳諭粵海關監督增潤 長有 光緒十三年

八月十四日奉

上諭總理各國事務衙門奏彙覈出使經費一摺據 稱江海關道冊報出使經費南北洋先後借撥銀 二百十三萬七千九百四十餘兩現在提存經費 為數太少嗣後如遇需奉有特旨撥放方准動 用並請飭分別歸款等語此項出使經費本係專 款存儲疊經南北洋挪借動用為數甚鉅現在存 款無多不敷分撥著李鴻章曾國荃裕祿即將前 後借撥銀兩分別迅速籌解歸款毋稍遲延嗣後 無論京外何項要款非有特旨撥放不准動用另 片奏粵海關欠解二十三結內銀數甚鉅請飭查 報等語著增潤長有查明應提各數及歷任監督 何以提存不解之故詳晰奏明分別追繳至請催 東海宜昌兩關欠解出使經費一節並著李鴻章 等嚴飭該關監督迅即掃數解清以後按結報解

如再怠玩由該衙門查參原摺片均著鈔給閱看 將此由四百里諭知李鴻章曾國荃裕祿並傳諭 增潤長有知之欽此遵 旨寄信前來

鈔交總理衙門

924 光緒十三年八月十四日內閣奉

上諭前任雲貴總督劉長佑持躬端謹辦事老成自 拔貢生効力戎行剿辦廣西江西湖南湖北安徽 等省賊匪迭著戰功洵擢監司旋膺疆寄歷任直 隸兩廣雲貴總督於地方事宜盡心籌辦克稱厥 職前因患病准其開缺回籍調理茲聞溘逝軫惜 殊深劉長佑著加恩照總督例賜卹任內一切處 分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏該故督 有無子嗣著卞寶第查明具奏候旨施恩用示篤 念蓋臣至意欽此

925 光緒二年七月二十一日內閣奉

上諭前任四川總督吳棠老成練達辦事勤能由大

桃知縣游擢監司循聲卓著嗣在漕運總督任內帶兵剿賊保衛地方歷任閩浙四川總督克盡厥職上年冬間因患病准予開缺俾得安心調理茲聞溘逝軫惜良深吳崇著加恩照總督例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏伊子廕生吳炳和著賞給舉人准其一體會試用示篤念蓋臣至意欽此

926 光緒十三年八月十四日奉

旨均著准其抵銷欽此

兵部奏請填到軍奏領慶福一處分摺

927 光緒十三年八月十四日奉

旨著准其抵銷欽此

兵部奏遵議成京將軍慶裕處分片

928 光緒十三年八月十四日奉

旨李慶雲關廣槐著該部仍遵前旨給獎他案不得援以為例欽此

周德潤奏雲南勸界委員劣保獎摺

929 六品廕生李紹鈞
旨著以主事分部行走

930 六品廕生李紹鈞
旨著以同知用

931 蒙

發下摺件 臣等公同商閱應請

批示漢字摺片六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後致遵辦理其應行請

旨摺片九件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年八月十四日奉

旨依議欽此

932 希元等片一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

八月十四日

933 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 兩江總督

一等威毅伯曾 署兩江總督湖廣總督裕

光緒十三年八月十六日奉

上諭有人奏洋人於通商口岸購運制錢鎔化提銀

各省釐局存積純銅制錢加價售於錢商錢商售

於洋人銷燬有礙國法請飭查禁等語奸商販運

制錢轉售銷燬大干例禁所奏釐局加價發售私

賣各節如果實有其事必應嚴行禁止著李鴻章

曾國荃裕祿確切查明據實覆奏並咨行沿江沿

海各督撫飭屬一體認真查禁以杜弊端原片均

著摘抄給與閱看將此各諭令知之欽此遵
旨寄信前來

934 光緒十三年八月十六日內閣奉

上諭熱河正總管毓秀著留京當差欽此

935 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示清字摺二件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年八月十六日奉

旨依議欽此

936 光緒十三年八月十七日內閣奉

上諭熱河正總管著錫麟補授欽此

937 光緒十三年八月十七日內閣奉

上諭倉場衙門順天府奏請撥通州粥廠賑米一摺本年通州一帶地方被水成災貧民衆多所有王恕周等處粥廠著加恩賞給粟米三千石即由通倉支給分撥各廠煮粥散放以惠窮黎餘著照所議辦理該部知道欽此

938 光緒十三年八月十七日內閣奉

上諭順天府奏請賞給普濟堂等處暨廣仁堂米石各一摺近畿一帶連年災歉貧民生計維艱所有普濟堂功德林兩處恩賞小米三百石加賞小米五百石及廣仁堂恩賞小米三百石均著照例賞給另片奏請賞給盧溝橋粥廠暨資善堂煖廠米石各等語加恩著照所請賞給盧溝橋粥廠粟米四百石資善堂煖廠粟米三百石以惠窮黎餘依議欽此

939 光緒十三年八月十七日內閣奉

上諭興廉等奏江蘇河運漕糧完竣請將承辦各員獎勵一摺本年江蘇漕糧提撥十萬石辦理河運妥速抵通所有督運及總辦各員均屬著有微勞江蘇糧道成桂著賞加二品頂戴知府潘學祖著交部從優議叙以示鼓勵餘依議該部知道欽此

940 蒙

發下摺報已奉

硃批九件其餘應請

批示清漢摺片單十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年八月十七日奉

旨依議欽此

941 光緒十三年八月十八日奉
旨照例兼銜欽此

吏部奏廣西巡撫沈秉成應否兼銜摺

942 交正黃旗滿洲本日引

見補放荊州佐領廣州防禦各一缺擬陪之防禦王

勤駝騎校崇俊奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

八月十八日

943 交鑲黃旗滿洲本日引
見補放

東陵防禦一缺擬陪之駝騎校和善奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

八月十八日

944 交鑲黃旗蒙古本日引

見補放黑龍江呼倫貝爾額魯特總管一缺擬陪之

公中佐領三都布奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

八月十八日

945 交鑲黃旗漢軍本日引

見補放廣州防禦一缺擬陪之雲騎尉孔慶表奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

八月十八日

946 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片二十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年八月十八日奉

旨依議欽此

947 劉東璋摺一件張曜片一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

八月十八日

948 光緒十三年八月十九日內閣奉

上諭曾國荃奏統兵大負積勞病故臚陳戰績請旨

優卹一摺頭品頂戴記名布政使劉連捷秉心忠

摯謀勇兼優於咸豐同治年間經曾國藩胡林翼

曾國荃檄令統帶湘營轉戰湖北江西安徽江蘇

等處身經千數百戰收復大小城隘百餘處同治

三年克復江甯省城厥功尤偉嗣於光緒四年經

曾國荃派住包頭一帶駐防六年移軍山海關屯

守十年派赴沿江等處扼紮歷著勳勞深資倚任

茲聞溘逝軫惜殊深劉連捷著照布政使軍營立

功後在營病故例從優議卹如恩予諡原籍及立

功省分准其建立專祠由地方官春秋致祭並將

戰功事蹟宣付國史館立傳以彰忠蓋該衙門知

道欽此

949 光緒十三年八月十九日奉

旨這所參疏防監犯越獄之管獄官奉天新民廳巡

檢王樹勛著即革職拏問交慶裕提同刑禁人等

嚴訊有無鬆刑賄縱情弊按律懲辦有獄官署新

民廳撫民同知候補通判王為激著革職暫行留

任仍勒限將在逃之何真砥等十犯嚴緝務獲究

辦餘著照所議辦理該部知道欽此

950 光緒十三年八月十九日內閣奉

上諭托倫布等奏軍臺廢負由配脫逃請旨飭緝究

辦一摺廢負張陞楷膽敢由配脫逃難保不私回

原籍或潛行來京著湖南巡撫步軍統領衙門順

天府五城御史一體嚴拏務獲究辦欽此

951 交 總理海軍事務衙門
神機營 本日軍機大臣面奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨醇親王奕譞

現在請假所有總理海軍事務衙門暨神機營印

鑰著奕劻暫行佩帶欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

八月十九日

952 蒙

發下摺報已奉

硃批十一件其餘應請

批示漢字摺片三十八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年八月十九日奉

旨依議欽此

953 楊昌濬片一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

954 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 光緒十三

年八月二十日奉

上諭前有人奏李鴻章與美國洋商米建威訂約股
開華美銀行請旨飭禁一指當經諭令該督據實
覆奏迄今多日尚未奏到此事流弊甚多斷不可
行現在交章論劾眾議沸騰該督如果有與美商
訂約之事著即行罷議迅速覆奏毋再遷延干咎
將此由四百里諭令知之欽此遵
旨寄信前來

955 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵理其應行請

旨摺片單四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年八月二十日奉

旨依議欽此

956 倪文蔚摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

八月二十日

957 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年八月二十一日奉

旨依議欽此

958 光緒十三年八月二十二日內閣奉

上諭奎斌奏查明湖北各屬被水民情困苦請旨截留漕米並辦賑捐一摺據稱本年夏間大雨滂沱江漢並漲各屬田廬多被淹沒除羅田石首二縣前已奏報籌款急撫外現查沔陽監利漢川嘉魚四州縣受災尤重又江夏武昌咸甯蒲圻興國漢陽黃陂孝感黃岡黃梅蘄水廣濟鍾祥京山應城江陵公安松滋天門潛江等二十州縣亦同時被淹遵籌撫恤等語覽奏被災情形小民蕩析離居殊堪憫惻著照所請准其截留湖北冬漕三萬石並隨漕耗米等項俾作賑需並准其勸辦賑捐以資接濟用副朝廷軫念災區至意餘著照所議辦理該部知道欽此

959 光緒十三年八月二十二日內閣奉

上諭成孚奏南岸鄭州下汛十堡河水漫溢請將文武員弁懲處並自請懲治一摺本年八月間上中兩廳河工猝生巨險河勢自榮澤壩圍灣下卸鄭州下汛十堡進下無工之處隄身走漏水勢擡高數尺由隄頂漫過刷寬口門三四十丈在工員弁疏於防護實屬咎無可辭該河督請一併革職高覺過輕上南同知余潢上南營守備王忻鄭州州判余嘉蘭署鄭州下汛千總陳景山署鄭州下汛額外委郭俊儒均著即行革職枷號河干以示懲儆署開歸陳許道李正榮著摘去頂戴交部議處成孚督辦河防是其專責乃未能先事豫防亦難辭咎著摘去頂戴革職留任仍督率在工員弁趕集料物設法搶辦務期迅速歲功並先行盤築裏頭以免再行塌卸至該處漫口據稱附近居民先經遷移高阜尚未損傷人口業經捐賑撫恤其較遠村莊及漫水經行被淹之處著即會同倪文蔚查明具奏一面將災黎迅飭賑撫毋任流離失所至南北兩岸正河工程並中河三四堡等工仍

多險要並著嚴飭該道廳等妥慎修防毋稍疏懈
是為至要餘著照所議辦理該部知道欽此

960 光緒十三年八月二十二日內閣奉

上諭恭銓等奏副都統因病懇請開缺據情代奏一
摺黑龍江副都統成慶著准其開缺回旗欽此

961 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示清漢摺片共六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片七件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年八月二十二日奉
旨休議欽此

962 光緒十三年八月二十三日奉

旨均著准其抵銷餘依議欽此

吏部奏遵議楊昌濬等處分摺

963 蒙

發下摺報已奉

硃批十四件其餘應請

批示漢字摺片十七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年八月二十三日奉

旨依議欽此

964 倪文蔚春滿摺各一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

八月二十三日

965 軍機大臣 字寄

兩江總督一等威毅伯曾 湖廣總督裕

光緒十三年八月二十四日奉

上諭河南鄭州十堡漫口前據李鴻章電信必由沙河經陳州淮亳入洪澤湖並有稟下河亦可危等語本日成孚奏口門塌寬三百餘丈下游業已斷流是全溜入淮已無疑義黃水經流潁亳等處向為匪徒出沒之區近來兩湖地方時有會匪滋

事目前黃流橫決深恐游勇土匪勾結為患不可

不預籌防範補抄起裕祿著即回湖廣總督本任曾國荃

如已起程無論行抵何處即著迅速回任暫緩來

京陛見上該督等務將應辦各事妥速籌辦以紓朝

廷宵旰之虞曾國荃著俟河工地方各事宜諸臻

安謐再行奏請陛見將由此五百里各諭令知之欽

此遵

旨寄信前來

摘鈔交吏部

966 軍機大臣 字寄

兩江總督一等威毅伯曾 河東河道總督成

漕運總督盧 江蘇巡撫崧 安徽巡撫陳

河南巡撫倪

光緒十三年八月二十四日奉

上諭成孚奏上南廳鄭下汛十堡漫口奔溜南趨正河下游現已斷流上游胡家屯等工危險仍嚴督搶護等語昨據成孚奏鄭州十堡漫口當經降旨將該河督摘頂革職留任失事負弁分別嚴懲並

飭令督率搶辦趕緊裹頭以免再有塌卸茲據奏稱
口門已塌寬至三百餘丈下游業已斷流是全溜
入淮江皖情形十分喫重著曾國荃盧士杰
崧駿陳彝嚴飭河工負弁暨沿河各州縣將洪澤
湖及運河向有閘壩相度形勢應如何設法抵禦
迅速籌辦以資防守並將黃水經過被淹各地方
查明輕重妥籌撫恤仍督飭文武各官嚴查游勇
土匪毋令乘機滋事一面先將水勢情形速即馳
奏以慰廑系此次河工漫口雖據成孚前奏猛烈
趨刷時急事迫惟平時修防不力以致釀成巨患
該河督必應激發天良竭力補救以贖前愆著即
懷遵前旨盤築裹頭寬籌料物逐層收束以冀堵
合毋得遷延糜費致干重咎倪文蔚到任未久已
將應得處分加恩寬免著即籌撥款項會同成孚
將堵築事宜妥速辦理其被災處所賑濟緩輯該
撫尤屬責無旁貸務當確切查明迅速籌賑撫以副
朝廷軫念災黎之至意將此由五百里各諭令知
之欽此遵

旨寄信前來

967 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年八月二十四日奉

旨依議欽此

968 光緒十三年八月二十五日內閣奉

上諭畢道遠高萬鵬奏查明順屬被水情形請賞撥

漕米一摺本年六七月間雨水過多河流盛漲限

岸漫決順天通州等州縣同時被水小民困苦情

形朝廷彌深廩系亟應豫籌接濟以拯災黎加恩
著照所請賞撥京倉漕米五萬石專備順屬冬撫
之用即著倉場侍郎照數發給由畢道遠等分撥
災區隨時散放務使實惠及民毋任稍有弊混用
副軫念民艱至意餘依議該部知道欽此

969 光緒十三年八月二十五日奉

旨仍遵前旨辦理該部所請著毋庸議欽此

禮部奏撥賑准商戶德裕等更正三代請旨

970 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年八月二十五日奉

旨依議欽此

971 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 光緒十三

年八月二十六日奉

上諭希元等奏吉林練隊需用軍火餘存無多請飭

天津機器局撥給洋火藥二萬觔鉛九五十萬粒

銅帽二百萬粒等語著李鴻章照數撥給以資應

用所需價銀即由戶部於吉林練餉項下如數扣

抵就近撥還直隸歸款將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

鈔交戶部

972 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片十五件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理希元等奏請

飭天津機器局撥給洋火藥等物摺擬繕寄信

諭旨令李鴻章照數撥給餘依議太僕寺摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十三年八月二十六日奉

旨依議欽此

973 查原在軍機章京上行走之刑部額外主事易

俊現在服闋臣等公同商酌仍令該員在軍機

處額外行走謹

奏

光緒十三年八月二十六日奉

旨知道了欽此

974 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示清漢摺片十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年八月二十七日奉

旨依議欽此

975 軍機大臣 字寄

步軍統領衙門 順天府 五城御史 光緒

十三年八月二十八日奉

上諭御史王會英奏積惡匪徒請飭查拏一摺據稱

已革興平倉花戶徐五等勾串逃軍楊結寶聚眾

搶劫請飭拏辦等語匪徒擾害地方亟應嚴行懲

辦著步軍統領衙門順天府五城御史一體按名

嚴拏務獲究辦原摺均著鈔給閱看將此各諭令

知之欽此遵

旨寄信前來

976 軍機大臣 字寄

山東巡撫張 光緒十三年八月二十八日奉

上諭有人奏山東煙台海口防營統領孫金彪平日
馭下無方不知訓練該營勇丁有開設煙館游蕩
搶奪情事福山甯海等州縣舖戶被劫各案獲犯
俱係營勇本年六月間該營調赴榮城成山頭大
肆抄掠請飭查辦等語防營駐紮地方宜如何申
明紀律整肅營規所奏如果屬實必應嚴行懲辦
著張曜按照所奏各節確切查明據實具奏毋稍
徇隱原摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵
旨寄信前來

977 光緒十三年八月二十八日奉

旨著暫緩查驗欽此

大德寺奉均齊為正守名差驗詳 旨附

978 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年八月二十八日奉

旨依議欽此

979 軍機大臣 字寄

兩江總督一等威毅伯曾 漕運總督盧 河

東河道總督成 河南巡撫倪 光緒十三年

八月二十九日奉

上諭翁同龢潘祖蔭奏黃河南決懇飭速籌堵塞並設法補救一摺覽奏均悉此次鄭州決口為患甚鉅翁同龢等所稱黃水南注有二大患五可慮均係切中事理之言現在大溜南趨經行何處尚未據成孚續奏非據倪文蔚奏報摺內有溜分三股之說目前無論情形如何總以迅速堵口為要策成孚業已疏防於前必應補救於後著即會同倪文蔚趕集料物盤築裏頭務將堵合之法剋日籌議若再莫倖遲延致誤事機該河督自問當得何罪至黃水直趨東南下游沿淮沿河各州縣受害何可勝言亟應設法宣洩保全完善之區翁同龢等所稱順其就下之勢由興化以北歷滕朮侍家塢等處入舊河身避過雲梯關以下淤沙開濬大通口四十餘里入湖河以達灌河海口等語著曾國荃盧士杰體察情形即行籌議覆奏如別有疏導善策並著多方規畫迅即籌辦總期黃流減一分之害庶幾民生受一分之益一面先將現在橫決情形迅速馳奏原摺均著鈔給閱看將此由五百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

980 光緒十三年八月二十九日內閣奉
上諭河南鄭州漫口黃流奪溜南趨沿河居民遭此水厄困苦顛連不知如何景象深宮屢念刻不去懷欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨此次決口為害甚鉅本月二十二日成孚奏到後軫念吾民被災之慘忘寢減膳斯夕不安自古帝王已飢已溺平時猶念切痲瘵矧當此奇災洊至民不聊生每一念及憫惻之懷豈能言喻著於宮中節省內帑項下發去銀十萬兩交倪文蔚查明黃流經過被災各地方不分畛域覈實散給欽此該撫當仰體

聖慈宵旰焦勞加惠災黎之至意遴派妥幹委負分途確查迅速散放務期實心經理剔除弊端庶災區早沾一日之惠朝廷早紓一日之憂仍將辦理放賑情形速即馳奏欽此

981 光緒十三年八月二十九日內閣奉

上諭李秉衡奏因病懇請開缺一摺護理廣西巡撫布政使李秉衡著准其開缺俟沈秉成到任後再行交卸欽此

982 光緒十三年八月二十九日軍機大臣面奉

諭旨本日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨發出節省內帑
項下銀十萬兩賑濟黃流經過地方灾民著戶部於
河南鄰近省分應解部庫的款先行籌撥速交倪文
蔚應用並著內務府俟內帑發出解交戶部歸款欽此

983 交內務府軍機大臣面奉
諭旨本日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨發出節省內帑
項下銀十萬兩賑濟黃流經過地方灾民著戶部於
河南鄰近省分應解部庫的款先行籌撥速交倪文
蔚應用並著內務府俟內帑發出解交戶部歸款欽
此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

八月二十九日

984 蒙

發下摺件已奉

硃批九件其餘應請

批示漢字摺片十七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年八月二十九日奉

旨依議欽此

985 曾國荃等摺一件張之洞片一件遵擬批條呈

進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

八月二十九日

986 光緒十三年八月三十日內閣奉

上諭廣西布政使著馬丕瑤補授即赴新任毋庸來

京請訓欽此

987

直隸布政使松椿 滿洲鑲藍旗人

光緒十一年九月補湖南藩司副調直隸

江蘇布政使易佩紳 湖南舉人

光緒八年十月補山西藩司副調四川又調江蘇

江甯布政使許振禛 江西進士

光緒十二年六月補

安徽布政使阿克達春 滿洲正白旗生員

光緒十二年八月補

山東布政使崇保 滿洲鑲黃旗進士

同治八年四月補甘肅藩司副調山東

山西布政使張煦 甘肅進士

光緒七年十一月補廣東藩司副調山西

河南布政使劉瑞祺 江西進士

光緒十二年七月補

署陝西布政使李用清 山西進士

光緒十二年七月署

甘肅布政使譚繼洵 湖南進士

光緒十年十月補

甘肅新疆布政使魏光燾 湖南人

光緒九年三月補甘肅藩司副調新疆

浙江布政使許應錄 廣東進士

光緒十年九月補

福建布政使張夢元 直隸舉人

光緒九年九月補廣西藩司副調福建

988

福建臺灣布政使邵友濂 浙江舉人

光緒十三年二月補

江西布政使李嘉樂 河南進士

光緒十二年五月補

湖北布政使蒯德標 安徽進士

光緒元年正月補

湖南布政使孫翼謀 福建進士

光緒十二年五月補

廣東布政使高崇基 直隸進士

光緒十一年二月補山西藩司副調廣東

四川布政使崧蕃 滿洲正藍旗舉人

光緒十二年九月補

雲南布政使曾紀鳳 湖南生員

光緒十二年六月補貴州藩司副調雲南

貴州布政使李元度 湖南舉人

光緒十二年二月補

直隸按察使陶模 浙江進士

光緒十一年九月補

江蘇按察使張富年 浙江附貢生

光緒十二年五月補

安徽按察使張岳年 浙江舉人

光緒十二年八月補

山東按察使福潤 蒙古正紅旗附生

光緒十二年八月補湖北臬司副調山東

山西按察使嵩崑 滿洲鑲紅旗進士

光緒十一年二月補

河南按察使賈致恩 山東廩生

光緒十三年二月補

陝西按察使黃彭年 貴州進士

光緒九年正月補湖北臬司副調陝西

甘肅按察使方汝翼 直隸舉人

光緒十二年七月補

浙江按察使蕭韶 湖南舉人

光緒十二年七月補

福建按察使裴蔭森 江蘇進士

光緒九年二月補

江西按察使瑞璋

滿洲正紅旗人
光緒十年十月補

湖北按察使成允

正紅旗監生
光緒十年二月補

湖南按察使豫山

滿洲正黃旗監生
光緒十年九月補

廣東按察使王毓藻

湖北進士
光緒十二年九月補

廣西按察使張聯桂

江蘇附貢生
光緒十二年十一月補

四川按察使游智開

湖南舉人
光緒十一年三月補

雲南按察使史念祖

江蘇監生
光緒十年八月補

貴州按察使馬玉瑤

河南進士
光緒十三年正月補

989 光緒十三年八月三十日內閣奉

上諭山東兗州鎮總兵負缺著田恩來補授欽此

990

查山東兗州鎮總兵係陸路缺謹
奏

991 光緒十三年八月三十日內閣奉

上諭近來各部院直日堂官及內廷當差各員每遇
召見屢有遲誤不到者殊屬不成事體嗣後務當
共矢慎勤力戒玩泄毋得再有曠誤致干咎戾欽此

992 光緒十三年八月三十日內閣奉

上諭巡視東城御史本貴等奏遵旨拏獲著名匪徒
請交部審辦一招所有拏獲之狗熊德子即順兒
德子小軍師玉五雞腸子劉二均著交刑部嚴行
審訊按律懲辦其餘未獲各犯仍著嚴拏務獲究
辦該部知道欽此

993 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨此次河南鄭州黃河漫口所有搶辦河工及辦
理災賑各事宜需款甚鉅亟應豫籌的款以濟要
需著戶部悉心酌覈妥議具奏欽此相應傳知
貴部欽遵辦理可也此交

八月三十日

994 交兵部本日軍機大臣面奉

諭旨巴克坦布奏因病貽誤召對自請議處一摺已
克坦布著交部議處欽此相應傳知
貴部欽遵辦理可也此交計粘抄摺一件

八月三十日

995 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片十五件分別繕擬批條呈進恭候
欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年八月三十日奉

旨依議欽此

996 光緒十三年九月初一日內閣奉

上諭貴州按察使著廖壽豐補授欽此

直隸按察使陶模 浙江進士
光緒三年九月補

江蘇按察使張富年 浙江明倫生
光緒十二年五月補

安徽按察使張岳年 浙江舉人
光緒十二年八月補

山東按察使福潤 蒙古正紅旗附生
光緒十年補湖北臬司嗣調山東

山西按察使嵩崑 滿洲正紅旗監生
光緒十二年二月補

河南按察使賈致恩 山東廩生
光緒十三年二月補

陝西按察使黃彭年 貴州進士
光緒九年正月補湖北臬司嗣調陝西

甘肅按察使方汝翼 直隸舉人
光緒七年七月補

浙江按察使蕭韶 湖南舉人
光緒十二年七月補

福建按察使裴蔭森 江蘇進士
光緒九年二月補

江西按察使瑞璋 湖南正紅旗人
光緒十一年十月補

湖北按察使成允 正紅旗監生
光緒十二年二月補山東臬司嗣調湖北

湖南按察使豫山 滿洲正黃旗監生
光緒十二年九月補

廣東按察使王毓藻 湖北進士
光緒十二年九月補

廣西按察使張聯桂 江蘇附貢生
光緒十二年十一月補

四川按察使游智開 湖南舉人
光緒十二年三月補

雲南按察使史念祖 江蘇監生
光緒十年八月補

998 光緒十三年九月初一日內閣奉

上諭浙江督糧道負缺著世春補授欽此

999 光緒十三年九月初一日內閣奉

上諭廣東高廉道負缺著王景賢補授欽此

1000 查廣東高廉道係簡缺謹

奏

1001 光緒十三年九月初一日內閣奉

上諭葉伯英奏查明各屬民欠錢糧等項開單懇恩
蠲免一摺前因陝西元旱業將光緒十年以前民
欠錢糧疊次蠲免本年新賦開徵上年舊欠尚須
帶催若將十一年未完錢糧同時併徵民力實有
未逮如恩著照所請所有咸甯等五十九府廳州
縣光緒十一年分民欠地丁正耗更名糶價存留
俸工驛遞夫馬陵租房塚馬廠地租鹽鐵磨課及
道倉應徵屯更本色糧石等項共未完銀二十五
萬三百三十七兩零內荒地未完銀二十一萬二

千四百九十八兩零熟地未完銀三萬七千八百三十九兩零又未完起存本色共糧三萬四千六百七十二石零內荒地未完糧二萬七百六十九石零熟地未完糧一萬三千九百二石零又未完荒地本色草二千二百四十四束零著一律豁免該撫即按照單開各府廳州縣民欠各項細數詳晰刊刻勝黃偏行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道單併發欽此

1002 光緒十三年九月初一日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨聯魁等著仍遵前旨給獎餘依議欽此

吏部奏查明神機營侍業分別准發摺

1003 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片單十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨清漢摺片單共九件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月初一日奉

旨依議欽此

1004 據李鴻章專弁齎到真水獺肝二匣恭代呈

進謹

奏

1005 希元清漢字摺一件張曜漢字摺一件遵擬批

條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

1006 軍機大臣 字寄

陝甘總督譚 光緒十三年九月初二日奉

上諭文碩奏西藏貢道請復舊制一摺據稱前後藏年班貢道舊例本由北路西甯進京同治年間因陝甘辦理軍務改由南路取道四川刻下教平已久請仍由北路行走等語西藏例貢久經改道現在能否仍由北路西甯舊道行走著譚鍾麟會商西甯辦事大臣體察情形妥籌具奏原摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵旨寄信前來

1007 軍機大臣 字寄

河東河道總督成 河南巡撫倪 光緒十三年

九月初二日奉

上諭上南廳鄭下汎漫口大溜南趨貽害甚大朝廷日深焦念成孚於八月十九日奏報後迄今尚未

續奏現聞決口刷寬至七八百丈成孚遷延未奏豈尚思彌縫掩飾耶現在盤築裹頭工程若何失事已將二旬必應辦有端緒成孚此次疏防厥咎甚重宜如何愧奮力贖前愆倪文蔚兼任河務亦應馳赴工次會同籌辦著即將近日口門情形並搶築辦法迅速據實具奏至黃流橫決經過各地方小民何辜遭此慘毒深宮默念寢饋難安前據倪文蔚奏請截留賑需銀三十萬兩業經允准並欽奉

懿旨發給內帑銀十萬兩廣為散放

聖慈宵旰焦勞不惜巨帑拯救災區該撫具有天良自必覈實妥辦並著將籌賑各節速即奏聞以慰廑繫將此由六百里各諭令知之欽此遵旨寄信前來

1008 光緒十三年九月初二日內閣奉

上諭烏拉布奏遵查專案工程請旨辦理一摺所有孝陵榮親王園寢禮部龍亭庫等工著派本年承修另案工程之大臣麟書徐郵敬謹承修餘依議欽此

1009 交吏部軍機大臣面奉

諭旨本日引見之直隸試用道銜杰著於初四日豫

備召見欽此相應傳知

貴部轉傳該負欽遵可也此交

九月初二日

1010 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示清漢摺二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片八件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月初二日奉

旨依議欽此

1011 倪文蔚摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

九月初二日

1012 光緒十三年九月初三日內閣奉

上諭禮部尚書著李鴻藻補授欽此

1013 光緒十三年九月初三日內閣奉

上諭周盛波著補授湖南提督欽此

1014 光緒十三年九月初三日內閣奉

上諭畢道遠奏病未痊愈仍懇開缺一摺禮部尚書

畢道遠著准其開缺調理欽此

1015 光緒十三年九月初三日奉

旨這所參疏防監犯越獄之管獄官直隸大城縣典史李毓林著即革職拏交李鴻章提同刑禁人等研審確情按律懲辦有獄官署大城縣知縣何其翔據報公出惟未能先事豫防亦難辭咎著交部議處仍勒限嚴緝逸犯王鐵樑等務護究辦餘著照所議辦理該部知道欽此

1016 光緒十三年九月初三日內閣奉

上諭步軍統領衙門巡視北城御史恩壽等各奏拏獲匪犯一摺匪犯狗頭金五楊結實即穆七巴李鳳山許三夏二張大紀三李瑞壽沈大王勝兒馬茂等平時糾聚為匪聞拏獲拒捕實屬藐法已極均著交刑部嚴行審訊盡法懲治以儆兇頑在逃各犯仍著按名嚴拏務獲究辦緝獲此案人犯出力各負弁著刑部於定案時聲明請旨該犯等均在興平倉內拏獲前據查倉給事中桂年奏請將失察之監督察議等語興平倉監督文明張碩士均著先行交部察議欽此

1017 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月初三日奉

旨依議欽此

1018 李鴻章片二件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

九月初三日

1019 光緒十三年九月初四日內閣奉

上諭潘祖蔭著兼管順天府府尹事務欽此

1020 光緒十三年九月初四日內閣奉

上諭吏部右侍郎著許庚身調補仍署理兵部尚書

欽此

1021

應調漢侍郎人負名單

吏部左侍郎許應發 現出學差

戶部左侍郎孫詒經

右侍郎曾紀澤

禮部左侍郎徐郁 現兼若吏部左侍郎

右侍郎童華

兵部左侍郎廖壽恆

右侍郎孫家鼐

硃

刑部左侍郎薛允升 現在出差

右侍郎許庚身 現署兵部尚書

工部左侍郎孫毓汶

右侍郎徐用儀 現兼若刑部左侍郎

倉場侍郎游百川

1022 光緒十三年九月初四日內閣奉

上諭刑部右侍郎著周德潤補授欽此

應升漢侍郎人負名單

硃 內閣學士周德潤

錢桂森

汪鳴鑒 現出學差

洪鈞 現在出差

都察院左副都御史白桓

徐樹銘

宗人府府丞薛福辰

通政使司通政使黃體芳

大理寺卿劉瑞芬 現在出差

詹事府詹事李端棻

1024 光緒十三年九月初四日內閣奉

上諭本日召見之直隸試用道銜杰著交軍機處存
記欽此

1025 開缺總兵李揚陞

硃
旨著仍以總兵用

1026 開缺總兵李揚陞

旨著以副將用

1027 開缺總兵李揚陞

旨著以參將用

1028 光緒十三年九月初四日奉

旨依議欽此

戶部奏陳等項工部款摺

1029 光緒十三年九月初四日奉

旨著照例帶領引見欽此

兵部奏門上道術可原等因

1030 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示清漢摺四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月初四日奉

旨依議欽此

1031 光緒十三年九月初五日內閣奉

上諭都察院奏編修朱百遂等援案請建已故總兵

專祠據呈代奏一摺已故總兵陳國瑞前在江蘇

戰功卓著遺愛在民著加恩准其在江蘇高郵寶

應等處立功地方建立專祠以順輿情欽此

1032 蒙

發下摺件已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺一件擬批呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理都察院奏編修朱百遂等呈請為

已故總兵陳國瑞在高郵寶應等處援案建立

專祠據情代奏摺擬繕明發

諭旨准建專祠是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月初五日奉

旨依議欽此

1033 光緒十三年九月初六日奉

旨著該衙門照例辦理欽此

正黃旗滿洲奏都統善慶所得世職可否先給
勅書 18

1034 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示清漢摺片九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理正黃旗滿洲奏善慶所得世職可

否先給

敕書摺擬請

旨令該衙門照例辦理恭候

命下傳知欽遵豐紳奏請

陛見摺擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十三年九月初六日奉

旨依議欽此

1035 光緒十三年九月初七日內閣奉

上諭河南鄭州黃河決口下游被水成災業經欽奉
懿旨特發內帑銀十萬兩並准倪文蔚所請截留銀三
十萬兩俾資賑撫惟念此次黃水橫流災區甚廣
饑民待哺嗷嗷尚恐不敷散放加恩著將光緒十
四年分江北及江蘇應行河運京倉米石並水脚
運費等項一併全數截留即著曾國荃盧士杰崧
駿陳夔倪文蔚遴派妥幹委負查明河南等省被
災處所分投運解覈實散賑務使窮黎均霑實惠
毋任吏胥稍有弊混用副朝廷軫念災民有加無
已至意一面將籌辦情形先行馳奏欽此

1036 光緒十三年九月初七日內閣奉

上諭浙江處州鎮總兵員缺著劉元勳補授欽此

1037 查浙江處州鎮總兵係陸路缺謹
奏

1038 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片單十四件分別繕擬批條呈進恭候
欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月初七日奉

旨依議欽此

1039 恭鐘摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

九月初七日

1040

已革都司趙典涵

因拏賭索賊被叅後砌款許告發遣計到配八年零八箇月

已革總兵謝正球

因造意糾商雕刻官錢鋪假印票板行使得錢發遣計到配三年零八箇月

已革拔貢駱乘雲

因假冒委負向苗寨詐騙得賊發遣計到配七年零十一箇月

已革雲騎尉伊里亨即關福壽

因被事脫逃潛回滋事發遣計到配六年

已革雲騎尉托克通武已革筆帖式花良阿

該二員均因開賭欲錢發遣計到配七年零十一箇月

已革從九品高梓材

因冒領官糧發遣計到配六年零兩箇月

1041

軍機大臣 字寄

步軍統領衙門 光緒十三年九月初八日奉

上諭有人奏內城步營技勇等兵虛名頂替盜警無人追捕以致盜案疊出請飭嚴查懲辦等語近來京師盜案甚多步營專司緝捕巡邏豈容稍涉廢弛著步軍統領衙門認真整頓如查有虛額諱盜情事即行嚴叅懲辦至所奏被盜各案並著上緊查拏以靖地方原片著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1042

蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示清漢摺片單十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片七件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月初八日奉

旨依議欽此

1043

曾國荃等摺一件劉錦棠摺片二件成孚摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

九月初八日

1044

滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

道銜禮部郎中玉恆

侍讀銜刑部郎中補主事桂春

四品銜吏部郎中補郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾賡額

內閣郎中補侍讀志樸

漢頭班章京

刑部員外郎吳引孫

刑部員外郎孟繼燠

兵部郎中補郎中沈恩嘉

戶部主事顧璜

吏部主事王做

內閣中書陳邦瑞

四品銜兵部主事胡寶鐸

刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

四品銜候補五品京堂墊岫

理藩院員外郎奎華

戶部主事孚琦

侍讀衙戶部主事延祉

四品銜理藩院郎中齊善森

四品銜刑部郎補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

太僕寺少卿錢應溥

四品銜工部員外郎祝維城

吏部員外郎兼襲騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳節棠

刑部員外主事易俊

刑部候補主事馮錫仁

員外郎銜吏部候補主事孫朝華

戶部候補主事王頌蔚

1045 光緒十三年九月初九日內閣奉

上諭李鴻藻著充武英殿總裁欽此

1046 應

派武英殿漢總裁名單

大學士閻敬銘 現在請假

協辦大學士刑部尚書張之萬

吏部尚書徐桐

戶部尚書翁同龢

硃。禮部尚書李鴻藻

署兵部尚書許庚身 現在請假

工部尚書潘祖蔭

都察院左都御史祁世長

戶部左侍郎孫詒經

禮部左侍郎徐郁 現兼署兵部左侍郎

右侍郎童華

兵部左侍郎廖壽恆

右侍郎孫家鼐

刑部左侍郎薛允升 現在出差

右侍郎周德潤

工部左侍郎孫毓汶

1047 光緒十三年九月初九日內閣奉

上諭甘肅鞏昌府知府負缺著支昭辰補授欽此

1048 查甘肅鞏昌府知府係衝繁疲難最要缺謹
奏

1049 光緒十三年九月初九日奉

旨毋庸更正欽此

吏部奏周德潤保獎勅部人員請吏部

1050 光緒十三年九月初九日奉

旨毋庸另獎欽此

吏部奏保承修等保獎勵外人員請吏部

1051 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片十九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月初九日奉

旨依議欽此

1052 岑毓英等摺一件陳夔摺一件遵擬批條呈進

恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

1053 蒙

發下摺件已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年九月初十日奉

旨依議欽此

1054 光緒十三年九月十一日內閣奉

上諭成孚倪文蔚奏會勘堵築事宜一摺據稱鄭下

汛十堡漫口督飭工負竭力堵築已將東西兩壩

裏頭護埽三十餘段鑲辦完竣現在盤築壩基購

料興工惟需款甚急請飭籌撥等語鄭州決口後

水勢直趨下游該處河工關繫數省民命若不亟

籌堵合為害伊於胡底成孚倪文蔚當乘此霜清

水落之時趕緊廣集料物將壩基等工盤築堅穩

節節進占務期及早合龍不准遷延遲誤所需款

項著先由部庫提撥銀二百萬兩剋日解往未到

以前准其由司庫提款應用仍著戶部陸續籌撥

的款源源接濟以期無誤要需朝廷不惜帑金為

民捍患該督等務當嚴飭工負責心實力妥速辦

理負弁中有始終勤奮異常出力者准其從優保

獎破格施恩儘敢革率偷減藉端牟利即著分別

嚴行叅奏按照軍法從事勿稍寬貸成孚疏防於

前厥咎甚重儻不知愧奮糜帑無功定即重治其

罪決不好容倪文蔚身任地方亦屬責無旁貸前

因甫經到任從寬免其議處該撫當激發天良同

心協力速成要工慎勿諉卸干咎懍之該部知道

欽此

1055 光緒十三年九月十一日內閣奉

上諭前山西布政使紹誠降調浙江按察使陳寶箴

前山東按察使潘駿文均著發往河南隨同成孚

倪文蔚辦理河工事宜即著鑲黃旗滿洲都統兩

廣總督山東巡撫飭令該負等迅速赴工毋稍遲

誤欽此

1056 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片十一件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月十一日奉

旨依議欽此

1057 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 光緒十三

年九月十二日奉

上諭河南鄭州決口全溜南注直東兩省河患可以

暫紓然故道一時難復將來該口堵合之後河流

依舊北趨除已諭張曜將應修各工及時趕辦外
著李鴻章督飭河工負弁趁此湍流驟減易於施
工將東明長垣開州一帶河身及時挑濬並將兩
岸堤埝加築堅厚以防後患不可稍涉疎懈將此
由四百里諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1058 軍機大臣 字寄

山西巡撫剛 光緒十三年九月十二日奉

上諭有人奏山西陽城縣知縣單熙昭任令民間私
種嬰粟勒捐錢文該負寄籍高平置有田廬並不
聲明迴避且與土人親友往來私自回籍遇有詞
訟廣通賄賂並有誣良為盜匿報熟地浮收錢糧
隱匿重案各情請飭查辦等語所奏如果屬實亟
應從嚴參辦著剛毅按照所參各節確切查明據
實具奏毋稍徇隱原片著鈔給閱看將此諭令知
之欽此遵

旨寄信前來

1059 光緒十三年九月十二日內閣奉

上諭倪文蔚奏知縣虧欠交代延不完解請旨革職
拏問等語河南休致宜陽縣知縣謝應起虧短正
雜銀兩前經摘頂勒追迄未完解竟敢潛回山東
原籍實屬膽玩謝應起著即革職拏問交倪文蔚
提同經手丁書研審是侵是挪照例監追究辦其
各任所寓所及原籍財產著一併查封備抵以重
庫款該部知道欽此

1060 光緒十三年九月十二日奉

旨這所參疏防監犯越獄之管獄官河南祥符縣典
史章楷著即行革職交倪文蔚提同刑禁人等嚴
訊有無鬆刑賄縱情弊按例究辦有獄官署祥符
縣知縣朱升吉未能先事豫防著交部照例議處
仍勒限嚴緝逸犯駱花珍務獲懲辦該部知道欽此

1061 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨御史周天霖奏請開河工捐輸以應急需一摺
著戶部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵可也此交 計粘鈔摺一件

九月十二日

1062 蒙

發下摺件已奉

硃批九件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月十二日奉

旨依議欽此

1063 張耀摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

九月初二日

1064 奉

旨孫采淋係聽從發塚開棺見屍幫同下手惟經犯父代首不無可原孟洛二係火器誤殺旁人惟疑賊確屬有因轟傷究非意料梁發舜係火器殺人惟疑賊確屬有因閻為煥係火器殺人惟死在湯火及破骨傷正餘限外丁灃係火器殺人惟因救父情切劉材係火器殺人惟疑賊有因何氏係因姦致翁自盡由立決改為監候惟死由姦夫威逼與投姦不遂羞忿自盡者有間俱著免勾餘均照所擬欽此

九月初二日同雲南省黃冊
見面帶上十二日
發下由 堂交內閣

1065 奉

旨孫采淋係聽從發塚開棺見屍幫同下手孟洛二係火器誤殺旁人梁發舜閻為煥丁灃劉材均係火器殺人何氏係因姦致翁自盡由立決改為監候俱著予勾餘均照所擬欽此

九月初二日同雲南省黃冊
見面帶上十二日
撕破
發下歸箱

1066 光緒十三年雲南省秋審服制情實王至柳等

二起人犯共二名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯王至柳

與小功兄王潮柳無嫌該犯素患瘋病時發時愈嗣該犯瘋病復發搗刀跳舞王潮柳瞥見攔奪該犯用刀砍傷其左腿肚倒地移時殞命砍由瘋發無知尚非有心干犯是以未勾
一起斬犯李幅濬

因小功兄李加申與人口角經該犯之父李永昌
喝散嗣李永昌至李加申屋內李加申聲稱偏護
外人李永昌訓斥李加申頂撞李永昌伸手向打
李加申舉甕回毆該犯聞鬧趕至奪甕過手護父
退出李加申撲向抓毆該犯用甕遮攔致甕腳抵
傷其咽喉下部李加申抓住李永昌衣襟仰板跌
地用手又住咽喉該犯拉勸不聞情急取矛嚇戮
適傷其頂心倒地移時殞命戮由救父情切尚非
無故逞兇干犯是以未勾

光緒十三年雲南省秋審常犯情實七起人犯
共八名內除舊事常犯情實沈荃一起人犯一
名業於六年

免勾時間列榜示外所有新事常犯情實何二娃等
六起人犯共七名謹將
勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞犯何二娃

聽從搶奪拒斃事主幫毆刃傷情殊兇暴法無可寬

是以勾決

一起斬犯李小五

李小五造意謀命李巴三聽從加功均法無可寬

是以俱勾決

一起絞犯楊申潰

聽從發塚開棺見屍幫同剝取屍衣法無可寬是
以勾決

一起斬犯孫喃革

發塚開棺見屍業因犯父代首免其立決法難再
寬是以勾決

一起絞犯孫采淋

聽從發塚開棺見屍幫同下手惟經犯父代首不
無可原是以未勾

一起斬犯周希

誘姦九歲幼女已成業因畏懼中止免其立決法
難再寬是以勾決

光緒十三年貴州省秋審常犯情實劉級三等

五起人犯共五名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯劉級三

偽造印信文書誑騙多賦藐法難寬是以勾決

一起斬犯黃噍啞

丐匪逞忿故殺丐匪法無可寬是以勾決

一起斬犯周來友

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯劉八

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞犯盧阿安

貪賄聽從姦匪謀斃妹夫下手加功法無可寬是

以勾決

光緒十三年廣東省秋審常犯情實何亞當等

二起人犯共二名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞犯何亞當

強姦未成致本婦羞忿自盡淫惡難寬是以勾決

一起絞犯陸錦懋

刃斃幼孩頭面致命傷重情殊欺凌法無可寬是

以勾決

光緒十三年廣西省秋審常犯情實唐氏等三

起人犯共四名口謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞犯唐氏

因姦致夫被殺事後復與姦夫姦宿實屬惡毒志

仇法無可寬是以勾決

一起絞犯閩十八仔

扶恨聽從謀命均下手加功法無可寬是以俱勾決

一起斬犯葉瀨運

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

光緒十三年奉天省秋審服制情實三起共三

名口內除舊事服制情實馮元財王氏二起二

名口業於上年

免勾時開列榜示外謹將新事服制情實于得新一

起一名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯于得新

因胞叔于灃夜間聽聞有賊窺窗入室起身喊拏賊人聞門逃走于灃取木棒追出該犯聞喊亦攜刀出捕見有一人持械未經看清面貌疑係竊賊倉猝不及查問用刀向砍致傷于灃右臂膊于灃負痛聲喊該犯聞係于灃聲音急忙住手攜燈照看始知將于灃誤傷越八日殞命傷由疑賊誤砍尚非有心干犯情稍可原是以未勾

光緒十三年奉天省秋審常犯情實共五十五

起人犯共五十九名口內除舊事常犯情實張銀孫長均性悟關信慈即信慈梁泳汰閔得漢索允淋張士寬孫進材張發生王登江胡廣慎等十二起人犯共十二名業於八年並十二年

免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實李庭盅等

四十三起人犯共四十七名口

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯李庭盅

火器殺人法無可寬是以勾決

一起斬犯赫三音葆

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯陳兆詳

挾恨謀命法無可寬是以勾決

一起斬犯張灃灃

火器殺人復另傷其弟法無可寬是以勾決

一起絞犯王得

聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起斬犯王泳信

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞犯劉克濱

貪賄聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起斬犯孟洛二

火器誤殺旁人惟疑賊確屬有因斬傷究非意料是以未勾

一起斬犯張汶

姦匪拒捕刃斃捕人法無可寬是以勾決

一起斬犯曹萌

搶奪拒捕刃傷事主情殊兇暴法無可寬是以勾決

一起斬犯曹現材

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯鄭得

賭匪逞忿故殺賭匪法無可寬是以勾決

一起絞犯宋拔江

賭匪糾毆致斃賭匪倒後金刃傷多且重被擊時復持械拒捕法無可寬是以勾決

一起斬犯梁發葵

火器殺人惟疑賊確屬有因不無可原是以未勾

一起絞犯常振山

竊匪挾嫌聽從謀命下手加刃法無可寬是以勾決

一起斬犯于角蛭于角蛭王作沅

于角蛭因姦謀殺姦本夫王作沅貪賄聽從加

功均法無可寬是以俱勾決

一起斬犯王萌付即王機匠

姦匪妒姦故殺姦匪法無可寬是以勾決

一起斬犯劉葆祥

姦匪妒姦謀斃姦匪張得碌造意劉葆祥聽從加功均法無可寬是以俱勾決

一起斬犯王占成

扶恨謀命復誤毒逾七姑夫一命法無可寬是以勾決

一起斬犯陳尚準

因姦聽從姦婦謀殺本夫淫兇難寬是以勾決

一起斬犯徐連濟即徐乘子

姦匪拒捕刃斃本夫淫兇難寬是以勾決

一起斬犯閻為煥

火器殺人惟死在湯火及破骨傷正餘限外是以未勾

一起斬犯丁雲

火器殺人惟因救父情切不無可原是以未勾

一起斬犯曹萬倉

丐匪扶恨謀命事後復移屍陷害法無可寬是以
勾決

一起斬犯崔有

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯劉甸塗

聽從聚眾共毆致斃五命該犯火器轟斃一命法
無可寬是以勾決

一起絞犯唐有

假差嚇詐平人致其母自盡情殊刁惡法無可寬
是以勾決

一起絞犯張詳即張嶺

強姦未成刃傷本婦之父淫兇難寬是以勾決

一起絞犯賈萬倉

負欠刃斃徒手近七老人倒後致命傷多且重法
無可寬是以勾決

一起絞犯

王在甲王坤
起蕭深即彭明法
劉洪義

聽從發塚開棺見屍均幫同下手法無可寬是以
俱勾決

一起斬犯劉材

火器殺人惟疑賊有因不無可原是以未勾

一起斬犯關溶

逞忿故殺復另傷其兄法無可寬是以勾決

一起斬犯杜材

因調姦甥女拒捕致斃姊夫淫兇難寬是以勾決

一起斬犯彭甸升

逞忿故殺總麻表兄法無可寬是以勾決

一起斬犯幹提善

強姦已成鎗傷本婦淫惡難寬是以勾決

一起絞犯魏得茲

兄弟共毆致斃彼造兄弟一家二命該犯首先逞
兇刃斃一命倒後傷重復另傷二人法無可寬是
以勾決

一起絞犯吳耀志

賭匪糾毆致斃賭匪金刃傷多且重法無可寬是
以勾決

一起絞犯何氏

因姦致翁自盡由立決改為監候惟死由姦夫威
逼與殺姦不遂羞忿自盡者有間是以未勾

一起絞犯張泳僖

竊盜被追拒捕刃傷事主情同格鬥法無可寬是以勾決

一起絞犯張小梁仔

致斃幼孩鐵器頭面致命傷重事後復將牛隻牽走跡近圖財法無可寬是以勾決

一起斬犯白果安

刃斃總兄傷多且重法無可寬是以勾決

一起絞犯莊力荏

刃斃徒手逾七老人情傷均重復另傷其女法無可寬是以勾決

一起絞犯白鈺鍾

致斃年甫九齡幼孩情兇傷重法無可寬是以勾決

1067 光緒十三年九月十二日奉

旨依議欽此

兵部奏直隸等省保列二等副將恭祥

1068 光緒十三年九月十三日內閣奉

上諭巡視中城御史托佛歡等奏援案請賞外城粥廠粟米開單呈覽一摺現在節交寒令貧民生計維艱所有中城之朝陽閣東城之卧佛寺育嬰堂南城之打磨廠西城之長椿寺觀音塔胡同北城之圓通觀梁家園各粥廠每月共需粟米三百三十石加恩照數賞給自十月初一日起由各該城咨明戶部剗倉給發該御史等務當督同紳士妥為散放無任侵漁單併發餘依議另片奏請賞給崇善堂等處米石各等語崇善堂等處各廠收養貧民人數衆多米石不敷支放加恩著照所請所有清化寺街之崇善堂梁家園之百善堂太清觀之公善堂三處煖廠各賞給小米三百石教子胡同禮拜寺賞給小米三百石朝陽門外南海會寺崇文門外玉清觀各粥廠並岡子上興善煖廠各賞給小米一百五十石東便門外三忠祠粥廠賞給粟米一百五十石以濟窮黎該部知道欽此

1069 光緒十三年九月十三日內閣奉

上諭沈秉成奏請調貪差違等語內閣中書熊方燧
江蘇候補知府方德驥候補知縣丁紹芬試用府
經歷馬瑞熙候選州判趙景彬均著前赴廣西交
沈秉成差違委用該部知道欽此

1070 光緒十三年九月十三日奉

旨違所叅疏防監犯越獄之管獄官山東汶上縣典
史董振祥著即革職拿問交張曜提同刑禁人等
嚴訊有無鬆刑賄縱情弊按例究辦有獄官汶上
縣知縣調補單縣知縣松年雖在公出期內惟未
能先事豫防亦難辭咎著交部照例議處仍勒限
嚴緝逃犯莊狃田務獲究辦餘著照所議辦理該
部知道欽此

1071 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨沈秉成奏懇陳廣西營餉短絀懇恩另籌的餉
一摺著戶部議奏欽此相應傳知
貴部欽遵辦理可也此交 計粘鈔摺一件

九月十三日

1072 蒙

發下摺報 臣等公同商閱應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月十三日奉

旨依議欽此

1073 俛文蔚摺片三件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

1074

光緒十一年考試翰林院孔目論題
萬乘之國行仁政論

光緒十二年考試翰林院孔目論題
察於人倫論

光緒十一年考試漢廕生論題策題
允執厥中論

崇四術立四教策

光緒十二年考試漢廕生論題策題

安土敦仁論

日肅時雨若策

光緒十二年考試漢廕生論題策題

黃裳元吉論

農用八政策

1075 光緒十三年九月十四日內閣奉

上諭劉秉璋奏特參交代虧短各員請旨革職分別
查抄監追開單呈覽一摺四川已革知縣湯俊等
前在各本任署任內虧短交代等項銀兩為數甚
鉅疊經勒限嚴催迄未完解實屬玩延候補知縣

陸銘前任敘永廳同知李德亨候補同知顏佐才

前任天全州知州戴希瀨金堂縣知縣汪懋源興

文縣知縣常伺候補知縣丁鼎昌均著即行革職

內陸銘一員同已革知縣湯俊楊治徐思溫三員

著順天府府尹江蘇湖北浙江廣東安徽各巡撫

等問派員押解赴川監追湯俊楊治徐思溫陸銘

同已革知縣陳枝蓮潘貽薪原籍各家產一併查

封備抵並著山西貴州直隸陝西各督撫順天府府

尹勒令李德亨顏佐才戴希瀨汪懋源常伺丁鼎

昌各家屬將虧項照數繳解以重庫款餘著照所

議辦理該部知道單併發欽此

1076 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示清漢摺片單二十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單八件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月十四日奉

旨依議欽此

1077 盧士杰摺一件成孚摺片各一件遵擬批條呈

進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

九月十四日

1078 光緒十三年九月十五日內閣奉

上諭湖南鎮筭鎮總兵負缺著周瑞龍補授欽此

1079 查湖南鎮筭鎮總兵係陸路缺謹

奏

1080 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨御史李士琨奏河工需款甚鉅請飭各省設局

開捐一摺著戶部歸入周天霖摺一併議奏欽此相

應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

計粘鈔摺一件

九月十五日

1081 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月十五日奉

旨依議欽此

1082 蒙

發下摺報已奉

硃批九件其餘應請

批示漢字摺片十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理理藩院摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十三年九月十六日奉

旨依議欽此

1083 軍機大臣 字寄

兩江總督一等威毅伯曾 漕運總督盧 河

東河道總督成 江蘇巡撫崧 安徽巡撫陳

山東巡撫張 河南巡撫倪 光緒十三年九

月十七日奉

上諭前因鄭州河決壘諭成孚等將漫口迅籌堵合

並准曾國荃等奏請修守舊工別籌分洩復諭張

曜趁此黃流驟減趕緊疏通海口挑挖河身以防

後患本日據侍郎徐郵奏通籌黃河全局一摺所

陳辦法有業經特旨飭辦及該督等已奏請施行

者此外各條是否有可採取即著曾國荃等悉心

酌覈各就該處地勢情形妥速籌商據實覆奏至

所稱工程銀兩層層剋扣為向來河工積弊實屬

不成事體並著成孚倪文蔚懍遵前旨督飭在工

人負覈實經理不准稍有浮冒如查有前項情弊

定即從嚴懲辦原摺均著鈔給閱看現在黃河決

口漫溢經過地方及下游洪湖運河等處新舊開

壩各工情形著曾國荃盧士杰成孚崧駿陳彝倪

文蔚各繪圖貼說迅即進呈將此由四百里各論

令知之欽此遵

旨寄信前來

1084

乾隆十八年江蘇銅山縣隄工衝決欽奉

諭旨三道

乾隆四十三年河南儀封隄工漫水欽奉

諭旨一道

乾隆四十五年江南邳睢隄工漫溢欽奉

諭旨一道

嘉慶三年山東曹汎漫工欽奉

諭旨二道

嘉慶十年江蘇清江浦土隄滲墊欽奉

諭旨一道

嘉慶十五年江南堰盱各工掣卸欽奉

諭旨一道

嘉慶十八年河南睢州大隄坐墊欽奉

諭旨一道

嘉慶二十五年河南儀封漫口欽奉

諭旨一道

道光二十一年河南祥符隄工漫決欽奉

諭旨二道

道光二十四年河南中牟縣隄工墊失欽奉

諭旨一道

咸豐元年江蘇豐北廳漫口欽奉

諭旨一道

咸豐二年豐工未能堵合欽奉

諭旨一道

1085

光緒十三年九月十七日奉

旨此項保舉人負如有因差來京者即由該部隨時

帶領引見毋庸調取欽此

吏部摺

1086

光緒十三年九月十七日奉

旨著加恩賞還印信准其進貢並開復管事喇嘛扎

薩克喇嘛銜名欽此

理藩院摺

1087 蒙

發下摺件已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月十七日奉

旨依議欽此

1088 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 光緒十三年

九月十八日奉

上諭李鴻章奏永定河漫口驟難堵合繪圖進呈一

摺覽奏均悉該處南七工漫口既據確切查勘現

在若就原口堵築及就南隄外改道均屬工艱費

鉅驟難辦理所奏自係實在情形惟此時雖暫緩

興工而濁流散漫民居被淹將來泥沙淤積馴至

兩淀難容勢必旁溢為患與銅瓦鑲之決口不塞

年久貽害大小雖殊情事則一豈可僅顧目前不

為遠慮著李鴻章將此事熟思審處或仍歸故道或

別立隄防務求一經久妥善之策奏明辦理至此

次被水村莊不少殊堪憫惻並著飭屬查明籌款

撫恤以紓民困將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1089 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月十八日奉

旨依議欽此

1090 奉

旨苟濬照係逞兇互鬪刃斃大功兄惟懌起救母著

免勾欽此

九月初七日同四川等省黃冊

見面帶上十八日

發下由 堂交內閣

1091 奉

旨甘在黃係扶恨謀命惟死者屢次重利盤剝與藉
端擾害無異稍有可原著免勾餘均照所擬欽此

九月初七日同四川等省黃冊

見面帶上十八日

發下由 堂交內閣

1092 奉

旨苟濬照係逞兇互鬪刃斃大功兄業因懌起救母
免其立決難以寬免著予勾欽此

九月初七日同四川等省黃冊

見面帶上十八日

撕破

發下歸箱

1093 奉

旨甘在黃係扶恨謀命著予勾餘均照所擬欽此

九月初七日同四川等省黃冊

見面帶上十八日

撕破

發下歸箱

1094

光緒十三年四川省秋審服制情實十九起共
十九名口內除舊事服制情實馬朋澹羅仔謀
李維漳余泳阡范其濬曾馨伍彭尚橫姚三麻
仔即姚本銀葉善博王氏十起共十名口業於
上年

免勾時開列榜示外謹將新事服制情實苟濛照等

九起共九名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯苟濛照

因佃種大功兄苟濛材田業議明租錢嗣因歉欠未付苟濛材向該犯之母鄭氏索討鄭氏央緩苟濛材村斥騙賴鄭氏分辯致相罵詈苟濛材用刀背將鄭氏毆傷該犯攏勸苟濛材斥護用刀向砍該犯奪刀過手苟濛材撲奪該犯情急用刀嚇截適傷其臍肚倒地移時殞命逞兇互鬥刀斃大功兄惟蚌起救母是以未勾

一起斬犯何衷涼

與胞兄何衷萍無嫌何衷萍素性橫暴該犯屢勸不聽嗣何衷萍算賬不清經其母胥氏斥詈何衷萍頂撞胥氏用拳毆責何衷萍搗木凳扭住胥氏欲毆該犯瞥見趕攏拉開何衷萍斥護舉凳向毆該犯情急用手架格不期將凳格轉致挫傷其頂心連偏右倒地逾時殞命致斃胞兄蚌起救母傷

由抵格致挫尚非有心干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯譚開泗

與小功兄譚開蔥無嫌彼此田業中隔朱萍涵田畝譚開蔥與人輪用沙河堰水灌田該犯同朱萍涵用翁家堰水輪流接放譚開蔥因田水乾涸輪期未到央令朱萍涵讓其放灌餘水朱萍涵恐該犯不依譚開蔥稱係近房無不通商朱萍涵應允譚開蔥將田塍挖開放水灌入已田該犯之父譚錢董瞥見攏阻譚開蔥斥說薄情致相罵詈譚錢董搗木棍毆傷其左胳膊左肋譚開蔥用鋤背將譚錢董毆傷跌地騎壓身上欲毆該犯踵至攏救奪鋤拉令走開譚開蔥仍不起身並用手將譚錢董咽喉搭住該犯見父聲嘶氣微面色改變恐被搭斃情急救護用鋤柄向杵適傷其咽喉倒地譚開蔥之兄譚開薪攏擊被該犯用鋤背毆傷譚開蔥越二日殞命譚開薪傷經平復致斃小功兄傷由救父情切尚非無故逞兇干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯吳莠澧

與胞兄吳莠菁分居各炊該犯係吳莠菁繼母易

氏所生吳莠菁素不務正將分產賣盡常向易氏告貸易氏陸續幫給錢米嗣吳莠菁復向易氏借錢易氏斥說濫費吳莠菁頂撞易氏用木棍毆傷其項頸右膝並戳傷右臀吳莠菁奪棍丟棄將易氏推倒該犯將易氏扶起易氏欲拉吳莠菁送究吳莠菁嫂罵易氏攜木担令該犯毆打該犯接担毆傷其右膝肋連脚腕脚面倒地吳莠菁辱罵並稱定將易氏分業私行當賣易氏氣忿起意致死令該犯用力毆打該犯跪地求饒易氏不依聲稱如不打死定欲自盡該犯無奈復用担毆傷其右臂膊右後肋越九日殞命致斃胞兄死者罪犯應死毆由迫於母命尚非無故逞兇干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯郭洪萍

與胞兄郭洪均素睦該犯借用張萌交麻布罩子未還嗣張萌交撞遇該犯向索罩子該犯央緩張萌交不允該犯村斥致相罵詈張萌交撲毆該犯用刀嚇戳張萌交閃開不期郭洪均正由張萌交身旁攏勸該犯收手不及致誤傷其右腿倒地次

日殞命傷由誤中死出不虞尚非有心干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯楊芋松

因與小功伯楊華秀業界毘連楊華秀在連界土坎挖土修溝該犯之父楊華祥瞥見攔阻楊華秀不依斥罵楊華祥分辯楊華秀用鋤向毆楊華祥接鋤丟棄楊華秀用手摑住楊華祥咽喉搶靠土坎拾鋤欲毆楊華祥掙紮不脫該犯聞聲趨至見楊華祥面色改變氣閉聲嘶慮被搭斃情急救護用鐵鋤嚇錘適傷其顛門倒地移時殞命致斃小功伯錄由救父情切尚非無故逞兇干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯王萌菑

與胞兄王萌效分居無嫌王萌效素不務正屢次在外行竊經其父王惆憤屢戒不悛嗣王萌效行竊王惆憤衣物被王惆憤捉獲扭住衣衿王萌效將王惆憤推跌倒地王惆憤仍不釋手該犯出看將王惆憤扶起王惆憤喝令該犯幫同捆縛送官究治該犯勸解不允王惆憤取索將王萌效手脚捆

縛王萌效不服罵稱送官諒無死罪將來還要殺人犯逆王幘幘忿極起意將其活埋致斃令該犯取鐵鋤等物幫同擡埋該犯求饒王幘幘不依並稱如不幫同動手即行扭死該犯被逼無奈將王萌效擡至空地用鋤挖坑王幘幘將其推入坑內該犯跪哭求饒王幘幘不允用土掩埋當即氣閉殞命致斃胞兄死者罪犯應死殺由迫於父命尚非無故逞兇干犯情稍可原是以未勾

一起絞犯段忬萌

因與胞叔段致猷設有錢會按年輪接嗣輪應該犯接收段致猷延欠不交後該犯携帶尖刀赴山砍竹途遇段致猷向索會錢段致猷斥說不應逼索該犯分辯段致猷撲毆該犯閃避段致猷扭住該犯手內尖刀拉奪該犯不肯釋放段致猷用力向上一拉不期將刀靶拉脫致自戳傷左腮朕割傷左手指當被獲案段致猷傷經平復刃傷胞叔戮由自行拉奪尚非有心干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯許遇蜂

因向小功叔許生海索欠被斥分辯許生海斥罵

頂撞並搗瓦燈蓋向毆該犯退至屋角無可躲避用手架格不期格回勢猛致挫傷其右太陽倒地越三日殞命致斃小功叔傷由抵格致挫尚非有心干犯情稍可原是以未勾

光緒十三年四川省秋審常犯情實共四十四起人犯共四十六名內除舊事常犯情實周長疴和青王幅萍即何幅蔓等三起共三名業於八年並十二年

免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實羅鳴讓等四十一起共四十三名口

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞犯羅鳴讓

調姦室女致令羞忿自盡淫惡難寬是以勾決

一起斬犯任三剛

火器殺人法無可寬是以勾決

一起斬犯高幅叫

姦匪逞忿故殺姦婦淫兇難寬是以勾決

一起斬犯周伐樞

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯劉老三即劉三娃

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞犯鄒棕虧

扶嫌聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起斬犯王二皮

刃斃總尊傷多且重法無可寬是以勾決

一起斬犯鍾禧牲

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯郭受洗

姦匪扶恨謀命法無可寬是以勾決

一起絞犯劉運蟬

故殺年甫十四小功姪因私砍死者柴枝起衅理

曲情慘法無可寬是以勾決

一起絞犯張紹樺

金刃傷多且重復另傷其妹法無可寬是以勾決

一起絞犯包莽來

因索賭欠不給故殺總麻弟復另傷二人情殊兇

慘法無可寬是以勾決

一起絞犯王清杉
王代慈即王三缺扒

扶恨謀命王湧杉造意王代慈即王三缺扒聽從

加功均法無可寬是以俱勾決

一起斬犯舒三娃即舒汰懣

姦匪扶恨謀斃姦匪淫兇難寬是以勾決

一起絞犯張幫陰

貪賄聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起絞犯何城發

因姦致縱容之祖母被殺法無可寬是以勾決

一起斬犯雷添泉

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯彭悰人

強姦幼女已成致其母羞忿自盡淫惡難寬是以

勾決

一起斬犯彭術膳

逞忿故殺幼孩法無可寬是以勾決

一起絞犯張氏

扶嫌遷怒謀殺年甫十三夫胞姪情殊慘惡法無

可寬是以勾決

一起斬犯張幅悖

竊匪護夥拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯羅懷侶

逞忿故殺婦女復另斃一命法無可寬是以勾決

一起斬犯戴老十

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯劉阿深

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯王茨菇

竊盜拒捕刃斃事主雇工法無可寬是以勾決

一起斬犯周三洋

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯盧承漳

圖財謀斃五齡胞弟情殊慘忍法無可寬是以勾決

一起絞犯宋麻仔即宋痰

連斃應抵二命法無可寬是以勾決

一起絞犯王伸

假差嚇詐致斃無辜法無可寬是以勾決

一起斬犯蔣老五

竊盜拒捕刃斃事主復另傷其子法無可寬是以勾決

一起斬犯李薛河即李老十

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯熊城潰

火器殺人法無可寬是以勾決

一起絞犯李老十

搶奪拒殺事主為從幫毆刃傷法無可寬是以勾決

一起斬犯盧小三

聽從圖財害命雖未加功業已得財法無可寬是以勾決

以勾決

一起斬犯黃怔前

姦匪因姦謀殺縱姦本夫法無可寬是以勾決

一起斬犯魏萇蔓

致斃一家二命該犯逞忿故殺婦女一命法無可寬是以勾決

寬是以勾決

一起斬犯李潔真

姦匪妒姦故殺姦匪復另斃姦婦一命法無可寬是以勾決

是以勾決

一起斬犯王紹澧

火器殺人法無可寬是以勾決

一起絞犯吳炳南
何色魚

聽從轉糾百餘人致斃彼造多命復另傷二十二

人情殊兇慘法無可寬是以勾決

一起絞犯方從怔

假差嚇詐逼斃無辜法無可寬是以勾決

一起絞犯嚴怔常

兄弟共毆致斃彼造堂兄弟一家二命該犯首先

逞兇致斃一命金刃致命傷重法無可寬是以

勾決

光緒十三年福建省秋審常犯情實張石一起

人犯一名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞犯張石

刃傷要害奇重情兇近故法無可寬是以勾決

光緒十三年陝西省秋審服制情實龐緒連等

四起人犯共四名內除舊事服制情實龐緒連

賈懷畢張鴻沅三起共三名業於光緒十二年

免勾時開列榜示外謹將新事服制情實王連潰一

起一名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞犯王連潰

與胞兄王連軫素睦先年分炊時因公中欠人錢

文議令提地抵還言明何人還清借項即歸何人

抽約種地後王連軫將債還清抽約種地歷無異

言嗣該犯見王連軫在地工作希圖分種向稱欠

錢查無其事地應兩人分種王連軫斥罵該犯分

辯王連軫揪住伊髮揪拳毆該犯用手遮護致抓

傷其額顛左額角王連軫拾鐵鋤向砍該犯用鋤

架格致鋤刃誤割傷其左手腕倒地王連軫罵稱

該犯之妻康氏偷養野漢該犯不依王連軫之妻

尹氏走至幫護用木杆將該犯毆傷該犯亦用鋤

並鋤柄將尹氏毆割致傷王連軫赴州控驗該犯將

王連軫混罵之語向康氏盤問康氏氣忿往找王連軫追問偷養何處野漢逼令交人吵鬧辱罵經人勸散康氏復稱明日如不交人仍來拚命王連軫向尹氏愁歎稱被康氏辱罵明日又來逼鬧沒臉做人不如一死清楚尹氏勸慰詎王連軫氣忿莫釋乘間吞服洋藥旋即毒發殞命尹氏傷經平復刃傷胞兄割由被砍抵格死因別故自盡尚非有心干犯情稍可原是以未勾

光緒十三年陝西省秋審常犯情實丁潤愷等十八起人犯共十九名謹將勾到時所奉

諭旨恭錄於後

- 一起絞犯丁潤愷
- 貪賄聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決
- 一起斬犯賈灝兒
- 竊盜獲仗拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決
- 一起斬犯劉妨
- 逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯甘在廣
扶恨謀命惟死者屢次重利盤剝與藉端擾害無異稍有可原是以未勾

一起斬犯喬泳銀
誑騙得贓刃斃事主鋪夥法無可寬是以勾決

一起斬犯轉得張致即張城

扶恨謀命韓得淋造意張致即張城聽從加功均法無可寬是以俱勾決

一起斬犯柯大偕

因姦聽從姦婦謀斃縱姦本夫淫兇難寬是以勾決

一起斬犯匡鈺山

姦匪逞忿故殺縱姦本夫淫兇難寬是以勾決

一起斬犯汪週得

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯董占凡

扶恨謀命法無可寬是以勾決

一起斬犯劉晏汰

姦匪逞忿故殺姦匪淫兇難寬是以勾決

一起斬犯何沙棒

回民逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯楊利偵

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯張沅膳

賭匪逞忿故殺賭匪法無可寬是以勾決

一起斬犯閔牙信

回民行竊拒捕刃斃巡丁法無可寬是以勾決

一起斬犯顏來城仔

姦匪拒捕致斃本夫復另傷其兄淫兇難寬是以勾決

勾決

一起斬犯馬黃英

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯柏泗淋

姦匪逞忿故殺縱姦本夫淫兇難寬是以勾決

1095 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示清漢摺片單十八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片二件擬候

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十三年九月十九日奉

旨依議欽此

1096 奉

旨蕭克修係聽從聚眾鬧考閱堂毆官在場附和惟

臨時畏懼僅至大堂未敢前進稍有可原著免勾

餘均照所擬欽此

九月十一日同湖廣等省黃冊

見面帶上十九日

發下由堂交內閣

1097 奉

旨蕭克修係聽從聚眾鬧考閱堂毆官在場附和若予勾餘均照所擬欽此

九月十七日同湖廣等省黃冊

見面帶上十九日

撕破
發下歸獲

1098

光緒十三年湖廣省秋審服制情實八起人犯共八名口內除舊事服制情實韓學藝丁立葆蕭聯家賀孝漢周用哉等五起五名業於上年免勾時開列榜示外謹將新事服制情實范氏等三起人犯三名口

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞婦范氏

與夫李士梅素睦嗣李士梅因幼女患病在牀啼哭村斥該氏不善招呼該氏分辯李士梅舉拳向毆該氏情急用手搪格致指甲抓傷其下部當即走避詎李士梅氣忿莫釋乘間投繯殞命衅起口角

致夫自盡尚無逼迫情狀稍有可原是以未勾

一起斬犯向若信

與大功兄向若詳無嫌彼此有公產一分經伊母呂氏價賣與向若詳一人承管未向該犯告知如向若詳旋即轉賣與人為業該犯令其交出賣價公分向若詳爭辯牽及呂氏辱罵呂氏聽聞不依搗木棍毆傷其左右臂膊右手背向若詳肆罵並稱傷痊定將該犯毆打洩忿呂氏揪住向若詳髮辨拖跌倒地按住兩手喝令該犯將其兩眼戳瞎免受後累該犯取竹籤戳傷其左右眼睛向若詳攀住呂氏項頸不放並舉腳亂踢該犯情急救護用鋤柄毆傷其右膝胛左腳踝並用鋤背毆傷右腳腕右腳踝越十二日殞命死先犯尊毆由迫於母命尚非無故逞兇干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯陳士行

與小功兄陳士漢無嫌該犯大功兄陳士開係陳士漢小功兄陳士漢因族姪出外貿易將姪媳蕭氏接往同居照管陳士開疑其欲將蕭氏嫁賣遂同該犯並子陳忠意陳忠朋至陳士漢家理論陳

士漢斥說不應混疑致相爭鬪陳士漢向陳士開撲
毆陳忠意攏護用手抓傷其左右眼睛帶傷左腮
肢陳士漢扭住陳忠意胸衣拚命陳士開喝令該
犯幫毆該犯取刀砍傷其右腳跟陳士漢仍不放
手該犯用刀連砍傷其左腳跟倒地越九日殞命
除主使致斃小功弟之絞犯陳士開另擬緩決外
毆由聽尊長之命尚非無故逞兇干犯情稍可原
是以未勾

光緒十三年湖廣省秋審常犯情實十四起人
犯共十五名內除舊事常犯情實梁潮受一起
一名業於上年
免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實覃承新等
十三起十四名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞犯覃承新
連斃應抵二命法無可寬是以勾決
一起斬犯胡友

強姦幼女已成淫惡難寬是以勾決

一起絞犯顏應征
顏應整

兩造互毆致斃五命該犯等各刃斃一命均法無
可寬是以俱勾決

一起絞犯張茲薛

連斃應抵二命法無可寬是以勾決

一起斬犯王得樺

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯張灝能

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞犯陶灑沈

因瘋致斃母子一家二命法無可寬是以勾決

一起絞犯曾廣洛

扶恨聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起絞犯王恆源

故殺並無大過之妻情殊慘忍法無可寬是以勾決

一起斬犯萬洋香即萬潮學

逞忿故殺總兄法無可寬是以勾決

一起絞犯馮淋即馮泳香

假差嚇詐致斃幫捉之人情同拒捕法無可寬是以勾決

一起絞犯楊咽詳

刃斃七旬老人頭面致命傷重法無可寬是以勾決

一起絞犯蕭克修

聽從聚眾鬧考閱堂毆官在場附和惟該犯臨時畏懼僅至大堂未敢前進稍有可原是以未勾

光緒十三年浙江省秋審常犯情實九起人犯

共十名口內除舊事常犯情實言氏一起犯婦

一口業於八年

免勾時開列榜示外所有新事常犯情實朱廷蔣等

八起人犯九名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞犯朱庭蔣

解審絞犯中途脫逃被獲藐法難寬是以勾決

一起斬犯丁導干

姦匪拒捕刃斃本夫淫兇難寬是以勾決

一起斬犯毛登茫

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯汪老壩

竊盜拒捕刃斃事主復另傷一人法無可寬是以勾決

一起斬犯李押二

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯茫海即蓬頭未尚

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起絞犯

徐必方
徐即周

一釁相因致斃彼造四命該犯徐必方連斃二命

一共一鬪該犯徐却周刃斃一命傷多且重均法

無可寬是以俱勾決

一起斬犯應荃邊即應茂鞭

因爭管繼產刃斃總叔傷多且重復另傷其子法

無可寬是以勾決

光緒十三年江西省秋審常犯情實十二起人

犯共十四名口內除舊事常犯情實周氏一起

一曰業於八年

免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實王澱業等

十一起人犯十三名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞犯王澱業

謀殺大功弟圖詐情殊殘忍是以勾決

一起絞犯

黃紀七
黃紀四

致斃彼造五命內有兄弟一家二命該犯等各下

手致斃一命均法無可寬是以俱勾決

一起斬犯邵方庭即紅頭髮

火器殺人法無可寬是以勾決

一起斬犯呂松

逞忿故殺姊夫法無可寬是以勾決

一起絞犯聶薪伽

連斃應抵二命法無可寬是以勾決

一起斬犯胡荃薈

火器致斃逾七族祖法無可寬是以勾決

一起絞犯石舍伽

貪賄聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起斬犯劉清發

搶奪拒捕刃傷事主情殊兇暴法無可寬是以勾決

一起斬犯曹才遂

竊盜臨時盜所拒捕謀斃逾七族姪婦業因親屬

相盜免其立決法難再寬是以勾決

一起絞犯廊得光

扶嫌聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起絞犯曾照暹

竊盜拒斃事主為從幫毆刃傷情殊兇暴法無可

寬是以勾決

光緒十三年安徽省秋審常犯情實五起人犯

共七名內除舊事常犯情實曾咬即曾繼杜一

起一名業於九年

免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實陸山扒攷

即陸甲山等四起人犯六名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯陸山即陸甲山
絞犯陸約

扶恨謀命陸山扒攷即陸甲山造意陸約聽從加
功均法無可寬是以俱勾決

一起絞犯黃山

強姦室女未成致令羞忿自盡淫惡難寬是以勾決

一起斬犯胡格發
胡星麻

聽從圖財謀命雖未加功業已殺人得財均法無
可寬是以俱勾決

一起絞犯馬挺芬

姦匪續姦不遂刃斃徒手姦婦致命穿透傷重法
無可寬是以勾決

光緒十三年江蘇省秋審常犯情實吳言育等

二十二起人犯共二十三名口謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯吳言育

姦匪拔恨謀斃幼孩法無可寬是以勾決

一起斬犯馮生材

竊盜拒斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯錢滿沅

丐匪扶嫌謀斃幼孩圖詐法無可寬是以勾決

一起斬犯凌阿毛

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯王釜大
絞犯錢源鳴

扶恨謀命王釜大造意錢源鳴聽從加功均法無
可寬是以俱勾決

一起斬犯張秉信

強姦室女已成致令羞忿自盡淫兇難寬是以勾決

一起斬犯沈阿潰

逞忿故殺婦女法無可寬是以勾決

一起斬犯梁澱臣

火器殺人復另傷一人法無可寬是以勾決

一起絞犯黃老八即楊家漢

聽從夥搶幼女二人入室幫同架拉法無可寬是
以勾決

以勾決

一起絞犯蘇麻仔即蘇得源

聽從搶奪婦女入室幫同架拉法無可寬是以勾決

一起斬犯徐坊秀

姦匪逞忿故殺姦婦法無可寬是以勾決

一起斬犯曾長清

竊匪拒捕刃斃捕人法無可寬是以勾決

一起斬犯張阿小

姦匪拒捕刃斃姦婦幼子淫兇難寬是以勾決

一起斬犯周茂峻

竊盜拒斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯劉鈺起

姦匪拒捕故殺捕人法無可寬是以勾決

一起絞婦何氏

因姦致夫被殺事後幫同姦夫棄屍滅迹復向伊

子用言支飾雖非戀姦究屬忘仇法無可寬是以

勾決

一起絞犯尹澧注

聽從發塚鑿棺抽竊幫同下手二次復在外瞭望

一次法無可寬是以勾決

一起斬犯徐沈友

逞兇故殺弟妻法無可寬是以勾決

一起絞犯湯名楠

姦匪扶忿致斃姦婦之子他物頭面傷重淫兇難

寬是以勾決

一起絞犯丁如連

聽從夥搶婦女輪流背負即屬幫同架拉法無可

寬是以勾決

一起絞犯李東有即李登有

糾毆致斃徒手兵丁金刃倒後傷重法無可寬是

以勾決

一起絞犯解五即解維信

因憎嫌遺溺故殺甫經典當九齡幼孩情殊慘忍

法無可寬是以勾決

光緒十三年河南省秋審常犯情實十一起人

犯共十一名口內除舊事常犯情實陶杜妮楚

氏二起二名口業於四年並八年

免勾時間列榜示外謹將新事常犯情實劉冠佩等

九起九名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯劉冠佩

姦匪妒姦謀斃姦匪法無可寬是以勾決

一起斬犯孟禾尚

姦匪逞忿故殺姦婦淫兇難寬是以勾決

一起斬犯劉三妮

挾恨謀命法無可寬是以勾決

一起斬犯張丙茂

火器誤殺旁人法無可寬是以勾決

一起斬犯何果

逞忿故殺妹夫法無可寬是以勾決

一起斬犯宗旺

姦匪拒捕刃斃本夫法無可寬是以勾決

一起斬犯洪牛仔

火器殺人法無可寬是以勾決

一起斬犯劉銀

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯謝小拴

因姦商同姦婦謀殺縱姦本夫淫兇難寬是以

勾決

1099 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨給事中方汝紹奏戶部議開河防捐例敬陳管

見一摺著戶部速議具奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

九月二十日

1100 交鑲藍旗滿洲本日引

見補放綏遠城佐領一缺杭州驍騎校二缺擬陪之

防禦兼雲騎尉伊嚕克勒圖武舉前鋒貴祥前

鋒吉良奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

九月二十日

1101 光緒十三年九月二十日奉

旨依議欽此

禮部奏議度江南鄉試毋庸另訂官制

1102 光緒十三年九月二十日奉

旨覽奏均悉裁撤長夫暨鹽商捐輸當商匯號交銀
三條者照所請行餘毋庸議現籌各款均非現銀
恐停工待餉貽誤要需仍著該部於附近河南各
省應行解部的款先行指明劃撥以期迅速應用
俟所籌積有成數再行分別歸款欽此

戶部奏河工用款酌擬款目摺

1103 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示清漢摺片十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月二十日奉

旨依議欽此

1104 奉

旨除莊狃田現經越獄脫逃外陳澗柳係職官斃命
惟釁起彈壓傷係脚踢趙信城係故殺惟死者扶
嫌以亂倫之事信口污蔑情近罪人稍有可原張
幘詳張得發均係行竊禁苑字畫等物由立決量
改監候惟所竊物件業已風裂散却與進御服用
及內庫存儲者不同俱著免勾餘均照所擬欽此

九月十七日

見面帶上二十日

發下由 堂交內閣

1105 奉

旨除莊狃田現經越獄脫逃外陳澗柳係職官斃命
趙信城係故殺張幘詳張得發均係行竊禁苑字
畫等物由立決量改監候俱著予勾餘均照所擬

欽此

九月十七日

見而帶上二十日
抄成
發下歸種

1106 奉

旨陳澗柳係職官斃命惟釁起彈壓傷係腳踢趙信
城係故殺惟死者扶嫌以亂倫之事信口污蔑情
近罪人稍有可原張帽詳張得發均係行竊禁苑
字畫等物由立決量改監候惟所竊物件業已風
裂散卸與進御服用及內庫存儲者不同俱著免
勾餘均照所擬欽此

九月十二日同山東等省黃冊
見而帶上未
發下

1107 奉

旨陳澗柳係職官斃命趙信城係故殺張帽詳張得
發均係行竊禁苑字畫等物由立決量改監候俱
著予勾餘均照所擬欽此

九月十二日同山東等省黃冊
見而帶上未
發下

1108 光緒十三年山東省秋審官犯情實陳澗柳一

起一名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞犯陳澗柳

係蒲台汛把總與劉長齡素不認識劉長齡在街
賣爪劉改前往價買給價過少彼此爭吵該犯路
過瞥見下馬喝禁劉長齡不服該犯欲取馬棒鞭
責經人勸令求饒劉長齡下跪該犯舉腳踢令走
起靴尖踢傷其額顛劉長齡用言頂撞該犯用脚
連踢傷其下部倒地移時殞命職官斃命衅起彈壓
傷係腳踢稍有可原是以未勾

光緒十三年山東省秋審服制情實十二起共
十二名口內除舊事情實蔣鈺淋張致盤即張
六邵氏劉念潤殷長楸張得真侯連漬劉嵩起
薛氏等九起九名口業於十二年
免勾時間列榜示外謹將新事服制情實倪若漢等
三起三名口

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯倪若漢

因赴小功叔倪步池家探望倪步池邀該犯一同飲酒並令出錢再沽該犯見其飲醉未允倪步池混罵該犯分辯倪步池持木棍攙毆經其妻郭氏瞥見將棍奪落該犯逃走倪步池携刀追及揪住伊身後衣領倒握小刀用柄毆打未傷該犯情急掙脫倪步池酒後脚顛側撲跌地不期持刀右手向內肘並手腕曲抵地上致刀柄拄地刀尖向上自行戳傷右乳移時殞命傷由失跌自戳尚非有心干犯情稍可原是以未勾

一起斬婦霍氏

與夫崔汝素睦該氏素患瘋病時發時愈嗣該犯瘋病復發持刀在院跳舞崔汝素瞥見喊阻該氏用刀砍傷其咽喉倒地當即殞命該氏到案驗係瘋迷覆審供吐明晰砍由瘋發無知尚非有心干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯王撲

與大功兄王東分居無嫌王東本係伊胞兄因出繼降服大功該犯賒欠王東桑葉錢文未償嗣王東向索前欠該犯央緩王東之妾宮氏在旁斥伊拖延彼此口角經王東喝散後該犯與宮氏路遇宮氏復斥欠錢不還之非並向逼索致相罵詈該犯用刀撲毆宮氏跑走該犯趕上用刀嚇扎適王東趨至喝阻宮氏避避王東身旁該犯收手不及致誤傷其肚腹倒地次日殞命傷由誤中死出不虞尚非有心干犯情稍可原是以未勾

光緒十三年山東省秋審常犯情實張克如等

十一起人犯共十一名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯張克如

火器殺人法無可寬是以勾決

一起斬犯賈如

強姦年甫十二歲幼女已成淫惡難寬是以勾決

一起絞犯范二

連斃應抵二命復另傷一人法無可寬是以勾決

一起斬犯何鼇

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯趙庭

扶恨謀命法無可寬是以勾決

一起斬犯孫妨何

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞犯趙合仔

竊匪扶嫌聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起斬犯胡大杜

竊匪拒捕鎗斃事主雇工法無可寬是以勾決

一起斬犯王有

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞犯劉偕

無端聲衅致斃護父之子復另傷其父兄二人情傷

均重法無可寬是以勾決

一起絞犯李澗

姦匪遷怒致斃平人他物頭面傷重法無可寬是以勾決

光緒十三年山西省秋審服制情實四起人犯

共四名內除舊事服制情實李泚法劉六五仔

侯有厚等三起三名業於十二年

免勾時開列榜示外謹將新事服制情實苗海海仔

一起一名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯苗海海仔

因小功叔母胡氏之夫苗長伏仔托王趕冬仔賒

買衣服未付錢文嗣王趕冬仔往向苗長伏仔索

討未遇坐在炕上與胡氏閒談該犯走至瞥見向

王趕冬仔詢知情由斥說不避嫌疑王趕冬仔不

服致相罵詈王趕冬仔拳毆該犯取鐵杓回毆王

趕冬仔閃避不期胡氏由王趕冬仔身後攏勸該

犯收手不及致誤傷其偏左倒地逾時殞命傷由

誤中死出不虞尚非有心干犯情稿可原是以未勾

光緒十三年山西省秋審常犯情實十五起人

犯共十五名內除舊事常犯情實劉養陽一起

一名業於五年

免勾時間列榜示外謹將新事常犯情實候擇娃等

十四起十四名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯候擇娃

竊匪拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯王演

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯武汰

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯李五保

因姦聽從姦婦謀斃縱姦本夫淫兇難寬是以勾決

一起斬犯郝茂得即郝大馬仔

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞犯王對對

因妻勸阻宿娼並憎嫌貌醜意圖另娶謀斃其命

情殊慘忍法無可寬是以勾決

一起斬犯郭苦澗

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞犯張大科

刃傷要害奇重法無可寬是以勾決

一起斬犯郭安即郭二旦仔

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞犯武洋娃

聽從發塚開棺見屍幫同下手法無可寬是以勾決

一起斬犯康雙淋

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯李杜則即陳杜則

逞忿故殺復另傷其兄法無可寬是以勾決

一起斬犯韓葆杜兒

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯趙傳城

故殺惟死者扶嫌以亂倫之事信口污蔑情近罪

人稍有可原是以未勾

光緒十三年直隸省秋審服制情實八起人犯

共八名口內除舊事服制情實孫臨臬李氏程

四等三起三名口業於

免勾時開列榜示外謹將新事服制情實馮三等五起五名口

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯馮三

同胞兄馮葆城素性愚傻好吃懶做經其母孟氏訓教不悛嗣孟氏煮食稀飯馮葆城嫌薄欲做乾飯孟氏勸其將就吃食馮葆城頂撞孟氏生氣責打馮葆城將孟氏推倒地上負氣走開孟氏向該犯哭訴該犯勸慰往找馮葆城勸令同往陪罪馮葆城斥罵多事該犯分辯馮葆城用拳撲毆該犯情急用木杆毆傷其左太陽倒地移時殞命死者罪犯應死尚非無故逞兇干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯張冬仔

與大功兄張意合無嫌該犯之父因伊不去作工當向訓斥該犯隨攜刀赴房後割取柳條張意合走至亦斥懶惰該犯分辯張意合不依揪住伊髮毆打該犯掙扎失足跌地手持刀尖向上不期

張意合撲跌該犯身上致刀尖戳傷其右腿倒地移時殞命傷由帶跌致戮尚非有心干犯情稍可原是以未勾

一起絞犯崔萱

侍母張氏孝順該犯向張氏索錢不給乘其外出私自掣取花用張氏查知生氣即以該犯不能賺錢養家反將其錢花用不如尋死之言向該犯之妻賈氏哭訴賈氏勸解詎張氏氣忿莫遏乘間投河殞命違犯教令致母自盡尚無觸忤重情稍有可原是以未勾

一起斬犯丁椿

同胞叔丁得沅將地畝對給伊父丁得蕊承種嗣丁得沅私在地內收割高糧丁得蕊瞥見理論丁得沅分辯丁得蕊喝斥被丁得沅用棍毆傷丁得蕊取木棍將棍格落毆傷其左額角丁得沅拾棍丁得蕊毆傷其左右後肋右腿肚倒地該犯聞聲趕至丁得沅濼罵並稱起身拚命丁得蕊仍欲毆打該犯代為求饒丁得蕊不依主使幫同揪按該犯不敢動手丁得蕊舉棍向伊毆打嚇逼該犯無奈

將丁得沅上身按住丁得慈用棍疊毆傷其左右
膝連膝胆左右脚腕脚面逾時殞命按由迫於父
命尚非無故逞忿干犯情稍可原是以未勾

一起絞犯韓法

侍父韓洛學孝順韓洛學借用分居胞弟韓拴成
地基堆糞嗣欲將地歸還令該犯出清糞土該犯
未允韓洛學訓斥並令當時將地出清該犯仍未
答應韓洛學生氣嚷罵伊母何氏亦向訓斥該犯
無言走出韓洛學聲稱生此不孝之子實在可氣
何氏當向勸慰詎韓洛學氣愈莫釋乘間自縊殞
命違犯教令致父自盡尚無觸忤重情稍有可原
是以未勾

光緒十三年直隸省秋審常犯情實三十三起
人犯共三十四名口內除舊事常犯情實趙佃
薛李氏王估葆等三起三名口業於九年並十
二年

免勾時間列榜示外謹將新事常犯情實曹佃續等
三十起三十一名口

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯曹佃續

逞忿故殺婦女法無可寬是以勾決

一起斬犯曹三九

火器殺人法無可寬是以勾決

一起絞犯楊二小

聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起斬犯于萬瀛

聽從聚眾共毆致斃一家二命該犯火器致斃一

命法無可寬是以勾決

一起斬犯沈洛三

扶恨謀命法無可寬是以勾決

一起斬犯劉錄

扶恨謀命復刃傷其弟法無可寬是以勾決

一起絞犯劉氏

因姦聽從謀命下手加功淫兇難寬是以勾決

一起斬犯王小柳

姦匪妒姦謀斃姦匪淫兇難寬是以勾決

一起斬犯李桐詳

扶恨謀命法無可寬是以勾決

一起絞犯賈孫兒

貪賄聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起斬犯曹初一

竊盜拒捕火器轟斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯楊起即楊七又名楊掌

賭匪扶恨謀斃二命法無可寬是以勾決

一起絞犯張俊澁

刃傷要害奇重情兇近故法無可寬是以勾決

一起絞犯李三麻仔
李二狗

回民聽從謀命均下手加功法無可寬是以俱勾決

一起斬犯陸蔭澄

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞犯王黑旦

竊盜臨時盜所拒斃事主復另傷其母業因自首

免其斬決法難再寬是以勾決

一起絞犯金三麻仔

刁徒捏姦污蟻致被詐之人自盡情殊兇惡法無

可寬是以勾決

一起斬犯李羊幅

姦匪扶恨謀命法無可寬是以勾決

一起斬犯宋小牛

糾搶良婦已成拒傷本婦平復業因聞拿投首免

其立決法難再寬是以勾決

一起斬犯譚增

營兵扶嫌誣盜私行吊拷致斃人命情殊兇惡法

無可寬是以勾決

一起斬犯段沒澗

捕役逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞犯張三城頭

金刃致命穿透傷重復另傷其姪法無可寬是以

勾決

一起絞犯宋長頭

貪賄聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起斬犯郭黑妮

姦匪謀斃縱姦本夫淫兇難寬是以勾決

一起絞犯王茂

斧刃傷多且重情兇近故法無可寬是以勾決

一起斬婦白氏

逞忿故殺幼女法無可寬是以勾決

一起斬犯劉二毛

竊盜拒捕刃斃事主復另傷其子法無可寬是以勾決

一起斬犯孫墀

因拐賣年甫九齡大功弟未成致死滅口事後復移屍圖詐情殊兇狡法無可寬是以勾決

一起斬犯郭新雜

因瘋殺死一家三命法無可寬是以勾決

一起絞犯解錫安

無干聽糾斃命金刃倒後傷多且重法無可寬是以勾決

光緒十三年熱河秋審常犯情實五起人犯共六

名口內除舊事常犯情實滿倉一起一名業於

十二年

免勾時間列榜示外謹將新事常犯情實王氏等四

起五名口

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞婦王氏

因姦致夫被拒殺事後仍與姦夫續姦實屬戀姦忘仇法無可寬是以勾決

一起斬婦丁氏

逞忿故殺年甫五齡夫大功妹復另斃大功兄妻一命法無可寬是以勾決

一起斬犯張得發

均係行竊禁苑字畫等物由立決量改監候惟所竊物件業已風裂散却與進御服用及內庫存儲者不同是以未勾

一起絞犯蔣庭如

因細故逞忿故殺年甫十二大功弟情殊慘忍法無可寬是以勾決

1109 軍機大臣 字寄

欽差刑部左侍郎薛 光緒十三年九月二十一日奉

上諭河南鄭州決口亟須於明年春汛之前趕緊堵
合節經嚴諭成孚倪文蔚破除積習認真辦理本
日據倪文蔚奏添募災民挑挖引河與成孚分駐
河干督飭修築各節所籌尚屬切實已依議行矣
而成孚摺內則有俟溜勢稍定相機興工等語河
工積習往往遲延粉飾以致糜帑誤工殊堪痛恨除
已嚴切責成該河督迅速趕辦外著薛允升就近
馳赴工次將漫決處所並該工現辦情形暨在工
各員能否得力該河督有無因循退諉情事一一
確切查明據實覆奏毋稍徇隱所有交查案件即
著恩承督率司負訊辦將此由五百里諭令知之

欽此遵

旨寄信前來

1110 軍機大臣 字寄

河東河道總督成 河南巡撫倪 光緒十三
年九月二十一日奉

上諭成孚奏漫口水勢綿弱亟待款料興辦倪文蔚
奏塞決疏淤亟宜並舉各一摺覽奏均悉倪文蔚

所稱添募災民挑挖引河並與成孚分駐河干督
飭修辦暨嚴定賞罰各節所籌尚屬認真均著照
所請行該處工需前已由部提銀二百萬兩並准
源源接濟自無停工待款之虞現在雖屆霜清水
勢漸減轉瞬春汛漲發若不及時搶築後患何堪
設想成孚身任河督責無旁貸何得以辦理棘手
藉詞延宕如必俟溜勢稍定始行相機籌辦試問
此項工程尚有可成之日耶儻再不知振作亟圖
補救必當重治其罪著即會同倪文蔚嚴督工員
趁此河流綿弱之時迅速籌堵合務於來春大汛以
前將大工一律告竣不得任聽河員進占遲緩之
詞貽誤大局所需物料迅飭各屬趕緊運解如有
遲誤浮冒等弊立即從嚴叅辦餘均照所議辦理
將此由五百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1111 蒙

發下摺報 臣等公同商閱應請
批示漢字摺片六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月二十一日奉

旨依議欽此

1112 倪文蔚片一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

1113 蒙

發下摺件已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理吏部題內閣學士缺開列請

簡本擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十三年九月二十二日奉

旨依議欽此

1114 蒙

發下摺報已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定侯

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年九月二十三日奉

旨依議欽此

1115 光緒十三年九月二十四日內閣奉

上諭河南鄭州黃河決口前經諭令薛允升就近馳
赴工次確查具奏著添派李鴻藻即行馳驛前往
該省會同薛允升將現辦大工一切情形詳細查
明迅速覆奏隨帶司負著一併馳驛欽此

1116 光緒十三年九月二十四日奉

旨依議欽此

戶部奏遵撥各省解部的款以解河摺

1117 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定侯

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月二十四日奉

旨依議欽此

1118 軍機大臣 字寄

步軍統領衙門 順天府 五城御史 光緒

十三年九月二十五日奉

上諭有人奏正陽門外近郊一帶有著名匪徒綽號
小軍師洪誠即洪煥章等作奸犯科搶奪竊盜無
惡不作請飭拏辦等語著步軍統領衙門順天府

五城御史一體按名訪拏務獲懲辦原摺均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1119 光緒十三年九月二十五日內閣奉

上諭李嘉樂奏耆紳重遇鹿鳴筵宴一摺頭品頂戴前雲南布政使宋廷春早年登第由庶吉士授職部曹外擢知府海升藩司護理雲貴總督退老林泉現在年逾八秩鄉舉重逢洵屬藝林盛事著加恩賞給太子少保銜准其重赴鹿鳴筵宴以惠耆年欽此

1120 光緒十三年九月二十五日內閣奉

上諭卞寶第奏安鄉縣匪徒著名頭目全數拏獲訊明正法一摺本年閏四月間湖南安鄉縣匪徒在該屬三汊河等處滋事經卞寶第派出水陸勇營一體兜拏先後將匪首談敬臣并周萬益等全數拏獲訊明正法餘衆分別懲辦該地方文武官負尚屬著有微勞總兵陳海鵬武陵縣知縣李宗蓮

都司申大發均著交部照例議敘已革署安鄉縣知縣施鑑樂著准其開復原官該部知道欽此

1121 光緒十三年九月二十五日內閣奉

上諭卞寶第奏特參劣跡昭著之道員請旨革職一摺湖南試用道蕭允文委辦承造剝船並不常川住廠監工購買木料與錢商歐陽藻夥同誑騙具領運費銀兩並未發交船廠且有鑽營差缺造言生事等情實屬貪鄙謬妄蕭允文著即行革職勒令將所領運費銀五千兩如數繳清並著卞寶第等飭查剝船工料如有偷減情弊再行從嚴參辦餘著照所議辦理該部知道欽此

1122 交正白旗滿洲本日引

見補放福州驍騎校一缺擬陪之前鋒校武舉烏仁

額奉

旨著記名欽此相應傳知
貴旗欽遵可也此交

九月二十五日

1123 光緒十三年九月二十五日奉
旨吏部議奏欽此

太常寺奏請添派贊引官摺

1124 光緒十三年九月二十五日奉

旨所有朝陽等門外三廠著准其賞給每廠粟米四百石由該衙門咨領散放餘依議欽此

順天府奏朝陽等門外三廠請賞粟米摺

1125 前任四川鹽茶道者安

硃。旨同原衙門行走

1126 候選道郭承舉

硃。旨著仍以道員選用

1127 蒙

發下摺件已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片單十九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片九件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月二十五日奉

旨依議欽此

1128 卞寶第片二件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

九月二十五日

1129 蒙

發下摺件已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片九件分別繕遞批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年九月二十六日奉

旨依議欽此

1130 軍機大臣 字寄

欽差禮部尚書李 光緒十三年九月二十七日奉

上諭自銅瓦鎮決口河流北徙疊經臣工條陳挽歸

南行故道上年諭令曾國荃等公同集議定一妥

善辦法迄今尚未會奏現在鄭州決口奪溜南趨

一月以來紛紛建議翁同龢潘祖蔭奏稱今之決

口由賈魯河入淮直注洪澤湖北高南下斷不能

入黃河故道山東之患仍未能弭是以故道為必

不可復御史趙增榮摺則稱仍復山東故道應在

牡蠣口建築長隄逼水攻沙庶海口不浚自闢是

亦以南流為不可行閻敬銘奏稱曾國荃等現已

開挖成子河碎石河引黃水出楊莊故道應再將

虞城至徐州五六百里舊河身一律挑濬其說以

復故道為主御史劉恩溥摺大意略同黃流或南

或北關繫均極重大若必挽歸南行故道曾國荃

等前已籌議至再深恐事艱工鉅糜帑無成若仍

聽其北流近年積淤日高將來害及畿輔其患亦

不可不防著李鴻藻於查辦法口之便將黃水現

在情形究竟宜南宜北會通眾說權其利害輕重

詳晰具奏翁同龢潘祖蔭摺一件閻敬銘劉恩溥

趙增榮摺各一件均著鈔給閱看將此諭令知之

欽此遵

旨寄信前來

1131 軍機大臣 字寄

欽差禮部尚書李 刑部左侍郎薛 光緒十三年

九月二十七日奉

上諭有人奏河臣誤工殃民請旨查辦一摺據稱本年八月初間黃河隄岸衝刷險形已見成孚並未親履河干十一日工次已報大險該督尚藉詞避忌在途遷延河夫灾民將幕友李姓支解投河不敢彈壓奏報捏飾詳決為漫諱四五百丈為三四十丈且謂居民遷徙並未損傷一人請飭查辦治罪等語著李鴻藻薛允升按照所參各款確切查明據實具奏不得稍涉徇隱原摺均著抄給閱看將此諭知李鴻藻並由四百里諭令薛允升知之欽此遵

旨寄信前來

1132 光緒十三年九月二十七日內閣奉

上諭前太僕寺卿馮光勛現已病痊著仍在軍機章京上行走欽此

1133 光緒十三年九月二十七日內閣奉

上諭甘肅涼州鎮總兵負缺著閔殿魁補授欽此

1134 查甘肅涼州鎮總兵係陸路缺謹奏

1135 光緒十三年九月二十七日奉

旨這所參疏防監犯越獄之管獄官河南滑縣典史孫茂梧著即革職等因交倪文蔚提同刑禁人等嚴訊有無鬆刑賄縱情弊按例懲辦有獄官滑縣知縣余嘉穀據報先期公出惟未能先事豫防著交部議處仍勒限將逸犯劉三妮等嚴緝務獲究辦餘著照所議辦理該部知道欽此

1136 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺一件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單七件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月二十七日奉

旨依議欽此

1137 倪文蔚摺一件遵批批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批摺件一併

發下欽遵辦理謹

奏

九月二十七日

1138 光緒十三年九月二十八日內閣奉

工諭李鴻藻現在出差禮部尚書著祁世長署理欽此

硃

1139

應署漢尚書名單

○ 都察院左都御史祁世長

吏部右侍郎許庚身 現署兵部尚書

戶部左侍郎孫詒經

右侍郎曾紀澤 現在請假

禮部左侍郎徐郁 現兼署吏部左侍郎
現在請假

右侍郎童華

兵部左侍郎廖壽恆

右侍郎孫家鼐 現在請假

刑部右侍郎周德潤

工部左侍郎孫毓汶

右侍郎徐用儀 現兼署刑部左侍郎

1140 應兼署漢尚書名單

協辦大學士刑部尚書張之萬

吏部尚書徐桐

戶部尚書翁同龢

工部尚書潘祖蔭

1141 交吏部本日軍機大臣面奉

諭旨前河南巡撫李鶴年著於本月二十九日豫備

召見欽此相應傳知

貴部轉傳該員欽遵可也此交

九月二十八日

1142 光緒十三年九月二十八日奉

旨依議欽此

戶部奏建議給事中方洪經摺

1143 光緒十三年九月二十八日奉

旨依議欽此

戶部奏議度御大商大臣等請開行輪船

1144 光緒十三年九月二十八日內閣奉

上諭李續午著再行減免二年欽此

兵部奏發員李續午可否釋回摺

1145 光緒十三年九月二十八日奉

懿旨尹德培著賞給二品封典徐紹垣著交部議欽此

海軍衙門奏在籍官員等請開列

1146 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單八件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月二十八日奉

旨依議欽此

1147 軍機大臣 字寄

欽差禮部尚書李 光緒十三年九月二十九日奉
上諭本日據都察院奏總兵羅輔臣呈請急堵銅瓦
鎮決口就鄭州以下楊莊以上河身開通引水使
由雲梯關入海又據御史劉綸襄奏黃水亟宜規
復南河故道以紓國帑各一摺著李鴻藻歸入閩
敬銘等摺一併妥籌具奏原摺呈均著鈔給閱看
將此諭令知之欽此遵
旨寄信前來

1148 光緒十三年九月二十九日內閣奉

上諭李鶴年著署理河東河道總督會同倪文蔚等
辦大工事宜即行前赴署任毋庸請訓成乎復咎
甚重現值堵築加緊之際未便令其置身事外著
留工効力以觀後效欽此

1149 光緒十三年九月二十九日內閣奉

上諭張曜奏知縣虧短交代銀兩延不完解請旨革
職查抄一摺山東已故招遠縣知縣孫常春短欠

司庫稅契雜倉等款銀兩為數甚鉅節經勒限嚴
催迄未完解實屬玩延孫常春著即行革職勒令
該家屬完繳所有任所寓所資財查抄分別備抵
該故負原籍家產著河南巡撫一律查封備抵以
重庫款該部知道欽此

1150 光緒十三年九月二十九日奉
旨准其抵銷欽此

字前奉 遵 欽 差 李 鴻 藻 奏 案 內 第 一 摺

1151 蒙

發下摺報 且 等 公 同 商 閱 應 請
批示漢字摺片十四件分別繕擬批條呈進恭候
欽定候
硃批
發下後欽遵辦理其應行請
旨摺六件擬於
召見時請
旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年九月二十九日奉

旨依議欽此

1152 岑毓英等陳彝摺各一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

1153 光緒十三年十月初一日內閣奉

上諭李秉衡奏神靈顯應請頒扁額一摺廣西永康州城隍神素著靈應上年暨本年春夏之交該地方疫癘旱災經官紳虔申祈禱無不立應護佑寅感實深著南書房翰林恭書扁額一方交該撫祇領敬謹懸挂以答神庥欽此

1154 光緒十三年十月初一日內閣奉

上諭前據御史張廷燎奏河南新鄭縣民女蒲愛妮叩閤代兄伸冤承審官含糊斷結等情當諭令恩承薛允升提訊具奏茲據奏稱蒲愛妮所控伊兄蒲秋生被害一案訊據蒲遂兵供係蒲套妮扶嫌賄囑蒲魁妮殺害迭經提證研訊蒲魁妮堅不承認蒲套妮在逃未獲蒲秋生屍身迄無下落請將蒲魁妮照例監禁俟緝獲蒲套妮質訊等語此案要犯日久未獲以致滯獄多年迄未定案著倪文蔚飭屬將蒲套妮即蒲法成嚴拏務獲訊辦以成信讞新鄭縣知縣鄒金生於盡役詐贓毫無覺察

並任令要犯潛逃釀成重案實屬謬妄糊塗玩視命案鄒金生著即行革職開歸陳許道鞠捷昌承審此案並非含糊斷結前署開封府知府陳桂芬亦無輟轉諉卸情事均著毋庸置議餘著照所議辦理該部知道欽此

1155 光緒十三年十月初一日內閣奉

上諭前據都察院奏河南民人李延華以知縣違例收漕濫刑斃命等詞赴該衙門呈訴當令邊寶泉提案研訊嗣據御史張廷燎以洛陽縣知縣王道隆濫加糧額酷刑斃命撫臣規避失察處分恐難澈究請飭查辦復諭令恩承薛允升確切查訊茲據訊明覆奏此案洛陽縣知縣王道隆因民人李延湧等傳帖聚眾阻撓收漕將李延湧拏獲輒非法毆打立時拷斃事後復添造日期捏報病故實屬暴戾糊塗王道隆著即行革職發往軍臺効力贖罪孟津縣知縣陳理裕雖訊無扶同捏報情事惟未將李延湧刑斃緣由查訊明確率以受杖後越日身死詳報河南府知府承恩事前既未將此案

查明稟揭事後復照詳率行擬結候補知府馮光元亦未查明輒與承恩照詳會稟署洛陽縣知縣康乃猷明知該縣漕糧向有浮收不肯舉發含糊斷結均著交部分別議處前河南巡撫邊寶泉於王道隆濫刑斃命各節不行即時參奏著交部察議餘著照所議辦理該部知道欽此

1156 蒙

發下摺報且等公同商酌已奉

硃批五件其餘應請

批示清漢摺片單三十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十月初一日奉

旨依議欽此

1157 光緒十三年十月初二日內閣奉

上諭慶裕奏神靈顯應請頒扁額並加封號一摺奉

天通化縣

關帝

城隍

龍王各廟素著靈應光緒十年六月該處江水盛漲田廬被淹本年夏間復遭水患經官紳虔誠祈禱均邀護佑轉歉為豐實深寅感著南書房翰林恭書扁額各一方交慶裕祇領飭屬敬謹懸挂以答

神庥至所請敕加

城隍神封號之處著禮部議奏欽此

1158 蒙

發下摺報已奉

硃批十一件其餘應請

批示漢字摺片十五件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理慶裕奏神靈顯應請
頒扁額並加封號摺擬繕明發

諭旨令南書房翰林恭書扁額頒發懸挂所請封號

令該部議奏是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十月初二日奉

旨依議欽此

1159 軍機大臣 字寄

盛京將軍直隸兩江閩浙湖廣四川兩廣陝甘雲

貴各總督江蘇安徽江西浙江福建臺灣湖北

湖南河南山東山西陝西甘肅新疆廣東廣西

雲南貴州各巡撫 光緒十三年十月初三日奉

上諭本年順天直隸各屬窪區積水未消春麥未能

播種賞撥江蘇海運漕米十萬石並由李鴻章在

直隸藩庫添提銀八萬兩辦理春賑開州黃河漫
溢灌入山東濮州等處准令張曜截留新漕五萬
石湖北羅田石首及沔陽等州縣先後被水准令
奎斌截留冬漕三萬石順天通州等處被水賞撥
京倉漕米五萬石河南鄭州漫口黃流奪溜南趨
被災地方甚廣欽奉

總旨發給內帑銀十萬兩並准倪文蔚截留銀三十萬
兩復特諭曾國荃等將十四年分江北及江蘇應行
河運京倉米石全數截留俾資賑濟直隸永清等
縣安徽懷甯太和等縣江西進賢新城等縣各被
水江西彭澤等縣被水被旱浙江富陽等縣山東
齊河縣各被水湖北漢口鎮被火湖南龍陽等縣
被水河南南陽等縣被風被水內鄉等縣被水武
陟縣小楊莊被淹四川安縣等縣陝西省城各被
水陝西長武榆林等州縣各被水被雹山陽縣及
洋縣各被水甘肅洮州等處被雹平番等縣被雹
被水又洮州被水被雪甘肅新疆溫宿等處被水廣

西凌雲縣被風被雹龍州融縣等處被火雲南開化府等屬被火平彝縣被水建水縣被雹均經該督撫等查勘撫恤小民諒可不至失所惟念來春青黃不接之時民力未免拮据著傳諭該督撫等體察情形如有應行接濟之處即查明據實覆奏務於封印以前奏到候朕於新正降旨加恩再直隸開州安徽安慶等府浙江仁和等州縣臨安等縣各被水浙江長興等州縣被風被旱湖南澧州臨湘等州縣益陽縣河南滑縣各被水甘肅新疆拜城縣被水被雹均經該督撫等委負責查勘即著迅速辦理並將來春應否接濟之處一併查明於封印前奏到此外各省有無被災地方應行調劑撫恤之處著該將軍督撫等一併查奏候旨施恩將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1160 查本年順天直隸各屬災區疊經

加恩截撥漕米直隸復添提藩庫銀兩山東湖北被水各州縣亦經截留漕米賑濟河南鄭州河決

被災地方欽奉

懿旨發給內帑銀兩並准截款截漕賑撫其直隸安徽江西浙江山東湖北湖南河南四川陝西甘肅新疆廣西雲南被水被旱被火被風被雹被雪地方均經各該督撫查勘撫卹明春應否量為接濟之處等謹照向例繕寫詢問該督撫等諭旨俟覆奏到日再行擬寫新正

加恩諭旨呈進再直隸安徽浙江湖南河南甘肅新疆被水被風被旱被雹之處該督撫等均已奏明查勘應否接濟現俱未經奏到此外各省有無被災地方應行調劑撫卹之處一併詢問令該將軍督撫等迅速查奏彙辦謹

奏

1161 交刑部本日軍機大臣面奉

諭旨巡視中城御史托佛歡等奏遵旨拏獲匪徒一摺所有拏獲之小壩王康升兒即康二著刑部記明懲辦欽此相應傳知貴部欽遵可也此交

計粘鈔摺併

十月初四日

1162 交正黃旗滿洲本日引

見補放江甯佐領一缺擬陪之防禦阿立善又補放

盛京佐領一缺擬陪之防禦景祿又補放荊州防

禦一缺擬陪之驍騎校成雲又補放吉林驍騎

校二缺擬陪之領催伊勒洪阿前鋒全祿又補放

東陵驍騎校一缺擬陪之領催勝福奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十月初四日

1163 交鑲白旗滿洲本日引

見補放青州佐領吉林驍騎校各一缺擬陪之防禦

蘇布圖堪領催哈克薩里奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十月初四日

1164 光緒十三年十月初四日奉

旨著仍遵前旨准其捐復差委俟引見後歸部選用

欽此

吏部奉任前主所擬處分

1165 光緒十三年十月初四日奉

旨仍著永遠封禁欽此

戶部奉任前主所擬處分

1166 兩淮試用運判徐紹垣

硃○旨著以運判儘先即補

1167 江蘇試用班先知縣郝炳綸

硃○旨著以知縣儘先即補

1168 前四川永甯道沈守廉

硃○旨著以道員選用

1169 前四川永甯道沈守廉

旨著以知府選用

1170 前四川永甯道沈守廉

旨著以簡缺知府選用

1171 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示清漢摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單九件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十月初四日奉

旨依議欽此

1172 軍機大臣 字寄

山東巡撫張 光緒十三年十月初五日奉

上諭有人奏山東督糧道鐸洛崙自到任後肆意妄

為昏謬懶惰委辦運務各負賄託關說濟右幫十

總趙震甲濮州幫十總吳增錦承運兵米或延不

交納或並未竣事又復濫委別差札委東平所十

總張毓松辦德正幫運務該幫十總黃鳳喈不服

張毓松賄託辭委濟左幫十總韓文元虧短銀兩

該糧道以少捏多擅自查抄復因伊子呈控砌詞

訊押並有縱容門丁招搖撞騙各情請飭查辦等

語著張曜按照所參各節確切查明據實具奏毋

稍徇隱原摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1173 光緒十三年十月初五日內閣奉

上諭本日御史王會英陳奏事件摺內

東陵字樣未經擡寫非尋常疎忽可比王會英著交部

嚴加議處欽此

1174 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片十九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十月初五日奉

旨依議欽此

1175 馮子材摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

十月初五日

1176 廣東水師提督方耀

現在王李祺署理

廣東陸路提督唐仁廉

現在郭竹芝署理

廣西提督蘇元春

1177 軍機大臣 字寄

欽差禮部尚書李 署河東河道總督李 光緒十

三年十月初六日奉

上諭張曜奏山東河淤日高擬請乘勢規復南河故
道並請數省協力趕辦各摺片據稱此時堵合銅
瓦廂口門約計需銀十餘萬兩若乘此規復故道
自蘭考至單縣與江南豐縣馬良集交界為止修
隄挑灘不過百餘萬兩擬歸山東承辦南岸自蘭
儀至虞城應歸豫省辦理其楊莊以上工程如何
籌辦未敢懸揣若能數省同心趕辦計鄭州決口
堵合之時尚可先期完竣等語前因臣工條陳黃

流宜南宜北各有所見節經諭令李鴻藻詳晰議奏茲據張曜所奏規復故道分省承辦各節著李鴻藻李鶴年通籌全局悉心會商如果事有把握應如何與各該督撫妥慎定議協力舉辦之處即著該尚書等迅速覆奏原摺片著鈔給閱看將此由五百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1178 軍機大臣 字寄

察哈爾都統托 光緒十三年十月初六日奉

上諭前黑龍江將軍定安前經告病開缺現在諒已痊愈著托倫布傳知該將軍即行來京陛見將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1179 光緒十三年十月初六日內閣奉

上諭剛毅奏特參庸劣不職各員等語山西潞安府同知銀沆年力衰邁精神委頓著勒令休致汾西縣知縣門縉榮辦事乖方行止荒謬著即行革職

甯鄉縣知縣王啟綸性情迂緩難膺民社惟文理尚優著以教職歸部銓選以肅官方餘著照所議辦理該部知道欽此

1180 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片單十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十月初六日奉

旨依議欽此

1181 蒙

發下摺件已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年十月初七日奉

旨依議欽此

1182 軍機大臣 字寄

署伊犁將軍塔爾巴哈台叅贊大臣錫 光緒

十三年十月初八日奉

上諭錫綸奏塔爾巴哈台潰勇就撫事多掩飾擬派

自接辦一摺覽奏均悉額爾慶額准其暫行接辦

叅贊印務即着錫綸傳諭該副都統將該處勇營

認真整頓並將春滿辦理遷就情形及被掠銀物

各數確切查明據實具奏毋稍徇隱春滿著暫回

本任聽候諭旨至額爾慶額接辦叅贊印務錫綸
未經奏准輒即派往著飭行將此由四百里諭令
知之欽此遵
旨寄信前來

1183 光緒十三年十月初八日內閣奉

上諭正白旗漢軍都統長順鑲黃旗滿洲副都統文
秀均著加恩在紫禁城內騎馬欽此

1184 一品大員未經

賞馬名單

吏部尚書錫珍

禮部尚書奎潤

工部尚書崑岡

理藩院尚書紹祺

都察院左都御史松森

正白旗漢軍都統長順

正藍旗蒙古都統長善

硃。

1185 二品大員年屆六十以上未經

賞馬名單

吏部右侍郎景善 年六十歲

兵部左侍郎耀年 年六十四歲

刑部左侍郎薛允升 年六十四歲
現在出差

工部右侍郎清安 年六十三歲

徐用儀 年六十二歲

理藩院右侍郎綿宜 年六十一歲

內閣學士恩崇 年六十歲

豐烈 年六十三歲

錢桂森 年六十一歲

硃。

鑲黃旗滿洲副都統文秀 年六十一歲

鑲黃旗蒙古副都統致麟 年六十一歲

鑲黃旗漢軍副都統嵩山 年六十六歲

正黃旗滿洲副都統恩全 年六十二歲

正黃旗蒙古副都統承綬 年六十一歲

正黃旗漢軍副都統海英 年六十九歲

正白旗蒙古副都統特爾慶阿 年六十四歲
現在出差

正紅旗漢軍副都統安興阿 年七十一歲

正藍旗漢軍副都統富森布 年六十二歲
鑲藍旗漢軍副都統花尚阿 年六十七歲

吉恆 年六十歲

1186 光緒十三年十月初八日內閣奉

上諭鑲藍旗蒙古都統榮祿著加恩仍在紫禁城內
騎馬欽此

硃。

1187 鑲藍旗蒙古都統榮祿 督馬
光緒三年曾領

1188 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請
批示漢字片二件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十月初八日奉

旨依議欽此

1189

劉錦棠摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

十月初八日

1190

滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

道銜禮部郎補郎中玉恆

侍讀銜刑部郎補主事桂春

四品銜吏部郎補郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾賡額

內閣郎補侍讀志樸

漢頭班章京

前太僕寺卿馮光勛

刑部員外郎吳引孫

刑部員外郎孟繼堦

兵部郎補郎中沈恩嘉

戶部主事顧璜

吏部主事王儼

內閣中書陳邦瑞

四品銜兵部主事胡寶鐸

刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

四品銜候補五品京堂堃岫

理藩院員外郎奎華

戶部主事孚琦

侍讀銜戶部主事延祉

四品銜理藩院郎中齊普森

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

太僕寺少卿錢應溥

四品銜工部員外郎祝維城

吏部員外郎兼龔騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳希棠

刑部額外主事易俊

刑部候補主事馮錫仁

員外郎銜吏部候補主事孫朝華

戶部候補主事王頌蔚

1191 蒙

發下恭鐘摺片三件_臣等公同商閱分別繕擬批條

呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年十月初九日奉

旨依議欽此

1192 蒙

發下摺報_臣等公同商閱分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年十月初十日奉

旨依議欽此

1193 蒙

發下摺報_臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單九件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理鴻臚寺摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨謹

奏

光緒十三年十月十一日奉

旨依議欽此

1194 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 光緒十三

年十月十二日奉

上諭前因河南鄭州決口飭部提撥銀二百萬兩業

經分批起解本日據倪文蔚奏部款尚未到工該

省需用甚殷著李鴻章迅即查明節次領解此項

銀兩委員現在行抵何處即行飭催星速前進毋

准稍有延緩並飛咨倪文蔚迅速迎提濟用以期

無誤要工將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1195 光緒十三年十月十二日內閣奉

上諭倪文蔚奏調負差遣等語湖北候補道陳建侯

在籍直隸州知州何嗣焜著奎斌崑駿飭令各該

員迅赴河南交倪文蔚差遣委用欽此

1196 倪文蔚摺片二件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

十月十二日

1197 交吏部本日軍機大臣面奉

諭旨福錕奏遲誤入值自請議處一摺福錕著交部

議處欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

計轉仍照行

十月十二日

1198 光緒十三年十月十二日奉

旨著停止升殿欽此

鴻臚寺奏謝恩已滿百有餘例請升殿摺

1199 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年十月十三日奉

旨依議欽此

1200 光緒十三年十月十四日內閣奉

上諭麟書現在穿孝刑部尚書著紹祺兼署欽此

1201 應兼署滿洲尚書名單

協辦大學士戶部尚書福錕

吏部尚書錫珍

禮部尚書奎潤

兵部尚書烏拉喜崇阿

工部尚書崑岡

硃 ○ 理藩院尚書紹祺

1202 應署滿洲尚書名單

都察院左都御史松森

吏部左侍郎松淮

右侍郎景善

戶部左侍郎嵩申

右侍郎熙敬

禮部左侍郎敬信

右侍郎續昌 現兼署刑部右侍郎

兵部左侍郎耀年

右侍郎師曾

刑部左侍郎桂全

工部左侍郎烏拉布

右侍郎清安

理藩院左侍郎崇禮

右侍郎綿宜

1203 光緒十三年十月十四日內閣奉

上諭閻敬銘奏病仍未痊懇請開缺一摺閻敬銘著
賞假兩箇月毋庸開缺欽此

1204 前任山東武定府知府奎瑞

硃○旨著以知府用

1205 前任山東武定府知府奎瑞

旨著以簡缺知府用

1206 前任山東武定府知府奎瑞

旨著以同知用

1207 交正藍旗滿洲本日引

見補放杭州佐領擬陪之防禦榮陞補放杭州驍騎

校擬陪之前鋒金榮補放吉林防禦擬陪之雲騎

尉富昌阿補放吉林驍騎校擬陪之領催訥蔭補放

西陵防禦擬陪之驍騎校如山奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

十月十四日

1208 交正白旗滿洲本日引

見補放滄州驍騎校擬陪之印務筆帖式松俊奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

十月十四日

1209 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十月十四日奉

旨依議欽此

1210 成孚片一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

十月十四日

1211 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 山東巡撫張

光緒十三年十月十五日奉

上諭侍郎孫詒經奏鄭工堵築山東黃河亟宜疏濬

一摺據稱黃河挽歸故道工大費鉅恐難再籌此

款惟有因勢利導將山東河身淤墊專力疏濬請

飭調撥機器船隻並添造圓船等語現在鄭工趕

籌堵築將來故道如不能復自必仍由山東經行

該侍郎所稱用機器船隻疏濬山東河淤自係及

時應辦之件此項船隻前經張曜奏明購買如不

敷用應如何籌撥添調以資應用即著張曜咨商

李鴻章妥籌奏明辦理至圓船業經張曜奏稱逐

漸增添自應酌量趕辦東明等處河工仍著李鴻

章加意培修以期穩固原摺均著鈔給閱看將此

各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1212 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺一件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十月十五日奉

旨依議欽此

1213 光緒十三年十月十六日內閣奉

上諭現在天氣漸寒所有食餉之間散宗室覺羅人

等生計維艱殊深軫念著加恩賞給一月錢糧其

宗室覺羅孤寡除有恩賞錢糧外著再加賞半月

錢糧以示體恤欽此

1214 光緒十三年十月十六日內閣奉

上諭現在天氣漸寒京師兵丁當差勤苦殊深軫念

所有八旗及綠步各營官兵均著加恩賞給半月

錢糧以示體恤欽此

1215 光緒十三年十月十六日內閣奉

上諭雲南迪東道員缺著擢恆補授欽此

1216 光緒十三年十月十六日內閣奉

上諭江西九江府知府員缺著曹東濬補授欽此

1217 查雲南迪東道係衝繁難要缺江西九江府知

府係衝繁難要缺謹

奏

1218 光緒十三年十月十六日內閣奉

上諭福州將軍穆圖善老成練達秉性忠誠咸豐同

治年間出師直隸安徽江南湖北陝西甘肅等省

歷著勳勤游升將軍克稱厥職前年特授欽差大臣辦理東三省練兵事宜馳驅周歷况瘁不辭規畫精詳漸臻成效方冀克享遐齡長資倚畀遽聞溘逝軫惜殊深穆圖善著照將軍軍營病故例賜卹如恩予謚前經得有雲騎尉世職著改為騎都尉世職任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏賞銀一千兩治喪由盛京戶部給發靈柩回旗時沿途地方官妥為照料伊孫那福著俟百日孝滿後由該旗帶領引見伊子恩保承保均著俟及歲時由該旗帶領引見用示篤念蓋臣至意欽此

1219 同治四年閏五月十四日內閣奉

上諭常陞奏將軍因病出缺一摺甯夏將軍慶昫自簡任以來正值回匪擾亂善兵善餉固守滿城兩載有餘勤勞備至方資倚畀遽以積勞病故披覽遺章殊深軫惜慶昫著照將軍軍營病故例賜卹准其入城治喪任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門查例具奏並著該旗查明該將軍之子

於百日孝滿後帶領引見候旨施恩以示篤念耆臣至意欽此

1220 光緒元年二月十一日內閣奉

上諭盛京將軍都興阿老成謹愬著勳勞由侍衛游升將軍克稱厥職從前出師江皖陝甘等省辦理軍務均能得力前因患病請假調理方冀漸次就痊長資倚畀茲聞溘逝軫惜殊深著加恩追贈太子太保銜照將軍例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏賞銀一千兩治喪由盛京戶部給發靈柩回旗時著沿途地方官妥為照料伊子三等侍衛車勒洪額著俟百日孝滿後由該旗帶領引見伊孫尚安泰著俟及歲時由該旗帶領引見用示篤念蓋臣至意欽此

1221 蒙

發下摺報已奉

硃批十件其餘應請

批示漢字摺片單三十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十月十六日奉

旨依議欽此

12.22 軍機大臣 字寄

山東巡撫張 光緒十三年十月十七日奉

上諭太常寺卿徐致祥奏山東下游河身請飭趕緊

疏濬一摺前因鄭州決口疊經諭令張曜將東省

疏濬事宜及時趕辦茲據徐致祥奏稱鄭工竣事

全河仍必北駛東省應辦各工刻不容緩自係為

先事豫防起見著張曜懍遵疊次諭旨迅速籌辦

不得以該省暫免河患意存觀望致誤事機至所

稱利津縣蕭神廟東北窪拉地方形勢最低可以

另闢海口並著張曜體察情形迅速覆奏原摺著

鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1223 光緒十三年十月十七日內閣奉

上諭李秉衡奏神靈顯應請頒扁額一摺廣西柳州

府城向祀

北極佑聖真君素著靈應上年該處旱災時疫經

官紳虔誠祈禱均邀護佑寅感實深著南書房翰

林恭書扁額一方交該撫祇領飭屬敬謹懸挂以答

神庥欽此

1224 光緒十三年十月十七日奉

旨著由御前大臣先行看視再行帶領引見欽此

領侍衛內大臣奏三音字官具列京摺

1225 蒙

發下摺件已奉

硃批十件其餘應請

批示清漢摺片單十六件分別繕擬批條呈進恭候
欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十月十七日奉

旨依議欽此

1226 光緒十三年十月十八日內閣奉

上諭貴州布政使著史念祖補授即赴新任毋庸來

京請訓欽此

1227

直隸布政使松椿

滿洲鎮總領人
光緒十一年九月補授前署司副調直隸

江蘇布政使易佩紳

湖南寧人
光緒八年十月補授前署司副調四川又調江蘇

江甯布政使許振禕

江西進士
光緒十二年六月補

安徽布政使阿克達春

滿洲鎮白旗生員
光緒十一年八月補

山東布政使崇保

滿洲鎮黃旗進士
同治八年七月補前署司副調山東

山西布政使張煦

甘肅進士
光緒十一年七月補前署司副調山西

河南布政使劉瑞祺

江西進士
光緒十一年七月補

署陝西布政使李用清

山西進士
光緒十一年七月著

甘肅布政使譚繼洵

湖南進士
光緒十年十月補

甘肅新疆布政使魏光燾

湖南人
光緒九年三月補前署司副調新疆

浙江布政使許應鏗

廣東進士
光緒十年十月補

福建布政使張夢元

直隸舉人
光緒九年九月補前署司副調福建

福建臺灣布政使邵友濂

浙江舉人
光緒十三年二月補

江西布政使李嘉樂

河南進士
光緒十二年五月補

湖北布政使蒯德標

安徽舉人
光緒九年五月補

湖南布政使孫翼謀

福建進士
光緒十三年五月補

廣東布政使高崇基

光緒十一年三月補前署司副調廣東

廣西布政使馬丕瑤

湖南進士
光緒十一年八月補

四川布政使崧蕃

滿洲鎮正藍旗舉人
光緒十一年九月補

雲南布政使曾紀鳳

湖南生員
光緒十一年六月補前署司副調雲南

直隸按察使陶模

浙江進士
光緒十一年九月補

江蘇按察使張富年

浙江附貢生
光緒十二年五月補

安徽按察使張岳年

浙江舉人
光緒十二年八月補

山東按察使福潤

雲南正紅旗附生
光緒十年八月補湖北臬司嗣調山東

山西按察使嵩崑

滿洲正紅旗監生
光緒十年二月補

河南按察使賈致恩

山東廩生
光緒十三年二月補

陝西按察使黃彭年

貴州進士
光緒九年正月補湖北臬司嗣調陝西

甘肅按察使方汝翼

直隸舉人
光緒十二年七月補

浙江按察使蕭韶

湖南舉人
光緒十二年七月補

福建按察使裴蔭森

江蘇監生
光緒九年二月補

江西按察使瑞璋

滿洲正紅旗人
光緒十年十月補

湖北按察使成允

正紅旗監生
光緒十年二月補山東臬司嗣調湖北

湖南按察使豫山

滿洲正黃旗監生
光緒十年九月補

廣東按察使王毓藻

湖北進士
光緒十二年九月補

廣西按察使張聯桂

江蘇附貢生
光緒十二年正月補

四川按察使游智開

湖南舉人
光緒十二年正月補

雲南按察使史念祖

江蘇監生
光緒十年八月補

貴州按察使廖壽豐

江蘇進士
光緒十三年九月補

殊。

1220 光緒十三年十月十八日奉

旨邊寶泉著准其抵銷餘依議欽此

吏部奏前河南巡撫邊寶泉等處分摺

1230 光緒十三年十月十八日奉

旨准其抵銷欽此

吏部奏光緒十三年案息罰休處分摺

1231 光緒十三年十月十八日奉

旨准其捐復欽此

吏部奏得聞知縣郭承瀾捐復處分摺

1232 光緒十三年十月十八日奉

旨准其抵銷欽此

吏部奏河南鄭州知州馬玉麟處分摺

1233 光緒十三年十月十八日奉

旨依議欽此

吏部奏屬議王會英等處分摺

1234 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示清漢摺片單十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十月十八日奉

旨依議欽此

1235 光緒十三年十月十九日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨福州將軍善慶

仍著幫辦海軍事務並管理神機營事務欽此

1236 光緒十三年十月十九日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨詹事福楹奏懇

親有疾請就邸問視一摺前因醇親王奕譞於本年

夏間偶抱微疴曾經賞假調理並特遣內監傳旨詢

問嗣於八九月間因該親王病尚未痊擬即就邸看

視誠恐該親王扶疾送迎未能靜攝轉非體恤之

意是以未即前往現在日久尚未銷假深宮垂念虛

系彌殷已於本月十六日傳諭二十五日親往視疾

皇帝隨同前往該詹事此奏顯係有所探聞意存迎

合未免沽名取巧難逃深宮洞鑒也用是特諭在廷

諸臣知之欽此

1237 光緒十三年十月十九日內閣奉

上諭李鴻章奏查明開州等州縣災歉請分別蠲緩

糧賦一摺直隸開州東明長垣三州縣濱臨黃河

村莊本年秋禾被水災歉若將應徵糧賦照常徵

收民力實有未逮加恩著照所請所有開州耿密

城等五十三村成災八分小辛莊等一百九十四

村成災七分河南鋪等二百八十六村歉收四分

東明縣高村等三十村成災九分馬頭口等三十
二村成災八分前黃莊等三十三村成災七分楊
寨等三十九村歉收四分長垣縣朱口等八十一
村成災九分房寨等六十三村成災七分韓小臺
等二十八村成災五分林口等二百二村歉收四
分毛莊等四百二十一村歉收三分著將成災五
分村莊本年錢糧蠲免十分之一成災七分村莊
本年錢糧蠲免十分之二成災八分村莊本年錢
糧蠲免十分之三成災九分村莊本年錢糧蠲免
十分之六成災五七分村莊蠲錢糧緩至光緒
十四年秋後起分作二年帶徵成災八九分村莊
蠲錢糧緩至光緒十四年秋後起分作三年帶
徵如有未被災以前花戶長完銀兩准抵下年正
賦又各災村應完節年錢糧並歉收四分村莊應
完本節年錢糧歉收三分村莊應完節年錢糧均
著緩至光緒十四年秋後啟徵其有出借倉穀籽
種口糧等項一體緩徵並分別減免差徭以紓民
力餘著照所議辦理該督即刊刻謄黃偏行曉諭
務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至
意該部知道欽此

1238 光緒十三年十月十九日內閣奉

上諭李鴻章奏查明秋禾被水災重州縣懇恩蠲豁
糧租分別撫恤一摺本年順直各屬雨水過多被
災較重各州縣秋禾歉收若將應徵糧租照常徵
收民力實有未逮加恩著照所請所有通州張辛
莊等十六村成災七分平家疃等三十三村成災
六分西趙村等五十四村成災五分大鄆各莊等
五村歉收四分小鄆各莊等十八村歉收三分三
河縣西關莊等十五村成災七分孫家窪子等二
十四村成災六分英城等四十二村成災五分野
汪莊等六村歉收四分梁臺子等二十村歉收三
分武清縣四高莊等九十二村成災八分北股莊
等七十六村成災七分褚莊等四十六村成災六
分漢口辛莊等一百五村成災五分三百戶營等
一百五十八村歉收四分榮營等一百五十九村
歉收三分寶坻縣梁家沽等一百四十一村成災
十分北李于沽等四十六村成災九分胡志莊等六
十七村成災八分隨家莊等六十四村成災七分
尹家莊等一百三十四村成災六分張各莊等二

百四十一村成災五分于各莊等二百十八村歉收四分薊州大高莊等六十村成災八分大仇莊等四十二村成災七分白龍港等八十三村成災六分下倉等七十四村歉收四分朱莊子等五十一村歉收三分香河縣萬付阜莊等二十六村成災八分孫家務等一百三村成災七分井亭等八十六村成災六分烟墩止務等七十五村成災五分後小屯等五十二村歉收四分甯河縣張廣莊等九十五村成災六分岳石莊等六十六村成災五分大艇莊等九十八村歉收四分霸州三臺山等五十七村成災六分高橋村等三十八村成災五分堂二鋪等四十二村歉收四分七間房等八十六村歉收三分保定縣崔家莊等三村成災八分張青口等十村歉收四分文安縣寺各莊等一百二十七村成災八分陳家村等八村成災六分溫家村等十一村成災五分麻各莊等六十六村歉收四分董村等四十五村歉收三分大城縣馬郎等二十五村成災八分馬莊等二十三村成災六分魏王文等三十村成災五分邢家莊等十二

村歉收四分馬村等十七村歉收三分永清縣王虎莊等十四村成災九分后奕等十八村成災八分陳佃莊等二十村成災七分沈家莊等五村成災六分東西鎮等八村成災五分西義和等七十七村歉收四分南門等八十五村歉收三分東安縣楊官屯等四十六村成災七分賈家莊等四十三村成災六分楊稅務等五十四村成災五分小官莊等九十八村歉收四分順義縣北河等二十三村成災七分北太平莊等四十二村成災六分前魯各莊等四十九村歉收四分灤州馬城鎮等二村成災十分蔡家營等三十三村成災八分朱家莊等十二村成災七分馬官營等五十七村成災五分東關等一百三十四村歉收四分北花園等一百三十七村歉收三分盧龍縣南關及姬家莊等四十一村關成災七分東萊園等六十八村成災六分孫家莊等二十村歉收四分遷安縣前峪耳崖等六村成災八分岔溝等九村成災七分戲子溝等十村成災六分團山子等二十三村成災五分土牛子等一百十六村歉收四分蕭家營

等二十五村歛收三分撫寧縣周家杖子等三十
六村成災八分高家杖子等四十村成災七分吉
立峪等四十三村歛收四分昌黎縣井兒坨等五
村成災八分勒洛河索莊等七村成災七分龍山
上下等十二村成災六分東大史家口等十三村
成災五分西營各莊等十五村歛收四分東蔡各
莊等四十六村歛收三分樂亭縣前後張沙子等
五村成災九分真武廟等七村成災八分崔各莊
等四村成災七分傅家塢等三十一村成災六分
南店等三十五村成災五分蔣家河等一百九村
歛收四分西將軍坨等二百二十三村歛收三分
蠡縣東侯佐等三村成災六分李家佐等九村成
災五分西魏家佐等二十四村歛收四分大百尺
等十一村歛收三分雄縣大龍化等三十村成災
六分蔡家務等十五村成災五分馬務頭等三十
二村歛收四分魚林口等十四村歛收三分安州
同口村等十四村成災八分三關村等二十村成
災七分磁白村等十九村成災六分增家莊等三
十一村成災五分小營等六十二村歛收四分大

田等二十七村歛收三分高陽縣雍城等三村成
災九分東叫臺等六村成災八分南佛堂等七村
成災七分劉李等五村成災六分岳家左等九村
成災五分南園頭等二十村歛收四分南坎尾等
九村歛收三分河間縣龍華橋一村成災八分鐵
臺頭等十村成災六分四張各等十八村歛收四
分王家營等九村歛收三分獻縣萬家寨等四十
五村成災十分林河村等二十村成災九分朱栗
莊等十村成災七分東窰殿等五村成災五分張
旺屯等二百十村歛收三分任邱縣梁溝等十二
村成災七分鄭州等十八村成災六分大董各莊
等十九村成災五分堤東等四十村歛收四分
東莊店等二十八村歛收三分天津縣大畢莊等
四十五村成災七分雙口村等二十一村成災六
分窰上村等五十四村成災五分紀家莊等五十
四村歛收四分沈家莊等十八村歛收三分青縣
小交河等八村成災六分黃窪本鎮等八村歛收
四分魯辛莊等六村歛收三分靜海縣楊芬港等
三十三村成災六分當城等三十四村成災五分

前後楊家莊窠等四十二村歉收四分白羊樹等五十八村歉收三分豐潤縣大王莊等二十二村成災七分黃新莊等六十八村成災六分蠻子營等三十六村成災五分楊家莊等二十村歉收四分楊伸坨等十五村歉收三分五田縣劉唐莊等五十六村成災七分賈家莊等一百四十四村成災六分小玉莊等一百三村歉收四分李八莊等二十村歉收三分安平縣馬江村等十二村成災六分角邱村等十五村成災五分鄭家莊等四十五村歉收四分鄆西村等四十三村並六鋪歉收三分深澤縣杜社等五村成災六分西馬等八村成災五分東三江等二村歉收四分故城等七村歉收三分以上三十四州縣成災六七八九十分村莊應徵本年下忙地丁錢糧各項旗租著一律豁免凡有應徵屯米穀豆草束竈課學租旗產錢糧及海防經費河道錢糧儲備軍餉廣恩庫租通津二幫屯租均著一併豁免如有未被災以前花戶長完銀兩准抵下年正賦其本年上半年上忙尾欠及節年未完糧租並向不蠲豁之本節年兵部馬館

租鑾儀衛租永濟庫租代徵租暨出借倉穀仔種口糧牛具等項均著緩至光緒十四年秋後啟徵至成災五分村莊應徵本年地丁錢糧著蠲免十分之一蠲贖之項自光緒十四年秋後起分作二年帶徵其未完節年地丁錢糧各項旗租暨例無蠲免之本年各項旗租並歉收四分村莊應徵本年地丁錢糧各項旗租歉收三分村莊應徵節年地丁錢糧各項旗租均著緩至光緒十四年秋後啟徵凡有應徵屯米穀豆草束竈課學租旗產錢糧及海防經費河道錢糧儲備軍餉廣恩庫租通津二幫屯租均著分別蠲緩帶徵其有出借倉穀籽種口糧牛具等項及兵部馬館租鑾儀衛租永濟庫租代徵租著一體緩至光緒十四年秋後啟徵並分別減免差徭歉收三分村莊應徵本年糧租仍照常徵收津軍廳應徵常漁課納糧地畝坐落天津武清地面者歸入該二縣災歉村莊查辦以紓民力餘著照所議辦理該督即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

光緒十三年十月十九日內閣奉

上諭李鴻章奏查明秋禾歉較輕州縣懇恩蠲緩糧租酌予撫恤一摺本年順直各屬雨水過多秋禾被淹本日業將災重之通州等州縣降旨分別蠲緩所有被災較輕各州縣亦應量予恩施以紓民力加恩著照所請所有新城縣十里鋪等九村成災五分南五里屯等十八村歉收四分來遠村等十一村歉收三分景州周西彥莊一村成災五分蘇家老家等十五村歉收四分華家口等七村歉收三分鹽山縣王家橋等四村成災五分獻莊等七村歉收四分李邊務等九村歉收三分元城縣李山塚等十四村成災五分黃家爐等七十一村歉收四分孟王勝町等五十二村歉收三分大名縣雙井集等一百四村成災五分未莊西等一百八十七村歉收四分魏家村等七村歉收三分饒陽縣北留吾等四十三村成災五分東關等六十八村歉收四分牛留吾等十六村歉收三分以上六州縣成災五分村莊應徵本年地丁錢糧著蠲免十分之一如有未被災以前花戶長完之項

准抵下年正賦蠲剩之項自光緒十四年秋後起分作二年帶徵其未完節年地丁錢糧各項旗租及例無蠲免之本年各項旗租同歉收四分村莊應徵本節年地丁錢糧各項旗租歉收三分村莊應徵節年地丁錢糧各項旗租均著緩至光緒十四年秋後啟徵凡有應徵屯米穀豆草束窰課學租旗產錢糧及海防經費河道錢糧儲備軍餉廣恩庫租通津二幫屯租均著分別蠲緩帶徵其有出借倉穀籽種口糧牛具暨兵部馬館租鑿儀衛租永濟庫租代徵租著一體緩至十四年秋後啟徵並分別減免差徭固安縣北相村等十一村歉收四分李家東內等四十四村歉收三分涿州大呂等四十三村歉收四分西茨村等二十村歉收三分懷柔縣羅山等二十二村歉收四分密雲縣大周莊等四村歉收四分清苑縣禦城等十五村歉收四分東安等九村歉收三分安肅縣防陵村等十二村歉收四分東張豐等五村歉收三分完縣峰泉村一村歉收四分吳橋縣前雙廟等五村歉收四分後雙廟一村歉收三分滄州隄上等七

十四村歉收四分大浪白等二十一村歉收三分南皮縣塔馬寺等三十二村歉收四分無極縣角頭等八村歉收四分南池羊等十三村歉收三分邢臺縣明水村等五村歉收四分深州唐奉村等二十八村歉收四分大疇村一村歉收三分武強縣張北召什等十一村歉收四分田沙窪等十五村歉收三分以上十四州縣歉收四分村莊應徵本節年地丁錢糧各項旗租歉收三分村莊應徵節年地丁錢糧各項旗租並屯米穀豆草束窻課學租旗產錢糧及海防經費河道錢糧儲備軍餉廣恩庫租通津二幫屯租兵部馬館租鑿儀衛租代徵租並出借倉穀籽種口糧牛具等項均著一體緩至光緒十四年麥後啟徵並減免差徭以紓民力餘著照所議辦理該督即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1240

光緒十三年十月十九日內閣奉

上諭李鴻章奏神靈顯應請頒匾額等語直隸獻縣

溥沱河神廟子牙河神廟素著靈應本年秋雨連綿該處水勢奇漲經該知縣等虔誠祈禱水漸消落化險為平實深寅感著南書房翰林恭書扁額各一方交該督祇領飭屬敬謹懸挂以答神庥欽此

1241

光緒十三年十月十九日內閣奉

上諭雲南按察使著鄧華熙補授欽此

1242

直隸按察使陶模

浙江進士
光緒十一年九月補

江蘇按察使張富年

浙江附貢生
光緒十二年五月補

安徽按察使張岳年

浙江舉人
光緒十二年八月補

山東按察使福潤

蒙古正紅旗附生
光緒十三年分補湖北臬司調補山東

山西按察使嵩崑

滿洲鎮紅旗監生
光緒十三年二月補

河南按察使賈致恩

山東登州
光緒十三年二月補

陝西按察使黃彭年

貴州進士
光緒九年正月補湖北臬司調補陝西

甘肅按察使方汝翼

直隸舉人
光緒十三年七月補

浙江按察使蕭韶

湖南舉人
光緒十三年七月補

福建按察使裴蔭森

江蘇進士
光緒九年二月補

江西按察使瑞璋

滿洲正紅旗人
光緒十一年十月補

湖北按察使成允

正紅旗監生
光緒十一年三月補山東集司副湖湖北

湖南按察使豫山

滿洲正黃旗監生
光緒十一年九月補

廣東按察使王毓藻

湖北進士
光緒十二年九月補

廣西按察使張聯桂

江蘇附生
光緒十一年十月補

四川按察使游智開

湖南舉人
光緒十一年三月補

貴州按察使廖壽豐

江蘇進士
光緒十一年九月補

1243 光緒十三年十月十九日內閣奉

上諭興廉游百川奏全漕告竣請將出力員弁獎勵及改獎人員各摺片本年江蘇浙江等省海運河運漕白糧米豆石先後抵通經興廉等督率坐糧廳等驗收完竣辦理均無貽誤興廉游百川均著交部議敘所保出力及改獎各員著該部議奏單三件片一件併發欽此

1244 光緒十三年十月十九日內閣奉

上諭慶裕等奏大員病故懇恩賜卹一摺前黑龍江將軍特普欽於咸豐年間帶兵剿賊洊升將軍克

稱厥職嗣因病准其開缺調理茲聞溘逝軫惜殊深加恩著照將軍例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

1245 光緒十三年十月十九日內閣奉

上諭慶裕奏擊獲臨決脫逃要犯一摺宗室絞犯再錫潛逃奉天經宗室營委學長富明與已革宗人府副理事官恩景所差家人協同訪知稟報慶裕飭派官兵於本年十月初二日將該犯擊獲著該將軍即飭委員迅速解京交宗人府奏明辦理所有訪獲該犯之已革宗人府副理事官恩景准其開復原官宗室營委學長富明著以應升之缺升用以示鼓勵該衙門知道欽此

1246 交鑲紅旗蒙古本日引

見補放荆州佐領擬陪之防禦富勒琿奉旨著記名欽此相應傳知
貴旗欽遵辦理可也此交

十月十九日

1247 光緒十三年十月十九日奉
旨仍交原估大臣查勘欽此

工部奏前院修理跪舍等語請
派員勘估摺

1248 光緒十三年十月十九日奉
旨著照所請戶部知道欽此

倉場衙門奏倉廩工程緊要請仍留部技與修摺

1249 光緒十三年十月十九日奉
旨准其展復六年欽此

倉場衙門奏補開運米扛價仍懸展復二毫銀兩摺

1250 光緒五年十一月十七日內閣奉

上諭前任鑲黃旗滿洲副都統克興阿由侍衛游升
副都統克稱厥職咸豐年間曾在直隸山東等省
帶兵剿賊歷著戰功本月因病准其開缺調理茲
聞溘逝軫惜殊深著加恩照副都統例賜卹任內

一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏
其左翼監督任內欠繳盈餘銀兩著免其賠繳並
賞銀五百兩治喪由廣儲司給發伊孫瑞銓俟及
歲時由該旗帶領引見欽此

1251 蒙

發下摺報已奉

硃批八件其餘應請

批示清漢摺片單二十八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理具應行請

旨摺片單十五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十月十九日奉

旨依議欽此

1252 光緒十三年十月二十日內閣奉

上諭陝西延綏鎮總兵負缺著慶連補授欽此

1253 查陝西延綏鎮總兵係陸路缺謹
奏

1254 光緒十三年十月二十日內閣奉

上諭祥亨等奏神靈顯應請頒扁額一摺荆州萬古樓
奉祀

關帝素著靈應去冬今春該處地方雨雪甚大本年夏
秋二汎川江清江諸水同時漲發兼之陰雨連旬
荆江水勢洶湧異常經祥亨等虔詣祈禱得以化
險為平實深寅感著南書房翰林恭書扁額一方
交祥亨等祇領敬謹懸挂以答
神庥欽此

1255 交崇文門本日軍機大臣面奉
諭旨御史德蔭奏劣書朱潮等盤踞舞弊請飭拏辦
等語著崇文門監督查明辦理欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交計黏鈔片二件
十月二十日

1256 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十月二十日奉

旨依議欽此

1257 光緒十三年十月二十一日內閣奉

上諭李鴻章奏神靈顯應請頒扁額並加封號等語
通州潮白河關繫運道民生本屆堵築壩基默邀
河神護佑得早合龍實深寅感著南書房翰林恭
書扁額一方交李鴻章祇領飭屬虔詣潮白河河
神廟敬謹懸挂以答神庥至所請敕加封號之處
著禮部議奏欽此

1258 光緒十三年十月二十一日內閣奉

上諭裕祿等奏神靈顯應請頒扁額並加封號一摺

湖北宜昌府

城隍神漢川縣

城隍神均著靈應該府縣地方連年疊遭水旱經
各該官紳虔誠祈禱無不雨暘時若轉歉為豐實
深寅感著南書房翰林恭書扁額各一方交裕祿
等祇領飭屬分詣敬謹懸挂以答
神庥至所請敕加封號之處著禮部議奏欽此

1259 光緒十三年十月二十一日內閣奉

上諭李鴻章奏通州北寺莊潮白河漫口合龍一摺
本年六月間通州平家壩以下北寺莊隄工漫口
奪溜東趨經李鴻章督飭印委各負堅築壩基挑
挖引河逐漸進占業於本月十五日合龍全河復
歸北運故道辦理尚為順手道員用知府桂本誠
著以道員候補通水道許鈺身著開復摘頂處分
其餘出力員弁准其擇尤酌保毋許冒濫應辦善
後事宜仍著該督次第覈實經理以固要工欽此

1260 光緒十三年十月二十一日內閣奉

上諭前因御史金壽松奏參織造奉曾等貪劣各款
當經諭令裕祿確查具奏茲據查明覆奏除查無
確據各節毋庸置議外蘇州織造奉曾輒因細故
派家丁至司庫銘佑寓所查問滋事舉動任性毫
無約束並延羊負蔣瑛辦理案牘任用非人致多
物議著交部議處江蘇淮安府知府恩誠府試出
題關防不嚴實難解咎著交部議處常熟縣知縣
李福沂舉動驕奢遇事任性審斷粗率不洽輿情

著即行革職前任昭文縣知縣黃燦於世職張雲梅違例更名濫充縣書漫無覺察著交部議處江陰縣訓導吳應生需索卷費贖儀操守平常致招士林非議著即行革職至常熟縣薛周氏一案罪名出入懸殊著崧駿督同臬司詳加覆訊務得確情以成信讞王胡氏一案應由江蘇臬司調集原卷查覈如有枉斷情弊再行從嚴叅辦餘著照所議辦理該部知道欽此

1261 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示清漢摺片二十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十月二十一日奉

旨依議欽此

1262 交鑲黃旗蒙古本日引

見察哈爾公中佐領一缺擬陪之護軍校扎那巴朗

咱奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

十月二十二日

1263 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十月二十二日奉

旨依議欽此

¹²⁶⁴ 光緒十三年十月二十三日內閣奉

上諭盧士杰奏湖河各工防守平穩一摺本年伏秋

大汎水勢增長洪湖運河險工疊見經盧士杰督

率在工各員及時儆辦現在防守一律平穩實深

寅感著發去大藏香十五枝交該漕督祇領前詣

河神廟敬謹祀謝以答

神庥餘著照所議辦理欽此

¹²⁶⁵ 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十月二十三日奉

旨依議欽此

¹²⁶⁶ 蒙

發下摺件已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺片單二十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十月二十四日奉

旨依議欽此

1267 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示清漢摺片單十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年十月二十五日奉

旨依議欽此

1268 蒙

發下摺件已奉

硃批一件其餘應請

批示清漢摺片三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年十月二十六日奉

旨依議欽此

1269 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 署河東河

道總督李 河南巡撫倪 山東巡撫張 光緒

十三年十月二十七日奉

上諭本日據李鴻藻奏報到省大概情形據稱料物

未備不能進占等語覽奏殊深焦灼鄭工決口已

逾兩月至應迅籌堵合宜容日久遷延現計部撥

及外解款項均應陸續到工著李鶴年倪文蔚趕

緊設法廣購料物迅督工員尅日進占毋得稍涉
延緩致誤事機並著李鴻章張曜懍遵前旨一體
飭屬代購源源運赴工次以資應用將此由五百
里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1270 光緒十三年十月二十七日內閣奉

上諭葉伯英奏特參庸劣各員分別懲辦等語陝西
扶風縣知縣孫士詰年力漸衰難期振作著以原
品休致榆林縣知縣托克通阿保甲廢弛控案累
累着開缺調省察看調署定邊縣事安康縣知縣
陳潤燦識見拘謹繁劇難勝着開缺以簡缺另補
中部縣知縣盧調鼎人尚明晰吏治未諳着開缺留
省學習朝邑縣主簿何筠精力衰頹事多遺誤著
勒令休致盤屋縣典史涂奕長不守官箴被控有
案安塞縣典史柳吉巷任性濫刑無辜受累渭南
縣訓導關旭聲名平常難資訓迪清澗縣訓導尹
達時利心未淨積怨士林均着即行革職以肅官
方餘着照所議辦理該部知道欽此

1271 光緒十三年十月二十七日奉
旨着於十一月初十一日在紫光閣閱看欽此

御前大臣奏請 旨閱看奏摺龍江官共騎射摺

1272 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示清漢摺片單三十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十月二十七日奉

旨依議欽此

1273 春滿摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

十月二十七日

1274 光緒十三年十月二十八日內閣奉

上諭李鴻章奏神靈顯應請頒扁額等語直隸清苑

縣南關龍神廟滿城縣一畝泉村龍母宮沙河縣

赫山峪龍神祠周縣臨堂村龍王廟夙著靈應

頻年春夏缺雨經各該處官紳虔誠祈禱甘霖渥

霈枯苗立蘇實深寅感著南書房翰林恭書扁額

各一方交李鴻章祇領飭屬分詣敬謹懸挂以答

神庥欽此

1275 交鑲藍旗滿洲本日引

見補放吉林驍騎校擬陪之領催伊里布奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵辦理可也此交

十月二十八日

1276 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示清漢摺片十六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十月二十八日奉

旨依議欽此

1277 黑龍江及歲八品廕監吉噶爾

硃○旨著回原處

1278 交吏部本日軍機大臣面奉

諭旨巡視北城御史恩燾等奏請將諱匿竊案之坊官議處一摺告病北城吏目胡元鏞著交部照例議處欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

計黏鈔摺一件

十月二十九日

1279 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示清漢摺片十七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理御史恩燾等奏特參諱匿竊案之

坊官摺擬請

旨將吏目胡元鏞交部照例議處恭候

命下傳知吏部遵照是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十月二十九日奉

旨依議欽此

1280 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 兩江總督

一等威毅伯曾 閩浙總督楊 江蘇巡撫崧

安徽巡撫陳 江西巡撫德 山東巡撫張

河南巡撫倪 傳諭淮安關監督世序 光緒

十三年十月三十日奉

上諭慶裕等奏請飭撥東三省來年的餉並請催欠

餉一摺東三省戊子年的餉應撥奉天銀二十六

萬兩吉林銀五萬一千三百十二兩零打牲烏拉

銀三萬五千四百七十六兩零黑龍江銀十七萬

八千五百九十五兩零著戶部照數指撥令各該

省督撫等如數籌解毋許遲延並於報解之時分

晰奉天吉林打牲烏拉黑龍江各款目以免牽混

至直隸等省欠解東三省本年的餉暨歷年欠餉
著李鴻章曾國荃楊昌濬駱陳真德馨張曜倪
文蔚世序按照單開數目趕緊籌措務於年前解
清以濟要需原單均着鈔給閱看將此由五百里
諭知李鴻章曾國荃楊昌濬駱陳真德馨張曜
倪文蔚並傳諭世序知之欽此遵
旨寄信前來

鈔交戶部

1281
蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示清漢摺片單十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理慶裕等奏請撥東三省來年的餉

並催欠餉摺擬繕寄信

諭旨照所請分別飭撥並令各該督撫將欠餉迅速

籌解是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十月三十日奉

旨依議欽此

1282 蒙

發下摺件已奉

硃批五件其餘應請

批示漢字摺片十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年十一月初一日奉

旨依議欽此

1283

光緒十三年十一月初二日內閣奉

上諭前黑龍江將軍定安著授為欽差大臣會同東

三省將軍辦理練兵事宜各城副都統以下均歸

節制欽此

1284

蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺片十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨片一件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十一月初二日奉

旨依議欽此

1285

光緒十三年十一月初二日奉

旨許大妞係因姦致父自盡由立決量改監候惟伊

父聞姦後並未禁絕往來死由被母埋怨所致與

殺姦不遂羞忿自盡者有間著免勾餘均照所擬

欽此

九月二十一日同 朝審黃冊

見面帶上十一月初二日

發下由 堂交內閣

1286 光緒十三年十一月初二日奉

旨許大姐係因姦致父自盡由立決量改監候著子
勾餘均照所擬欽此

九月二十一日同 朝審黃冊

見面帶上十一月初二日

撕破

發下歸箱

1237 光緒十三年

朝審舊事服制並常犯情實十三起人犯共十四

名口內除舊事服制情實常萍一起一名及常

犯情實張二狗即汶洪孫大即孫充仔郭三即

三合松藕等四起共四名業於四年六年八年

九年

免勾時開列榜示外僅將新事常犯情實張氏等八

起共九名口

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起 斬婦張氏
一起 絞犯崔六即崔錫山

因姦謀命張氏造意崔六下手加功均法無可寬

是以俱勾決

一起 絞婦許大姐

因姦致父自盡由立決量改監候惟伊父聞姦後

並未禁絕往來死由被母埋怨所致與殺姦不遂

羞忿自盡者有間稍有可原是以未勾

一起 絞犯馬胖仔

行竊拒捕刃傷事主情同格鬪法無可寬是以勾決

一起 斬犯陳幅海

呈忿故殺法無可寬是以勾決

一起 斬犯趙五兒

竊匪挾嫌聚眾持刀威嚇搶剝官兵衣服藐法難

寬是以勾決

一起 絞犯英五即英悳又名王有兒即王五

竊盜拒捕刃傷事主情同格鬪法無可寬是以勾決

一起 絞犯德潤

謀殺婦女傷而未死復另傷四人法無可寬是以

勾決

一起 絞犯任小兒即任庭碌

先因發塚擬絞減軍脫逃後復聽從發塚鑿棺抽竊二次情殊怙惡法無可寬是以勾決

1288 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年十一月初三日奉

旨依議欽此

1289 據楊昌濬專弁賚到燕菜兩箱恭代呈

進謹

奏

十一月初三日

1290 軍機大臣 字寄

福州將軍 直隸兩江湖廣閩浙兩廣四川江蘇安徽江西福建浙江湖北湖南河南山東山西廣東各督撫 傳諭粵海關監督

光緒十三年十一月初四日奉

上諭戶部奏豫撥來年京餉一摺歷屆京餉均係年前豫撥光緒十四年京餉該部擬在地丁鹽課等款內指撥銀七百萬兩並聲明本年部庫存款及應入各項業已提撥截留至一千二百餘萬兩數計年終部庫存款不過三百餘萬兩轉瞬開春應放俸餉為數甚鉅不敷周轉請飭設法提前趕解等語京餉關係緊要本年部庫存款無多待用尤亟現經該部就各省關情形酌量動撥自應遵照奏定數目源源報解以應要需著該將軍督撫監督等務於來年分批提前趕解限五月前解到一半十二月初間全數解清不准截留改撥藉詞延誤儘局限不到即著該部照奏定章程指名嚴參原單著分別摘抄給與閱看另片奏光緒十四年內務府經費擬撥兩淮鹽課銀十二萬兩兩浙鹽

課銀五萬兩廣東鹽課銀五萬兩湖北鹽釐銀五萬兩福建茶稅銀五萬兩淮安關常稅銀三萬兩閩海關常稅銀十萬兩九江關常稅銀十五萬兩共銀六十萬兩請飭依限完解等語著該將軍督撫監督等務於來年開印後陸續解內務府交納先將起程日期報部仍限六月前解到一半十二月初間核數解清不准稍有蒂欠將此由五百里諭知福州將軍直隸兩江湖廣閩浙兩廣四川江蘇安徽江西福建浙江湖北湖南河南山東山西廣東各督撫並傳諭粵海關監督知之欽此遵旨寄信前來

鈔交戶部

1291 軍機大臣 字寄

兩江總督一等威毅伯曾 湖廣總督裕 閩浙總督楊 兩廣總督張 江蘇巡撫崧 江西巡撫德 浙江巡撫銜 湖北巡撫奎 湖南巡撫卞 山東巡撫張 廣東巡撫吳
光緒十三年十一月初四日奉

上諭潘霽奏請飭撥解欠餉一摺據稱貴州協餉湖南欠解銀十一萬二千兩湖北欠解銀十五萬八千兩江西欠解銀四十二萬兩江蘇欠解銀二十一萬九千五百兩浙江欠解銀十八萬八千兩福建欠解銀十八萬八千兩廣東欠解銀八萬兩山東欠解銀十二萬二千餘兩東海關欠解銀九萬四千兩本年綠營季餉毫釐未發陳軍薪餉等款積欠累累庫空如洗情形急迫請飭迅籌成數或五六萬兩或三四萬兩於年前解到等語貴州軍餉專待各省解濟現在欠發甚鉅需款孔亟著曾國荃裕祿楊昌濬張之洞崧駿德馨銜榮光奎斌卞寶第張曜吳大澂飭令各該藩司關道迅籌大批趕緊撥解以濟急需毋再遲延將此由五百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

鈔交戶部

1292

軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 山東巡撫

張 貴州巡撫潘 光緒十三年十一月初四

日奉

上諭潘爵奏黔省電線分局經費支發銀數共用二萬八千餘兩請照原議飭令東海關籌撥二萬兩等語該省帑項支絀無款可籌自係實在情形著李鴻章張曜飭令東海關道於應協黔餉內撥銀二萬兩查照該撫所奏分別匯解覈收辦理其所請支用各款一併作正開銷之處著依議行原摺著抄給李鴻章張曜閱看將此各諭令知之欽此遵旨寄信前來

鈔交戶部

1293 光緒十三年十一月初四日內閣奉

上諭光祿寺奏請簡自署理卿缺一摺光祿寺卿著壽昌署理欽此

1294 應署漢光祿寺卿名單

硃 〇 通政使司副使壽昌

太僕寺少卿錢應溥

內閣侍讀學士李端遇 現署太常寺少卿

陳希齡

1295 光緒十三年十一月初四日內閣奉

上諭廣東潮州府知府自缺緊要著該督撫於通省知府內揀自調補所遺自缺著隆斌補授欽此

1296 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示清漢摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單八件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十一月初四日奉

旨依議欽此

1297 潘霽摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

十一月初四日

1298 交理藩院本日引

見請放浩齊特扎薩克郡王旗協理台吉擬陪之四

等台吉那木濟勒薩凌又請放土默特扎薩克

塔布囊旗協理塔布囊擬陪之四等塔布囊巴

彥巴圖又請放黑龍江打牲正黃旗駝騎校擬

陪之無品級筆帖式郭勒明阿又請放黑龍江

打牲鑲黃旗駝騎校擬陪之領催霍奇朗奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

十一月初五日

1299 交正紅旗滿洲本日引

見補放杭州佐領一缺擬陪之防禦希賢又補放荆

州駝騎校一缺擬陪之領催榮發奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十一月初五日

1300 補行引

見黑龍江呼倫貝爾雲騎尉車楞多

硃。 旨著回原處

1301 補行引

見黑龍江呼倫貝爾八品廕監沙達爾巴勒

硃。 旨著回原處

1302 雲南昆明縣知縣鳴泰

硃。 旨鳴泰著該部照例給獎

1303 光緒十三年十一月初五日奉

旨仍留學政之任欽此

吏部奏唐景暉學士兼唐景仍留學政之任摺

1304 蒙

發下摺報 臣等公同商閱應請

批示清漢摺二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十一月初五日奉

旨依議欽此

1305 軍機大臣 字寄

步軍統領衙門 順天府 五城御史 光緒

十三年十一月初六日奉

上諭有人奏請飭嚴緝匪棍並力行保甲一摺所有

崇文門外上頭條衙衙之白面太歲王杰即王洪

等著步軍統領衙門順天府五城御史一體按名

查拏訊明懲辦至舉行保甲為弭盜良法並著認

真整頓毋稍疏懈原摺均著鈔給閱看將此各諭

令知之欽此遵

旨寄信前來

1306 蒙

發下摺報 臣等公同商閱應請

批示漢字摺片單八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理御史金壽松奏請

飭嚴緝匪棍力行保甲摺擬繕寄信

諭旨令步軍統領衙門順天府五城御史將匪棍按

名弋獲並認真舉行保甲是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十一月初六日奉

旨依議欽此

1307 蒙

發下摺件已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片單十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年十一月初七日奉

旨依議欽此

1308

光緒十三年十一月初八日內閣奉

上諭本年各直省辦理秋審人犯經刑部由緩決改

1309

情實者奉天省多至八起江蘇省多至六起該將軍府尹督撫並臬司於秋讞重犯未能詳審覈議著交部查明分別議處嗣後各將軍府尹督撫等務當督同所屬遵照定例的覈稟情悉心究擬固不可失之刻覈亦不可惑於救生不殺死之說故從輕減總期執法持平無枉無縱用副明慎用刑至意將此通諭知之欽此

本年秋季審各省由緩改實起數

雲南省二起

廣東省一起

四川省一起

福建省一起

奉天省八起

湖廣省二起

浙江省二起

江西省一起

安徽省一起

江蘇省六起

山東省二起
直隸省一起
熱河一起

1310 光緒十三年十一月初八日內閣奉

上諭本日在道傍叩閣之民人滿榮國著交刑部嚴
行審訊欽此

1311 滿榮國年三十三歲係吉林府人父滿謙因

地畝事其控被吉林府孫府主重責斃命反將
身嚴押一年有餘細情詳在呈內另呈一紙係
於本月初四日在北衙門控告發還為此情急
在天橋地方叩

閣所供是實

1312 光緒十三年十一月初八日內閣奉

上諭御史金壽松奏請飭唐仁廉赴廣東提督本任
及請澈查內務府柴炭庫各等語提鎮大員留帶
他省勇營事所常有朝廷慎重防務具有權衡唐

仁廉簡授提督後仍留通永鎮署任如果現在防
營無須該提督管帶李鴻章定行具奏或廣東本
任緊要必須唐仁廉赴任張之洞亦必據實上陳
何待言官疊次陳請前經御史殷李允慶祥先後
請飭該提督赴任均經存而不論今金壽松復有
此奏殊不可解至所稱內務府柴炭庫各節事屬
瑣屑該御史並無稽查內務府之責何以知之詳
盡如此所奏均毋庸議御史風聞言事所言果有
可採無不立見施行儻竟不知體要或別有請託
情事斷難倖逃洞鑒嗣後有言事之責者務當秉
公持正切實敷奏不得摭拾細故挾私妄陳用副
孜孜求治之意將此通諭知之欽此

1313 滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

道銜禮部郎中玉恆

侍讀銜刑部郎中補主事桂春

四品銜吏部郎補郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾賚額

內閣郎補侍讀志樸

漢頭班章京

前太僕寺卿馮光勳

刑部員外郎吳引孫

刑部員外郎孟繼燠

兵部郎補郎中沈恩嘉

戶部主事顧瑛

吏部主事王倣

內閣中書陳邦瑞

四品銜兵部主事胡寶鐸

刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

四品銜通政使司叅議整岫

理藩院員外郎奎華

戶部主事孚琦

侍讀銜戶部主事廷祉

四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部郎補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

太僕寺少卿錢應溥

四品銜工部員外郎祝維城

吏部員外郎兼襲騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳箬崇

刑部額外主事易俊

刑部候補主事馮錫仁

員外郎銜吏部候補主事孫朝華

戶部候補主事王頌蔚

1314 光緒十三年十一月初九日奉

旨王楙官著准其釋回欽此

兵部卷營員王楙官稱職官員可著釋回

1315 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示清漢摺片單十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十一月初九日奉

旨依議欽此

1316 許景澄片一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

十一月初九日

1317 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片十六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年十一月初十日奉

旨依議欽此

1318 光緒十三年十一月十一日內閣奉

上諭廣西南甯府知府負缺著彭鑾補授欽此

1319 查廣西南甯府知府係銜繁難要缺謹

奏

1320 光緒十三年十一月十一日內閣奉

上諭劉秉璋奏神靈顯應請頒匾額並加封號等語

四川射洪縣

城隍神

龍神

觀音大士樂至縣

城隍神欽永廳

城隍神暨該廳甘溪洞

龍神均著靈應本年各該處雨澤愆期田禾枯槁

經各官紳虔誠祈禱甘霖立沛轉歉為豐實深寅

感著南書房翰林恭書扁額各一方交劉秉璋祇

領飭屬分詣敬謹懸挂以答

神庥至所請敕加欽永廳

龍神

城隍神封號之處著禮部議奏欽此

1321 光緒十三年十一月十一日內閣奉

上諭巡視北城御史恩燾等奏請續放煖廠粟米一

摺京城梁家園百善堂煖廠收養婦女前經發給

粟米三百石本年京東各州縣被災較廣就食人

數眾多不敷支放加恩著再賞給粟米二百石交

該御史等督同紳士妥為散放該部知道欽此

1322 光緒十三年十一月十一日內閣奉

上諭巡視西城御史韞德等奏遵保竿獲鄰境要犯

出力負紳開單請獎並請開復副指揮處分暨前

保紳董仍請給獎各摺片著吏部議奏單一件片

二件併發欽此

1323 光緒十三年十一月十一日奉

旨著派奕謨照料欽此

宗人府奏因山貝子溥倫等年切請派員照料摺

1324 蒙

發下摺報已奉

硃批十四件其餘應請

批示漢字摺片單二十六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十一月十一日奉

旨依議欽此

1325 李鶴年摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

十一月十一日

1326 軍機大臣 字寄

山東巡撫張 光緒十三年十一月十二日奉

上諭都察院奏編修謝萬杭等以惡紳串通知縣捏

詞請兵逼斃多命等詞赴該衙門呈控據稱保大

輪船在榮成縣地方失事武舉于廷誥竊取船貨

誣陷村民恣意知縣李文炳請兵勦辦盛宣懷派

令徐立言帶兵嚇詐得贓復經孫金彪統帶兵輪

轟擊斃命甚多並有在村淫掠多日情事盛宣懷

一概迴護任令署知縣汪鑑妄拿平民非刑逼供

道署委員又逐日刑求等語此案前有人奏業業

諭令張曜確查覆奏茲據所控各節難保無弁兵

倚勢滋擾地方官迴護刑求以致平民株連被害

情事著該撫歸入前案澈底研究務當一秉大

公據實覆奏不准稍涉徇隱偏袒以安良善而儆

官邪原呈著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1327 光緒十三年十一月十二日內閣奉

上諭剛毅奏神靈顯應請頒扁額並加封號一摺山

西甯遠廳

呂祖廟

城隍廟素著靈應每遇水旱疾疫經該官紳等虔詣祈禱無不雨暘時若疫癘全消實深寅感著南書房翰林恭書扁額各一方交剛毅祇領飭屬敬謹懸挂以答

神庥至所請敕加封號之處著禮部議奏欽此

1328 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理剛毅奏神靈顯應摺擬繕明發

諭旨令南書房翰林書扁頒發其請加封號之處令

禮部議奏都察院奏編修謝萬杭等呈稱保大

輪船在榮成縣失事一案該官紳逼斃多命等

情查此案前據御史牟蔭喬劉綸襄具奏業奉

寄信

諭旨令張曜查覆現尚未據奏到擬請仍繕寄信

諭旨令該撫歸案確查覆奏是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十一月十二日奉

旨依議欽此

1329 光緒十三年十一月十三日内閣奉

上諭慶裕奏已故將軍戰功卓著請宣付史館並建

立專祠一摺已故福州將軍穆圖善於咸豐年間

出兵河南直隸山東山西湖北安徽等省所向克

捷嗣經辦理陝西甘肅福建等處軍務及地方事

宜均能盡心區畫歷著勛勞上年籌辦東三省練

兵事宜訓練精詳不辭况瘁加恩著將該故將軍

生平戰績宣付國史館立傳並准於立功省分及

黑龍江地方建立專祠以彰忠蓋該衙門知道欽此

1330 光緒十三年十一月十三日内閣奉

上諭曾國荃崧駿奏藩司患病懇請開缺一摺江蘇

布政使易佩紳著准其開缺欽此

1331 光緒十三年十一月十三日奉

旨恩誠黃燦均著准其抵銷餘依議欽此

吏部奏遵議奉旨分摺

1332 蒙

發下摺件已奉

硃批十三件其餘應請

批示漢字摺片二十九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片八件擬於

召見時請

旨是看有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十一月十三日奉

旨依議欽此

1333 光緒六年考試漢騰錄論題策題

外事以剛日內事以柔日論

耕者助而不稅策

光緒八年考試漢騰錄論題策題

自強不息論

既富方穀策

光緒十一年考試漢騰錄論題策題

文明以健論

底慎財賦策

1334 光緒十三年十一月十四日內閣奉

上諭江蘇布政使著黃彭年補授欽此

1335 直隸布政使松椿 滿洲鎮藍旗人 光緒二年九月補湖南藩司副調直隸

江甯布政使許振禕 江西進士 光緒十二年六月補

安徽布政使阿克達春 滿洲正白旗生員 光緒十二年八月補

山東布政使崇保 滿洲鑲黃旗進士 同治八年四月補甘肅藩司副調山東

山西布政使張煦 甘肅進士 光緒十一年十一月補廣東藩司副調山西

河南布政使劉瑞祺 江西進士 光緒十二年七月補

署陝西布政使李用清 山西進士 光緒十二年七月署

甘肅布政使譚繼洵 湖南進士 光緒十年十月補

甘肅新疆布政使魏光燾 湖南人 光緒九年三月補 甘肅清湖新疆

浙江布政使許應鑾 廣東進士 光緒十年十月補

福建布政使張夢元 直隸舉人 光緒九年九月補 廣西藩司副調福建

福建台灣布政使邵友濂 浙江舉人 光緒三年二月補

江西布政使李嘉樂 河南進士 光緒十二年五月補

湖北布政使蒯德標 安徽舉人 光緒九年正月補

湖南布政使孫翼謀 福建進士 光緒十二年五月補

廣東布政使高崇基 直隸進士 光緒五年二月補 山西藩司副調廣東

廣西布政使馬丕瑤 河南進士 光緒三年八月補

四川布政使崧蕃 滿洲正藍旗舉人 光緒二年九月補

雲南布政使曾紀鳳 湖南生員 光緒二年六月補 貴州藩司副調雲南

貴州布政使史念祖 江蘇監生 光緒三年十月補

直隸按察使陶模 浙江進士 光緒十年九月補

江蘇按察使張富年 浙江附生 光緒二年五月補

安徽按察使張岳年 浙江舉人 光緒十二年八月補

山東按察使福潤 蒙古正紅旗附生 光緒二十八年八月補 湖北臬司副調山東

殊

山西按察使嵩崑 滿洲鑲紅旗監生 光緒十一年二月補

河南按察使西貢致恩 山東廩生 光緒三年二月補

陝西按察使黃彭年 貴州進士 光緒九年正月補 湖北臬司副調陝西

甘肅按察使方汝翼 直隸舉人 光緒三年七月補

浙江按察使蕭韶 湖南舉人 光緒三年七月補

福建按察使裴蔭森 江蘇進士 光緒九年二月補

江西按察使瑞璋 滿洲正紅旗人 光緒五年十月補

湖北按察使成允 正紅旗監生 光緒五年正月補 山東臬司副調湖北

湖南按察使豫山 滿洲正黃旗監生 光緒五年九月補

廣東按察使王毓藻 湖北進士 光緒三年九月補

廣西按察使張聯桂 江蘇附生 光緒三年五月補

四川按察使游智開 湖南舉人 光緒三年三月補

雲南按察使鄧華熙 廣東舉人 光緒三年十月補

貴州按察使廖壽豐 江蘇進士 光緒十三年九月補

光緒十三年十一月十四日奉

旨蘇州織造著文琳去欽此

1338 蒙

發下摺報已奉

硃批十二件其餘應請

批示漢字摺片二十七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單五件圖二件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十一月十四日奉

旨知道了欽此

1339

吉林保送記名馳騎校六品頂戴領催伊勒洪阿中步箭四支
中馬箭一支

神機營保送六品軍功領催倭倭立布中步箭四支

吉林保送委前鋒校常貴中步箭三支

黑龍江保送領催富陞中步箭五支

忠清阿中步箭二支
中馬箭一支

以上五員均擬請

賞給藍翎侍衛在乾清門行走

神機營保送花翎儘先佐領雲時尉榮和中步箭二支
中馬箭一支

以上二員擬請

賞給四等侍衛在乾清門行走

吉林保送記名馳騎校六品頂戴前鋒全祿中步箭二支

七品頂戴前鋒富山中步箭二支

黑龍江保送前鋒巴彥珠拉中步箭二支

吉林保送六品頂戴領催景順中步箭二支
中馬箭一支

五品頂戴領催倭克錦中步箭二支
中馬箭一支

委前鋒校德英中步箭二支
中馬箭一支

雲騎尉志和中馬箭一支

達普庫里中馬箭一支

防禦兼雲騎尉富祥中馬箭一支

馳騎校達哈布中馬箭一支

神機營保送花翎佐領銜儘先防禦崇貴祥中馬箭一支

以上十一員均擬請

賞給藍翎侍衛在大門上行走

吉林保送雲騎尉玉林中步箭一丈
中馬箭一丈

神機營保送花翎儘先佐領領催貴權中步箭一丈
中馬箭一丈

以上二員均擬請

賞給四等侍衛在大門上行走

黑龍江保送六品頂戴藍翎領催壽棉中步箭一丈

領催海保中步箭一丈

吉林保送記名曉騎校委章京領催哈克薩里中馬箭一丈

以上三員均擬請

賞給親軍校

吉林保送武舉恩科中馬箭一丈

黑龍江保送領催烏爾恭額中馬箭一丈

六品頂戴領催安慶中馬箭一丈

以上三員均擬請

賞給前鋒校

黑龍江保送委官領催富尼雅干中馬箭一丈

六品軍功領催崇玉中馬箭一丈

領催常忠中馬箭一丈

以上三員均擬請

賞給護軍校

吉林保送五品頂戴藍翎驍騎校英喜

驍騎校富珠里

雲騎尉富陞

榮貴

以上四員馬步箭均未中

吉林保送七品頂戴領催富常阿

黑龍江保送領催英山

前鋒保山

領催全壽

七品頂戴領催惠昌

領催富和

以上六名馬步箭俱未中均擬請

賞給藍翎長

神機營保送八品軍功馬中連瑞

以上一名馬步箭俱未中擬請

賞給拜唐阿

1340 光緒十三年十一月十五日内閣奉

上諭京師入冬以來尚未得雪農田待澤孔殷實深

寅盼朕於本月十九日親詣

大高殿拈香

時應宮著派惇親王奕諒

昭顯廟著派貝勒載漪

宣仁廟著派貝勒載澄

凝和廟著派貝勒載澍同於是日分詣拈香欽此

1341 光緒十三年十一月十五日內閣奉

上諭陝西按察使著曾鈺補授欽此

1342

直隸按察使陶模

浙江麗水
光緒七年九月補

江蘇按察使張富年

浙江附貢生
光緒三年五月補

安徽按察使張岳年

浙江舉人
光緒三年八月補

山東按察使福潤

蒙古正紅旗附生
光緒三年八月補湖北舉人引湖山東

山西按察使嵩寬

滿洲鑲紅旗監生
光緒三年二月補

河南按察使賈致恩

山東廩生
光緒三年二月補

甘肅按察使方汝翼

直隸舉人
光緒三年七月補

浙江按察使蕭韶

湖南舉人
光緒三年七月補

福建按察使裴蔭森

江蘇進士
光緒九年二月補

江西按察使瑞璋

滿洲正紅旗人
光緒五年十月補

湖北按察使成允

正紅旗監生
光緒五年十月補

湖南按察使豫山

滿洲正黃旗監生
光緒三年九月補

廣東按察使王毓藻

湖北進士
光緒五年九月補

廣西按察使張聯桂

江蘇附生
光緒二年二月補

四川按察使游智開

湖南舉人
光緒五年三月補

雲南按察使鄧華熙

廣東舉人
光緒五年十月補

貴州按察使廖壽豐

江蘇進士
光緒五年九月補

1343 光緒十三年十一月十五日內閣奉

上諭陳夔奏查明各屬秋禾歉收酌擬徵緩錢糧一

摺安徽本年入夏以後雨水過多田禾被淹復有

被旱被風被蟲之處收成歉薄若將應徵錢糧照

常徵收民力實有未逮如恩著照所請所有泗州

並舊虹鄉壽州亳州鳳陽並臨淮鄉鳳臺懷遠霍

邱定遠靈璧盱眙五河等十一州縣並鳳陽長淮

泗州三衛懷甯宿松望江桐城太湖銅陵東流宣

城合肥等九縣暨來安和州全椒當塗建平廬江

蕪湖貴池涇州潛山無為巢縣建德繁昌含山青

陽天長宿州等十八州縣並宣州建陽安慶廬州
滁州等五衛均係勘不成災著將本年丁漕蘆課
等款銀米別熟徵收內霍邱縣帶徵上年熟欠毫
州別熟帶徵光緒九年起至十二年止熟田舊欠
宿松縣漁課商稅學囚等租照常徵收蘆課上忙
已徵數造報其餘未完全緩望江縣漁課照常
徵收蘆課別徵上忙下忙全緩五河縣商稅建平
縣漁課天長縣秋糧宿州商稅場租均著照常徵
收其餘各州縣衛勘不成災保內應徵節年熟田
舊欠銀米著分別啟徵並別熟徵收新賦各州縣
衛光緒六年以後災緩民衛各款銀米同青陽縣
學藉因租宿松縣租均著緩至來年麥熟秋成
後察看帶徵又光緒五年宿州無為和州等三州
縣借修圩隄前請分限歸款銀兩著將未完各限
災熟銀兩一律遞緩又光緒九年桐城縣借修圩
隄前請分限攤徵並原緩銀兩著一併遞緩其泗
州等州縣及屯坐各衛所緩漕項銀兩著至光緒
十四年麥熟後啟徵所緩漕糧米石著至光緒十
四年秋後啟徵以紓民力餘著照所議辦理該撫

即刊刻謄黃編行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥
舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1344 光緒十三年十一月十五日內閣奉

上諭陳彝奏查明安徽各屬秋禾歉收請分別徵緩
漕糧開單呈覽一摺安徽泗州等州縣本年夏間
雨水過多嗣復被旱被風以致收成歉薄又值河
南鄭州決口皖北水災更重若將新舊漕糧照常
徵收民力實有未逮如恩著照所請所有被水最
重泗州之舊虹鄉應徵漕糧著新舊全緩勘不成
災之壽州亳州鳳臺懷遠霍邱定遠靈璧盱眙五
河懷甯宿松望江桐城太湖銅陵東流宣城合肥
當塗建平廬江蕪湖貴池潛山無為巢縣建德繁
昌青陽天長宿州等三十一州縣內除懷甯潛山
太湖三縣除荒同宿松縣光緒八年沙壓田畝無
徵外其餘勘不成災保內畝收田畝新舊漕糧及
歷年災緩舊欠漕米均著分別緩徵至未被災之
南陵涇縣甯國旌德太平舒城蒙城六安英山霍
山廣德等十一州縣內除甯國英山霍山三縣光緒

八年沙壓田畝無徵外餘同南陵等州縣熟田新
漕並壽州等三十一州縣有收保內應徵本年新
漕均著照常徵收內甯國旌德廣德霍邱等四縣
帶徵上年熟欠亳州帶徵九十一十二等年熟
田舊欠餘悉查照地丁一律辦理以紓民力該撫
即刊刻謄黃並將單內所開區圍村莊分晰徵緩
詳細刊刻徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞
弊用副軫念民艱至意餘著照所議辦理該部知
道單併發欽此

1345 蒙

發下摺報臣等公同商閱應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

殊批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺單四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十一月十五日奉

旨依議欽此

1346 光緒十三年十一月十六日內閣奉

上諭陝西督糧道負缺著錫光補授欽此

1347 查陝西督糧道係衝繁疲要缺謹

奏

1348 光緒十三年十一月十六日內閣奉

上諭陳彝奏知縣虧短銀兩參後延不完繳請旨拏

問監追查抄一摺已革安徽霍山縣知縣白毓崑

任內虧短正糧等款銀兩為數甚鉅除已交外尚

短銀一千七百四十餘兩疊經勒限追繳迄未完

解實屬玩延白毓崑著即拏問監追提其經手丁

書人等嚴訊是侵是挪分別辦理並著山西巡撫

將該革負原籍家產嚴密查封備抵一面查明歷
過任所寓所有無資財寄頓一律查抄以重庫款
該部知道欽此

1349 交值年旗本日引

見補放

孝陵翼長一缺擬陪之防禦和羣奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十一月十六日

1350 交正白旗滿洲本日引

見補放

盛京佐領一缺擬陪之騎都尉繩昌奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十一月十六日

1351 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示清漢摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是各有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十一月十六日奉

旨依議欽此

1352 楊昌濬等片一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

1353 六品廢生捐納江蘇試用縣丞程先進

旨著以通判用

硃。

硃。

1354 前廣東候補知縣湯炳璣
旨准其留於雲南差委

1355 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年十一月十七日奉

旨依議欽此

1356

軍機大臣 字寄

署河東河道總督李 河南巡撫倪 光緒十

三年十一月十八日奉

上諭前據李鶴年奏運料遲滯情形已嚴切批示催令剋日興工誠以此次決口去來年春汛為期甚迫斷無待料物備齊始行舉辦之理湖查道光年間祥符大工王鼎等奏引河普律插鉞兩壩接手進占一摺奉

旨到工料現止十分之三若即嚴催源源運送按日程功剋期成事等因欽此可為集料無多業已進占之明驗現在該省業經嚴催各屬運料並放價收採直隸山東亦已奏報趕籌解濟此時料柴到工者諒必不少若李鶴年等一面嚴催各州縣解運一面趕緊進占毋得徂於河工玩延積習貽誤大局有干重咎至豫省電綫前經倪文蔚奏明飭辦刻下諒已開工並著迅催辦理不得延緩如有不肖紳民藉詞煽惑阻撓即著嚴拿懲辦將此由五百里各諭令知之欽此道

旨寄信前來

1357 軍機大臣 字寄

欽差禮部尚書李 署河東河道總督李 光緒十

三年十一月十八日奉

上諭本日據卞寶第奏黃河南徙審量大局擬分道
疏濬一摺黃河分流之策前經張曜建議疊諭曾
國荃等籌商尚未覆奏茲據卞寶第所陳與張曜
前奏大致相同究竟黃河南北分流按之現在情
勢是否可行著李鴻藻李鶴年詳晰會商妥議具
奏原摺均著鈔給閱看將此由四百里各諭令知
之欽此遵

旨寄信前來

1358 光緒十三年十一月十八日內閣奉

上諭雲南臨安府知府負缺著全楸績補授欽此

1359 查雲南臨安府知府係繁疲難要缺謹

奏

1360 交鑲黃旗滿洲本日引

見補放

東陵驍騎校擬陪之領俸恩齡奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十一月十八日

1361 補行引

見荊州恩騎尉安賞

硃。 旨著回原處

1362 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條同冊一件一併

呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十一月十八日奉

旨依議欽此

1363 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年十一月十九日奉

旨依議欽此

1364 軍機大臣 字寄

安徽巡撫陳 浙江巡撫銜 光緒十三年十

一月二十日奉

上諭有人奏安徽在籍郎中曹英倚勢橫行私帶兵
役鎖擊平民攢毆民人潘觀海等幾於斃命糾集
匪棍勒索商船並與甲商吳敬儀狼狽為奸紊亂
鹽綱虧短課稅疊被控告有案該員私充浙省鹽
商改名曹行健請飭查究等語著陳彝衛榮光將
所奏各節確切查明據實具奏原摺均著鈔給閱
看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1365 光緒十三年十一月二十日內閣奉

上諭御史金壽松條陳市件兩摺恭引康熙乾隆嘉

慶道光年間

諭旨自次行以下均未繕寫殊屬不合著交部察議欽此

1366 光緒十三年十一月二十日內閣奉

上諭昨日道旁叩關之貢生楊德發著交刑部嚴行審
訊欽此

1367

楊德發現年四十七歲係奉天甯遠州貢生因該州徵收米豆書吏舞弊浮加又多添車輛裕差勒索錢文本年六月間曾在戶部呈訴蒙批回奉天聽候查辦迄今尚未查辦情急來京在道叩

閻黏呈浮徵數目清單並鈔錄科房私賬等件所供是實

1368

光緒十三年十一月二十日內閣奉
上諭托倫布等奏軍臺廢負由配脫逃請旨飭緝完辦一摺廢負梁步高膽敢由配脫逃該都統等已飛咨鄰境緝拏難保不私回原籍或潛行來京著安徽巡撫步軍統領衙門順天府五城御史一體嚴拏務獲究辦欽此

1369

蒙
發下摺報臣等公同商閱應請
批示漢字摺片五件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十一月二十日奉

旨依議欽此

1370

據江西巡撫德馨送到樣錢十文恭呈
御覽謹
奏

十一月二十日

1371

光緒十三年十一月二十日內閣奉
上諭曾國荃奏請緩徵兩淮秦海二屬各場折價錢糧一摺秦州等分司所屬富安等場本年夏秋之間疊被風潮收成減色若將新舊折價錢糧同時

徵收竈力實有未逮加恩著照所請所有富安安
豐梁垛東臺何垛丁谿草堰劉莊伍祐新興廟灣
十一場上年二月內應徵光緒十二年應徵十一
年分未完折價及本年秋成後各應帶徵同治十
年分並未屆帶徵同治十一十二十三等年暨光緒
元二三四五六七八九十各年原緩折價著一併
緩至來年秋成後由遠而近每年帶徵一年板浦
中正臨興三場本年秋成後應徵光緒十三年應
徵十二年分蕩地折價著緩至來年春熟後徵收
其來年二月應徵光緒十四年應徵十三年分蕩
地折價著緩至來年秋成後徵本年秋成後應
帶徵同治十年分蕩地未完折價並未屆帶徵同治
十一十二十三各年原緩折價均著緩至來年秋
成後由遠而近每年帶徵一年以紓電力餘著照
所議辦理該督卽刊刻謄黃編行曉諭務使實惠
均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知
道欽此

1372 光緒十三年十一月二十一日內閣奉

上諭謙禧奏神靈顯應請頒扁額一摺熱河圍場唐
三營街

龍王廟素著靈異上年及本夏秋大雨河水盛
漲民房多被冲塌經該官紳等虔誠祈禱旋即晴
霽轉危為安實深寅感著南書房翰林恭書扁額
一方交謙禧祇領飭該總管敬謹懸挂以答
神庥欽此

1373 軍機大臣 字寄

山東巡撫張 光緒十三年十月二十一日奉

上諭工部等部奏遵議山東挑河經費一摺據稱山
東隄埝各工歷經部撥鉅款所費實已不少此項
工程計應一律完竣礙難照撥所籌挑濬河淤逐
段抽溝辦法自係目前要策該撫估需銀八十九
萬餘兩現擬於鄭工捐款內先撥銀六十萬兩解
赴山東應用餘俟再行提撥等語連年山東辦理
隄埝等工疊糜鉅帑現在黃流已斷不致再行增
淤果能認真疏濬辦理自有把握此時部庫因鄭

工驟去數百萬籌措萬分踴躍今因東省疏濬工程並關緊要於無可設法之中又復撥此鉅款張曜具有天良務當體念時艱力求樽節嚴督在工各員認真籌辦不准絲毫浮冒以慎國帑而重要工將此由四百里諭令知之欽此遵

旨寄信前來
鈔交工部

1374 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示清漢摺片二十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺三件擬於

召見時請

旨是否百當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十一月二十一日奉

旨依議欽此

1375 交內務府本日引

見

福陵尚茶副一缺擬陪之香燈人德印奉

旨著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

十一月二十二日

1376 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片單十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十一月二十二日奉

旨依議欽此

1377 色楞額摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

十一月二十二日

1378 交正白旗滿洲本日引

見補放

西陵驍騎校擬陪之領催榮秀奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十一月二十三日

1379 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件圖三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十一月二十三日奉

旨依議欽此

1380 倪文蔚摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

十一月二十三日

1381 光緒十三年十一月二十四日內閣奉

上諭本日引見之四川開復另補知縣國璋著交軍機處存記欽此

1382 光緒十三年十一月二十四日內閣奉

上諭曾國荃崧駿奏查明江淮等屬被水被旱並拋荒地懇請蠲緩錢糧開單呈覽一摺江蘇江淮等屬本年入夏以來雨水過多湖河泛漲江湖頂托田禾被淹並因夏秋之交亢晴日久間有遭風摧折收成均形歉薄若將新舊錢糧照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有上元江甯句容

溧水高淳江浦六合等七縣已經墾熟被欠民屯田地並山陽阜甯清河桃源安東鹽城高郵泰州東臺江都甘泉儀徵興化寶應銅山豐縣沛縣蕭縣陽山邳州宿遷睢寧海州沐陽贛榆通州如皋海門等二十八州縣廳同淮安大河揚州徐州四衛勘不成史民屯田地應徵光緒十二年地丁等項錢糧均著緩至光緒十四年秋成後分作二年帶徵又上元江甯句容溧水高淳江浦六合等七縣未墾荒田同江都縣及揚州衛營壘壓廢民屯田地應徵光緒十三年上下忙錢糧仍著蠲免其坐落各州縣併衛屯漕蘆課學租湖河灘租雜辦雜稅津貼增租並江甯府屬公費關租油麻地租南屯恤孤米豆出借籽種口糧新增地畝蘆葦牧馬草場復賦召變籌餉等款及抄寨入官地畝並鎮江衛坐落江都泰州甘泉泰興四處屯田均照坐落地方一律查辦淮揚等屬減則蘆葦田地並海州屬一水一麥減則田地應徵本年錢糧著一體緩徵江淮各屬勘不成史並江甯府屬未墾荒田同江都縣及揚州衛營壘廢田地應徵戊子

年上忙新賦均著緩至光緒十四年秋成後察看情形再行啟徵江淮等屬未完光緒六年至十二年灾熟民欠軍欠各年錢糧凡坐落本年灾區者著一併緩至光緒十四年秋成後酌量帶徵上元江甯句容江浦六合山陽阜甯清河桃源安東鹽城高郵泰州東臺江都甘泉儀徵興化寶應銅山豐縣沛縣蕭縣碭山邳州宿遷睢寧海州沐陽贛榆通州如皋泰興海門等三十四州縣廳並淮安大河揚州徐州四衛未完光緒六七八九十一等年原緩遞緩灾熟舊欠錢糧並光緒十二年灾田原緩各款銀米及不在豁免案内之各年未完津貼增租銀兩暨溧水縣未完光緒八年九十一等年灾緩各款銀米並高淳縣未完光緒十一年原緩遞緩二分五釐銀米均著緩至十四年秋成後再行分別帶徵阜甯清河桃源宿遷海州沐陽贛榆七州縣本年被歉田地折徵銀兩著隨同各屬漕糧漕項銀米一體分別緩徵鎮江衛坐落泰州江都甘泉泰興四州縣屯田並著隨同民田一律辦理以紓民力餘著照所議辦理該督撫即刊

刻謄黃並將單內所開區圍村莊項畝分數應緩銀兩米豆各數詳細刊刻編行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道單併發欽此

1383 光緒十三年十一月二十四日內閣奉

上諭曾國荃奏駁查明江淮等屬被水被旱及拋荒地開單懇請蠲緩漕糧一摺本年江蘇江淮等屬入夏以來雨水過多田禾被淹高阜地方又因夏秋之交亢旱日久並有遭風摧折之處收成均形歉薄其歷年拋荒地亦尚未盡墾熟若將應徵漕糧照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有上元江甯句容江浦六合等五縣已墾成熟復被歉收田地並山陽阜甯清河桃源鹽城高郵泰州東臺江都甘泉儀徵興化寶應銅山豐縣沛縣蕭縣碭山邳州宿遷睢寧海州沐陽贛榆如皋等二十五州縣勘不成灾田地應徵光緒十三年漕糧及改徵折色銀兩均著緩至光緒十四年秋成後分作二年帶徵其上元江甯句容江浦六

合五縣未墾荒田同江都縣營壘廢墾荒民田除墾熟畝徵外其餘墾荒田地應徵漕糧米石仍著蠲緩以紓民力餘著照所議辦理該督撫即刊刻謄黃並將單內所開區圖村莊項畝詳細刊刻編行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副矜念民艱至意該部知道單併發欽此

1384 交正藍旗蒙古本日引

見補放察哈爾參領公中佐領各一缺擬陪之公中

佐領綽依蘇攏扎普護軍校松嚕普奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十一月二十四日

1385 交鑲藍旗漢軍本日引

見補放

興京防禦一缺擬陪之雲騎尉志寬奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十一月二十四日

硃

1386 鑄譯教習葛豐田
旨著照例選用

1387 雲騎尉圖魯巴圖

雲騎尉達瓦斯桑

雲騎尉萬迪

硃。旨均著回原處

1388 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其餘應行請

旨摺單五件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十一月二十四日奉

旨依議欽此

1389 岑毓英等摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

十一月二十四日

1390 軍機大臣 字寄

欽差禮部尚書李 兩江總督一等威毅伯曾 漕

運總督盧 署河東河道總督李 江蘇巡撫崧

河南巡撫倪 光緒十三年十一月二十五日奉

上諭李鴻藻李鶴年奏遵議規復黃河故道請飭迅

籌合辦一摺覽奏均悉黃河籌復故道疊經臣工

條奏但費巨工繁又當鄭工決口部庫驟去數百

萬之現款此後籌撥甚形竭蹶斷難於漫口未堵之先同時並舉剋期集事該尚書等此奏於故道之宜復但止空論其理語簡意疏其一切利害之重輕地勢之高下工用之浩大時日之迫促並未全局通籌縷晰奏覆如此大事情朝廷安能據此寥寥數語定計決疑此時萬分喫緊惟在鄭工之速求堵合故道一議只可暫作緩圖前經疊次嚴諭李鶴年等將漫口工程剋日興辦尚未據報開工殊深焦盼現距桃汛甚近萬一該工稍形遲誤來年江皖等省數百萬生靈同罹水患必在意中李鶴年身任河督責無旁貸不得因有籌復故道之議將漫口不早合龍致釀巨患為將來謾却地步設再遷延坐待貽誤事機必當重治其罪並著倪文蔚常川駐工會同催督趕辦嚴飭各州縣廣集料物剋日進占該署督等具有天良亟宜振刷精神和衷共濟星速趕辦毋負諸語嚴諭至意其所稱規復故道一切工作先自下游開辦南河舊道現在如何情形工程能否速辦經費能否立籌有無窒礙即著曾國荃盧士杰崧駿迅速估定覆奏

候旨遵行至豫省南岸工程此奏請除培補隄身
外力尚能辨語亦合混並著李鶴年倪文蔚派員
確切查估詳細覆奏將此由五百里各諭令知之
欽此遵

旨寄信前來

1391 軍機大臣 字寄

直隸兩江湖廣閩浙浙江福建江蘇江西湖北
河南各督撫 傳諭粵海關監督 光緒十三
年十一月二十五日奉

上諭戶部總理各國事務衙門奏各直省欠解歷年
東北邊防經費請旨嚴催一摺據稱本年各省關
應解東北邊防經費除扣留截留緩解外其餘銀
兩前經劃撥豫省河工備用其光緒六七八九十
十一十二等年積欠銀兩節經嚴催迄未報解等
語此項經費關繫緊要本年部庫劃撥鉅款尤覺
空虛亟待前項銀兩解到供用著各該督撫監督
迅即查照戶部單開欠解各數分批籌解部庫儘
再延欠即著戶部照貽誤京餉例指名嚴參原單

均著鈔給閱看將此由四百里諭知直隸等省各
督撫並傳諭粵海關監督知之欽此遵

鈔交戶部總理衙門

1392 光緒十三年十一月二十五日內閣奉

上諭張曜奏查明各屬被災懇恩蠲緩新舊錢漕一
摺山東濟南等屬各州縣早晚秋禾或因雨澤愆
期被蝨被旱或因黃流漫溢限估沙壓民情均形
困苦若將應徵錢漕照常徵收民力實有未逮加
恩著照所請所有歷城縣北會清一等里老窩莊
等七十二村莊齊河縣驛渡岸地方朱河前園等
四十六村莊齊東縣林二等里高家園等十三村
莊禹城縣一都一等里吳東安莊等四十二村莊
長清縣相保等里魏家莊等六十五村莊高河縣
順一等鄉李美生莊等六十一村莊濮州北舊城
等里葛家樓等一百四十九村莊應徵本年錢糧
漕米漕項臨倉河銀學租地租等項齊河縣併衛
焦斌等地方馮家堂等四屯莊長清縣併衛苗屯

等里利家莊等十二屯莊暨歷城縣併衛屯莊應徵本年錢糧並歷城齊河齊東禹城商河濮州等州縣同歷城齊河等縣併衛本年青黃不接案內原緩上忙新賦均著一律蠲免以上各州縣及歷城齊河長清等縣併衛如有未奉蠲免之先預完額銀兩查明流抵次年正賦齊河縣驛渡岸等地方劉莊等七十七村莊臨邑縣清四等里馮家井等十六村莊惠民縣紀字等約豆腐寨等三百五十二村莊應徵本年錢糧漕米漕項臨倉河銀學租地租等項霑化縣皮店等里楊家等五十六村莊齊河縣併衛之劉從善等地方本屯等三十二屯莊應徵本年錢糧倉項民佃鹽課等項永利場陳家莊等十三村莊應徵本年寬地錢糧及齊河臨邑惠民霑化等縣同齊河縣併衛並永利場本年青黃不接案內原緩上忙新賦均著蠲免十分之七霑化縣皮店等里孟家等一百一村莊應徵本年錢糧倉項民佃鹽課等項永利場大牟莊等十三村莊應徵本年寬地錢糧同霑化縣及永利場本年青黃不接案內原緩上忙新賦均著蠲免

十分之六歷城縣北會清一等里解家莊等十一村莊齊河縣驛渡岸等地方鄭莊等八十五村莊濟陽縣官莊羊口等二百一十一村莊長清縣潘水等里常家莊等一百六村莊東阿縣白洋等村楊家莊等一百九十六村莊惠民縣紀字等約火龍聚吳家莊等一百八十一村莊濱州西路九保董口莊等六十九村莊壽張縣王中等里西影唐等二百八十三村莊應徵本年錢糧漕米漕項臨倉河銀學租地租等項同齊河縣併衛焦斌等地方赫莊等十六屯莊長清縣併衛律屯等里徐家莊等十四屯莊歷城縣併衛屯莊應徵本年錢糧等項及歷城齊河東阿惠民濱州壽張等州縣並歷城齊河等縣併衛本年青黃不接案內原緩上忙新賦均著蠲免十分之四濟陽縣官莊高橋等一百二十二村莊禹城縣一都一等里東陳鐵匠莊等二十九村莊肥城縣孝山等社安家道口等四十八村莊應徵本年錢糧漕米漕項臨倉河銀學租地租等項及禹城縣本年青黃不接案內原緩上忙新賦均著蠲免十分之二歷城縣北會清一

等里太平莊等十一村莊濟陽縣官莊馬營等一百七十四村莊禹城縣二都六等里鳳凰莊等三村莊平陰縣大義屯等里滑口莊等五十六村莊惠民縣紀字等約雙廟等九十九村莊壽張縣黃前等里尚嶺莊等七十九村莊應徵本年錢糧漕米漕項臨倉河銀學租地租等項並歷城縣併衛屯莊應徵本年錢糧及歷城禹城惠民壽張等縣並歷城縣併徵本年青黃不接案內原緩上忙新賦同濱州西路七保子莊等八十三村莊陽穀縣東西更名等里蘇家莊等五十一村莊應徵本年錢糧漕米漕項臨倉河銀學租地租等項並海豐縣于家等堆曹家廟等一百十二村莊應徵本年錢糧及海豐濱州等州縣本年青黃不接案內原緩上忙新賦均著蠲免十分之一以上成災統共應蠲緩正銀十萬九千三百六十二兩零米二萬三千二百六十九石零各該州縣蠲贖錢糧漕米等項均著緩至光緒十四年秋後各原報十分九分八分者分作三年帶徵七分六分五分者分作二年帶徵其有未奉蠲免之先溢完蠲額銀兩查

明流抵次年正賦以上成災最重各處除齊東縣光緒十二年錢糧漕米全行蠲免無庸置議外其餘歷城齊河禹城長清商河濮州及歷城齊河濟陽禹城臨邑長清肥城東阿平陰惠民海豐濱州霑化陽穀壽張等州縣並歷城齊河長清等縣併衛及永利場光緒十二年未完民欠及因災蠲贖原緩錢糧漕米漕項臨倉河銀學租地租等項均著緩至光緒十四年秋後啟徵濟甯州黑土店等地方本店等八村莊歷城縣北會清二等里路家寨等二十三村莊章邱縣西四等里宋家莊等二十八村莊並大隄樓隄佔壓地畝之姜家莊等五十一村莊齊河縣桑梓店等地方桃園等一百二村莊齊東縣固十一等里紀家莊等並河佔隄佔民塋佔壓共一百四十八村莊濟陽縣官莊東中河等一百十六村莊禹城縣一都一等里尹家莊等九村莊長清縣順保等里安家道口等二十八村莊肥城縣孝山等社孝里鋪等八村莊東平州西智來等保晉城莊等四十九村莊並秋災案內待豁挑挖沮水引河淤灘沙壓等項地畝平陰縣鄉

北等里趙家莊等六村莊東阿縣白洋等村幫坑
等一百九十五村莊惠民縣和字等約路家莊等
五十六村莊暨隄佔沙壓及本年修培取直幫寬
民埝壓佔等項地畝青城縣洪字等號馬札子家
等七十七村莊恩字等號齊家等十六村莊本年
幫修大隄佔壓取土地畝陽信縣欽風等鄉恩林
莊等六十四村莊商河縣隆一等鄉周莊等十一
村莊濱州西路七保國莊等九十村莊東路三保
鄭莊等一百十五村莊沿河埝佔各地畝並西南
路三十一保老君堂等五村莊上年修築格隄及
大隄幫寬佔壓各地畝利津縣請戶等地方北范
莊等四十六村莊並今春停徵工忙新賦各村莊
蒲臺縣仁鄉朱家等二十九村莊陽穀縣東西更
名等里東姜莊等三百四十七村莊辛五都張垆
堆等十七村莊壽張縣坊廓等里西紙房等四十
五村莊荷澤縣甘露等四都大連集等二十村莊
大郭等六都魏樓等三十八村莊曹縣敦信等里
蔣窪等八十五村莊鄆城縣管小莊等里劉小人
莊等二十七村莊濮州南關西等里李文早村等

三百九十六村莊范縣南西等里顏家鋪等三百
五十三村莊觀城縣耿在等里李家莊等十村莊
朝城縣秋一里箕山等六村莊聊城縣一鄉等里
陳家海等二十六村莊北七下等里喬黃莊等八
十六村莊堂邑縣東南鄉在城四六甲陳化屯等
十三村莊博平縣豆腐趙莊等二十九村莊茌平
縣東五等鄉西王家集等四十二村莊清平縣安
西等里代灣等三村莊魚臺縣第等方龔家莊等
一百五十村莊應徵本年錢糧漕米漕項河銀臨
清等倉荒田馬場民佃鹽課蘆課房租學租寬地
攤徵隄工埝工河工河灘地租湖租賃基仔粒等
項同海豐縣路楊等堆路楊莊等三十八村莊雷
化縣城南等里耿家等一百六十七村莊博興縣
東姑等鄉翟家莊社劉官莊等五十六村莊樂安
縣崇三等保北鹽莊等五十九村莊東昌府坐落
濮州范縣境內楊宣等三十屯莊又坐落聊城縣
境內河西北等十九屯莊坐落堂邑縣境內陳連
登等三屯莊坐落博平縣境內王承祚等二屯莊
東平所王屯等三屯莊王官屯等七屯莊齊河縣

併衛焦武等地方朱莊等六屯莊長清縣併衛律屯等里仁里集等四村莊並歷城縣併衛屯莊清平縣籽粒地畝各該縣衛所應徵本年錢糧漕倉民佃鹽課等項並永阜場坐落惠民縣境內緇角楊家莊等五村莊永利場謝家窰等十一村莊王家園場坐落博興縣境內窰戶張等四村莊坐落高苑縣境內于家莊等四村莊應徵本年窰地錢糧同以上濟甯等州縣衛所鹽場所有光緒十二年未完民欠及因災蠲贖原緩錢糧漕米等項並濟甯歷城章邱齊河東濟陽肥城東平東阿惠民青城陽信海豐濱州利津德化蒲臺陽穀壽張河澤鄆城濮州范縣朝城聊城茌平博興魚臺等州縣及東昌衛東平所並歷城齊河等縣併衛同永利場本年青黃不按案內原緩上忙新賦均著緩至光緒十四年秋後啟徵濟甯州登豐里等地方前卓家廟等六村莊歷城縣北會清一等里褚家莊等四十九村莊章邱縣清七等里北薛家渡口莊等一百二十七村莊鄒平縣梁二等里鄭家寨等三十村莊齊河縣田家莊等地方鄭家營等

一百五十七村莊齊東縣青五等里喬家莊等六十四村莊同除蠲緩其餘闡境村莊濟陽縣性約田家莊等二十二村莊禹城縣一都一等里劉家花園等三十一村莊長清縣順保等里太平莊五十一村莊肥城縣傅家岸社雷家屯等十四村莊東平縣西智來等保前後沈家屯等十四村莊東阿縣白洋等村城坡莊等八十六村莊平陰縣鄉北等里黃家園等三十五村莊惠民縣和字等約劉槃石家等七十三村莊青城縣至字等號成家莊等九十六村莊陽信縣欽風等鄉小封莊等十三村莊樂陵縣法字等約王官家等七村莊高河縣隆一等鄉王老莊等十八村莊濱州西路一保袁家庵等一百四十八村莊利津縣尚家莊等地方戈武莊等十五村莊蒲臺縣仁鄉傅光輝等一百十五村莊滋陽縣北辛社二甲喬家村等十三村莊陽穀縣東一都後趙生白莊等六十一村莊壽張縣孟等里馬家廟等一百十九村莊同除蠲緩其餘闡境村莊荷澤縣大郭等二都葛拐等九村莊曹縣望魯等里李莊等三十村莊鄆城縣

蕭皮口等里良友口等九村莊濮州西崇興等里
田家莊等一千一百二十八村莊范縣閻境英東
等里鄭家樓等二百二十九村莊觀城縣耿興等
里開河村等五村莊聊城縣五鄉上里甄莊等五
十二村莊堂邑縣西南鄉南忠一七甲中杏園等
十六村莊博平縣范莊一莊在平縣東五等鄉劉
莊等四十四村莊清平縣加二等里劉平莊等十
六村莊莘縣剛字等里單家廟等十一村莊魚臺
縣第等方劉家莊等十九村莊同歷城縣併衛屯
莊除本年錢糧並鄒平齊河齊東平陽信利津
蒲臺陽穀鄆城濮州在平魚臺等州縣本年青黃
不接案內原緩上忙新賦均照常徵收外所有應
徵本年漕米同例不徵漕聊城城北氏里老柳頭
等五十五村莊及清平縣籽粒地畝高苑縣東三
等約永阜莊等一百十三村莊德州衛坐落清平
縣境內左衛後所趙官營帶莊代家灣莊一屯莊
濟甯衛坐落壽張縣境內王德政一屯莊齊河縣
併衛焦斌等地方本屯等二十五屯莊所有應徵
本年錢糧漕項河銀臨德等倉荒田馬場民佃鹽

課蘆課學租窳地攤徵隄工埝工河工票價地租
借基籽粒等項及長清聊城高苑等縣本年青黃
不接案內原緩上忙新賦均著緩至光緒十四年
秋後啟徵以上勘不成丈較重較輕統共應緩徵
正銀九萬七千四百四十九兩零未四萬二十八
百七十二石零所有各該州縣衛所光緒十二年
未完民欠及因災蠲贖原緩錢糧漕米等項並著
緩至光緒十四年秋後啟徵臨清縣閻境村莊濟
甯州新桃河等地方本街等二十六村莊同除蠲
其餘閻境村莊歷城縣北會清一等里孔家莊等
一百八村莊同除蠲緩其餘閻境村莊章邱縣清
一等里深河堰等十二村莊同除緩其餘閻境村
莊鄒平縣長六等里霍家坡等一百二村莊同除
緩其餘閻境村莊長山縣易直約張家莊等八村
莊同其餘閻境村莊新城縣閻境村莊齊河縣宣
劉屯等三十一村莊同除蠲緩其餘閻境村莊濟
陽縣直約劉家莊二十九村莊同除蠲緩其餘閻
境村莊禹城縣一都一等里史家堂等七十三村
莊同除蠲緩其餘閻境村莊臨邑縣李四等里于

家橋等十五村莊同除蠲緩其餘毘連災區閻境
村莊長清縣郭屯等里馬家店等一百一村莊同
除蠲緩其餘閻境村莊陵縣閻境村莊德州閻家
村莊德平縣閻境村莊平原縣閻境村莊肥城縣
崇德莊社李家莊三十二村莊同除蠲緩其餘毘
連災區閻境村莊東平州西智來等保蕭家莊七十
一村莊同除緩其餘閻境村莊東阿縣舊城等村
魏家莊等一百十四村莊同除蠲緩其餘閻境村
莊平陰縣城東等里東門裏等十九村莊同除蠲
緩其餘閻境村莊惠民縣直字等約馬家莊等六
十五村莊同除蠲緩其餘閻境村莊青城縣至字
等號小于家莊等一百七十六村莊同除緩其餘
閻境村莊陽信縣欽風等鄉侯家塢等十二村莊
同除緩其餘毘連災區閻境村莊樂陵縣東路守
字號約閻家集等十六村莊同除緩其餘閻境村
莊商河縣隆一等鄉商家廟等六村莊同除蠲緩
其餘閻境村莊濱州西路三保邊莊等二百七十
村莊同除蠲緩其餘閻境村莊利津縣東鄉小集
等地方小街等六十一村莊同除緩其餘閻境村

莊蒲臺縣仁鄉申家等一百五十二村莊同除緩
其餘毘連災區閻境村莊滋陽縣北辛社六甲竹
亭村等十五村莊同除緩其餘閻境村莊曲阜縣
閻境村莊甯陽縣閻境村莊鄒縣閻境村莊泗水
縣閻境村莊滕縣閻境村莊嶧縣閻境村莊汶上
縣閻境村莊陽穀縣北十七都桑穀營莊等三十
一村莊同除蠲緩其餘閻境村莊荷澤縣除緩其
餘閻境村莊單縣閻境村莊城武縣輝賓村許堂
等七十一村莊同其餘閻境村莊曹縣青山等里
汪莊等十二村莊同除緩其餘閻境村莊定陶縣
閻境村莊鉅野縣閻境村莊鄆城縣漢西等里前
陽集並漢東外境寄莊王家樓等十九村莊同除
緩其餘閻境村莊觀城縣除緩其餘閻境村莊朝
城縣在一等里葛莊等一百二村莊聊城縣倪官
等里譚莊等十三村莊同除緩其餘閻境村莊堂
邑縣西鄉南忠一七甲小陳莊等七十九村莊同
除緩其餘毘連災區閻境村莊博平縣除緩其餘
毘連災區閻境村莊莒平縣東伍等鄉高莊等二
十四村莊同除緩其餘閻境村莊清平縣欽一里

西莊等四村莊同除緩其餘昆連災區閭境村莊
莘縣剛字等里盛家河等一百三十二村莊同除
緩其餘昆連災區閭境村莊館陶縣閭境村莊冠
縣閭境村莊高唐州齊路楊官屯等四十二村莊
同其餘閭境村莊恩縣閭境村莊邱縣閭境村莊
夏津縣閭境村莊武城縣閭境村莊金鄉縣閭境
村莊嘉祥縣閭境村莊魚臺縣除緩其餘閭境村
莊除本年錢糧漕米等項並例不做漕之海豐縣
袁家等堆吳家莊等十二村莊同除緩其餘閭
境村莊霑化縣城西等里縣家等五十七村莊同
除緩其餘昆連災區閭境村莊鄒城縣閭境村
莊費縣閭境村莊莒州閭境村莊臨淄縣閭境村
莊博興縣東姑等鄉東隅社東關莊等二百七十
七村莊同除緩其餘閭境村莊高苑縣東一等約
門裏等一百十二村莊同除緩其餘閭境村莊樂
安縣安五等保東關等一百七十村莊同除緩其
餘閭境村莊壽光縣閭境村莊昌樂縣閭境村莊
濰縣閭境村莊德州衛坐落德州境內正衛中所
六屯一屯莊暨閭境屯莊同坐落清平陵縣平原

武成夏津恩縣德平樂陵禹城高唐十州縣境內
閭境屯莊濟甯衛坐落各州縣境內昆連災區閭
衛屯莊東昌衛坐落濮州范縣聊城堂邑博平等
州縣境內除緩其餘昆連災區閭境屯莊臨清衛
坐落嘉祥等四州縣境內所屬各屯莊同其餘閭
衛屯莊東平所戰屯等二屯劉家村等九村莊又
戰屯等二屯戰家屯等五村莊同除緩其餘閭
境村莊齊河縣併衛費莊等十屯莊同歷城長清
二縣併衛屯莊應徵本年錢糧永阜場閭場並坐
落各州縣竈地灘地永利場單家等二十五村莊
同除緩其餘閭場村莊王家岡場坐落本場辛
鎮等五村莊應徵本年竈地錢糧並臨清鄒平長
山長清東平海豐蒲臺陽穀茌平高苑等州縣與
長清縣併衛本年青黃不接業內原緩上忙新賦
均照常徵收外以上臨清等州縣衛所鹽場內除
新城陵縣高河等縣光緒十二年錢糧漕米均無
緩徵氏欠毋庸置議外其餘各州縣衛所鹽場未
完光緒十二年民欠及因災蠲贖原緩錢糧漕米
漕項河銀荒田馬場臨德等倉米麥銀折民佃鹽

課蘆課票價房租學租窳地攤徵隄工墾工河工
地租湖租債基籽粒海穀等項均著緩至光緒十
四年秋後啟徵以上各州縣衙所鹽場無論成災
與勘不成災較重較輕各村莊並閭境村莊
凡有光緒十一年以前未完民欠及因災蠲贖原
緩遞緩錢糧漕米漕項河銀荒田馬場臨德等倉米
麥銀折民佃鹽課蘆課票價房租學租窳地攤徵
隄工墾工河工地租湖租債基籽粒海穀出借倉
穀牛具籽種銀兩等項一併緩至光緒十四年秋
後錢漕分為兩案各按最先年分逾年依次帶徵
一年德州濟甯東昌臨清等四衛並東平所及永
阜永利二場坐落各州縣境內屯莊窳地並寄莊
錢糧均著隨同民田一律辦理以紓民力餘著照
所議辦理該撫即刊刻謄黃編行曉諭務使實惠
均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知
道欽此

1393 光緒十三年十一月二十五日奉

旨依議欽此

戶部奏籌備制錢的擬撥款章程摺

1394 光緒十三年十一月二十五日奉
旨均著准其抵銷欽此

兵部奏遵議吉林將軍希元等處分片

1395 光緒十三年十一月二十五日奉

旨著准其抵銷欽此

兵部奏遵議著伊犁將軍錫齡處分摺

1396 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺片單八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單九件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十一月二十五日奉

旨依議欽此

1397 交禮部本日軍機大臣而奉

諭旨給事中方汝紹奏安徽舒城縣貞女孫氏時行

義舉請飭行查旌表等語著禮部咨行安徽巡撫

查明辦理欽此相應傳知

貴部欽遵可也此文計粘鈔片二件

十一月二十六日

1398 交內務府本日引

見尚茶正一缺擬陪之內管領音登額奉

旨著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此文

十一月二十六日

1399 交正紅旗護軍營本日引

見補放察哈爾護軍校一缺擬陪之護軍鄂勒濟佈

奏

旨著記名欽此相應傳知

貴營欽遵可也此文

十一月二十六日

1400 光緒十三年十一月二十六日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨王瑞麟著以道

員即選尹肇熙王瀛均著以知府即選汪鈞澤姚恩

溥恩潤李其富均著以知縣即選該部知道欽此

1401 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十一月二十六日奉

旨依議欽此

1402 交鑲藍旗滿洲本日引

見吉林佐領黑龍江防禦察哈爾駝騎校各一缺擬

陪之防禦德林雲騎尉景色布前鋒達蘭奉奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十一月二十七日

1403 蒙

發下摺件已奉

硃批一件其餘應請

批示漢字摺三件分別繕摺批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年十一月二十七日奉

旨依議欽此

1404 光緒十三年十一月二十八日內閣奉

上諭前因京師入冬以來未經得雪朕於本月十九

日親詣

大高殿拈香並派惇親王奕諒等分詣

時應宮等處拈香虔申祈禱現在即逾小寒尚未

渥沛祥雲倍深寅盼十二月初三日朕仍親詣

大高殿拈香

時應宮著仍派惇親王奕諒

昭顯廟著仍派貝勒載漪

宣仁廟著仍派貝勒載澄

凝和廟著仍派貝勒載澍同於是日分詣拈香欽此

1405 交鑲白旗蒙古本日引

見察哈爾巴爾虎公中佐領二缺擬陪之駝騎校都

嘎爾扎布德哩克多爾濟又察哈爾半分公中
佐領一缺擬陪之護軍校沙金達賚奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此交

十一月二十八日

1406 雲騎尉成集

旨著回原處

硃。

1407 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示清漢摺片十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年十一月二十八日奉

旨依議欽此

1408 光緒十三年十一月二十九日內閣奉

上諭慶裕等奏神靈顯應請頒扁額並加封號一摺

奉天奉化縣

城隍神

關聖帝君素著靈應該縣上年夏秋之間晴雨愆期

禾苗受傷本年春間居民復被火災疊經該官紳

虔誠祈禱獲保無虞實深寅感著南書房翰林恭

書扁額各一方交慶裕等祇領飭屬敬謹懸挂答

神庥至所請敕加

城隍神封號之處著禮部議奏欽此

1409 光緒十三年十一月二十九日內閣奉

上諭李鴻章奏安州河間隆平等州縣積滯地畝請

分別豁減糧賦等語直隸安州等州縣或多年積

滯顆粒無收或因被水收成減色若將應徵糧賦

照常徵收民力實有未逮如恩著照所請所有安

州東北兩淀共地三百二十八頃七十九畝零應

徵光緒十三年有間租銀一千二百九十一兩零

著全行豁免河間縣蒲塔窪等十九村糧地三百

九十五項二十四畝零應徵光緒十三年有閏糧銀七百二十六兩零屯米九石零著減免十分之五銀三百六十三兩零屯米四石零徐村等四村糧地四十項五十二畝零應徵光緒十三年有閏糧銀二百三兩零著減免十分之四銀八十一兩零東城等八村糧地二百六十一項九十一畝零應徵光緒十三年有閏糧銀四百九十七兩零屯米九石零著減免十分之三銀一百四十九兩零屯米二石零以上減騰銀兩屯米照常徵收隆平縣黃家莊等十村糧地六百七十七項九十七畝零應徵光緒十三年有閏糧銀一千六百六十一兩零著減免一半銀八百三十一兩零減騰銀兩照常徵收至各州縣有從前花戶長完銀兩唯其分別抵作本年並下年正賦其應徵節年糧租並河間縣應徵本節年存退莊頭廣恩庫等項租銀均著緩至光緒十四年秋後徵以紓民力該督即刊刻勝黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副體恤民艱至意該部知道欽此

1410 光緒十三年十一月二十九日奉

旨仍著崑岡許庚身承修欽此

工部奏員院各工應否仍由前派文員承修摺

1411 蒙

發下摺報已奉

硃批五件其餘應請

批示清漢摺片單二十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十一月二十九日奉

旨依議欽此

軍機大臣 字寄

甘肅新疆巡撫劉 科布多參贊大臣沙 光緒
十三年十二月初一日奉

上諭錫綸奏遵議棍噶札勒叅所領僧衆請仍照劉
錦棠前奏辦理一摺前於三月間諭令劉錦棠錫
綸將該僧衆等於新疆所屬擇地安插嗣經沙克
都林札布等奏以烏梁海蒙哈官兵逼迫該僧衆
遷徙復諭令劉錦棠等確切查明一面咨商沙克
都林札布等東公妥籌速奏劉錦棠於七月間雖
有仍在舊地居住之請條尚在未奉續諭之先茲
據錫綸所稱科布多現無尚待安插之蒙哈該僧
衆與之相處不致滋事若議遷徙新疆既無隙地
亦有他虞業已咨行劉錦棠毋庸委員踏勘等
語該大臣所奏仍與前奏大略相同與沙克都林札
布等前奏迥異劉錦棠既有委員踏勘之議現在
又未自行覆奏未便憑錫綸一人之言遽定辦法
著劉錦棠會同沙克都林札布妥速籌商並應否
委員確勘再行定議務各破除成見詳審酌度奏
明辦理原摺均著鈔給閱看將此由四百里各諭

令知之欽此遵

旨寄信前來

1413 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 山東巡撫張
光緒十三年十二月初一日奉

上諭翰林院侍講學士龍湛霖奏河務緊要敬陳管
見一摺據稱目前之水莫若仍行北河減入徒駭
馬頰於畿輔增築北岸長隄等語河復故道一時
尚難興辦將來河流自必仍由北行亟應預籌分
流洩漲之法該學士請開馬頰等河與侍郎游百
川前奏略同至所陳增築北岸長隄一節亦為保
衛畿疆起見現在能否舉辦著李鴻章張曜悉心
會商妥議具奏原摺均著摘鈔給與閱看將此由
四百里各諭令知之欽此遵
旨寄信前來

1414 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片單九件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月初一日奉

旨依議欽此

1415 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺片十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理藩院奏達爾汗親王那木濟勒

色楞因年未及歲前派署理印務卓哩克圖親

王濟克登旺庫爾應否挪請印信請

旨摺一件擬俟

皇太后

皇上召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月初二日奉

旨依議欽此

1416 光緒十三年十二月初三日內閣奉

上諭順天府奏請加賞資善堂米石一摺西城資善

堂煖廠本年八月間業經賞給粟米三百石現因

收養貧民人數較多不敷支放著再加恩賞給粟

米三百石以資接濟餘依議欽此

1417 蒙

發下摺件已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理順天府奏請

加賞資善堂米石摺查照成案擬繕明發

諭旨如數賞給是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月初三日奉

旨依議欽此

1418 軍機大臣 字寄

署河東河道總督李 河南巡撫倪 光緒十

三年十二月初四日奉

上諭前經疊次履諭李鶴年等將鄭州漫口工程剋期興辦迄今尚未據報開工朝廷殊深焦盼現在

料物自必源源運到即著李鶴年督飭在工員弁

趕緊進占並將開工日期迅速覆奏儘指口料物

不齊有意遷延時日貽誤大工致來歲數省生靈

同罹昏墊該署督自問當得何罪倪文蔚接奉前

旨自己即日駐工著會同李鶴年實力督催不准

各存意見如料垛一項一時未能敷用可否參酌

古法兼用柳枝竹石以輔稽料之不足並著籌商

速辦總期剋日興工及早合龍以紓廩系將此由

五百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1419 光緒十三年十二月初四日奉

旨此次軍機處繕修漢字檔冊總司校勘之戶部主

事顧璜著以本部員外郎無論題選咨留遇缺即

補刑部候補主事馮錫仁著以本部主事無論題

選咨留遇缺即補其尤為出力之供事六品銜議

敘選用典史胡葆慶著仍以典史不論雙單月歸

議敘即用班內選用候選缺後以縣丞在任補用

六品銜分省補用巡檢張允楨著候補缺後在任

以縣丞歸候補班前即補並給六品封典候選典史張守謙著候選缺後在任以縣丞歸候補班補用並加六品銜候選典史張重威著以巡檢分發省分歸議敘班前補用候選從九品袁興愷著以縣丞分發省分歸候補班前即補以示鼓勵該部知道欽此

1420

奏為恭摺奏

臣世鐸等跪

聞事竊查軍機處歷年所有漢字

諭旨寄信及議覆等項冊檔前於咸豐四年奏明每

屆三年繕辦一次自光緒十年辦理以後本年

復屆繕辦之期前於三月內奏請繕錄並聲明

將出力之供事隨案擬保奉

旨依議欽此 臣等遵即查照成例傳內閣中書十六

員分冊繕寫並派軍機章京二員總司校勘計

自光緒十年正月起至光緒十二年十二月止

共三十七冊又逐日登記號簿十二冊又洋務

檔十二冊又電寄檔六冊又引

見檔三冊早事檔十二冊並將積年舊檔一律補綴

齊全查歷屆辦理清漢檔冊告竣均經奏蒙

賞給議敘在案此次繕寫三年檔業並將積年各舊

檔督飭供事人等修補完善所有承辦各員及

在館供事等可否比較歷屆告竣之例酌量

賞給議敘出自

天恩如蒙

俞允 臣等查明各該員功課及供事分別等第咨部

辦理所有軍機處漢檔告竣緣由恭摺具陳伏祈

皇太后

皇上聖鑒謹

奏

光緒十三年十二月初四日奉

旨依議欽此

臣世鐸

臣額勒和布

臣張之萬

臣許庚身

臣孫毓汶

1421

奏為循例保奏請

旨獎勵仰祈

聖鑒事查向例軍機處行走滿漢章京每閱三四年

選擇當差勤奮者請

旨量予鼓勵歷經遵辦在案茲查光緒十年保奏之

後至今已逾三年_臣等留心察看於各章京內

擇其資格較深及辦事勤奮者數員公同酌擬

刑部候補主事桂春請仍以本部主事無論題

選咨留選缺即補理藩院員外郎奎華請以本

衙門郎中無論題選咨留選缺即補戶部主事孚

琦請以本部員外郎無論題選咨留選缺即補

內閣即補侍讀志樸請作為理藩院候補郎中

無論滿蒙選缺即補刑部額外主事易俊請俟

奏留後以本部主事無論題選咨留選缺即補

吏部主事王微請以本部員外郎無論題選咨

留選缺即補

起居注主事陳邦瑞請以員外郎籤分戶刑二部

無論題選咨留選缺即補兵部主事胡寶鐸請

_臣 世鐸等跪

以本部員外郎無論題選咨留選缺即補合無

仰懇

天恩俯准照所請獎勵以昭激勸所有循例酌保章

京緣由理合恭摺具

奏伏乞

皇太后

皇上聖鑒謹

奏

光緒十三年十二月初四日奉

旨依議欽此

_臣 世鐸

_臣 額勒和布

_臣 張之萬

_臣 許庚身

_臣 孫毓汶

1422

再查歷屆繕辦漢字檔案告竣所有派出總司

校對之軍機章京及尤為出力之供事均經懇

請鼓勵查光緒十年十二月十三日奉

旨軍機處歷次請獎向有專案可循與別項保舉人員不同毋庸援照新章叢議等因欽此光緒十年繕修漢檔保奏總校之章京沈恩嘉等及尤為出力之供事劉承勳等均經奉

旨允准在案此次派出總校之戶部主事顧璜刑部候補主事馮錫仁總司校對頗為詳慎平日行走亦皆奮勉自應參酌成案量予鼓勵合無仰懇

天恩准令戶部主事顧璜以本部員外郎無論題選咨留遇缺即補刑部候補主事馮錫仁以本部主事無論題選咨留遇缺即補均毋庸另給議敘並請將尤為出力之承辦供事六品銜議敘選用典史胡葆慶請仍以典史不論雙單月歸議敘即用班內選用候選缺後以縣丞在任補用六品銜分省補用巡檢張允楨請俟補缺後以縣丞在任歸候補班前即補並給六品封典候選典史張守謙請候選缺後以縣丞在任歸候補班補用並加六品銜候選典史張重威以巡檢分發省分歸議敘班前補用候選從九品

奏
袁興愷以縣丞分發省分歸候補班前即補以示鼓勵再此次檔案較多是以添派供事一人合併陳明謹附片具

1423 光緒十三年十二月初四日奉
旨著就印辦事毋庸移交欽此

理藩院奏達爾汗親王印信應著即發

殊。

1424 前河南河北道裕昆
旨著以道員選用

1425 前河南河北道裕昆
旨著以知府選用

1426 前河南河北道裕昆
旨著以簡缺知府選用

1427 補行引
見黑龍江八品監生壽海
旨著回原處

1428 年己及歲補行引
見荊州雲騎尉色克精額
旨著回原處

1429 交正黃旗滿洲本日引
見補放黑龍江驍騎校一缺擬陪之藍翎八品監生
吉忠額又補放

東陵防禦一缺擬陪之驍騎校富倫奉
旨均著記名欽此相應傳知
貴旗欽遵可也此交

十二月初四日

1430 交正白旗蒙古本日引
見補放

盛京驍騎校一缺擬陪之前鋒樹索又補放察哈

爾驍騎校一缺擬陪之護軍拉特那巴札爾奉
旨均著記名欽此相應傳知
貴旗欽遵可也此交

十二月初四日

1431 蒙

發下摺件已奉

硃批一件其餘應請

批示片一件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月初四日奉

旨依議欽此

1432 軍機大臣 字寄

欽差督辦河南鄭州大工事宜禮部尚書李 署河

東河道總督李 河南巡撫倪 光緒十三年

十二月初五日奉

上諭現因鄭工緊要疊次嚴旨催辦而該河督等遷延觀望迄未具報聞工本日已明降諭旨特派李鴻藻督辦工程會同李鶴年等迅籌堵合昨經諭令李鶴年等以料塔一特如不敷用宜兼用柳枝竹石輔指料之不足原期周咨善策剋日程功本日據倪文蔚奏前臬司潘駿文有不用挑水壩省出料塔節縮時日東西勻做臘月半進占來年四月半告成之議現距春汛為時已迫如有可以速助工作之策必應博采兼收即添挖引河分流洩漲俾正工得以及早合龍並應亟籌速辦該尚書等接奉此旨應仰體朝廷矜念要工宵旰焦勞之至意悉心籌畫急圖良策如潘駿文之議可行即著剋期興工毋得任聽河負玩延糜費積習以致工艱費鉅日久無成李鴻藻係朝廷特簡大負責當迅速定議李鶴年倪文蔚尤當破除成見和衷

商辦總期早日竣事以紓股盼而奠民生將此由五百里各諭令知之欽此遵旨寄信前來

1433 光緒十三年十二月初五日內閣奉

上諭禮部尚書李鴻藻著督辦河南鄭州大工事宜會同李鶴年倪文蔚迅籌堵合毋得延緩欽此

1434 光緒十三年十二月初五日內閣奉

上諭江蘇揚州府知府台缺著陳卿雲補授欽此

1435 查江蘇揚州府知府係衝繁疲難最要缺謹奏

1436 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示清漢摺片單十二件分別繕擬批條呈進恭候欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月初五日奉

旨依議欽此

1437 光緒十三年十二月初六日內閣奉

上諭裕祿等奏勘明湖北各州縣衛被淹受旱情形請蠲緩新舊錢糧等項一摺湖北監利等州縣去年入夏以來大雨時行江漢並漲各屬隄塍漫潰田廬被淹高阜之區又因秋後雨澤愆期間受乾旱收成均形歉薄若將新舊錢糧南米等項照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有成災九分監利縣下太馬等一百五十二垸應徵光緒十三年新賦錢糧南糧正耗銀米著蠲免六分成災

八分之沔陽州梅公等三百三十官垸石首縣頭二總等五坊垸並二都等三坊垸內之六甲各應徵光緒十三年新賦錢糧南糧正耗銀米著蠲免四分成災五分之漢川縣啜城等六十二垸嘔石首縣陳公一垸各應徵光緒十三年新賦錢糧南糧正耗銀米著蠲免一分其蠲剩銀兩隨漕等項正耗銀兩並南糧正耗米石一併緩至光緒十四年秋後成災九分八分者分限三年帶徵五分者分限二年帶徵原緩節年銀米等項並著遞年展緩分限帶徵武昌縣神一等十九里咸甯縣一都等九都內之艾家墩等三十九處三都等五都內之白沙橋等十三處嘉魚縣宣化等八里內之六十一甲並九洲九屯蒲圻縣坪下等二十六團內之任家橋等一百二十四處漢陽縣菱角湖等八區白釜池等二十五區黃陂縣牛湖等六十九社孝感縣務本西下等三十五社內各社甲黃岡縣松陽鋪等二十四區道觀河等二十八區並羅霍洲等十七區蘄水縣新洋河等八區內之栗林街等四十四處並新港等三十九區及西壟洲一區

黃梅縣白湖等六鎮並清江鎮內之小池口等處
及考田鎮內之白馬寺等二村莊廣濟縣秦東等
五鄉內之童司牌等四百六十村鍾祥縣河鄉內之
楊林等二十二村莊湖鄉內之劉家橋等二十七
村莊京山縣呂張等四十二團潛江坑灣等十七
坑河汊等十七坑白湖等十五坑馬昌等八坑永
豐等十坑天門縣蒲湖等二十二坑內之四十四
甲淖潑等五十坑內之一百六十甲半趙家上等
二十四坑內之七十九甲米社橋等二十九坑內
之一百十二甲應城縣葉嘴等五團區江陵縣築
支等六十六坑賽龍等一百九十九坑公安縣毛
一等十二里並刀一等十六里內之六十二甲及
枝六一所石首縣民壯等十六坑並一都等八坊
坑內之二十二甲監利縣長發等七十六坑松滋
縣下八上八二都並下五等十都一所等八所枝
江縣利淳等九洲並羊角壩洲二洲荆門州青一
等十九團內之三汊河等五十八區興國州尊賢
等十一坊里各應徵光緒十三年新賦錢糧屯餉
閑丁隄費租餉蘆課等項正耗銀兩暨南糧正耗

米石著一併緩至光緒十四年秋後限一年帶徵
其各原緩節年各項銀米著一併展至光緒十五
年秋後各按最先年分分年帶徵江夏縣金沙等
五十九屯頂園等三十七州河街等五十三里武
昌縣神四等九里嘉魚縣宣化等八里內之十六
甲興國州樂平等四里並上陽辛等十里內之四
十甲大冶縣黃石港等十五堡申明等七堡漢陽
縣洪湖等三十四區黃陂縣董邑埠等六社孝感
縣觀成南等九社內各社甲黃岡縣五里墩等十
二區蘄水縣河坪等二十一區黃梅縣太白等十
九鎮內之項獻等一百七十八村莊雲夢縣合建
會內之張胡家坑等十灣馬橋會內之尹家嘴等
四灣永保會內之李家臺等十一灣西新府會內
之袁家嘴等二十灣下紫會內之楊家境等七灣
各應徵光緒十三年南米照常徵收外其應徵
光緒十三年新賦錢糧蘆課籽粒等項正耗銀兩著
緩至光緒十四年秋後限一年帶徵至各原緩節
年各項銀米著一併展至光緒十五年秋後逐年
帶徵江夏縣茂和等十里幫生等十洲廣阜等十

三屯咸甯縣上七都等四都內之中屋黃等十處
三都等三都內之鹿角橋等四處嘉魚縣邵陵縣
等四里內之四十甲漢陽縣朱家山等二十六區
漢川縣復湖等二十五垸岷孝感縣尚禮等十社
沔陽州玉堂等七十一官垸黃岡縣白溪岷等十
一區鄖水縣大林山等三十四區黃梅縣項橋等
十三鎮及太白等鎮內未經被淹受旱之區廣濟
縣永東等四鄉內之大京坂等一百四十七村莊
鍾祥縣河鄉內之歐家廟等三十村莊並藍家灘
等三村莊湖鄉內之龍山觀等七十九村莊並下
劉家橋一村莊山鄉內之蕭家店等八村莊京山
縣均和一團潛江縣木頭等三十七垸江陵縣唐
家等三十四垸小南湖等五十五垸公安縣刀一
等十六里內三十五甲同未經被淹之赴一等四
里三洲及刀一等里內未淹各甲石首縣一都等
十五坊垸內之三十二甲監利縣徐劉母等五十
五垸松滋縣下五等十都內歛收各處枝江縣義
興等二十洲垸荊門州楊老等三十八區各應徵
光緒十三年新賦錢糧蘆課屯餉閑丁隄費南米

等項照常徵收外其各原緩節年銀米蘆課屯餉
閑丁隄費等項著一併緩至光緒十四年秋後遞
展一年帶徵江夏縣崇通等屯應徵光緒十三年
楚課錢糧正耗銀三百九十七兩零著緩至光緒
十四年秋後限一年帶徵其原緩節年銀兩遞展
一年帶徵漢陽縣崇信坊應徵光緒十三年門攤
銀兩著徵七分其應緩三分正耗銀六十八兩零
著緩至光緒十四年秋後限一年帶徵原緩節年
銀兩遞展一年帶徵武昌縣尚有光緒十一十二
年民欠未完地丁正耗銀兩沔陽州蘄水縣尚有
光緒十二年民欠未完地丁正耗銀兩均著查照
各該州縣未完數目一併緩至光緒十四年秋後
限一年帶徵至武昌等衛軍田被淹受旱蠲緩垸
區均與屯坐各州縣民田相同共應徵光緒十三
年屯餉軍三安家閑丁幫津等款正耗銀三萬五
千一百四十八兩零內蠲免銀四百八十三兩零
其蠲剩銀兩同例不併免之軍安等款正耗銀兩
均著緩至光緒十四年秋後分限帶徵其各原緩
節年銀兩併著遞展一年帶徵以紓民力該督撫

即照單開數目刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均
霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道
單併發欽此

1438 光緒十三年十二月初六日內閣奉

上諭裕祿等奏勘明湖北各州縣被淹受旱情形請
緩徵漕糧一摺本年湖北監利等州縣被淹受旱
本日已降旨將新舊錢糧加恩分別蠲緩所有應
徵漕糧若令照常徵收民力仍有未逮加恩著照
所請所有成災九分之監利縣下太馬等一百五
十二垸成災八分之沔陽州梅公等三百三十官垸
石首縣頭二總等五坊垸並二都等三坊垸內之
六甲成災五分之石首縣陳公一垸應徵光緒十
三年漕糧正耗米七千七百八十六石零著緩至
光緒十四年秋後啟徵成災九分八分者著分限
三年帶徵成災五分者分限二年帶徵原緩節年
漕糧著逐年展緩分限帶徵又勘不成災被淹較
重之武昌縣神一等十九里咸甯縣一都等九都
內之艾家墩等三十九處三都等五都內之白沙

橋等十三處嘉魚縣宣化等八里內之六十一甲
蒲圻縣坪下等二十二園內之任家橋等一百二
十四處漢陽縣白釜池等二十五區黃陂縣牛湖
等六十九社孝感縣務本西下等三十五社內各
社甲黃岡縣松陽鋪等二十四區道觀河等二十
八區蘄水縣新洋河等八區內之栗林街等四十
四處並新港等三十九區黃梅縣白湖等六鎮並
清江鎮內之小池口等處及考田鎮內之白馬寺
等二村莊廣濟縣泰東等五鄉內之童司牌等四
百六村莊潛江縣垸灣等十七垸河汊等十七垸
白湖等十五垸馬昌等八垸永豐等十垸天門縣
蒲湖等二十二垸內之四十四甲淖潑等五十
垸內之一百六十甲半趙家上等二十四垸內之
七十九甲半杜橋等二十九垸內之一百十二甲
應城縣葉嘴等五園區江陵縣築支等六十六垸
賽龍等一百九十九垸公安縣毛一等十二里並
刀一等十六里內之六十二甲石首縣民旺等十
六垸並一都等八坊垸內之二十二甲監利縣長
發等七十六垸松滋縣下八上八二都並下五等

十都荆門州青一等十九圍內之三汊河等五十八區又被淹後受旱較重之興國州尊賢等十一坊里應徵光緒十三年漕糧正耗米三萬一千三十一石零著一併緩至光緒十四年秋後限一年帶徵其各原緩節年漕糧著一併緩至光緒十五年秋後各按最先年分分年帶徵又武昌縣尚有民欠未完應徵光緒十一年漕糧正耗米石沔陽州尚有民欠未完應徵光緒十二年漕糧正耗米石黃岡縣尚有民欠未完應徵光緒十一年漕糧正耗米石蕪水縣尚有民欠未完應徵光緒十年十二年漕糧正耗米石均著查照各該州縣未完數目一併緩至光緒十四年秋後帶徵以紓民力該督撫即照單開數目刊刻懸黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道單併發欽此

1439 光緒十三年十二月初六日奉

旨尚昌懋著賞假百日欽此

欽此
錄蓋漢軍奏副都統尚昌懋丁憂請假

1440 蒙

發下摺報已奉

硃批十件其餘應請

批示漢字摺片三十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單六件做於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月初六日奉

旨依議欽此

1441 張之洞等片一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

1442 蒙

發下摺報已奉

硃批八件其餘應請

批示漢字摺片十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單五件擬於

召見時請

旨是是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月初七日奉

旨依議欽此

1443

李鴻藻等摺一件李永衡片一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

十二月初七日

1444

光緒十三年十二月初八日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨前經傳旨皇帝

大婚典禮恭辦傳辦各件均先將價值開送禮儀處

由王大臣覈定奏明再行開辦原所以重典禮而慎

度支本日據工部奏據鑾儀衛咨稱製造大駕鹵簿

除繡片已經解到毋須另辦外所有桿仗旗片需用

羅緞綾綢等件應分別製造咨辦等語此項須用各

件仍著從緩辦理嗣後各衙門恭辦典禮應用物件

務當遵照前旨先行知照禮儀處覈准再行請旨開

辦以昭詳慎欽此

1445 光緒十三年十二月初八日內閣奉

上諭陳夔奏查明太和等縣續被黃水酌擬徵緩錢糧一摺安徽太和潁上阜陽渦陽等處先經被水被旱續被黃水所種雜糧多遭淹沒若將新舊錢糧照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有太和潁上阜陽三縣應徵本年錢糧除上忙已完數造報外其餘未完下忙錢漕各款銀米並歷年災緩熟欠各項銀米均著一律全緩如有於勘報以後准緩文到以前有將本年錢漕已徵在官者准其流抵次年正賦渦陽縣並長淮衛嵌生渦陽境內屯田應徵本年丁漕等款銀米別熟徵收所有勘不成災各保內本年無收民田四百四十七頃八十七畝零應徵銀一千三百一十一兩零米麥一百二十二石零又長淮衛嵌生渦陽縣境內本年無收屯田二頃二畝零應徵銀十兩零同節年災緩熟欠銀兩著緩至光緒十四年麥熟秋成後察看情形分別啟徵至渦陽縣勘不成災保內未經被水成熟田地應徵節年熟田舊欠銀米著一併分別啟徵並別熟徵收新賦其各該縣衛自

光緒六年以後災緩民衛各款銀米均著隨同本年勘不成災及被水輕重各保內荒畝田畝一律緩徵以紓民力餘著照所議辦理該撫卽刊刻謄黃編行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1446 光緒十三年十二月初八日內閣奉

上諭陳夔奏查明太和等縣續被黃水情形酌擬徵緩漕糧開單呈覽一摺本年安徽太和潁上阜陽渦陽先經被水被旱迨黃水南趨該四縣首當其衝情形較重若將應徵漕糧照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有太和潁上阜陽三縣通境新舊漕糧均著全緩如有於勘報以後准緩文到以前將本年漕糧預完在官者准其流抵次年漕糧渦陽縣勘不成災保內畝收田畝新舊漕糧及原緩光緒六年以後節年災緩舊欠漕糧著分別緩徵其勘不成災保內剔出有收熟田應徵本年新漕照常徵收歷年未完災熟漕米仍著遞緩以紓民力餘著照所議辦理該撫卽刊刻謄黃並將

單內所開區圖村莊詳細刻編行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道單併發欽此

1447 光緒十三年十二月初八日內閣奉

上諭裕祿等奏神靈顯應請頒扁額一摺湖北荊州府城外

江神廟暨

沮漳二神祠素著靈應本年夏間陰雨過多川江各水同時咸漲萬城大隄岌岌可危經該郡官民虔詣祈禱化險為平實深寶感著南書房翰林恭書扁額各一方交該督等祇領飭屬敬謹懸挂以答神庥欽此

1448 光緒十三年十二月初八日內閣奉

上諭裕祿等奏甄別庸劣不職及人地未宜各員據實參奏一摺湖北即補知府陳長清性情才庸固知振作辦理釐務聲名平常著以同知降補試用同知姚崇本品行污下有玷官箴著即行革職嘉

魚縣知縣章壽康才識迂拘辦公竭蹶著以府經歷縣丞降補鶴峰州知州劉桂林歷練甚淺治事多疏著開缺留省察看遇有相當缺出另行酌量補用以示懲儆餘著照所議辦理該部知道欽此

1449 光緒十三年十二月初八日奉

旨仍著嵩申徐郁承修欽此

工部奏修景運門等處工程摺

1450 蒙

發下摺報已奉

硃批八件其餘應請

批示漢字摺片十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單七件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月初八日奉
旨依議欽此

1451

滿頭班章京

四品銜戶部郎中如松

工部員外郎文明

五品銜內閣侍讀德克吉訥

道銜禮部郎中玉恆

侍讀銜刑部郎中補主事桂春

四品銜吏部郎中補郎中保謙

五品頂戴戶部筆帖式和爾廣額

理藩院郎中志樸

漢頭班章京

前太僕寺卿馮光勳

刑部員外郎吳引孫

刑部員外郎孟繼燻

兵部郎中補郎中沈恩嘉

戶部主事郎中補員外郎顧璜

吏部主事郎中補員外郎王傲

刑部郎中補員外郎陳邦瑞

四品銜兵部主事郎中補員外郎胡寶鐸

刑部員外郎主事吳魯

戶部員外郎主事陳熾

滿二班章京

四品銜內閣侍讀文英

四品銜通政使司叅議堃岫

理藩院員外郎郎中補郎中奎華

戶部主事郎中補員外郎孚琦

侍讀銜戶部主事延祉

四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部郎中補員外郎瀛桂

五品銜理藩院主事特圖慎

四品銜兵部候補主事穆克登額

漢二班章京

太僕寺少卿錢應溥

四品銜工部員外郎祝維城

吏部員外郎兼襲騎都尉世職金保泰

戶部主事王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部主事陳崇棠

刑部即補主事易俊

刑部即補主事馮錫仁

員外郎銜吏部候補主事孫朝華

戶部候補主事王頌蔚

1452 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示清漢摺片十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月初九日奉

旨依議欽此

硃。

1453

旨准其承襲

察哈爾及歲雲騎尉恭噶勒扎布

1454

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

1455 蒙

發下摺件已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年十二月初十日奉
旨依議欽此

1456

光緒十三年十二月十一日內閣奉

上諭下寶第奏查明被水田畝蘆洲請分別蠲緩逃
緩錢漕一摺湖南安鄉等州縣衛本年五六月間
湖河泛漲低窪田畝蘆洲均遭淹沒若將應徵錢
漕等項照常徵收民力實有未逮加恩著照所請
所有成災十分之安鄉縣圍城等官垸十三處列
子溪等民垸八處龍潭廟等湖田二十處武陵縣
陽城等十二村障內之下屑溪等處桃源縣板溪
等處沅江縣石磯等二十六垸各應完光緒十三
年正耗錢糧著蠲免十分之七成災九分之安鄉
縣新塢至螺絲塢等民垸四處席家塌等湖田十
四處龍陽縣北益等障益陽縣西林等九垸各應
完光緒十三年正耗錢糧著蠲免十分之六成災

八分之武陵縣姚家等十七村障龍陽縣南隄等
障臨湘縣塘灣等二十四圍華容縣護城等官民
十三垸澧州上夕陽等官民各垸隄垸湖田二十
四處各應完光緒十三年正耗錢糧著蠲免十分
之四成災七分龍陽縣金石等障沅江縣永豐
等四十六垸益陽縣月隄等六垸巴陵縣穆湖村
秋地蘆洲六處華容縣洪市嶺等四十八圻澧州
下夕陽等官民各垸隄垸湖田二十三處各應完
光緒十三年正耗錢糧著蠲免十分之二成災六
分之龍陽縣大園隄等障巴陵縣舊江村秋地蘆
洲七處各應完光緒十三年正耗錢糧著蠲免十
分之一華容等縣應徵光緒十三年南驢漕折銀
米蘆課等項並著緩至次年秋後帶徵所有各州
縣蠲贖銀兩成災十分九分八分者分作三年帶
徵七分六分者分作兩年帶徵本年應行帶徵各
項均著逐年以次展緩沅江縣免毀禁修之上下
嘉興周家坪三垸官田全被淹沒應完光緒十三
年田租銀兩著查照成案全行蠲免勘不成災收
成款簿情形較重之武陵縣城頭等二十八村內

之烏塘溶等處龍陽縣騰號等處沅江縣株木實竹巴等十處舊有嶺田陞地湘陰縣聚賢等四十一園及東北鄉近湖低田益陽縣鄧家等民坑巴陵縣十都等四處臨湘縣望城等十六園及洪家等十八洲華容縣南鄉夏家等圍山脚湖汨湖田並蘆洲地畝澧州孟姜等坑隄埂湖田二十一處安鄉縣軍收畚鐵蘆洲大溶湖等三處各應完光緒十三年正耗錢糧蘆課等項均著緩至光緒十四年秋後帶徵各該州縣有應完光緒十三年漕糧南鹽等項銀米並著一律緩徵又各州縣有應行帶徵光緒六七八九十一十二等年災緩錢糧各項及安鄉龍陽沅江等縣原借隄工銀兩均著遞緩至光緒十四年秋後各照原限分年次第帶徵其本年蠲贖緩徵銀米著俟各年災緩銀米徵完後再行按限啟徵勤不成災情形較輕之武陵縣上滄等十村障龍陽縣鴨下北內附梁華等處華容縣免湖等官民四十塊並東南二鄉山岡高阜處所澧州陶家壩等隄埂湖田十八處安鄉縣高填州蘆地一處除各應完光緒十三年正耗錢

糧南漕蘆課等項銀米照常徵收外所有應行帶徵光緒六七八九十一十二等年災緩錢糧並南漕銀米及蘆課銀兩均著遞緩至光緒十四年秋後查照原緩年限分年次第帶徵岳州衛坐落巴陵臨湘華容湘陰等縣屯田應完光緒十三年屯餉軍安正耗錢糧及應徵運費並未完光緒六七八九十一十二等年災緩銀兩均著查照屯生各縣地方分別蠲緩遞緩以紓民力餘著照所議辦理該撫即刊刻謄黃編行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1457 光緒十三年十二月十一日內閣奉

上諭吏部奏酌擬河工出力人員從優准獎並豫防流弊一摺前因河南鄭州河工關係甚鉅出力員弁准其從優保獎破格施恩茲據該部奏稱比照山東河工章程准其於工竣後將異常勤奮及其出力者分別奏保其調委各員若非奏咨有案不准濫行保獎所擬尚屬詳慎著依議行至河工

奏獎之業往往於堵築告成時列保多負偶有失
事僅止叅劾一二賞重罰輕何以示儆著李鴻藻
李鶴年倪文蔚查照該部所議各節覈實辦理俾
在工人負知立法至為嚴密獎敘非可倖邀庶幾
大工速歲帑不虛糜其山東各工並著張曜一體
遵照辦理餘依議該部知道欽此

1458 光緒十三年十二月十一日奉
旨准其抵銷欽此

吏部奏察議御史金壽松應得罰俸處分可否銷結旨

殊。 1459 騎都尉慶衍
旨著回原處

殊。 1460 世管佐領麟瑞
旨著回原處

殊。 1461 協領貴聯
旨著回原處

1462 交正紅旗蒙古本日引

見甯夏驍騎校一缺擬陪之前鋒普恭奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此文

十二月十一日

1463 交正黃旗滿洲本日引

見杭州驍騎校一缺擬陪之委前鋒校德松奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此文

十二月十一日

1464 交鑲白旗滿洲本日引

見黑龍江齊齊哈爾城協領呼倫貝爾驍騎校各一

缺擬陪之佐領桂昌無品級筆帖式德壽奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此文

十二月十一日

1465

交鑲藍旗漢軍本日引

見黑龍江佐領一缺擬陪之驍騎校托明阿奉

旨著記名欽此相應傳知

責旗欽遵可也此交

十二月十一日

1466 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示清漢摺片二十七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片五件圖一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月十一日奉

旨依議欽此

1467

曾國荃等摺二件遵擬批呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

1468

本日鑲白旗滿洲帶領引

見擬補

盛京驍騎校領催順喜一頁恭請

硃筆圈出發下謹

奏

1469

軍機大臣 字寄

伊犁將軍色 甘肅新疆巡撫劉 光緒十三

年十二月十二日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨本日據醇親王
奕譞等及戶部奏收到錫綸咨文內均有職官呈控
假冒軍餉等事抄錄原呈呈覽各摺片覽奏殊堪詫

異馬瑞麟呈控統帶馬亮縱令陳宗勝轟斃人命及馬亮鄧增等捏造欠款侵吞軍餉並牽涉大員廢弛營務各節所控案情重大虛實亟應澈底根究色楞額甫經赴任無所用其迴護著會同劉錦棠確切查明據實具奏毋稍徇隱至馬瑞麟於錫綸公文內擅附呈詞實屬膽大妄為即所計非虛亦應治以應得之罪著色楞額等一併查究按例懲辦原呈均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1470 文鑲黃旗滿洲本日引

見吉林防禦青州防禦各一缺擬陪之驍騎校吉勒

圖堪壽廣奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此文

十二月十日

1471 文鑲紅旗蒙古本日引

見荆州驍騎校一缺擬陪之領催榮壽奉

旨著記名欽此相應傳知

貴旗欽遵可也此文

十二月十日

1472 六品廕生景明

旨著發回原處以驍騎校用

1473 雲騎尉伊達瑪

旨著回原處

1474 八品廕監巴雅爾圖

旨著回原處

1475 六品廕生張模

旨著以通判用

1476 蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示清漢摺片十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件鈔呈原呈各二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月十二日奉

旨依議欽此

1477 光緒十三年十二月十三日內閣奉

上諭前因京師入冬以來未經得雪朕疊次親詣

大高殿拈香並派惇親王奕諒等分詣

時應宮等處拈香同申祈禱昨已溼沛祥雲郊原

滋潤仰荷

昊慈垂佑實感實深允宜敬謹報謝本月十五日朕親詣

大高殿拈香

時應宮著仍派惇親王奕諒

昭顯廟著仍派貝勒載漪

宣仁廟著仍派貝勒載滢

毅和廟著仍派貝勒載澍同於是日分詣拈香用

申祀謝仍冀仰邀

鴻貺渥澤頻施以慰農望欽此

1478 光緒十三年十二月十三日內閣奉

上諭李鴻章奏神靈顯應請頒扁額等語北運河河

西務汎河神廟素著顯應歷年大汎水勢異漲經

該處官民詣廟誠求旋即化險為平實深實感著

南書房翰林恭書扁額一方交李鴻章祇領飭屬

敬謹懸挂以答神庥欽此

1479 光緒十三年十二月十三日內閣奉

上諭李鴻章奏大城等處災歉地畝請分別蠲減緩

徵租銀等語直隸大城霸州靜海境內東淀清出

無糧地畝暨靜海南北兩泊地畝本年均被災歉

若將應徵租銀照常徵收民力實有未逮加恩著

照所請所有大城縣澆地十三頃額徵租銀十九兩零霸州澆地九頃五十三畝零額徵租銀二十八兩零均被災款著將大城應徵光緒十三年租銀減免十成之五銀九兩零霸州應徵光緒十三年租銀減免十成之五銀十四兩零減贖銀兩照常徵收靜海縣澆地三百五十五頃五十九畝零額徵租銀五百三十三兩零被災較重著將應徵光緒十三年租銀全行豁免內有未被災以前及上年花戶長完銀兩准抵作光緒十四年正賦靜海縣泊地二百七十三頃八十四畝零額徵租銀八百二十一兩零內泊地二百頃二畝零受災較重著將應徵光緒十三年租銀六百兩零全行豁免內有未被災以前花戶長完銀兩准抵光緒十四年正賦又被災次重泊地七十三頃八十一畝零應徵光緒十三年租銀二百二十一兩零著減免十分之五銀一百十兩零其餘減贖應徵銀一百十兩零內有未被災以前及上年花戶長完銀五十八兩零抵除外應照常徵銀四十一兩零下園等三村減贖應徵銀十兩零著緩至光緒十

四年秋後啟徵其有節年民欠均緩至光緒十四年秋後啟徵以紓民力該督卽刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副體恤民艱至意該部知道欽此

¹⁴⁸⁰ 光緒十三年十二月十三日內閣奉

上諭李鴻章奏文安等縣大窪地畝請豁免糧銀等語直隸文安東安天津三縣窪地或顆粒無收或收成減色若將應辦糧銀照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有文安縣蘇橋等五十一村大窪民糧地一千一百八十八頃十二畝零額徵光緒十三年有間糧銀五千七百九十五兩零除永蠲十成之三銀一千七百三十八兩零其餘徵七成銀四千五百七兩零著全行豁免東安縣馬子莊等二十九村原額減賦民糧地六百十頃八十四畝零應徵光緒十三年有間糧銀三千二百七十三兩零除未被水淹之范家等二村銀一百十三兩零照額全徵外其餘馬子莊等二十七村應徵銀三千一百六十兩零著減免一半銀一千

五百八十兩零其餘一半照常徵收天津縣趙沽里等十村減賦民糧地三百頃九畝零額徵光緒十三年有閏糧銀七百四十七兩零著全行豁免至各村內有從前花戶長完之項著准其抵作光緒十四年正賦其應徵節年未完糧銀並著緩至光緒十四年秋後啟徵以紓民力該督即刊刻勝黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副體恤民艱至意該部知道欽此

1481 光緒十三年十二月十三日內閣奉

上諭希元等奏請蠲緩賓州廳屬等處租賦銀穀開單呈覽等語吉林賓州廳等地方本年夏秋間陰雨連綿復遭冰雹收成歉薄若將應徵租賦銀穀照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有賓州廳等處本年應納租賦及甯古塔等地方應徵帶徵銀穀等項均著分別蠲免展緩以紓民力該將軍即按照單開數日刊刻騰黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念災區之至意該部知道欽此

1482 光緒十三年十二月十三日內閣奉

上諭貴恆奏請將篤行紳士優予獎勵等語據稱安徽在籍紳士五品銜前任直隸棗強縣知縣方宗誠早年績學經術湛深及官直隸亦能留心利濟生平正學純行實足矜式鄉閭深堪嘉尚方宗誠著加恩賞給五品卿銜以資觀感該部知道欽此

1483 交內務府本日引

見補放察哈爾羊羣護軍校達里崗崖羊羣護軍校各一缺擬陪之牧長策伯克札布牧長公森巴爾奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

十二月十三日

1484 交鑲藍旗滿洲本日引

見補放荊州防禦一缺擬陪之驍騎校松雲奉旨著記名欽此相應傳知
貴旗欽遵可也此交

十二月十三日

硃○

1485 補行引

見

盛京及歲恩騎尉奎仲海

旨著回原處

1486 蒙

發下摺報已奉

硃批十七件其餘應請

批示清漢摺片三十三件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片十一件圖一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月十三日奉

旨依議欽此

1487 慶裕等摺一件倪文蔚摺一件遵擬批條呈進

恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

1488 光緒十三年十二月十四日內閣奉

上諭閣敬銘奏病仍未痊懇請開缺一摺閣敬銘著

再賞假三箇月毋庸開缺欽此

1489 補行引

見黑龍江現已出痘雲騎尉全錫

旨著回原處

1490 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片二十三件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月十四日奉

旨依議欽此

1491 軍機大臣 字寄

順天府 五城御史 光緒十三年十二月十

五日奉

上諭張曜奏榮城縣地方海船觸礁村民撈搶滋事
逼官出結之附生李春浦等潛赴京城請飭查傳
等語生員李雲樓即李春浦著順天府五城御史
查明迅傳到案遞解山東歸案辦理原片均著摘

鈔給與閱看將此各諭令知之欽此遵
旨寄信前來

1492 光緒十三年十二月十五日內閣奉

上諭倪文蔚奏神靈顯應請頒扁額一摺河南汝甯

府暨考城沈邱汲縣遂平長葛臨漳等縣

城隍神並遂平縣

白龍神長葛縣

黑龍神臨漳縣

漳河神均素著靈應每遇地方災祲水旱經該官

紳虔誠祈禱立邀護佑無不轉危為安實深寅感

著南書房翰林恭書扁額各一方交該撫祇領飭

屬分別敬謹懸挂以答

神庥欽此

1493 光緒十三年十二月十五日內閣奉

上諭倪文蔚奏特參庸劣不職各員一摺河南署浙
川廳同知候補直隸州知州承印信任丁役物議
紛然盧氏縣知縣梅自修聽斷不明信用胥小候

補同知恩奎昏愚貪庸不堪造就懷慶府訓導孟
峴品學平常心地殘忍署舞陽縣教諭王士傑嗜
利營私難勝士表署舞陽縣典史童樹好與民事
不甚安詳均著即行革職汝州同孫麟育行止
卑鄙擾累地方候補通判瑞元制行有虧負漸倫
理均著革職永不敘用扶溝縣知縣沈祖煌才質
平庸難膺民社著以府經歷縣丞降補洧川縣知
縣董國良辦事顛預不知振作葉縣知縣劉際唐
精力頹唐公事竭蹶新野縣知縣劉青選性情軟
弱受制丁胥邾縣知縣馬階平絀於聽訟輿論未
孚均著以教職歸部銓選光州州判閔賅曾年力
就衰聲名亦劣浙川廳照磨張繩勳才本平庸已
就衰邁均著勒令休致唐縣知縣李普潤體弱多
病不能耐勞著開缺留省察看以肅官方餘依議
該部知道欽此

1494 光緒十三年十二月十五日內閣奉

上諭前據御史牟蔭喬劉綸襄奏山東榮城縣境內
輪船失事知縣信任劣紳擾害地方各一摺復據

都察院奏編修謝萬杭等呈控惡紳串通知縣捏
詞請兵逼斃多命等情先後諭令張曜確查覆奏
茲據奏稱保大輪船失事時沿海村民乘危撈搶
該縣知縣李文炳前往勘驗飭武舉于廷誥幫同
彈壓村民抗拒將于廷誥毆傷並傷斃鄉勇逼令
李文炳出具印結息事經道員戚宣懷提督孫金
彪帶營查辦該村民仍不交犯繳贖相持兩日始
飭該縣帶同勇役進大西莊等三村搜賊將滋事
首莊人犯帶回研訊分別取保解省審辦並無開
破轟擊騷擾斃命情事各等語此案提督孫金彪
道員戚宣懷被叅縱勇擾民各節既據查明並無
其事承審各員亦無妄拏拷問等情即著毋庸置
議榮城縣知縣李文炳於村民聚眾時未能詳晰
開導執行給予息事印結實屬庸懦無能著即行
革職武舉于廷誥雖無辜眾害民情事惟平日聲
名甚劣著即行斥革以示懲儆餘著照所議辦理
該部知道欽此

1495 補行引

見荊州及歲雲騎尉保福

旨著回原處

硃○

1496 補行引

見黑龍江現已出痘雲騎尉勝成

硃○ 旨著回原處

1497 補行引

見黑龍江現已出痘雲騎尉車本

硃○ 旨著回原處

1498 蒙

發下摺報已奉

硃批十四件其餘應請

批示漢字摺片單三十七件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十六件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月十五日奉

旨依議欽此

1499 李鴻章等摺一件倪文蔚片一件遵擬批條呈

進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

1500 據雲南巡撫譚鈞培咨送樣錢十文恭呈

御覽謹

奏

十二月十五日

1501 光緒十三年十二月十六日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨大學士管理戶部事務閻敬銘協辦大學士戶部尚書福錕戶部尚書翁同龢戶部左侍郎嵩申孫詒經吏部右侍郎前戶部右侍郎景善兵部右侍郎前戶部右侍郎孫家鼎均著加恩開復革職留任處分欽此

1502 光緒十三年十二月十六日內閣奉

上諭湖南長沙府知府負缺緊要著該撫於通省知府內揀覓調補所遺負缺著景文補授欽此

1503 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示清漢摺片十四件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺二件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月十六日奉

旨依議欽此

1504 光緒十三年十二月十七日內閣奉

上諭惇親王等奏恭修

玉牒告成請將在館出力人負從優獎敘一摺此次恭修玉牒卷帙繁多該承辦各員及謄錄供事等不辭勞瘁辦理妥速自應從優鼓勵所有提調官內閣侍讀學士壽蔭著以三品京堂遇缺提奏並賞戴花翎纂修官宗人府理事官奎郁著以四五品京堂補用並賞加四品銜祥霖著以四品京堂補用俟補缺後開列在前宗人府經歷經文泰著以副理事官無論題選遇缺即補並賞加四品銜宗人府副理事官署主事載皆著免補主事以本府副理事官無論題選遇缺即補並賞加四品銜宗人府副理事官

宜烈著以理事官無論題選遇缺即補並賞加四品銜宗人府主事明啟著作為試俸期滿以副理事官無論題選遇缺即補宗人府候補委署主事英慈著免補委署主事以經歷主事無論題選遇缺即補並賞加四品銜宗人府主事張祖謨著以員外郎分部無論題選咨留補用俸滿簽分禮部主事龔鎮湘著俟補缺後以本部員外郎無論題選咨留遇缺即補收掌官宗人府筆帖式增輝吉爾哈春均著免補委署主事以經歷主事遇缺即補俟補缺後賞加四品銜載如溥定福恩溥敦均著以委署主事遇缺即補瑞賢恩元載協均著以宗人府筆帖式遇缺即補俟補缺後以委署主事儘先補用繼仁恩寧麒振瑞吉均著以宗人府筆帖式遇缺即補以上各員俟補缺後均著免其試俸纂修官內閣侍讀奎華貴秀均著俟升郎中後以知府選用俟郎中離任歸知府班後賞加鹽運使銜騰錄官中書謙福著以中書不計旗分遇缺即補並賞加侍讀銜伊里布著作為候補侍讀遇缺即補並賞加四品銜崇昆著免補侍讀以郎中

分部遇缺即補英秀毓隆連兆均著以實缺中書不計旗分遇缺即補並賞加侍讀銜恆謙著以本堂中書不計旗分遇缺即補並賞加侍讀銜內閣候補侍讀榮椿著作為理藩院候補郎中無論滿蒙遇缺即補並賞加四品銜載取同知陳景輝著俟補同知後以知府歸候補班前補用並俟離同知任歸知府班後賞加鹽運使銜鮑恩綬著俟分發同知到省後免補本班以知府補用並俟歸知府班後賞加鹽運使銜中書趙執詒著俟補中書後作為候補主事分部無論題選咨留遇缺即補劉振鏞著開缺作為候補侍讀遇缺即行奏補並賞加四品銜葉壽松著以中書遇缺即補補缺後遇有侍讀缺出即行奏補于崇慶著以主事分部遇缺即補並賞加四品銜黃儒荃著俟補缺後作為歷俸期滿以侍讀遇缺即補區湛森著遇有侍讀缺出即行奏補先換頂戴分發浙江試用同知楊奎綬著免補同知以知府仍留原省補用並賞加鹽運使銜分發福建試用同知郎慶恩著免補同知以知府仍留原省歸候補班前補用並賞加鹽運

使銜中書楊保彝著免補中書作為候補侍讀遇
缺即補並賞加四品銜姚景燮著俟服闋截取同知
得缺後以知府在任候補並俟離同知任歸知府
班後賞加鹽運使銜王庚年著俟服闋截取同知
得缺後以知府在任候補並俟離中書任歸同知
班後賞加知府銜纂修官禮部員外郎那桂著免
補員外郎作為本部郎中遇缺即補並賞加四品
銜騰錄官禮部筆帖式潤澤著賞加一級並俟升
主事後賞加四品銜啟綬著在任以本部主事遇
缺即補並賞加五品銜輔勳著俟升主事後在任
以本部員外郎遇缺即補並賞加四品銜清治著
在任以本部主事遇缺即補先換頂戴麟祐著在
任以本部主事遇缺即補並賞加五品銜榮勛著
在任以漢字堂主事本班儘先即選先換頂戴清
昶著俟補缺後在任以本部主事遇缺即補先換
頂戴益壽著在任以本部主事遇缺即補供事布
政使司經歷陳毓琪著賞加四品銜並給四品封
典汪湘著仍俟選缺後免補同知以知府在任歸
候補班即補俟離任歸知府班後賞加鹽運使銜

縣丞張覲辰著免補本班以州判仍分發省分歸
候補班前即補並賞加五品銜孟詰士著以府
經歷分發省分歸候補班即補並賞加六品銜未
入流周汝楫著以典史分發省分歸候補班補用並
賞加六品銜按察司經歷李春貴著免補本班以
通判仍分省歸候補班即補並賞加同知銜縣丞
陳懷棟著仍以縣丞分發省分歸候補班即補俟
補缺後以知縣在任補用馬堃榮著以布政使司
理問不論雙單月歸議敘班前儘先即選並賞加
知州銜王子琛著以縣丞分發省分歸候補班前
即補並賞加六品銜陳葆卿著以按察司經歷不
論雙單月遇缺即選並賞加五品銜汪文炳著以
府經歷不論雙單月歸議敘班前即選並賞加六
品銜主簿周濱著以州判不論雙單月歸議敘班
前即選州判傅鈞著俟選缺後在任以知縣補用
縣丞楊振鵬著俟補缺後以應升之缺升用並賞
加理問銜按經歷金培源著賞換五品銜巡檢曹
金琛著俟補缺後以府經歷歸議敘班前即補
卒其汶著以縣丞不論雙單月儘先即選並賞加

六品銜滕含英著以府經歷不論雙單月過缺儘先前選用並賞加六品銜疏芸著以巡檢不論雙單月歸議敘班前先選用並賞加六品銜管毓釗著以典史不論雙單月選用吳鳳翔著以縣丞不論雙單月歸議敘班前即選崔同熙著以巡檢不論雙單月歸議敘班選用李洞著以府經歷不論雙單月歸議敘班儘先前即選龔慶龍著以巡檢選用唐繼傳著以縣丞不論雙單月歸議敘班儘先選用並賞加六品銜丁志康著以巡檢不論雙單月歸議敘班儘先選用張沐慶著以縣丞不論雙單月歸議敘班前選用並賞加六品銜縣丞張嘉駿著以縣丞歸先儘班前過缺即補俟補缺後以知縣補用陳懷榮著以府經歷不論雙單月歸議敘班儘先前即選並賞加六品銜州同尹保哀著俟選缺後在任以知州補用並賞給四品封典未入流孫緝光著以巡檢不論雙單月過缺即選並賞給六品封典李世斌著以縣丞不論雙單月過缺即選並賞加六品銜州判張紳著以州同不論雙單月過缺即選並賞加四品銜孫緝文著以縣

丞不論雙單月過缺即選並賞加六品銜從九品李英著賞加六品銜並給六品封典巡檢張金揚著仍以巡檢不論雙單月歸議敘班前即選並給六品封典黃自新著以府經歷不論雙單月歸議敘班前即選並賞加六品銜蘇鴻鈞著以縣丞不論雙單月歸議敘班前即選並賞加六品銜朱蔭森著以縣丞不論雙單月儘先選用餘著照所議辦理另片奏纂修等官出力如何優獎請旨各等語纂修官侍讀隆文著賞加三品銜並隨帶加二級禮部郎中桂斌著以五品京堂補用典籍薛浚著賞加四品銜並隨帶加二級該部知道單一件片二件併發欽此

1505 蒙

發下摺件已奉

硃批四件其餘應請

批示漢字摺片單二十二件分別繕擬批條呈進

恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單八件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月十七日奉

旨依議欽此

1506 光緒十三年十二月十八日內閣奉

上諭本年河南鄭工決口黃流入淮安徵濱淮各州

縣猝被水災業經降旨加恩截留河運漕糧俾資

賑濟並准陳夔所請分別別徵緩徵錢漕藉紓民

力灾黎諒可不至失所第念皖北被灾各屬農田

積水未消尚難播種來春青黃不接為日方長飢

民嗷嗷待哺何以為生深宮廬念寢饋難安允宜

特發帑金以資接濟著再加恩於該省節年漕折

項下撥銀五萬兩蕪湖關常稅項下撥銀五萬兩

以備來年春賑之用即著陳夔照數提支督飭印

委各員查明各屬被災輕重情形分別散放准其

作正開銷務期覈實經理毋任稍有弊混用副軫

念民艱有加無已至意該部知道欽此

1507 蒙

發下摺件已奉

硃批六件其餘應請

批示漢字摺片十二件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月十八日奉

旨依議欽此

1508 李鶴年摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定候

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

十二月十八日

1509 軍機大臣 字寄

欽差督辦河南鄭州大工事宜禮部尚書李 署河

東河道總督李 河南巡撫倪 光緒十三年

十二月十九日奉

上諭摘鈔交吏部起李鶴年倪文蔚奏籌議該吉開工情形一摺覽

奏均悉河工辦法關緊甚重全在該署河督等察

看情形妥慎定議朝廷不為遙制據奏現照紹誠

所議先從挑水壩做起俟進占百餘丈後三路進

堵逐節進廂等語即著李鴻藻會同李鶴年倪文

蔚督飭在工各員認真辦理此次開工日期逾久

始定務當迅催趕辦以速補運李鶴年身任河督

尤屬責無旁貸毋再遷延干咎辦工以集料為第

一義著倪文蔚嚴飭地方各官儘力採辦源源接

濟並督察收料各員隨到隨收儘敢耽延抑勒即

著從嚴叅辦另片奏辦料州縣分別獎勵懲儆等

語鄭州知州馬玉麟禹州知州李樹基杞縣知縣

張徽滎陽縣知縣李樹藩均著交部從優議敘署

洛陽縣知縣康乃猷邙縣知縣馬階平汜水縣知

縣馮爾城淇縣知縣吉元署夏邑縣知縣張鑑堂

署虞城縣知縣李錫朋許州知州方昨勳署祥符

縣知縣朱升吉均著摘去頂戴以示勸懲將此由

五百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

摘鈔交吏部

1510 蒙

發下摺報已奉

硃批四件其餘應請

批示清漢摺片單二十五件分別繕擬批條呈進

恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月十九日奉

旨依議欽此

1511 交吏部步軍統領衙門本日軍機大臣面奉

南城御史

諭旨巡視南城御史隆恩等奏盜傷重案請將坊官

先行摘頂勒限嚴緝一摺南城副指揮白荃著摘

去頂戴勒限嚴緝賊犯務獲究辦並著步軍統領

衙門嚴飭該營汛認真會緝欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交計黏鈔摺一件

十二月二十日

1512

交順天府兵部刑部步軍統領衙門五城御史

本日軍機大臣面奉

諭旨御史成斌奏軍流徒犯潛逃來京煽惑滋事請

飭拏解並嚴定章程一摺軍犯王情等著步軍統

領衙門順天府五城御史一體按名嚴拏務獲究

辦所請嚴定章程之處著刑部會同兵部妥議具

奏欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交計黏鈔摺一件

十二月二十日

1513 蒙

發下摺報已奉

硃批十件其餘應請

批示清漢摺片三十一件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺八件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月二十日奉

旨依議欽此

1514 光緒十三年十二月二十一日內閣奉

上諭衛榮光奏查明各屬荒廢未種田地並新種之
產請將地漕等項分別蠲免徵蠲一摺浙江各屬
荒廢未種各產經該撫督飭屬員認真查勘有現
尚荒蕪者有甫經開墾者若將地漕等項照常徵
收民力實有未逮加恩著照所請所有杭州等府
屬錢塘等三十州縣暨杭嚴衛杭嚴二所嘉湖衛
嘉所共新墾田地山塘蕩二百四十一項四十四
畝零應照科則徵收錢漕外其仍荒未種暨沙淤
築塘挖掘濠壘坍塌並流亡未報荒蕪缺額民屯沙
牧學措各田地山塘蕩濠共四萬八千八百六十
八項十四畝零應徵光緒十三年分地丁等項正
耗錢糧漕白等項米石沙牧學措等租銀錢著全

行蠲免本年臨安新城潛昌化武康安吉孝豐等七
縣共新墾田二十一項九十六畝零著於十三年
全蠲十四年半蠲錢塘富陽餘杭臨安新城於潛
昌化龍游等八縣並杭嚴衛杭所共新墾民屯田
地山塘蕩六十一項七十八畝零著酌徵五成蠲
免五成以紓民力餘著照所議辦理該撫卽刊刻
謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用
副軫念民艱至意該部知道欽此

1515 光緒十三年十二月二十一日內閣奉

上諭衛榮光奏查明各屬歉收田地請分別蠲緩地
漕一摺浙江杭州等府屬本年被水被旱收成較
薄並有沙淤石積尚未懇復田地若將應徵錢漕
照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有杭州府
屬之仁和錢塘海甯富陽餘杭嘉興府屬之嘉興
秀水嘉善海鹽平湖石門桐鄉並嘉所湖州府屬
之歸安烏程長興德清武康安吉孝豐並湖所紹
興府屬之山陰會稽蕭山諸暨台州府屬之臨海
黃巖天台嚴州府屬之建德淳安遂安桐廬分水

並嚴所處州府屬之麗水松陽等州縣所歉收民屯學沙收各田地共八千七百九頃十一畝零錢塘等三十二縣及杭衢二所各年沙淤石積本年仍難墾復民屯學各田地共一千七百九十五頃十一畝零統共本年歉收田地一萬五百四頃二十三畝零應徵光緒十三年分地丁等項正耗錢糧漕白等項米石沙牧學等租銀錢繳收者著緩至來年麥熟起限一年徵完沙淤石積者著全行蠲免至秋收減色之臨安於潛餘姚上虞新昌嵊縣甯海仙居金華蘭谿東陽義烏永康武義浦江湯溪西安龍游江山常山開化壽昌永嘉瑞安平陽泰順縉雲青田龍泉景甯宣平等縣及杭州台州衢州等衛所與歉收各州縣所未完各年舊欠暨原緩帶徵地漕各銀米均著遞緩一年徵收以紓民力餘著照所議辦理該撫即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1516 光緒十三年十二月二十一日內閣奉

上諭岑毓英等奏官軍攻破保黑賊巢擒獲首逆並籌辦善後一摺雲南順甯府邊境保黑夷匪叛服靡常屢為邊患近因首逆張登發糾合匪黨四出滋擾經岑毓英等調派官軍分道進剿連獲勝仗攻破逆營百餘座奪獲器械火藥甚多招出漢夷萬餘人將張登發之子張石仔弟張怔良偽軍師楊定幗先後擒獲旋於大菁山等處將嚴洞搜獲張登發一併軍前正法地方一律肅清辦理甚為妥速岑毓英前得降二級留任處分著加恩開復所有在事出力文武及陣亡受傷官弁兵勇准其奏請獎卹至保黑地方應如何添設文武員弁扼要管轄之處著該督撫酌度情形妥議具奏該部知道欽此

1517 光緒十三年十二月二十一日內閣奉

上諭巡視東城御史本貴等奏遵保拏獲鄰境盜犯出力之坊官紳董懇准給獎一摺著該部議奏欽此

1518

光緒十三年十二月二十一日內閣奉

上諭安徽安慶府知府負缺緊要著該撫於道省知府內揀負調補所遺負缺著王汝礪補授欽此

1519

光緒十三年十二月二十一日內閣奉

上諭李秉衡奏各屬民力竭蹶請將地丁兵米分別蠲緩帶徵一摺廣西泗城等府州屬或被風雹或被水灾收成均形歉薄元氣未復仍形拮据若將應徵地丁兵米照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有泗城府屬之凌雲太平府屬之上思平樂府屬之賀縣柳州府屬之馬平象州鬱林直隸州屬之興業等六州縣應徵光緒十三年錢糧銀兩著各蠲免十分之三其餘七分歸入本年啟徵桂林府屬之永福太平府屬之崇善左州養利永康恩恩府屬之遷江等六州縣應徵光緒十三年錢糧銀兩著各蠲免十分之二其餘八分歸入本年啟徵桂林府屬之臨桂靈川義甯潯州府屬之桂平平南武宣南甯府屬之永淳柳州府屬之來賓等八縣應徵光緒十三年錢糧銀兩著各以八

分歸入本年啟徵其餘二分分限三年帶徵臨桂靈川義甯武宣永淳來賓等六縣均有緩徵光緒十二年錢糧銀兩著俟帶徵光緒十二年錢糧限滿後接續帶徵桂平平南二縣並無緩徵光緒十二年錢糧著自光緒十四年起分三年帶徵凌雲馬平象州等三州縣應徵光緒十三年兵米著各蠲免十分之三其餘七分歸入本年啟徵永福崇善二縣應徵光緒十三年兵米著蠲免十分之二其餘八分歸入本年啟徵臨桂靈川義甯武宣桂平平南永淳來賓等八縣應徵光緒十三年兵米著各以八分歸入本年啟徵其餘二分分限三年帶徵臨桂靈川義甯武宣永淳來賓等六縣均有緩徵光緒十二年兵米著俟帶徵光緒十二年兵米限滿後接續帶徵桂平平南二縣並無緩徵光緒十二年兵米著自光緒十四年起分限三年帶徵以上各州縣光緒十二年錢糧銀米應歸光緒十三年帶徵者著展至光緒十四年啟徵進行推緩一年以紓民力餘著照所議辦理該護撫即刊刻謄黃編行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1520 光緒十三年十二月二十一日內閣奉

上諭鴻臚寺卿鄧承脩奏假期已滿病仍未痊懇請
開缺一摺鄧承脩著賞假一月毋庸開缺欽此

1521 光緒十三年十二月二十一日奉
旨均著准其抵銷欽此

兵部奏遵議侍衛傳估等處可否准其抵銷請旨摺

1522 蒙

發下摺件已奉

硃批二件其餘應請

批示清漢摺片七件分別繕擬批條呈進恭候
欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十三件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月二十一日奉

旨依議欽此

1523 徐承祖摺片單五件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

十二月二十一日

1524 光緒十三年十二月二十二日內閣奉

上諭李鴻章奏神靈顯應請頒扁額等語直隸故城縣

關帝廟

城隍廟蔚州

城隍廟均著靈應每遇地方水旱癘疫經各官民

虔詣祈禱均邀護佑實感實深著南書房翰林恭

書扁額各一方交李鴻章祇領飭屬分詣敬謹懸

挂以答

神麻欽此

1525 蒙

發下摺報已奉

硃批十五件應請

批示漢字摺片單二十五件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理李鴻章奏神靈顯應請

頒扁額片擬繕明發

諭旨令南書房翰林恭書扁額頒發給領是否有當

伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月二十二日奉

旨依議欽此

1526 蒙

發下摺報已奉

硃批十六件其餘應請

批示清漢摺片二十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理裕祿奏總兵周瑞龍應否迴避本

籍片查鎮守鎮苗疆緊要擬請

批旨毋庸迴避恭候

命下道繕批條呈進謹

奏

光緒十三年十二月二十三日奉

旨依議欽此

1527 裕祿片一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

十二月二十三日

1528 光緒十三年十二月二十四日內閣奉

上諭戶部奏遵議譚鍾麟奏請將解足甘肅新餉各
 員分別獎敘開單呈覽一摺甘肅新餉關緊要
 所有婦數批解各員自應量加獎敘山西布政使
 張煦河南布政使劉瑞祺前署河南布政使許振
 祿安徽布政使阿克達春湖南布政使孫翼謀均
 著賞給頭品頂戴前山西布政使高崇基前署山
 西布政使嵩崑前署湖南布政使崔穆之湖北布
 政使蒯德標湖北鹽法道瞿廷韶山西河東道邁拉
 議敘前署湖北鹽法道瞿廷韶山西河東道邁拉
 邁均著賞給二品頂戴前護山西河東道俞廉三
 著賞加隨帶二級前安徽布政使升任漕運總督
 盧士杰前陝西布政使升任陝西巡撫葉伯英兩
 江總督曾國荃湖廣總督裕祿湖北巡撫奎斌湖
 南巡撫卞寶第山西巡撫剛毅江蘇巡撫崧駿安
 徽巡撫陳彝前河南巡撫邊寶泉均著交部從優
 議敘以示鼓勵該部知道單併發欽此

1529 光緒十三年十二月二十四日內閣奉

上諭禮部奏遵議休致江西巡撫李文敏捐田贍族
 可否賞給扁額請旨辦理一摺李文敏克承先志
 捐修宗祠義莊廣置義田並增書院膏火等費奉
 贍宗親嘉惠寒畯古誼可風著南書房翰林恭書
 扁額一方賞給該前撫祇領以示嘉獎欽此

1530 光緒十三年十二月二十四日奉

旨均著毋庸減等欽此

刑部奏官紀彙奏事摺

1531 蒙

發下摺報已奉

硃批二件其餘應請

批示漢字摺一件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十四件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月二十四日奉

旨依議欽此

1532 軍機大臣 字寄

欽差督辦河南鄭州大工事宜禮部尚書李 署河

東河道總督李 河南巡撫倪 光緒十三年

十二月二十五日奉

上諭祭酒成豆奏大工缺料難期堵合請開用甄石

一摺前因鄭工需料甚殷諭令李鶴年等兼用柳

枝竹石輔稽料之不足本日該祭酒所奏參用舊

甄竹石亦本前人成法係為早日蒞工起見尚屬

可採即著李鴻藻會同李鶴年倪文蔚妥速籌商

奏明辦理至所稱工負駁回運料州縣加派錢文

等弊並著該尚書等確加訪察如有其事立即從

嚴叅辦原摺均著鈔給閱看將此由四百里各諭

令知之欽此遵

旨寄信前來

1533 光緒十三年十二月二十五日內閣奉

上諭兵部左侍郎著師曾轉補綿宜著調補兵部右

侍郎理藩院右侍郎著慶福補授欽此

1534 應調滿洲侍郎人負名單

吏部左侍郎松淮

右侍郎景善

戶部左侍郎嵩申

右侍郎熙敬

禮部左侍郎敬信

右侍郎續昌 現兼署刑部右侍郎

珠。兵部右侍郎師曾

刑部左侍郎桂全

右侍郎貴恆 現出學差

工部左侍郎烏拉布

右侍郎清安

理藩院左侍郎崇禮

○ 右侍郎綿宜 現在請假

倉場侍郎興康

盛京戶部侍郎啟秀

禮部侍郎文輝

兵部侍郎鳳秀

刑部侍郎英煦

工部侍郎阿克丹

1535

應升滿洲侍郎人負名單
殊 ○ 內閣學士慶福

恩崇

文興

寶昌

豐烈

文治

都察院左副都御史奕年

志元

通政使司通政使奕秋

大理寺卿明桂

詹事府詹事福楸

1536 光緒十三年十二月二十五日內閣奉

上諭劉錦棠奏鎮西廳等處被災請將額徵糧草分別蠲緩一摺新疆鎮西庫爾喀喇烏蘇拜城本年被水被雹被凍被鼠致成災歉若將應徵糧草照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有鎮西廳屬成災地四萬三百二十三畝零本年額徵糧三千七十七石零庫爾喀喇烏蘇廳新老各戶成災地四百八十畝本年額徵糧四十六石零著概予豁免其鎮西廳十一十二兩年民欠額糧十三年所借籽種並庫爾喀喇烏蘇廳新安各戶借領成本均著緩至來年秋收帶徵拜城縣屬被水被雹計地一萬四十八畝零本年額糧一百九十四石零草八千五百五十六觔零著緩至來年徵收以紓民力餘著照所議辦理該撫即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副體恤民艱至意該部知道欽此

1537 光緒十三年十二月二十五日內閣奉

上諭溥廉奏病難速痊懇請開去差使並請停俸一摺溥廉著准其開去差使並著停俸欽此

1538 光緒十三年十二月二十五日內閣奉

上諭兵部左侍郎耀年由司員洊升卿貳管理神機營事務補授總管內務府大臣勤慎從公克稱厥職茲聞溘逝軫惜殊深加恩著賞給太子少保銜照侍郎例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏伊子祥蔭著加恩以主事用欽此

1539 光緒五年八月十四日內閣奉

上諭吏部左侍郎成林由司員洊升卿貳在總理各國事務衙門行走補授總管內務府大臣左翼總兵練達勤能克盡厥職茲聞溘逝軫惜殊深加恩著賞給太子少保銜照侍郎例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏伊子主事懷清著加恩賞給員外郎俟及歲時分部學習行走欽此

1540 光緒十年十一月二十七日內閣奉

上諭總管內務府大臣廣順由司員升任上駟院卿洊授今職當差勤慎前因病給假方冀就痊遽聞溘逝殊堪軫惜伊孫嵩祺著加恩以主事用欽此

1541 光緒十三年十二月二十五日奉

旨恭錚著加恩以道員選用欽此

戶部奏恭錚捐賑應如何獎敘摺

1542 蒙

發下摺報已奉

硃批一件其餘應請

批示清漢摺片單二十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺八件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月二十五日奉

旨依議欽此

1543 光緒十三年十二月二十六日內閣奉

上諭崇光著補授總管內務府大臣欽此

1544 應放總管內務府大臣名單

大學士額勒和布

恩承

吏部尚書錫珍

禮部尚書奎潤

兵部尚書烏拉喜崇阿

刑部尚書麟書 現在穿孝

工部尚書崑岡

理藩院尚書紹祺 現兼署刑部尚書

都察院左都御史松森

吏部左侍郎松桂

右侍侍郎景善

戶部右侍郎熙敬

禮部左侍郎敬信

右侍郎續昌 現兼署刑部右侍郎

兵部右侍郎綿宜 現在請假

刑部左侍郎桂全

右侍郎貴恆 現出學差

工部左侍郎烏拉布

右侍郎清安

理藩院左侍郎崇禮

右侍郎慶福

內閣學士恩崇

文興

寶昌

豐烈

文治

1545 應放總管內務府大臣名單

上駟院卿德慶

武備院卿文璧
硃。奉宸苑卿崇光

1546 應放總管內務府大臣人負名單

都統

惇親王

尚宗瑞

景壽

奕綱假

載漪

伯彥訥謨祜

常順

豫親王本格

克勤郡王晉祺

禮親王世

怡親王載敦

奕謨

慶郡王奕劻

長善

榮祿
肅親王隆懃

1547 應放總管內務府大臣人負名單

副都統

扎拉豐阿

文秀

倭恆額差

致麟

嵩山

恩全

承綬

海英

容貴

特爾慶阿差

連慶

符珍

明秀

芬車

長春

安興阿

尚昌懋字李

謙光

溥儀差

豐陞阿差

桂祥

德福

恩普

德隆

色普徵額

秀吉

耆齡

惠銘

富森布

福森布

恩佑

花尚阿

吉恆

1548 光緒十三年十二月二十六日內閣奉

上諭剛毅奏查明各屬被災情形懇恩分別蠲緩錢糧等項一摺本年山西陽曲等廳州縣被水被蝕被雹被霜各地方夏麥秋禾收成均形歉薄若將新舊錢糧米豆土鹽各稅照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有陽曲縣拐角村東菜園村應徵光緒十三年正耗錢糧米豆土鹽稅著全行蠲免太原滿洲駐防園占陽曲縣民地花撥太原縣地租抵完正賦內太原縣城北村牛家營南阜村賈家莊北阜村河下村將軍村野場村等八村應抵完陽曲縣園地光緒十三年正耗錢糧改徵豆土鹽稅著蠲免十分之七太原縣東城角一村應抵完陽曲縣園地光緒十三年正耗錢糧改徵豆土鹽稅著蠲免十分之六又東莊村三家村等二村應抵完陽曲縣園地光緒十三年正耗錢糧改徵豆土鹽稅著蠲免十分之四以上城北等十一村蠲餘銀糧著緩至光緒十四年秋後起分作三年帶徵又五府營北吳家堡等二村應抵完陽曲縣園地光緒十三年正耗錢糧改徵豆土鹽稅

著蠲免十分之二又東莊營一村應抵完陽曲縣
園地光緒十三年正耗錢糧改徵豆土鹽稅著蠲
免十分之一以上五府營等三村蠲餘銀糧著緩至
光緒十四年秋後起分作二年帶徵太原縣城北
村牛家營南阜村北阜村賈家莊小營村北河下
村南河下村蒿荒村萬化堡野莊村將軍莊鶯歸
店鹽堡村北瓦窰薛店村西攢村東攢村西賈村
東賈村小營屯橫河村黑馬營西榮村等二十四
村應徵光緒十三年下忙正耗錢糧米豆改徵豆
河租穀折米等項著蠲免十分之七又古寨村東
城角西北格三家村東莊村等五村應徵光緒十
三年下忙正耗錢糧米豆改徵豆河租穀折米等
項著蠲免十分之四以上城北等二十九村莊蠲
餘銀糧著緩至光緒十四年秋後起分作三年帶
徵又木廠頭吳家堡梁家寨五府營小北格等五
村應徵光緒十三年下忙正耗錢糧米豆改徵豆
河租穀折米等項著蠲免十分之二又南瓦窰侯
家寨東莊營梁家莊劉家堡等五村應徵光緒十
三年下忙正耗錢糧米豆改徵豆河租穀折米等

項著蠲免十分之一以上木廠頭等十村蠲餘銀
糧著緩至光緒十四年秋後起分作二年帶徵其
各該村內有城北村小營村南阜村北阜村牛家
營賈家莊南河下村鶯歸店萬花堡蒿荒村小北
侯家寨西北格劉家堡西攢村東攢村薛家店西
賈村橫河村小營屯東賈村西榮村黑馬營梁家
莊鹽堡村吳家堡北河下村東莊村東城角村五
府營等三十村光緒十二年被水業內原緩至光
緒十三年分年帶徵正耗錢糧米豆改徵豆河租
穀折米等項著一併蠲免祁縣寄莊平遙縣東山
湖西山湖等二村應徵光緒十三年正耗錢糧米
豆改徵豆屯米河租穀等項著蠲免十分之四蠲
餘銀糧著緩至光緒十四年秋後起分作三年帶
徵該二村光緒十二年被水業內原緩至光緒十
三年秋後起分年帶徵正耗錢糧米豆改徵豆屯
米河租穀等項著遞緩至光緒十四年秋後起分
年帶徵又祁縣秦村豐澤村等二村沙淤民屯地
三十四頃九十二畝零應徵地丁正銀一百六十
五兩零耗羨銀二十一兩零兵米五石零兵豆七

斗零改徵豆價銀八分零土鹽稅銀三兩零屯米
二石零河灘租穀四斗著自光緒十三年起永遠
豁免又該縣豐固村西高堡東西營豐澤村北谷
豐雅安村等六村光緒十二年被水案內原緩至
光緒十三年秋後起分作二年帶徵正耗錢糧米
豆改徵豆屯米河租穀等項著緩至光緒十四年
秋後起仍分二年帶徵徐溝縣鷺池孟封小東社
等三村應徵光緒十三年下忙正耗錢糧米豆改
徵豆等項著蠲免十分之七又閭家營一村應徵
光緒十三年正耗錢糧米豆改徵豆等項著蠲免
十分之七又鷺池孟封等二村應徵光緒十三年
上忙錢糧米豆改徵豆著蠲免十分之二又西羅
村楊房營南程北程師家堡大常鎮等六村應徵
光緒十三年下忙正耗錢糧米豆改徵豆著蠲免
十分之四以上閭家營等十村蠲餘銀糧內有被
灾十分八分者分作三年帶徵被灾七分者分作
二年帶徵其閭家營孟封鷺池小東社楊房營南
程北程師家堡等八村有光緒十二年被水案內
原緩至光緒十三年分年帶徵正耗錢糧米豆改

徵豆土鹽稅等項著緩至十四年秋後起仍各分
年帶徵又東于村荒地四十三頃四十畝零著將
應徵正耗錢糧米豆改徵豆自光緒十三年下忙
起暫行停徵文水縣南徐北徐中社龍泉營兒並
隨附之桑子屯等五村內沙蘇地畝應徵光緒十
三年正耗錢糧米豆土鹽稅著全行蠲免樊家莊
里洪村楊家寨麻家寨韓武村東宜亭明陽河西
上河頭北峪口等九村應徵光緒十三年下忙正
耗錢糧米豆土鹽稅著蠲免十分之四以上南徐
等十四村莊蠲餘銀糧著緩至光緒十四年秋後
起分作三年帶徵永樂村宋家莊武家寨石家莊
南徐村小徐家莊明陽河北宜兒村武午村北徐
村武村鄭家莊等十二村莊應徵光緒十三年下
忙正耗錢糧米豆土鹽稅著蠲免十分之二又上
河頭村明陽河西麻家寨里洪村樊家莊北峪口
等六村應徵光緒十三年上忙正耗錢糧米豆土
鹽稅著蠲免十分之二南徐村宋家莊宜兒村武
午村桑村明陽河北陽家寨武家寨東宜亭等九
村應徵光緒十三年上忙正耗錢糧米豆土鹽稅

等項著蠲免十分之一以上永樂等二十七村莊
蠲餘銀糧均著緩至光緒十四年秋後起分作二
年帶徵其東宜亭一村光緒六年並八年被水業
內蠲餘銀糧原遞緩至光緒十二年秋後帶徵鄭
家莊武村等二村光緒八年被水業內蠲餘銀糧
原遞緩至光緒十二年秋後徵收北徐村光緒十
一年被水業內蠲餘銀糧原緩至光緒十二年秋
後帶徵宋家莊楊家寨併隨附之武家寨武午村
宜兒村南徐村樊家莊里洪村麻家寨明陽河西
上河頭小徐家莊北峪口等十三村光緒十二年
被水業內蠲餘銀糧原緩至光緒十三年秋後起
分年帶徵所有以上東宜亭等十七村原緩並遞
緩蠲餘錢糧米豆土鹽稅著全行豁免襄陵縣賈
朱西賈南賈義店司馬中陳北靳等七村沙石積
壓地十二頃三十八畝零北關廟北水下寺興義
廣智通信等五社沙石積壓地二頃三十二畝零
應徵正耗錢糧粟米著自光緒十三年下忙起暫
行停徵屯裏村應徵光緒十三年下忙正耗錢糧
著蠲免十分之一蠲餘銀糧緩至十四年秋後起

分作二年帶徵曲沃縣上平望村北平望村西里
村西小里村東小里村西高村等六村應徵光緒
十三年下忙正耗錢糧著蠲免十分之二褚村東
高村台神村下平望村觀莊大里村等六村應徵
光緒十三年下忙正耗錢糧著蠲免十分之一以
上上平望等十二村蠲餘銀兩均著緩至光緒十
四年秋後起分作二年帶徵汾陽縣演武鎮師家
莊韓家橋辛蓋村西堡障西河堡東堡障等七村
應徵光緒十三年地丁正耗錢糧土鹽稅著蠲免
十分之四蠲餘銀糧自光緒十四年秋後起分作
三年帶徵尹家社北上達東鄧槽頭等三村應徵
光緒十三年地丁正耗錢糧土鹽稅著蠲免十分
之二東社村閻家社狄家社南開社裴會鎮西大
王村乾河村辛莊則等八村應徵光緒十三年地
丁正耗錢糧土鹽稅著蠲免十分之一以上尹家
社等三村東社村等八村蠲餘銀糧均著緩至光緒
十四年秋後起分作二年帶徵該縣光緒十二年
被水成災案內有乾河村韓家橋演武鎮東堡障
西堡障師家莊裴家會辛蓋村西河堡東社村尹

家社狄家社東鄧槽頭南開社閻家社辛莊則北
上達西大王村等十八村蠲餘正耗錢糧土鹽稅
原緩至光緒十三年秋後起分年帶徵著一併豁
免又愛子村古浮圖招賢村牛家莊羅城鎮大相
村小相村北小堡小羅城史家堡新莊村瀦城村
申家堡望春村西雷家堡等十六村蠲餘正耗錢
糧土鹽稅原緩至光緒十三年秋後起分年帶徵
著展緩至光緒十五年麥熟後分年帶徵平遙縣
梁周北三狼左家堡曹家堡里世北營東山湖西山
湖郝莊陶屯安固招賢併汾陽寄莊之演武鎮韓
家橋等十四村應徵光緒十三年地丁正耗錢糧
土鹽稅等項著蠲免十分之四西莊腰莊蔣家堡
小王家莊田家堡東豐依李家橋南營新莊道備
香樂羌城雲家莊併汾陽寄莊之尹家社北上達
等十五村應徵光緒十三年地丁正耗錢糧土鹽
稅等項著蠲免十分之二曹村達蒲大王家莊東
莊西堡白家莊西遊駕並汾陽寄莊之東社閻家
社狄家社南開社裴會鎮等十二村應徵光緒十
三年地丁正耗錢糧土鹽稅等項著蠲免十分之

一以上梁周等十四村莊蠲餘錢糧著自光緒十
四年秋後起分作三年帶徵西莊等十五村曹村
等十二村蠲餘錢糧著自光緒十四年秋後起分
作二年帶徵該縣東張趙村有光緒十一年被水
案內蠲餘正耗錢糧土鹽稅西豐依等十一村並
以上本年被水各村有光緒十二年被水案內蠲
餘正耗錢糧土鹽稅原緩至光緒十三年分年帶
徵著一併展緩至光緒十四年秋後起分年帶徵
介休縣禮城中街東堪泉等三村應徵光緒十三
年地丁正耗錢糧土鹽稅等項著蠲免十分之四
羅王莊楊家堡孟村北鹽場大宋曲南鹽場東大
期西大期邢村等九村應徵光緒十三年地丁正
耗錢糧土鹽稅等項著蠲免十分之二北辛武宋
家圪塔席村師屯北截朱家堡南橋頭孫家寨韓
屯村小宋曲北張家莊小圪塔樂善村等十二村
應徵光緒十三年地丁正耗錢糧土鹽稅等項著
蠲免十分之一以上禮城等三村蠲餘正耗錢糧
土鹽稅等項著自光緒十四年上忙起分作三年
帶徵羅王莊等九村並北辛武等十二村蠲餘正

耗錢糧土鹽稅等項均著自光緒十四年上忙起分作二年帶徵其禮城中街孟村那村朱家堡南鹽場小圪塔北辛武北鹽場北張家莊宋家圪塔孫家寨樂善村屯北截楊家堡席村東大期西大期韓屯村南橋頭羅王莊大宋曲小宋曲等二十三村光緒十二年被水案內原緩至光緒十三年帶徵正耗錢糧土鹽稅著全行蠲免猗氏縣陳家莊南家莊西水南等三村應徵光緒十三年下忙地丁正耗錢糧等項著蠲免十分之四蠲餘銀兩緩至光緒十四年秋後起分作三年帶徵又永興莊馬家營新城村關原頭楊原頭閻原頭東荆楊西荆楊何家莊周原頭三相坊崇道坊興教坊貴戚坊城西關南岳村等十六村應徵光緒十三年下忙地丁正耗錢糧等項著蠲免十分之一蠲餘銀兩緩至光緒十四年秋後起分作二年帶徵忻州之田村西曲家莊北場村西高村等四村被水沙積地三十四頃四畝零應徵地丁正耗錢糧本色米土鹽稅著自光緒十三年起永遠豁免又該州老荒地二十四頃五畝零應徵土鹽稅銀一

兩零著自光緒十三年起補行豁免崞縣之政化都滿溝樑村被水冲塌地二頃二十三畝零著將應徵地丁正耗錢糧米石自光緒十三年起永遠豁免霍州許村退沙村白龍村寺莊陳村辛置村澗河莊趙家莊等八村冲沒塌陷地十七頃零應徵地丁正耗錢糧著自光緒十三年下忙起永遠豁免趙成縣安定村被水冲沒地二頃八十二畝零著將應徵地丁正耗錢糧自光緒十三年下忙起永遠豁免靈石縣城中里西中里南化里北易里東作里等五里著將光緒六年至九年民欠未完地丁正耗銀兩緩至光緒十四年秋後帶徵薩拉齊廳二道河村小灘子村定襄營安樂村喇嘛營路三圪堆村太平莊郭廷貴營何四營莊丁營代桂營太原縣營武鄉縣營七星湖村張寬營朔州營北統爾村南統爾村北卜子村大水橋村董家營壽陽營高泉營炭車營繁峙營李壘村安民村西河堰村木頭湖村三道河等三村五臺營劉家營福壽營雙水泡村朱公營沙海子村苗四營北壽陽營南壽陽營楊祥營一間房村永豐村李

明月蹬口村丁貴香營豐厚村忻太莊善岱村召上等十八村應徵光緒十三年新賦米石除已完外其民欠未完本折米二千六百八十四石零著緩至光緒十四年秋後帶徵該廳三道河等四十八村光緒六年至十二年民欠原緩至光緒十四年起分年帶徵米石著遞緩至光緒十五年秋後起至二十一年止按最先年分分年帶徵清水河廳西鄉大榆樹灣城灣塘子峁磨扇嘴等四村北鄉七墩窪連陰井圪什林免兒窩神池窪楊家窪大灣村南溝楊面靜樂窪偏關窪車鋪孔讀林八稜灣興旺莊發旺莊復興莊黃土圪洞蘆草溝廣濟莊康成莊富民莊等二十二村東鄉雙井子園馬溝韭菜莊北槽砧搖伶溝蘆草圪洞獅子塔十七溝雙臺子喜花峁板申前膠泥灣黃土峁前營盤長渠鴉兒崖南槽砧新莊窩五里坡老窪子大膠泥溝石嘴子雙墩子大樺樹溝五道樑杈杈溝樺樹梁後杈杈溝席麻溝石匣口等三十村以上五十六村莊應徵光緒十三年正耗糧銀著蠲免十分之一蠲餘正耗糧銀著緩至光緒十四年秋

後起分作二年帶徵各該村民欠光緒十一十二年糧耗等項著遞緩至光緒十六年秋後起按最先年分分年帶徵臨汾縣山郭村杜村伊村神劉村下新村金井村大韓村柴村堯廟村東趙村小賈村孫村喬家莊東秦張村西秦張村郭村石村西元村大堡村大楊村坡子裏王雅村等二十二村莊泊莊村泊段村青城村澗上村孔家莊東麻冊村等六村應徵光緒十三年分地丁正耗錢糧等項著緩至光緒十四年秋後帶徵其民欠未完光緒六年至十二年正耗錢糧米豆暨和村等九村光緒十一年被雹業內蠲餘錢糧帶徵未完並九十十一十二年尾欠正耗錢糧米豆著一併緩至光緒十四年秋後帶徵鄉甯縣雙胡滄村西山凹村等二村應徵光緒十三年正耗錢糧等項著蠲免十分之一蠲餘銀兩著緩至光緒十四年秋後起分作二年帶徵樊村銀匠莊等二村應徵光緒十三年正耗錢糧等項均著緩至光緒十四年麥熟後帶徵其次年麥熟錢糧著遞至至秋成後起徵歸化城廳大青山後廠地內吉圪速太

村把爾圪素村補魯園村安樂莊等四村並大青山後四旗空閒廠地正藍旗村李桂珠等七戶應徵光緒十三年正耗租銀等項著蠲免十分之六蠲餘租銀著緩至十四年秋後起分作三年帶徵各該村尾欠光緒十二年以前租銀著一併緩至光緒十四年秋後帶徵太谷縣被水歉收各村光緒十二年被災案內原緩至十三年帶徵之光緒六七年正耗錢糧並六年民欠米豆著緩至光緒十四年秋後帶徵吉州太古村等二十六村光緒十年被雹案內遞緩至十三年帶徵之未完正耗錢糧著緩至光緒十四年秋後起徵孝義縣辛莊村鹽鍋頭張家莊程家莊李家莊小圪塔大堡村南小堡白家堡南船頭等十村光緒十二年被災案內原緩至光緒十三年秋後起分年帶徵正耗錢糧土鹽稅著緩至光緒十四年起仍分三年二年帶徵代州三家村等七十九村光緒十年被災案內未完正耗錢糧米豆土鹽稅並其餘各村民欠未完光緒十年下忙正耗錢糧米豆土鹽稅著緩至光緒十四年秋後帶徵三家村等光緒

十年被災案內漏蠲米十二石零著補行蠲免以上蠲餘錢糧除已指請分年展緩各廳州縣不計外其餘被災十分九分八分者分作三年帶徵被災七分六分五分者分作二年帶徵以紓民力餘著照所議辦理該撫即刊刻謄黃編行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

154
光緒十三年十二月二十六日內閣奉

上諭剛毅奏查明各州縣補報荒地錢糧並米豆土鹽各稅懇恩分別豁免停徵一摺山西靈石等州縣荒地錢糧並隨地徵收之土鹽各稅既據該撫查明懇請補豁停徵自應一體施恩以紓民困加恩著照所請所有靈石縣各村老荒地應徵地丁正銀七百三十兩零耗銀九十四兩零太原縣西賈等六村老荒地應徵地丁六百五十八兩零耗銀八十五兩零米七十八石零豆二十七石零又章化堡衛差銀十六兩零耗銀二兩零沁源縣各村河沖老荒地應徵地丁正銀二百十三兩零耗

銀二十七兩零均著自光緒十三年上忙為始永遠豁免歷年民欠並著一併豁免永濟縣信昌里等村新荒地欠完光緒九十年地糧正銀二百四十二兩零耗銀三十一兩零丁徭正耗銀四十四兩零折徵銀一百六兩零米一百四十二石零豆六十一石零著准予豁免隰州隨糧徵收之土鹽稅銀二百五十五兩零大甯縣隨徵之土鹽稅銀三十五兩零均著自正耗停徵之日起一併停徵另片奏文水等縣境內文峪新河佔用民田併請豁免錢糧各項等語並著加恩准照所請所有文峪新河佔用民田之文水縣屬西宜亭等並汾陽縣寄莊共八村應徵地丁正銀八十七兩零耗銀十兩零應交太原府大盈倉米一石零豆二石零應交汾陽縣倉米六斗零豆三斗零改徵折價五斗零土鹽稅銀一兩零汾陽縣屬西河堡等並文水孝義兩縣寄莊共二十九村應徵地丁正銀三百十三兩零耗銀四十兩零匠價銀一兩零土鹽稅銀四兩零介休縣屬霍家堡等二村應徵地丁正銀一兩零耗銀一錢零土鹽稅銀三分零

孝義縣屬馬莊營等並汾陽縣寄莊共十二村應徵地丁正銀九十九兩零耗銀十二兩零土鹽稅銀五錢零平遙縣境沙河佔用之道備等九村應徵地丁正銀六十九兩零耗銀九兩零土鹽稅銀一兩零均著自光緒十三年為始一併永遠豁免文水汾陽孝義三縣所佔民田各村民欠光緒十一年十二等年正耗錢糧米豆匠價土鹽稅等項並著全行豁免該撫即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1550 蒙

發下摺報已奉

硃批十件其餘應請

批示清漢摺片八件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單六件圖一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月二十六日奉

旨依議欽此

1551

軍機大臣 字寄

兩江總督一等威毅伯曾 閩浙總督楊

兩廣總督張 四川總督劉 江蘇巡撫崧

安徽巡撫陳 江西巡撫德 浙江巡撫衛

山東巡撫張 廣東巡撫吳 光緒十三年十

二月二十七日奉

上諭李鶴年倪文蔚奏查明各省關欠解部撥工款

請旨飭催一摺河南鄭州大工前經戶部指撥各

省關的款茲據該署督等查明截至十二月十五

日止除解到及已報解外欠解銀九十五萬三千餘

兩鄭工現已開辦事機緊要需款孔亟著曾國

荃楊昌濬張之洞劉秉璋崧駿陳彝德馨衛榮光

張曜吳大澂查照單開欠解數目迅速掃數起解

以濟要需毋稍延緩原單著分別鈔給閱看將此

由五百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

另鈔交戶部

1552 光緒十三年十二月二十七日內閣奉

上諭河南南陽鎮總兵員缺著劉威候補投欽此

1553 查河南南陽鎮總兵係陸路缺謹

奏

1554 光緒十三年十二月二十七日內閣奉

上諭曾國荃崧駿奏蘇松等屬錢漕請分別蠲減緩

徵開單呈覽一摺江蘇蘇松等屬本年六月間晴

雨不調高阜低區連被早澇秋成均形歉薄若將

應完錢漕照常徵收民力實有未逮加恩著照所

請所有長洲元和吳縣吳江震澤常熟照文崑山

新陽婁縣金山青浦武進陽湖無錫金匱江陰宜

興荆溪丹徒丹陽金壇溧陽太倉鎮洋等二十五
州縣拋荒未種等田同元和常熟二縣歷年復荒
又吳江常熟丹徒丹陽四縣十年新墾無收震澤
縣九年新墾被淹常熟縣八年新墾歉收崑山縣
別騰四五八九等年新墾新陽縣別騰五七八等
年新墾薄收太倉州屆徵五年新墾被淹鎮洋縣
別騰五六兩年新墾長洲縣別騰復熟薄收元和
縣歷年復荒別騰田金山縣上年被淹別騰田畝
及各年復荒試種雜糧田吳縣吳江昭文崑山新
陽五縣節年被淹無收金壇縣積年被歉田常熟
昭文崑山新陽四縣本年淹旱無收各田太湖華
亭二廳縣荒廢古墓屋基等田條銀漕米長洲元
和二縣歷年薄收本年復熟吳縣本年復熟薄收
吳江縣本年薄收並復熟薄收震澤縣歷年歉收
並本年復熟薄收常熟昭文二縣本年復熟薄收
別騰田崑山縣原薄收田新陽縣原熟別徵薄收
同五七八等年新墾薄收各田崑山新陽二縣拋
荒被淹蓋價田條銀著全行蠲免常熟縣原復熟
及本年薄收各田坐落高平區被歉次重各鄉昭

文縣原熟及本年薄收坐落高平低平各區漕米
著各減免二釐吳縣原復熟各田條銀著減免三
釐長洲縣原熟元和縣原復熟田條銀丹徒縣原
熟及本年薄收田漕米著各減免四釐常熟縣原
熟及本年薄收田坐落東鄉被歉較重各區漕米
又坐落各鄉高平區被歉稍次各田昭文縣坐落
高平區條銀常熟縣坐落西北鄉高平區熟田課
銀著各減免五釐丹陽縣原復熟田漕米著減免
六釐江陰縣原復熟田條銀著減免八釐丹陽縣
原復熟田條銀又五年薄收原復熟金壇縣原熟
薄收田銀米丹陽縣熟田課銀著各減免一成昭
文縣原熟及本年薄收田坐落低平區條銀著減
免一成五釐常熟縣原熟及本年薄收田坐落東
鄉被歉較重各區條銀著減免二成丹徒縣原熟
及本年薄收田條銀著減免四成八釐太倉州原
熟田坐落六都全圖中六都全圖十一都五上下
七元五六圖二十四都上下七上下八元五九十
圖銀米著減免一成二釐十三都一圖十六都上
下二圖條銀著減免八釐漕米著減免九釐十一

都一二三四六八圖二十四都五六圖二十六都
上下一二三上下四圖銀米著減免八釐東一都
全圖七都全圖十二都全圖十三都二上下三五
上下六七八圖十五都一二五六七八圖二十四
都一二上下三四圖二十五都上一圖二十六
都五上下六七八圖二十七都全圖銀米著減免
五釐十五都三四圖十六都一三四圖二十五都
三四圖二十八都全圖二十九都全圖銀米著減
免三釐鎮洋縣原熟暨屆徵新墾別熟新墾各田
坐落二都全圖十七都全圖十八都全圖十九都
全圖二十都全圖二十一都全圖銀米著減免一
成九毫三都全圖四都五六七八圖五都五六七
八圖八都一二三四圖九都一二三四圖十都全
圖銀米著減免九釐東一都上下三圖西一都全
圖四都一二三四圖五都一二三四圖七都全圖
十二都五上下六七八圖十四都全圖二十三都
下一中二上下三圖銀米著減免五釐八都五六
七八圖九都五六七八圖十三都上下四圖二十
二都全圖二十三都上一上下二四圖二十五都

二圖銀米著減免二釐震澤縣本年剔騰薄收田
條銀著的徵二成五釐婁縣青浦靖江溧陽等四
縣勘不成災漕蘆田地應徵銀米丹陽金壇二縣
被款較重除減應徵錢漕同丹徒縣被旱漕屯灾
田蠲騰三成銀米均著緩至光緒十四年秋後察
看分別帶徵其長洲等各州廳縣減成項下應徵
本年地漕鹽課正雜正耗同蘆課學租歸公官租
等銀以及漕南行贈局恤等項米豆均著按分蠲
減徵收蘇州太倉鎮海金山等四衛幫屯田錢糧
著各照坐落地方民田分別蠲減鎮江衛屯坐各
州縣錢糧著查照民田蠲減泰州屯田著的徵五
成泰興著的徵二成八釐江都著的徵三成甘泉
著的徵一成其屯坐丹陽縣錢糧著的徵三成此
外徵騰錢糧同丹陽縣五年薄收復熟並九年新
墾上忙條銀常熟縣本年歉收蘆田課銀著展緩
一年至各屬舊欠項下除同治十一年至光緒五
年錢糧業經蠲免外其餘原緩各年民欠及坐落
本年歉薄各區已歷奏銷民欠各款均著查照分
徵成案緩至光緒十四年秋後由遠及近以次帶

徵以紓民力餘者照所議辦理該督撫即刊刻謄黃偏行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道單併發欽此

1555 光緒十三年十二月二十七日內閣奉

上諭倪文蔚奏請截留山東冬漕接濟春賑等語河南被水州縣災民困苦疊經降旨撥款截漕藉資拯救茲據該撫奏稱災區較廣春賑所需甚鉅著加恩撥給山東本年冬漕五萬石並隨漕經費及耗食等米由張曜飭屬起運解交河南接濟春賑倪文蔚務當督飭印委各負覈實散放總期實惠均霑毋稍弊混餘著照所議辦理該部知道欽此

1556 光緒十三年十二月二十七日內閣奉

上諭倪文蔚奏查明各州縣被災情形請將應徵錢漕分別蠲緩開單呈覽一摺本年河南黃沁兩河漫決鄭州等州縣被災甚鉅及陳留等六十三廳州縣被潦被旱收成均形歉薄若將新舊錢漕照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有鄭州

等十六州縣被水成灾十分一千七百二十五村莊九分一千五百十五村莊八分一千二百八十七村莊七分五百七十二村莊六分四百二十三村莊五分四百二十九村莊及陳留等州縣歉收各地方應徵新舊錢漕均著分別蠲緩以紓民困該撫即按照單開各屬應蠲應緩數目分晰刊刻謄黃偏行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意餘著照所議辦理該部知道單併發欽此

1557 蒙

發下摺報已奉

硃批二十九件其餘應請

批示清漢摺片四十件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理其應行請

旨摺片單十一件擬於

召見時請

旨是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月二十七日奉
旨依議欽此

1558 倪文蔚摺一件遵擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批後同前請

硃批各件一併

發下欽遵辦理謹

奏

十二月二十七日

1559 據陝西巡撫葉伯英送到錢樣一封恭呈
御覽謹

奏

十二月二十六日

1560 光緒十三年十二月二十八日內閣奉

上諭葉伯英奏查明各屬被災地畝請分別緩免錢糧開單呈覽一摺本年陝西咸甯等州縣被水被雹經該撫委實查勘被災輕重分別賑撫若將應徵錢糧照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有咸甯長安長武永壽四屬未完本年錢糧著暫行停緩分年帶徵已完銀兩准其流抵下年正賦華州臨潼興平鄠縣高陵五屬未完本年錢糧著先行蠲免高陵縣知縣厲乃慶報災遲延著交部照例議處另片奏榆林縣歸德堡米家園等處衝壓地畝應輸正耗銀四十八兩零倉糧八十五石零屯草一百束著自光緒十二年上忙起再行緩徵二年以紓民力該撫即將各屬應完地丁租課倉糧按照單開被災地畝應完應免銀糧等項細數分晰刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意餘著照所議辦理該部知道單片併發欽此

1561 蒙

發下摺報已奉

硃批七件其餘應請

批示漢字摺片單二十六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理葉伯英奏咸甯等屬被災請分別

緩免錢糧摺單一件又秦榆林縣歸德堡等處

被災請緩徵糧銀片擬繕明發

諭旨一道照所請分別緩免知縣屬乃慶交部議處

是否有當伏候

聖裁謹

奏

光緒十三年十二月二十八日奉

旨依議欽此

1562

葉伯英摺片二件道擬批條呈進擬請

硃批

發下欽遵辦理謹

奏

1563 蒙

發下盧士杰摺片二件繕擬批條呈進恭候

欽定俟

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年十二月二十九日奉

旨依議欽此

1564

查朝鮮國例

貢使臣到京所有例

賞該國王及使臣物件應由禮部具奏辦理外至該

使臣於新正在

紫光閣筵宴例有

加賞物件等謹查照向例擬寫

賞單進

十二月二十八日

呈謹
奏

1565

朝鮮國正貢使判中樞府事趙秉世

副貢使禮曹判書金完秀
書狀官兼掌令閔哲勳

1566
擬

加賞朝鮮國使臣物件

正使一負

閃緞三疋 上屆抵用蟒緞

漳絨三疋

大卷八絲緞四疋

小卷五絲緞四疋

大荷包一對

小荷包二對

副使書狀官二負

閃緞各二疋 上屆抵用蟒緞

漳絨各二疋

發下閃緞仍抵用蟒緞餘俱照單

次日

小荷包各二對

大荷包各一對

小卷五絲緞各三疋

大卷八絲緞各三疋

1567
蒙

發下摺報已奉

硃批三件其餘應請

批示漢字摺片單六件分別繕擬批條呈進恭候

欽定候

硃批

發下後欽遵辦理謹

奏

光緒十三年十二月三十日奉

旨依議欽此

1568 臣等查明新正應行

加恩各省除

盛京江蘇江西浙江福建臺灣湖北湖南河南陝

西甘肅廣東廣西雲南貴州經該將軍督撫具

奏無庸接濟外所有直隸山東安徽三省業經

該督撫奏到臣等擬繕

諭旨三道並擬定日期

頒發謹

奏

1569 光緒十四年正月初二日直隸

初四日山東

安徽

1570 查各處繳到

硃筆暨清漢摺片單例應彙齊繳進茲將兵部等

繳到

硃筆暨慶裕等繳到清漢摺片單一併開單繳進謹

奏

1571 恭繳

硃筆暨清漢摺片單五十二封

硃筆單一封

兵部一封

硃筆二十三封

總理各國事務衙門一封

慶裕一封

慶裕等一封

杜嘎爾等一封

恭鐘等一封

色楞額等一封

譚鍾麟等一封

薛允升一封

邊寶泉一封

葉伯英一封

沙克都林扎布等一封

咸孚一封

額爾慶額一封

明魁一封

恭壽一封
安德一封
安德等一封
魁福一封
國俊一封
蔭保一封
林壽圖一封
秦澍春一封
梁仲衡一封
批摺二十九封
李鴻章等一封
慶裕一封
慶裕等一封
穆圖善等一封
希元一封
希元等一封
杜嘎爾一封
杜嘎爾等一封
恭鏜一封

恭鏜等一封
文緒一封
文緒等一封
劉錦棠一封
劉錦棠等一封
邊寶泉一封
沙克都林扎布一封
沙克都林扎布等一封
錫綸一封
安德一封
安德等一封
濟祿一封
恩合一封
成慶一封
祿彭一封
祥麟一封
恆元一封
薩克慎一封
倭克津泰一封
雲生一封

1572

奏為奏銷紙張事光緒十三年分軍機處領用過

戶部紙張循例報銷理合開列清單繕摺

奏

聞伏祈

皇太后

皇上聖鑒謹

奏

光緒十三年十二月三十日

臣 世鐸等跪

臣 世鐸

臣 額勒和布

臣 張之萬

臣 許庚身

臣 孫毓汶

1573 計開

軍機處光緒十三年分領用紙張

本紙柒千張 繕寫奏摺及鈔錄各處奏摺行文等項均無存

1574

白榜紙貳千張

鈔錄檔案包封事件用無存

黃榜紙貳百張

鈔錄檔案包封事件用無存

高麗紙壹百伍拾張

包封月摺及檔案皮面用無存

台連紙壹萬張

繕清譯漢並寫底稿用無存

臣 世鐸等跪

奏為奏銷領用紙張等項事光緒十三年正月

至十二月止方略館領用繕寫檔案書籍及辦

稿行文釘輯檔案等項用過紙張並光緒十三

年領用過烤炭暨舊存紙張數目一併詳細開

列清單繕摺

奏

聞伏祈

皇太后

皇上聖鑒謹

奏

光緒十三年十二月三十日

臣 世鐸

臣 額勒和布

臣張之萬
臣許庚身
臣孫毓汶

1575 計開

光緒二年辦理方略

舊存全線榜紙一千六百九十張

未經動用

舊存黃綾二十二匹零半匹

光緒五年用過二匹尚存二十匹零半匹

方略館

舊存五摺黃榜紙六十張

釘摺皮面用無存

舊存五摺白榜紙五十張

林檎等項用無存

舊存台連紙一千五百張

行文林檎用無存

本年領過

五摺黃榜紙二百張

釘摺皮面用過一百四十張尚存六十張

五摺白榜紙四百張

林檎等項用過三百五十張尚存五十張

三號高麗紙二百張

釘摺皮面用無存

台連紙六千張

林檎等項用過四千五百張尚存一千五百張

烤炭二千四百斤無存